# まちづくりにおける未来予想絵図の
# 効果と限界に関する研究

中村　友子

環境計画学科環境社会計画専攻において学士（環境科学）の学位授与の資格の
一部として滋賀県立大学環境科学部に提出した研究報告書

2010 年度

承認

_____

指導教員

# まちづくりにおける未来予想絵図の効果と限界に関する研究

近藤研究室　　0712027　中村友子

## １．背景・論点

絵図には，物的環境だけでなく人々の生活までもが生き生きと描かれ，空間をイメージしやすくするという特徴がある[1]．こうした点から，絵図はまちづくりワークショップなどで，将来像のプラン作成や，環境学習に利用されている．本研究で扱う未来予想絵図は，参加者の持つ将来像を集約して絵図にするという手法である．未来予想絵図の類似事例の研究には「まちづくり絵画コンクール」「ガリバーマップ」についての研究があるが，未来予想絵図の研究は未だなく，未来予想絵図の絵画的表現や，効果と限界についても明らかにされていない．

本研究では，まず未来予想絵図のもつ絵画的な表現に注目し，未来予想絵図以外の絵図との比較によって，その特徴を明らかにする．また，文書によるまちづくり計画書ではイメージしにくい将来の暮らしを，未来予想絵図が視覚的にわかりやすくするのではないかと考え，文書と絵図の比較アンケート調査をすることとした．

## ２．研究の目的・意義

### (1)本研究の目的

①様々な絵図との比較，未来予想絵図に描かれた絵同士の関係性，構図の特徴を分析し，未来予想絵図に用いられている絵画的表現の特徴を見つける．

②参加型まちづくりの場において，文書と絵図の比較アンケート調査を行い，文書のみのまちづくり計画書を未来予想絵図がわかりやすくするということを示す

③未来予想絵図でも伝えきれない内容（未来予想絵図の限界）があるということについて明らかにする．

### (2)本研究の意義

①未来予想絵図の絵画的表現を明らかにすることによって，今後未来予想絵図ワークショップを行う際や，未来予想絵図を知らない人に説明する際に役立つ．

②文書でのまちづくり計画書と未来予想絵図を作成することによって，より将来像をイメージしやすくできる

③未来予想絵図を作成する際に，未来予想絵図にも表現できるものとできないもの（＝限界）があるということを明らかにする

## ３．研究の方法

### (1)対象とする絵図

未来予想絵図が持つ絵画的特徴を明らかにするために，比較対象に選んだ絵図は，表 1 の通りである．また，未来予想絵図以外の絵図の選定理由を以下に示す．

・未来予想絵図と同様，暮らしを生き生きと描いている
・未来予想絵図と構図に共通する点がある
・絵図の中に複数の時間軸が描いてある

表1　本研究であつかう対象絵図

| No. | 絵図名 | 作成時期 | 作成主体 |
|---|---|---|---|
| 未来予想絵図 | 私たちの未来予想絵図2008 | 2009年2月 | 彦根市民<br>環境関連会社社員 |
| | びわ湖・まるエコ・DAY2009<br>未来予想絵図 | 2010年2月 | 滋賀県内で環境保全活動を<br>行っている団体 |
| | 2030年H市未来予想絵図 | 2010年3月 | H市環境円卓会議委員・市役所職員<br>琵琶湖環境科学研究センター |
| | 五環生活未来予想絵図 | 2010年3月 | NPO法人五環生活 |
| 心象絵図 | 南比良心象絵図 | 2008年 | 南比良に住む高齢者<br>上田洋平氏（心象絵図の考案者）<br>絵を描く人 |
| 曼荼羅図 | 那智参詣曼荼羅図 | 1596年以前 | 本願所（参詣曼荼羅図の中心に建っている寺院） |
| 屏風絵 | 洛中洛外図屏風 | 16世紀 | 狩野派の画家 |

### (2)絵図の比較表

対象とする絵図を，表 2 の項目で比較し，未来予想絵図の特徴を明らかにしていく．比較項目は以下である．

表2　絵図の比較表で用いる比較項目

| 比較項目 | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 絵図名 | 10 | 絵図の視点 |
| 2 | 絵図作成時期 | 11 | クローズアップがあるか？ |
| 3 | 対象地域 | 12 | 文字の説明があるか |
| 4 | WSで対象とする人 | 13 | 絵図の中に自分を描いているか？ |
| 5 | 絵図製作者 | 14 | 描かれている人物の多様性 |
| 6 | 概要 | 15 | 生老病死の描写はあるか？ |
| 7 | 絵図の中の時間軸 | 16 | 天候の変化は？ |
| 8 | 絵図の利用目的 | 17 | 絵図の中心となるものがあるか？ |
| 9 | 絵図に用いられた表現 | 18 | 考察 |

### (3)ウィンドウ相互のリンク分析と構図分析

未来予想絵図に描かれた絵同士の関係性を明らかにするため「ウィンドウのリンクによる空間認識の深まり」という手法を用いることとした[2]．絵図をみる際，一部分に注目して絵を切り抜くことウィンドウ，そのウィンドウ同士のつながりをリンクとする．リンクの種類は表 3 にまとめた．これを 4 枚の未来予想絵図，南比良心象絵図・那智参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風にも行い，それぞれの絵図に描かれた絵同士の関係性を明らかにする．

また，抽出されたリンクを元の絵図に戻すことによって，どこにどのリンクが集中しているか，あるいは散らばっているかを見て，絵図に用いられている構図の特徴を明らかにする．

表3　ウィンドウ相互のリンクの種類

| リンクの種類 | | | 特徴 |
|---|---|---|---|
| 論理構造的リンク | A | 意味内容補完型 | 言語と絵、絵同士などで、お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている |
| | B | 時間構造型 | ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ、空間に意味を持たすようにリンクしている |
| 視野調節的リンク | C | 平行移動型 | ウィンドウが特定の方向に流れ、連続的にリンクしている（平行移動する性質を持つ） |
| | D | 拡大・縮小型 | 特定の方向に広がったり、狭まったり連続的にリンクしている（拡大・縮小する性質がある） |

### (4)H 市での文書と絵図の比較アンケート調査

【アンケート概要】

文書と絵図の比較アンケートをおこなうため，用いた文書は，H 市の将来像を話し合う環境円卓会議の内容を集約した「中間とりまとめ文書」である．この「中間とりまとめ文書」を，未来予想絵図に描かれた絵に関係する文章のみを残して編集したのが「未来予想ものがたり」である本アンケートでは，この「未来予想ものがたり」と「H 市未来予想絵図」の二つを用いて比較アンケートを行った．

【アンケート調査の目的・アンケート対象者】

①未来予想絵図と未来予想ものがたりを用いて，わかりやすさ，伝わりやすさを比較する（絵と文章の比較）

②文章にも未来予想絵図にも，表現できるもの，できないものがあるということを示す（表現の限界について）

③文章によるまちづくりの足りない部分を，未来予想絵図が補完できるかを調査する

表4　アンケート対象者

| | 絵図製作にかかわった人 | 絵図製作にかかわってない人 |
|---|---|---|
| 対象 | 環境円卓委員…26人<br>市役所職員の方…5人<br>ファシリテーター…5人 | 市役所職員…20人<br>まちづくり協議会…10人<br>…40人 |
| 合計 | 36人 | 70人 |

【アンケートの方法】

1.回答者の属性として，性別，世代，職業をきく

2.アンケート回答者を回答順で A・B の二つに分けた．

＜回答順 A：未来予想ものがたり→未来予想絵図＞

＜回答順 B：未来予想絵図→未来予想ものがたり＞

3-A.＜回答順 A＞の回答者は，先に「未来予想ものがたり」のアンケートについて回答

4-B.＜回答順 B＞の回答者は，先に「未来予想絵図」のアンケートについて回答

5-A.＜回答順 A＞の回答者は，次に「未来予想絵図」のアンケートについて回答

5-B.＜回答順 B＞の回答者は，次に「未来予想ものがたり」のアンケートについて回答

6.アンケート終了

【アンケートの分析方法】

アンケートでは，回答者の属性（世代・性別）や，計画策定段階である H 市の環境円卓会議へ出席したかしていないか（参加・非参加），文書版・絵図版アンケートのどちらを先に回答したか（アンケート回答順）を比較する．

表5　アンケート項目と質問項目のねらい

| 番号 | 質問内容 | 比較から明らかにしたいこと |
|---|---|---|
| 1 | 「未来予想ものがたり」「未来予想絵図」の中で気に入った部分に何ヶ所でもいいので，黒線or○を書いてください | 愛着・親しみ |
| 2 | 「未来予想ものがたり」or「未来予想絵図」を読んで疑問に思った部分，よくわからなかった部分に，何ヶ所でもいいので，点線or□を書いてください | 疑問・不明な点 |
| 3 | 「未来予想ものがたり」or「未来予想絵図」を読んで，どんなまちにしたいのか，ねらいを理解できましたか？<br>また、どのようなまちですか？簡単にお答えください | イメージのしやすさ・現実性 |
| 4 | 「未来予想ものがたり」or「未来予想絵図」の「未来のまち」にあなたが実際に住んでいるとします．あなたはどこで，何をしていますか？ | 関係性・参加性 |
| 5 | 「未来予想ものがたり」or「未来予想絵図」を読んで，キーワードをどれでも使ってストーリーを考えてみてください．<br>キーワード：森，畑，市街地，道路，川，湖 | つながりを発想できるか？ |
| 6 | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか？（10点満点でお答えください） | わかりやすさ・伝わりやすさ |
| 7 | このアンケートを回答し終わるまでに，どれくらいの時間を要しましたか？ | 見やすさ<br>内容理解の早さ |

## 4．結果及び考察

### (1)絵図の比較表と絵図のポジショニングマップ

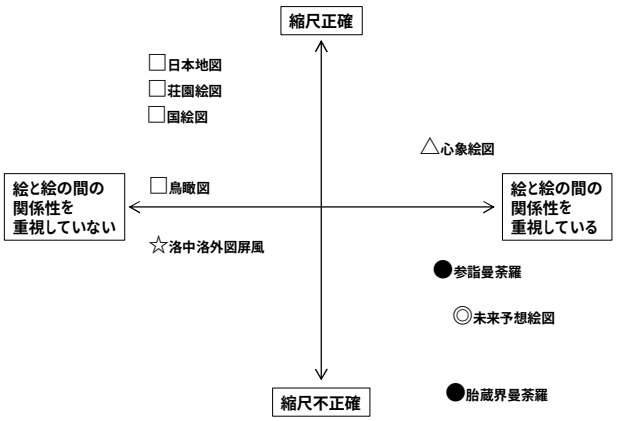



図1　絵図のポジショニングマップ

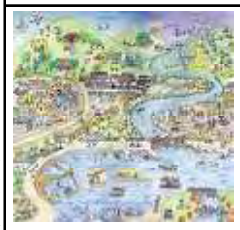
・未来予想絵図は縮図が不正確（デフォルメされている）
　＞未来予想絵図は「地図」と正反対の性質をもっている

・未来予想絵図は絵と絵の間の関係性を重視している

・未来予想絵図に描かれる絵には意味のあるテクスト（物語りや思い）がこめられている
　＞一種の象徴性を持っている点が，曼荼羅図と共通

・未来予想絵図は，言葉による説明や補足を絵図の中に多く入れている

**表６　絵図の比較表（一部）**

| | 絵図の具体例 | 絵図 | 時間軸 | 絵画的表現 |
|---|---|---|---|---|
| 未来予想絵図 | | わたしたちの未来予想絵図２００８ | 「未来の彦根市」をテーマにした時間軸<br>昼→夜の表現がある | ・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・曖昧なものが多い<br>・吹き出しよる補足を用いた絵が多い<br>・文字も少しはあるが、他の未来予想絵図に比べると少ない |
| |  | まるエコ未来予想絵図 | 「あなたが今している活動が2030年にはどうなっていますか？」がテーマにした時間軸<br>季節の畑の様子<br>昼→夜の表現がある | ・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・曖昧なものが多い<br>・吹き出しや文字による補足を用いた絵が多い |
| | | H市未来予想絵図 | 「2030年のH市がテーマ」にした時間軸<br>（C02削減50%を実現した未来）<br>季節の畑の様子や、昼→夜の表現がある | ・H市の地図を参考にして、琵琶湖や山や河川、線路の配置を決めたため地域性のある配置となっている<br>・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・吹き出しや文字による補足を用いた絵 |
| | | 未来予想絵図五環生活 | 「10年後の五環生活の活動」がテーマにした時間軸 | ・一つの箱庭のようなイメージで描かれている<br>・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・吹き出しや文字による補足を用いた絵 |
| 心象絵図 | | 南比良心象絵図 | 過去のいろいろな時間軸が混在している<br>（戦時中の出征の様子・うみのこ・車・電車等） | ・高齢者の意見を元にできるだけ事実に沿った写実的な絵で表現されている<br>・大きさや建物の描き方などにはデフォルメが見られる<br>・文字による補足はない |
| 参詣曼荼羅図 | | 那智参詣曼荼羅図 | ・民衆の参拝といった日常的な時間軸<br>・行事といった非日常の時間軸<br>・社寺の創建といった過去の時間軸<br>・伝説や死後の世界といった現実世界では　ありえないことを描く時間軸 | ・社寺の信仰的世界を一図に収めるために距離、方向をデフォルメしている<br>・画面上部に山、下部に海を描き、画面中央に描かれた参詣空間を横切って川が山と海とをつなぐという構図の特徴を持つ |
| 洛中洛外図 | | 洛中洛外図屏風 | ・人々の日常・暮らしぶりを描く時間軸<br>・季節の行事などの非日常を描く時間軸<br>・社寺の創建といった過去の時間軸 | ・建物や距離はデフォルメされているが、人間のスケールは総じて同じである<br>・画面の構成にも定型化が見られる<br>・春・夏・秋・冬の風物や行事を描き、祇園会の山鉾を書き込むものが多い |

・未来予想絵図には，吹き出しによる細部の拡大や補足，文字や台詞による絵の説明が必要不可欠で，もしそれがない場合は，絵図に込められた物語や思いを全て理解することができない

・未来予想絵図は，制度や，数値の増減，今まであったものが”なくなる”というシーンを描くことができない

・「未来」という不確定な時間軸に対しては負の面（死，や葬式，貧富の差，差別）が描かれにくい

## (2)ウィンドウ相互のリンク分析結果

**表７　未来予想絵図のウィンドウ相互のリンク分析結果**

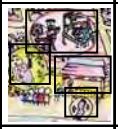
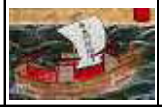
| リンク | わたしたちの未来予想絵図 | まるエコ | H市 | 五環生活 | 考察 |
|---|---|---|---|---|---|
| 意味内容補完型 | | | | | ・どの絵図にも多く存在<br>・文字や台詞で情報を補わないと，その絵の意味を伝えきれない点が未来予想絵図の特徴だとわかる<br>・拡大・縮小型リンクと一致が多い |
| 合計 | 10 | 24 | 69 | 24 | |
| 時間構造型 | | | | | ・「昼→夜への時間の経過」または「田植え→稲刈り」といった季節を感じる絵はこのタイプ<br>・五環生活の絵図にはこのタイプの絵は無かった |
| 合計 | 1 | 4 | 2 | 0 | |
| 平行移動型 | | | | | ・作業の過程を描いている<br>・矢印で次の絵へと誘導しているものがこのタイプ<br>・どの絵図にも存在するが数は少ない<br>・「わたしたちの未来予想絵図2008」にはなかった |
| 合計 | 0 | 6 | 3 | 2 | |
| 拡大・縮小型 | |  | | | ・意味内容補完型との重なりが多い<br>・絵図のサイズが小さく、吹き出しによる拡大を使ってしか細部を表現しきれなかったため，このタイプが増えた |
| 合計 | 6 | 18 | 38 | 15 | |

**表８　他の絵図のウィンドウ相互のリンク分析結果**

| リンク | 南比良心象絵図 | 那智参詣曼荼羅図 | 洛中洛外図絵屏風 | 考察 |
|---|---|---|---|---|
| 意味内容補完型 | |  | | ・絵解きなしには絵に描かれたストーリーや思いが理解できない絵を対象とした<br>・文字による補足はこの3枚の絵図の中には一枚もなかった |
| 合計 | 29 | 30 | 0 | |
| 時間構造型 | | | | ・心象絵図には戦時中の出征の様子，近代的な船が，参詣曼荼羅図には龍や歴史上の人物などが，洛中洛外図には四季の行事が多く描かれており，一画面上に複数の時間軸が描かれている |
| 合計 | 5 | 7 | 11 | |
| 平行移動型 | | | | ・平行移動型は洛中洛外図に2つあっただけ<br>・未来予想絵図にも少なかったが，他の絵図でもあまり使われない表現 |
| 合計 | 0 | 0 | 2 | |
| 拡大・縮小型 | | | | ・那智参詣曼荼羅図では，大きな島がスペースの都合上小さく描かれていた<br>・未来予想絵図には吹き出しを用いた拡大が多く見られるが他の絵図にはめったに見られない |
| 合計 | 0 | 1 | 0 | |

・吹き出しによる細部の拡大，文章による内容の補足は未来予想絵図以外の絵図にはほとんど見られない

・存在する時間軸は，昼→夜や四季の表現がほとんど

## (3)H 市における文書と絵図の比較アンケート調査結果

【全体集計】

「3.どんなまちにしたいのかイメージできたか？」に対する回答は文書版･絵図版アンケート両方で，約８割が「①できた」と回答していたが，回答に要する時間は，絵図版アンケートの方が短かった．つまり，<u>未来予想絵図のほうが短い時間で将来像のイメージができるといえる</u>．

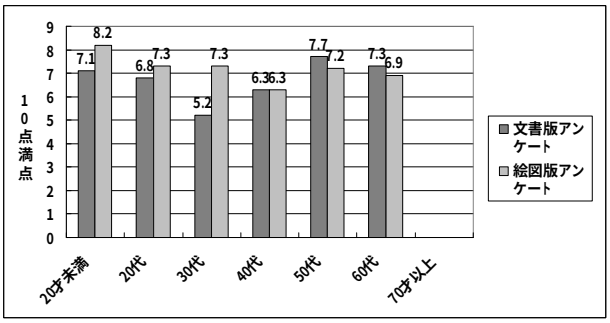



**図2　世代間での文書・絵図に対する「わかりやすさ」の違い**

【世代】

年代が低いほど，絵図に感じる「わかりやすさ」の点数が高くなり，年代が高くなるほどこれは，絵図に感じる「わかりやすさ」の点数が低くなる．つまり，未来予想絵図は，年代の低い人に，まちづくり計画書の内容をわかりやすく伝えることができるということである．

【性別】

文書版アンケートでは，男女ともに結果がほぼ同じだったが，絵図版アンケートでは「どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」に対して，女性は男性よりも，絵図で将来像がイメージしやすいという結果が出ている．

【計画書策定段階への参加・非参加】

計画書策定段階である環境円卓会議への参加・非参加で，回答時間の比較を行った結果，参加者は「未来予想ものがたり」の原版である「中間とりまとめ」の作成にかかわったにも関わらず，非参加者よりも文書版アンケートへの回答時間が長くなっている．同様に絵図版アンケートへの回答時間も，参加者の方が長かった．自分たちの手がけたまちづくり計画書だからこそ，内容に相違点がないか，熟読したと予想される．アンケートの回答時間の長さも，計画書に愛着を持っている根拠でもあると考えられる．

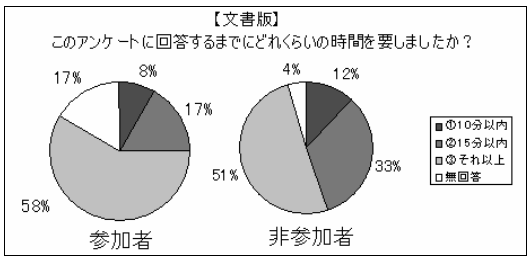



**図3　文書版アンケートでの参加者・非参加者の回答時間**

【<回答順A ：文書→絵図><回答順B：文書→絵図>】

文章版アンケートに回答する時間は，回答順 B の方が回答順 A よりも圧倒的に短い．同様に「6.わかりやすさの点数」も，回答順 B の方が高かった．このことから，<回答順B：絵図→文書>の方が，読む時間が短くなり，内容の理解度も上昇するということがわかった．まちづくり計画書を読む前に未来予想絵図を見ることによって，未来のまちの全体像をイメージすることができる．

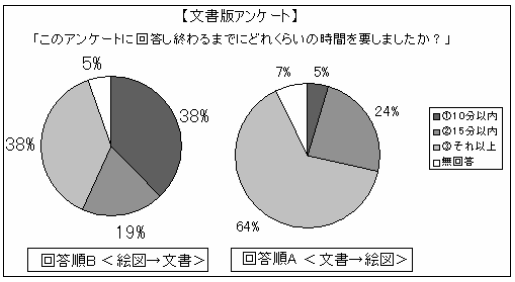



**図4　回答順A・Bにおける文書版アンケートの回答時間**

【まとめ】

①絵図は文書よりも読む時間，理解する時間とも早く済むということである．

②文書と絵図を見る順番によって，内容を理解する時間，内容の理解度に大きな差がでるということである．アンケートの結果から，未来予想絵図を最初に見てから文書版の「未来予想ものがたり」を読んだ回答者の方が，読む時間，理解度ともに高かった．

## 5．結論

**(1)未来予想絵図の特徴**

・吹き出しや文字による補足が多い

・絵では説明しきれないコンテクストが込められている

・未来予想絵図には，ある一瞬を切り取っているだけでなく複数の時間軸の“未来”が多元的に描かれている

**(2)未来予想絵図の効果**

・文書でのまちづくり計画書とあわせて作成されることにより，まちづくり計画書の内容をよりわかりやすくする

・まちづくり計画書を読む前に，未来予想絵図によって将来のまちのイメージをつかんでから，文書に目を通すようにすれば，文書の理解度があがり，わかりやすくなる

**(3)未来予想絵図の限界**

・文書や口頭での絵解きがなければ，絵の意味や物語，描き手の思いの全てを把握することができない．

・社会保障制度や，人口の増減，“○○がなくなった様子”など，目には見えないものを表現しにくい

・死や差別，貧困などの“負の面”はなかなか描かれない

・「どうしたら実現できるのか」という目標達成までのプロセスや具体的な方法を描くことが難しい．

## 6．参考文献

1)倉原宗孝，延藤安弘：計画行為における価値づくりに向けてのまちづくりコンクールの有効性に関する考察，日本建築学会計画系論文報告集，pp.97-104（1992）

2)柳川正宏・仲間浩一：複合表彰としての都市計画に関する研究-江戸名所図会を対象として-，日本建築学会学術研究論文集，日本都市計画学会，pp181-186（1996）

# Effect of “Future Life Style Scenes Drawing” in city planning and research on limit

Nakamura Tomoko

## 1. Background

The drawing is used for a plan making and environmental study of the image of the future.

“Future Life Style Scenes Drawing” is a technique of consolidating participant's image of the future and making it to the drawing.

It thought whether the “Future Life Style Scenes Drawing “made the living in the future not imaged easily with the city planning plan comprehensible.

## 2. Purpose of the research and meaning

### 2-1 Purpose of the research

①The comparison with various drawings, the relations of the picture, and features of the composition are analyzed.

②The document and the drawing are compared. The city planning plan is clarified and the expectation drawing will be clarified when making it plainly in the future.

③It is clarified that there is a limit also in the “Future Life Style Scenes Drawing”.

### 2-2 Meaning of research

①It is useful for doing “Future Life Style Scenes Drawing” workshop. It is useful for the explanation to the person who doesn't know the “Future Life Style Scenes Drawing”.

②The image of the future or more can be imaged easily by making the city planning plan and “Future Life Style Scenes Drawing” and it do.

## 3. Method of research

### (1) Comparison table of drawing

Targeted drawings are compared, and the feature is clarified.

### (2) Link analysis and composition analysis

The relation of the picture drawn in “Future Life Style Scenes Drawing” mutually is clarified.

### (3) Comparison questionnaire in document and drawing survey

Plainly and easiness to transmit are compared by using “Future Life Style Scenes Drawing” and the city planning plan.

## 4. Result and consideration

### (1) Comparison table of drawing and Positioning map

The “Future Life Style Scenes Drawing” values the relation. There is a story in the picture drawn in “Future Life Style Scenes Drawing”.

A lot of explanations and supplementations in the word are in the drawing in “Future Life Style Scenes Drawing”.

The death or neither poverty nor discrimination is so drawn in “Future Life Style Scenes Drawing”.

### (2) Link analysis and composition analysis

The expansion and the supplementation with the content are hardly seen in other drawings.

There is two or more time axis in the drawing.

### (3) Comparison questionnaire in document and drawing survey

①The time of the drawing read from the document is early. Drawings are more comprehensible than documents.

②In order by which the document and the drawing are seen, there is a big difference at the understanding level of the content at time to understand the content. From the result of the questionnaire, after seeing the “Future Life Style Scenes Drawing” first, you should read the document.

## 5. Conclusion

### (1) Feature of “Future Life Style Scenes Drawing”

There are a lot of supplementations by the balloon and the character. here is a meaning without being explained in a picture alone. In “Future Life Style Scenes Drawing”, there is two or more time axis. "Future" is plurally drawn.

### (2)Effect of “Future Life Style Scenes Drawing”

“Future Life Style Scenes Drawing” can plainly pass on the content of the city planning plan to the young person.

It is easy for the woman to image the image of the future from the man in. “Future Life Style Scenes Drawing”

The image of the future can be imaged at time when “Future Life Style Scenes Drawing” is shorter.

The content of the city planning plan is made more comprehensible by being made with the city planning plan.

The image of waiting in the future is gripped by the drawing before the city planning plan is read. Afterwards, the understanding level goes up if the document is looked over.

### (3) Limit of Future Life Style Scenes Drawing

The meaning, the story of the picture, and all of drawing person's desire cannot be understood if there is not illustrating.

The one not seen is not expressed easily in the social security system, the increase and decrease of the population, and eyes.

The death or neither discrimination nor poverty, are easily drawn. It is difficult to draw a process to accomplishment of a goal and a concrete method.

目　次


第一章　序論 …… 1
1-1　絵図の定義 …… 1
1-2　様々な絵図の分類 …… 1
1-3　まちづくりに利用されている絵図の紹介 …… 2
1-4　本研究の背景 …… 4
1-5　未来予想絵図の定義 …… 5
1-6　未来予想絵図の類似例紹介 …… 6
1-6-1　「わたしたちの未来予想絵図 2008」 …… 8
1-6-2　「びわ湖・まるエコ・DAY2009」 …… 10
1-6-3　「2030 年の H 市未来予想絵図」 …… 14
1-6-4　「五環生活未来予想絵図」 …… 16
1-7　まちづくりにおける未来予想絵図の意義 …… 18
第二章　研究の目的意義 …… 21
2-1　絵図研究の方法と未来予想絵図研究の位置づけ …… 21
2-2　既存研究から見る本研究の位置づけ …… 22
2-3　本研究の目的 …… 22
2-4　本研究の意義 …… 23
2-5　本研究の構成 …… 23
第三章　本研究の方法 …… 25
3-1　本研究の方法概要 …… 25
3-2　未来予想絵図と比較する絵図の説明・対象選定理由 …… 25
3-2-1　「南比良心象絵図」の説明・対象選定理由 …… 27
3-2-2　「那智参詣曼荼羅図」の説明・対象選定理由 …… 28
3-2-3　「洛中洛外図屏風」の説明・対象選定理由 …… 29
3-3　未来予想絵図と南比良心象絵図・那智参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風との比較調査 …… 30
3-4　ウィンドウ相互のリンク分析と構図分析 …… 30
3-5　H 市「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査 33
3-5-1　アンケート調査の目的 …… 33
3-5-2　アンケート調査対象者の選定 …… 37
3-5-3　アンケート調査の流れ …… 38
3-5-4　アンケート調査に用いた配布物 …… 40
3-5-5　アンケートの分析方法 …… 43

第四章　未来予想絵図と南比良心象絵図・那智参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風との比較調査 …… 45
4-1　絵図の比較表 …… 45

4-2　絵図の比較表からの考察 …… 48
4-3　ポジショニングマップ …… 49
第五章　未来予想絵図・心象絵図・参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風の絵図分析結果 …… 51
5-1　ウィンドウ相互リンク分析結果と構図分析結果 …… 51
5-2　「わたしたちの未来予想絵図 2008」分析 …… 51
5-3　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」分析 …… 55
5-4　「2030 年の H 市未来予想絵図」分析 …… 61
5-5　「五環生活未来予想絵図」分析 …… 66
5-6　「南比良心象絵図」分析 …… 70
5-7　「那智参詣曼荼羅図」分析 …… 74
5-8　「洛中洛外図屏風」分析 …… 78
5-9　未来予想絵図と他絵図の絵図分析の比較・考察 …… 83
第六章　H 市における「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査結果 …… 85
6-1　アンケート集計結果 …… 85
6-1-1　回答者の属性について …… 85
6-2　アンケート調査結果の分析＜全体集計＞ …… 87
6-2-1　アンケート調査結果の分析＜世代間＞ …… 92
6-2-2　アンケート調査結果の分析＜男性と女性の回答比較＞ …… 94
6-2-3　アンケート調査結果の分析＜回答者の計画策定段階への参加・非参加＞ …… 98
6-2-4　アンケート調査結果の分析＜回答順 A と回答順 B＞ …… 100
6-3　アンケート結果考察 …… 103
6-4　まちづくり会議における未来予想絵図の効果と限界 …… 103
第七章　考察と結論 …… 105
7-1　各章のまとめ …… 105
7-2　未来予想絵図の位置づけ …… 109
7-3　未来予想絵図に描かれる絵の特徴 …… 110
7-4　「未来予想ものがたり」と「未来予想絵図」の比較アンケート調査から 111
7-4-1　まちづくりにおける未来予想絵図の効果 …… 112
7-4-2　まちづくりにおける未来予想絵図の限界 …… 112
7-5　今後の課題と展望 …… 113

## 図　表　目　次

図 1-1　絵図の分類ピラミッド ・・・

図 3-8　「未来予想ものがたり」 …… 34
図 3-9　「教育・子ども」&「産業」 …… 35
図 3-10　「エネルギー」&「食・消費・廃棄物」 …… 35
図 3-11　「生き方・コミュニティ」&「医療・福祉」 …… 36
図 3-12　「移動・物流」&「雇用・就業」 …… 36
図 3-13　H 市での比較アンケート調査の流れ …… 38
図 3-14　アンケートの回答順 …… 40
図 3-15　「未来予想ものがたり」「未来予想絵図」に関するアンケート調査のお願い 40
図 3-16　アンケート回答の手順 …… 40
図 3-17　「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査票 …… 41
図 3-18　「未来予想ものがたり」 …… 41
図 3-19　「未来予想絵図」についてのアンケート調査票 …… 42
図 3-20　「H 市未来予想絵図」 …… 42

図 4-1　絵図のポジショニングマップ …… 49

図 5-1　「わたしたちの未来予想絵図 2008」意味内容補完型 …… 52
図 5-2　「わたしたちの未来予想絵図 2008」時間構造型 …… 53
図 5-3　「わたしたちの未来予想絵図 2008」拡大・縮小型 …… 53
図 5-4　「わたしたちの未来予想絵図 2008」構図分析まとめ …… 54
図 5-5　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」意味内容補完型 …… 56
図 5-6　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」時間構造型 …… 57
図 5-7　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」平行移動型 …… 58
図 5-8　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」拡大・縮小型 …… 59
図 5-9　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」構図分析まとめ …… 60
図 5-10　「2030 年の H 市未来予想絵図」意味内容補完型 …… 62
図 5-11　「2030 年の H 市未来予想絵図」時間構造型 …… 63
図 5-12　「2030 年の H 市未来予想絵図」平行移動型 …… 63
図 5-13　「2030 年の H 市未来予想絵図」拡大・縮小型 …… 64
図 5-14　「2030 年の H 市未来予想絵図」構図まとめ …… 65
図 5-15　「五環生活未来予想絵図」意味内容補完型 …… 67
図 5-16　「五環生活未来予想絵図」平行移動型 …… 68
図 5-17　「五環生活未来予想絵図」拡大縮小型 …… 69
図 5-18　「五環生活未来予想絵図」構図まとめ …… 70
図 5-19　「南比良心象絵図」意味内容補完型 …… 72
図 5-20　「南比良心象絵図」時間構造型 …… 72
図 5-21　「南比良心象絵図」構図まとめ …… 73
図 5-22　「那智参詣曼荼羅図」意味内容補完型 …… 75

図 5-23　「那智参詣曼荼羅図」時間構造型 …… 76
図 5-24　「那智参詣曼荼羅図」拡大・縮小型 …… 77
図 5-25　「那智参詣曼荼羅図」構図まとめ …… 78
図 5-26　「洛中洛外図屏風」時間構造型 …… 80
図 5-27　「洛中洛外図屏風」平行移動型 …… 80
図 5-28　「洛中洛外図屏風」地域特性型 …… 81
図 5-29　「洛中洛外図屏風」日常風景型 …… 82
図 5-30　「洛中洛外図屏風」構図まとめ …… 82

図 6-1　アンケート回答者の世代分布(n=79) …… 85
図 6-2　【全体集計】質問項目 3.の回答結果 …… 87
図 6-3　【全体集計】質問項目 7.の回答結果 …… 91
図 6-4　【世代間】質問項目 3.の回答結果【文書版】 …… 92
図 6-5　【世代間】質問項目 3.の回答結果【絵図版】 …… 92
図 6-6　【世代間】「質問項目 6.の回答結果」 …… 93
図 6-7　【性別】質問項目 3.の回答結果【文書版】 …… 95
図 6-8　【性別】質問項目 3.の回答結果【絵図版】 …… 95
図 6-9　【性別】質問項目 7.の回答結果【文書版】 …… 96
図 6-10　【性別】質問項目 7.の回答結果【絵図版】 …… 96
図 6-11　【参加 or 非参加】質問項目 3.の回答結果【文書版】 …… 99
図 6-12　【参加 or 非参加】質問項目 3.の回答結果【絵図版】 …… 99
図 6-13　【回答順】質問項目 7.回答結果【文書版】 …… 102
図 6-14　【回答順】質問項目 7.回答結果【絵図版】 …… 102

表 1-1　「びわ湖・まるエコ・DAY2009」未来予想絵図ワークショップ参加団体 11

表 3-1　絵図の比較項目 …… 30
表 3-2　ウィンドウ相互のリンクの種類 …… 31
表 3-3　ウィンドウ相互のリンクの種類とその具体例 …… 32
表 3-4　アンケート対象者 …… 37
表 3-5　アンケートの質問項目と質問項目のねらい …… 43

表 4-1　絵図比較表（未来予想絵図） …… 46
表 4-2　絵図比較表（心象絵図・参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風） …… 47

表 5-1　「わたしたちの未来予想絵図 2008」ウィンドウの相互リンク例 …… 51
表 5-2　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」ウィンドウの相互リンク例 55

表 5-3　「2030 年の H 市未来予想絵図」ウィンドウの相互リンク例　・・・・・・・・・・　61
表 5-4　「五環生活未来予想絵図」ウィンドウの相互リンク例　・・・・・・・・・・・・・・・　66
表 5-5　「南比良心象絵図」ウィンドウの相互リンク例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　71
表 5-6　「那智参詣曼荼羅図」ウィンドウの相互リンク例　・・・・・・・・・・・・・・・・・　74
表 5-7　「洛中洛外図屏風」ウィンドウの相互リンク例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　79

表 6-1　アンケート集計結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　85
表 6-2　アンケート回答者の男女割合と平均年齢　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　86
表 6-3　アンケート回答者の計画書策定段階への参加・非参加の割合　・・・・・・　86
表 6-4　アンケート回答者の回答順序の割合　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　86
表 6-5　【全体集計】質問項目 1.と質問項目 2.の回答結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・　87
表 6-6　【全体集計】「3-1.それはどんなまちですか？」記述回答結果　・・・・・・　88
表 6-7　「4.あなたは，どこで，なにをしていますか？」記述回答結果　・・・・　90
表 6-8　【全体集計】質問項目 6.の回答結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　91
表 6-9　男性と女性のアンケート結果（記述回答以外）　・・・・・・・・・・・・・・・・・　94
表 6-10　質問項目 3-1.のアンケートの記述回答の例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　96
表 6-11　参加 or 非参加でのアンケート結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　98
表 6-12　回答順 A と回答順 B の比較結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　101

## 第一章　序論

### 1-1　絵図の定義

「絵図」とは，地表上の諸事物の空間配列を二次平面上に表現したものであり，地図の一種である．竹内は，絵図を彩色図と定義し[1)]，吉田は，絵図を「絵師が描いた絵画的な表現を交えた」[2)] 図としている．また，近世以前の地図類を指して絵図と総称することが多く，「絵図」という言葉が使われ始めたのは 932 年頃と言われている [3)].

### 1-2　様々な絵図の分類

絵図には様々な分類のしかたがある．金田は，絵図全体を①政治絵図，②案内・道中図，③信仰絵図，④設計・見取絵図の四大分類に区分した[3)]．　また，中西，関戸による鳥瞰図の類型化では，鳥瞰図を用いて描かれた絵図を，読み手の「視点」で，①山から見下ろしている型，②海上から見下ろしている型，③左手に海を配置した型の三つに区分している[4)]．また葛川絵図研究会による絵図分類は，絵図を大きく三つに分類している．①プラン図（例：寺社境内絵図），②マンダラ図（例：参詣曼荼羅絵図），③スケッチ図（例：荘園絵図）である[5)]．この三つの分類を三角形の頂点にそれぞれ配置する．全ての絵図がこの三タイプにきっちりと分類できるわけではなく，三角座標の中間に位置する絵図も多くある．例をあげると，絵画的で知覚的な「荘園絵図」は，スケッチ図に分類されるが，当事者の主張，あるいは過去の世界などを同一画面上に書いており多元的に空間を描いている点で，マンダラ図としての特徴も兼ね備える [5)] ．

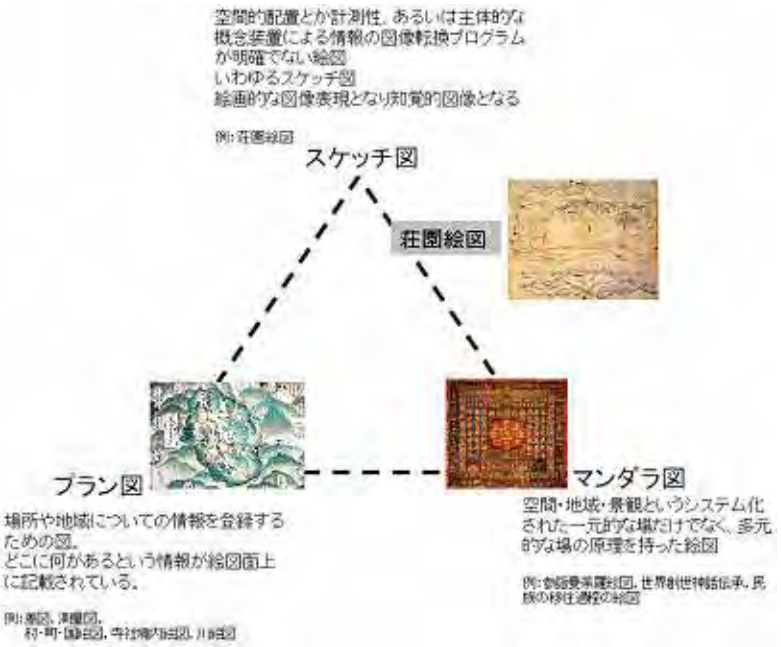



図 1-1　絵図の分類ピラミッド

この絵図分類には，芸術性の高い都市図屏風や名所・道中絵図を含まない．その理由は，この分類では，芸術性に乏しく単なる補助材料としてしか見られてこなかった古拙な絵図（荘園絵図・川絵図など）にも多様な情報が描かれていると考え，芸術性に乏しい古絵図に特に注目している分類だからである[5]．しかし，この分類であれば，人間の生活の舞台である「場」を図像表現した絵図を広く対象とすることができる．当然ながら，これ以外の分類も可能である．絵図の作成されたコンテクスト（目的・利用形態など），絵図そのものの表現様式（体裁，画法など）を考慮した体系的分類は，今後一層深められるべき課題でもある．

絵図の分類方法は多くあるが，全ての絵図を漏れ落ちなく分類することは難しい．絵図には多様な表現があり，多様性に富んでいるからである．本研究では，こうした多様性に富んだ絵図の中でも，未だ特徴が明らかにされていない未来予想絵図について扱う．

### 1-3　まちづくりに利用されている絵図の紹介

1960 年代から「参加型まちづくり」が，都市計画の方法として利用されるようになってきた．「参加型まちづくり」とは，都市の計画の作成・実現及び運営に，住民・専門家等の様々な主体が関わる活動のことである[6]．

この「参加型まちづくり」において，地域にかかわるさまざまな立場の人々が自ら参加し，地域社会の課題を解決するために「まちづくりワークショップ」が開発された．「まちづくりワークショップ」は，住民や専門家，行政などの参加者が意見・アイディアを出し合い，参加者皆で考え，合意を形成していくための「場」のことである[7]．「まちづくりワークショップ」の利用は，公園づくりや道づくり，公共施設の計画，団地などの住まい計画，市町村の都市マスタープランの策定など多岐にわたっている．

こうした「まちづくりワークショップ」の一例として，地域安全マップ[8),9)]が使用されるようになってきている．簡単な地図の上に，自分たちが実際に撮ってきた建物や道路の写真を貼ったり，イラストを加えたりして，好きな場所や人気の遊び場，地域の危険な道や場所を，住民同士で共有できるものとなっている[10]．マップ（＝地図）という名称ではあるが，絵画的な表現を交えた彩色画という点では，絵図の定義に一致する．

地域安全マップのほかにも，大きな地図の上に参加者が実際に乗って書き込みを行う八尾[11]の「豊中おもしろ地図 BIG MAP」や中村[12]の「ガリバー地図」が挙げられる．自分たちの住んでいるまちの地図を拡大し，もっとこうなってほしいという要望や，批判，気づいたこと，自分の好きな場所，思い出，驚きや気づいたことなど何でも書き込んでいく．その書き込みに対して後からきた参加者がさらに自分の意見を加えていくという地図上でのコミュニケーションも見られる事例である．このワークショップでは，自分たちの住んでいるまちを見直すことによって，新たな発見をすることができ，まちに対する愛着を生み出すことができている．

図 1-2　広島市の地域安全マップ [8)]

図 1-3　山口県の地域安全マップ

こうした地域安全マップが町の「現在」を対象にして描いている絵図であるとすれば，「過去」を対象とした絵図には，上田の考案した心象絵図，ふるさと絵図が挙げられる[13)]．対象集落に長年住んでいる高齢者に昔の暮らしぶりを聞き，ひとつの屏風絵としてまとめる手法である．絵図の作成段階で，対象地域に住んでいる高齢者から話をきき，「五感アンケート」という手法を用いて，手足で感じた感触，におい，風景など，全身の記憶から昔の暮らしぶりを引き出していく[14)]．このアンケートから「五感マンダラ」を作り，絵図に描きこんでいく．実際に地域住民が絵図に色づけをした事例もあり，心象絵図は地域住民が一体となって作り上げる絵屏風といえる．また，心象絵図は地域の歴史的史料として昔の暮らしぶりを後世に伝えることができるだけでなく，高齢者に対しての回想法を用いたデイサービスにも効果があるのではないかともいわれている[15)]．

図 1-4　南比良心象絵図 [13)]

図 1-5　渋川・風景の記憶絵 [14)]

そして，「未来」を対象とした絵図には，本研究で扱う未来予想絵図を分類することができる．未来予想絵図とは，未来のまちをイラストや言葉で表現した絵図である．

### 1-4　本研究の背景

「参加型まちづくり」は，行政が中心となって立案・実施してきた都市計画が，市民という存在に対峙することによって 1960 年代に発達してきた．それまでの都市計画と「参加型まちづくり」の違いは，都市計画の作成主体や実現主体として，政府以外の主体が関わることにあると考えられている．しかし，参加型まちづくりの現状は，住民と行政の間で将来ビジョンの共有や情報交換がうまくできておらず「いくら意見を言ってもまちづくりに自分の意見が反映されているのかわからない」「意見を言っても何も変わらない」という不満が住民から寄せられている[16)].

行政・組織によっては，絵を用いて将来ビジョンをわかりやすく表現しようとした事例もあるが，いずれも研究者，子どもの目線など一人の目線のみで作られたもので，多くの住民の意見が広く反映されているわけではなく，住民同士の将来ビジョンの共有や情報交換を可能にするにはいたっていない.

そこで，参加型まちづくりにおいて，住民が思い描く未来をわかりやすく表現するため, 将来ビジョンを住民同士, あるいは住民と行政が互いに共有するための方法として, 未来予想絵図ワークショップが有効なのではないかと考えたのが本研究の背景である.

「参加型まちづくり」の実現のため，つまり行政以外の主体がまちづくりにかかわるためには，コミュニケーションの技術の発展が必要不可欠であると言われている[6)]．コミュニケーションの技術によって，異なる立場の人間が，情報や課題を共有することが可能になるからである．コミュニケーションの技術には，大きく分けて三つある[6)].

① 情報を伝えるメディア自身に関する技術（まちづくり絵本やまちづくりニュース）
② メディアを用いて情報を伝える技術（ワークショップなどを通じて情報を伝える）
③ 情報の表現の技術（パターンランゲージなど，空間やイメージを表現する手法）

この三つのコミュニケーションの技術全てと，本研究であつかう未来予想絵図は，共通点を持っている．①は，まちづくり絵本やまちづくりニュースなど工夫をこらしたメディアのことをさしており，未来予想絵図も自分たちの住んでいるまちを，わかりやすく他者に伝えようと工夫を凝らしたメディアであるといえる．②のワークショップなどの体験を通じて情報を伝えるという点では，未来予想絵図ワークショップを通じて将来ビジョンを参加者で話し合い，自分たちの手で将来ビジョンを作り出していくという点が共通している．③の情報の表現の技術という点では，空間やイメージを表現する未来予想絵図は，絵で未来のまちの姿を描き，空間のイメージを明らかにわかりやすくすることができる.

こうした三つのコミュニケーション技術を兼ね備えた未来予想絵図ならば, 住民同士, 住民と行政の間における将来像の共有や情報交換を実現し，まちづくり計画書に住民の意見を取り入れることができるのではないかと考えている.

### 1-5　未来予想絵図の定義

未来予想絵図は，参加者が思い描く将来像を集約した絵図である．本研究であつかう未来予想絵図は，4 枚中 3 枚が，著者自身が作成したものであるため，絵画的表現の偏りや，描き手の個性がでていることを考慮しなくてはならない．著者以外の人物が未来予想絵図を描いた場合は，本研究とは異なった特徴をもった未来予想絵図が作られる可能性もある．

本研究であつかう未来予想絵図の定義として，行政や研究機関だけでなく，大勢の人の意見を集約した絵図であること．ある対象地域に対して未来のワンシーン（イラスト）でなく，まち全体の未来の姿を描く「領域性」「全体性」がある絵図であることとする．

未来予想絵図ワークショップの方法は，いくつかあり，対象者や未来予想絵図の作成目的によって変えていく必要がある．以下に今まで作成した未来予想絵図の作成過程を簡単に三つ紹介する．

① 大きな未来予想絵図を準備し，参加者にはその上に実際に乗ってもらい，自分の手で絵や文字を描き込んでいく．絵が苦手な人の代わりとして，未来予想絵図のスタッフが代わりに絵を描くこともある．
② 既存の未来予想絵図を見ながら足りないものや必要なものをポストイットに絵や文字で描いて絵図に貼っていき，新しい情報を加えて絵図を更新していく
③ 将来像に関する話し合いや，将来像の実現可能性を十分に検討し，まとめた文書から未来予想絵図を描き出していく．

①の方法は，大きな絵図の上に参加者が実際に乗って，気づいたことや自分の意見を描きこんでいくという点で，市民参加を促すまちづくりイベントでもあるビッグマップ・ガリバーマップに似ている[12)]．具体的な未来の設定は対象者や状況，目的に応じて変更や付け加えていくことが可能である．また，年齢や立場関係なく，人と人との様々な繋がりを生み出す可能性も持っている．一から将来像を作っていくほか，それぞれが自分の描きたいものをどんどんと描きこんでいくので完成した絵図には,「まち」として絶対に必要な要素が抜け落ちてしまったり，生活に必要な要素が描かれなかったり，対象者によって偏りがでたりする．

②の方法は，既存の未来予想絵図を見ながら議論をするので，一から将来像を考える必要はなく，比較的短時間のワークショップで使われる方法である．

③の方法は，行政のまちづくり計画会議に，未来予想絵図を持ち込んだ場合である．ここでは，絵図にする前の段階で十分に将来像が議論される．完成した絵図は様々な分野から将来像が考えられており，社会保障制度に関する情報，環境負荷の予想といった化学的・論理的な裏づけがなされた，実現可能性のある未来予想絵図になる．

## 1-6 未来予想絵図の類似事例紹介

未来予想絵図の類似事例としては，まちづくりコンクールの応募作品や，まちづくり計画書への絵の利用，滋賀県の将来ビジョンに使われた挿絵や，環境省による「低炭素型社会構築に向けた 2 つの将来ビジョン」などがある．

まちづくりコンクールの事例としては，愛媛県の松山市で開催されている景観まちづくり作画コンクールがある[17]．「私が夢見るたのしいまち・すみたいまち」をテーマとして，市内の小中学生から絵画を募集している．緑があふれ，花が多く咲いている景色や，屋上緑化をしている建物，城と昔ながらの建物（道後温泉）が守られている一方で，近代的な都市も同一画面上に描かれている．その様子を鳥の背中にのって鳥瞰図のようにまちを一望している絵が優秀作品に選ばれている．近代的かつ昔ながらの伝統も守り，環境にも配慮した理想的なまちである．

図 1-6　まちづくりコンクール作品(1)[17]

図 1-7　まちづくりコンクール作品(2)[17]

滋賀県が発行した「持続可能な滋賀社会ビジョン」は，2030 年という長期的な視点で，持続可能な社会に発展するための道筋を明らかにするとともに，着手すべき施策や今後の展開方向を示している．「持続可能な滋賀社会ビジョン」で示される 2030 年の滋賀の姿や施策の展開方向については「滋賀県環境総合計画」等の指針として反映し，具体的な施策の実施につなげていくことになっている[18]．

この「持続可能な滋賀社会ビジョン」の中で，2030 年の滋賀の姿を絵で表現したのが図 1-8 と図 1-9 である．「自然・気候」「産業」「まちづくり」「暮らし」という 4 つの視点から描かれた絵で，「持続可能な滋賀社会ビジョン」に書かれている将来像がわかりやすく表現されている．

図 1-8　2030 年の滋賀「暮らし」[18)]

図 1-9　2030 年の滋賀「まちづくり」[18)]

次に環境省が手がけている，地球環境研究総合推進費による戦略的研究開発プロジェクト「脱温暖化社会にむけた中期的政策オプションの多面的かつ総合的な評価・予測・立案手法の確立に関する総合研究プロジェクト」について説明する．このプロジェクトは，望ましい 2050 年の社会経済の姿を想定し，それを絵で表現した．2050 年の社会経済の姿を検討する際，それが実現可能か，実現するためには何をすべきなのかを検証するというアプローチ（バックキャスティング手法）を用いて，将来像に幅を持たせていった例である[19)]．そして，経済発展・技術指向型のビジョン A と地域重視・自然志向型のビジョン B を想定して，それぞれエネルギーサービスの需要を含む具体的な姿を描いたのが図 1-10 と図 1-11 である．「2050 年脱温暖化社会プロジェクト」では，ビジョン A・B ともに，従来のさまざまな日本社会の長期将来見通しと大差なく，ビジョン A・B ともに，調和しながら混在しつつ進行していくと予測している．

図 1-10　低炭素社会構築に向けた 2 つの将来ビジョン（プラン A）[19)]

図 1-11　低炭素社会構築に向けた 2 つの将来ビジョン（プラン B）[19)]

このように，将来ビジョンを絵で表現した事例はある．しかし，絵を描いた主体は，一人であったり，行政であったりと，幅広く住民の意見を取り入れて描かれているものは少ない．未来予想絵図は，行政・住民関係なく，多くの人々の意見を反映して作る絵図である．続いて，4 つの未来予想絵図の事例紹介をする．

### 1-6-1　「わたしたちの未来予想絵図 2008」

【開催日時】2008 年 2 月 16 日（土）13:35-15:15

【開催場所】滋賀県ビバシティホール

【テーマ】「わたしたちの未来予想絵図づくり」

【概要】「未来の彦根市」をテーマに，環境関連の企業に勤務している人，彦根市民を対象にしておこなわれたワークショップ．町並みを描いた下絵に「わたしが考える未来のまちかど」を考えてポストイットにアイコン絵を描いたものを貼っていく．何個かアイディアが出たところで，振り返り，つながるところはないか？足りないところはないか？一緒にできることはないか？を考え追加アイコンを貼っていく．これらすべての意見をふまえて作成されたのが「わたしたちの未来予想絵図 2008」である．

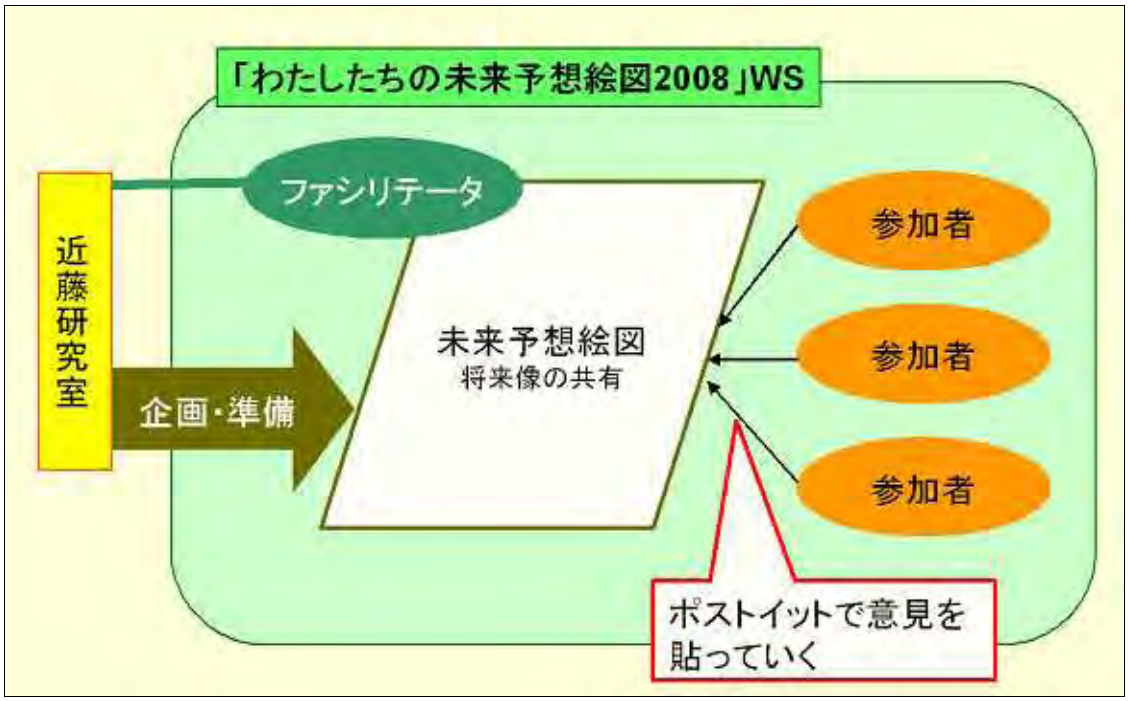



図 1-12　「わたしたちの未来予想絵図 2008」ワークショップのシステム図

**図** 1-13　**ワークショップの様子**(1)

**図** 1-14　**ワークショップの様子**(2)

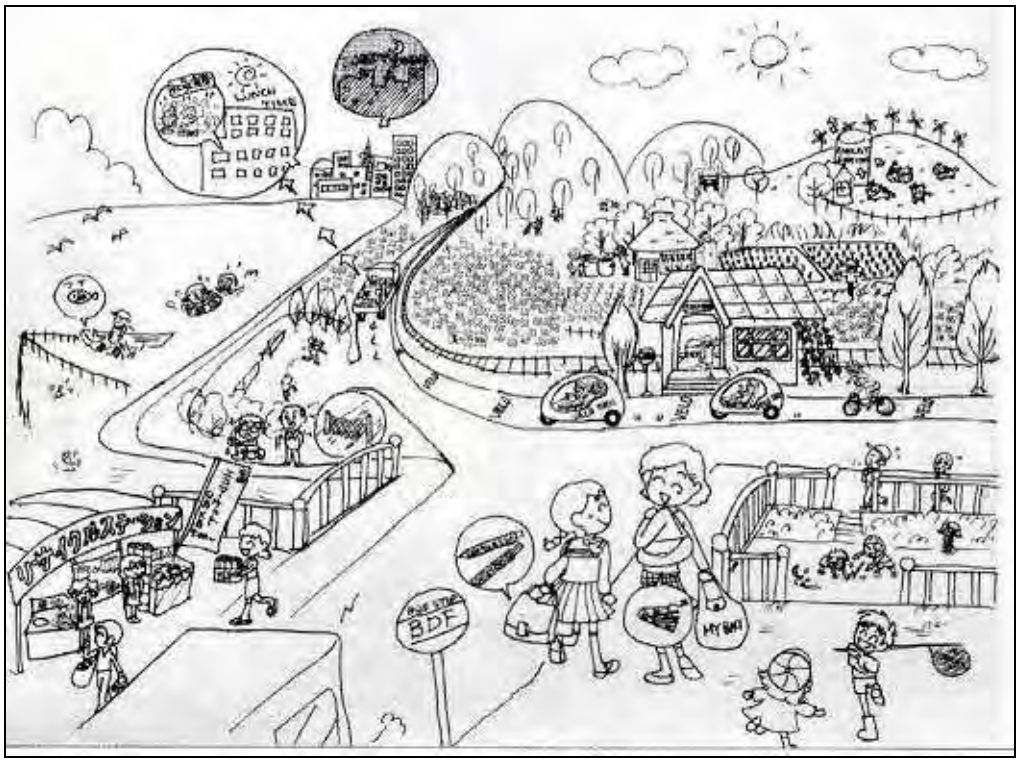



**図** 1-15　「**わたしたちの未来予想絵図** 2008」

**1-6-2　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」**

**【開催日時】**2009 年 11 月 28 日（土）～12 月 6 日（日）10:00～16:00

※11 月 30 日（月）は休館日

**【開催場所】琵琶湖博物館**

**【テーマ】**「2030 年には自分たちの活動はどうなっているでしょう？」

**【概要】滋賀県主催の環境イベントで，滋賀県企画調整課・自治振興課，環境学習支援センター，琵琶湖博物館，滋賀県立大学，**NPO **法人五環生活等を中心として構成された「びわ湖・まるエコ・**DAY2009 **実行委員会」が企画・運営した．**

**対象者は滋賀県内で環境保全活動をしている団体である．未来予想絵図に実際に参加した出展団体については表** 1-1 **にまとめた．教育機関や生物保全活動をしている団体，スローライフを推進する団体，研究機関など，参加者は多岐にわたる**

**多様な団体が出会い，それぞれの取組の魅力や工夫を発信し，出会いを通じて新たな取り組みが生まれるきっかけづくりにつなげる機会として開催されたのが「びわ湖・まるエコ・**DAY2009**」である．期間中は，出展団体に限り，未来予想絵図に「自分たちが今取り組んでいる活動が** 2030 **年にはどうなっているか」をテーマに絵を描き込んでもらった．原画は** 5.4m **四方のパネルで，直接絵図の上に乗ってもらって，自分の好きな場所に絵を描き込んでもらう方法をとった．期間中，未来予想絵図に描きこみを続け，絵が苦手な人がいれば，スタッフが要望を聞いて代わりに絵図に描き込みをおこなった．**12 **月** 6 **日の最終日には，この絵図を参加者で囲み，絵図に足りないものや気づいたことを話し合うまとめのワークショップをおこなった．そのワークショップの中では「お墓がない」「商業施設がない」など，人間が生まれてから死ぬまでに必要不可欠な要素がいくつも出された．こうして完成した未来予想絵図に，最終日のワークショップで出された意見を加え，縮小して描き直し，持ち歩けるサイズにまとめなおした絵図が「まるエコ未来予想絵図」である．**

表 1-1　「びわ湖・まるエコ・DAY2009」未来予想絵図ワークショップ参加団体

| 番号 | 団体分類 | 団体名 |
|---|---|---|
| 1 | こどもエコクラブ | アイキッズ |
| 2 | | クリスタルエコ |
| 3 | | 山内エコクラブ |
| 4 | | ダイニックアストロ天究館 |
| 5 | | びわっ子大使 |
| 6 | | 環境レイカーズ |
| 7 | 環境学習<br>教育機関 | 高島森林学校 |
| 8 | | 滋賀大学「環境学習支援士」会 |
| 9 | | 滋賀県生涯学習インストラクターの会 |
| 10 | | ※環境学習支援センター |
| 11 | | ※滋賀県立大学 |
| 12 | 生物保全 | 滋賀県農村振興課にぎわう農村推進室（魚のゆりかごプロジェクト） |
| 13 | | いきものみっけ |
| 14 | | 日本野鳥の会滋賀支部 |
| 15 | | 草津湖岸コハクチョウを愛する会 |
| 16 | | 琵琶湖調査隊 |
| 17 | スローライフ推進<br>地産地消 | 五環生活 |
| 18 | | びわこ豊穣の郷 |
| 19 | | 雑穀の地産地消を考える会 |
| 20 | | おうみこっとん夢つむぎ |
| 21 | | 高島綿’sクラブ |
| 22 | | 輪の国びわ湖 |
| 23 | 景観保全<br>伝統 | 近江中山道百彩プロジェクト |
| 24 | | 日本風景街道 琵琶湖さざなみ街道・中山道パートナーシップ（歴史街道） |
| 25 | | 木考塾 |
| 26 | 心象絵図 | 沖田条里語り部会 |
| 27 | | 南比良ふるさと絵屏風づくりの会 |
| 28 | | 渋川の「風景の記憶絵」 |
| 29 | 研究機関 | 琵琶湖環境科学センター |
| 30 | | ※琵琶湖博物館 |
| 31 | 地域貢献 | 瀬田川リバプレ隊 |
| 32 | 企業 | 新江州株式会社（MOH通信） |

※出展団体ではないが絵図に描き込んだ団体

出展団体全 85 団体中 29 団体が未来予想絵図に参加した.

絵図に書き込まれた絵は合計 103 個にのぼった.

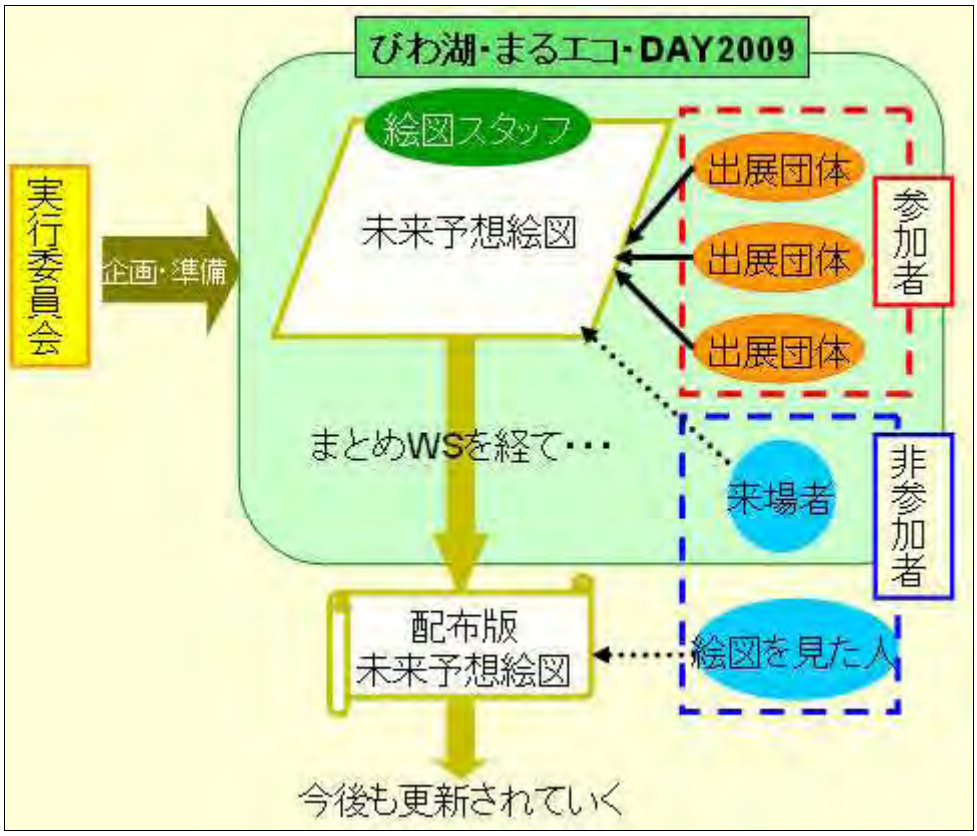



**図 1-16　「びわ湖・まるエコ・DAY2009」のシステム図**

**図 1-17　未来予想絵図の作成風景**

**図 1-18　まとめワークショップの様子**

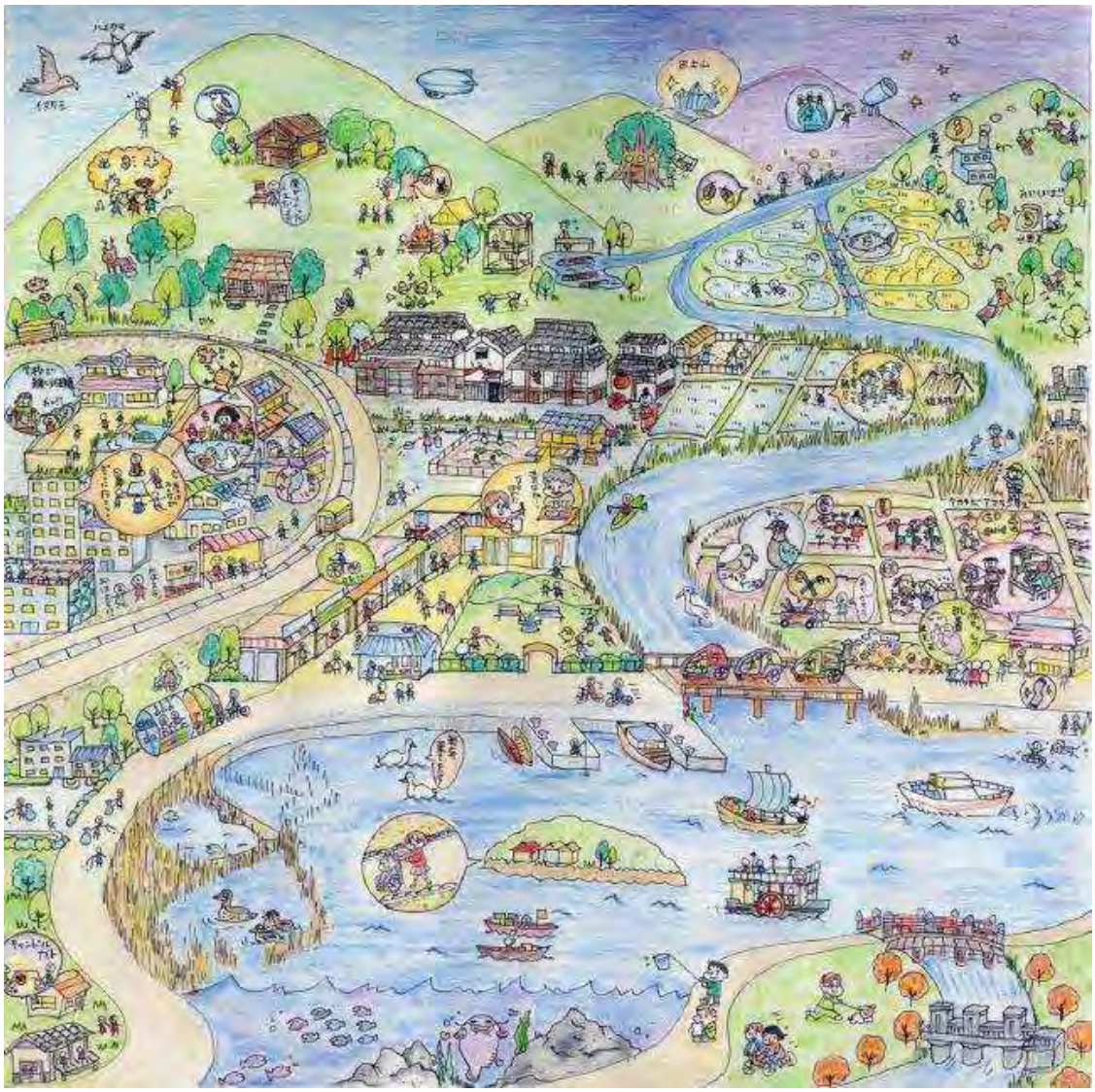


**図** 1-19　**「まるエコ未来予想絵図」**

**1-6-3　「2030 年の H 市未来予想絵図」**

【開催日時】2010 年 2 月 8 日（月）19:00〜21:00…23 名参加

2 月 20 日（土）10:00〜16:00…11 名参加

3 月 7 日（日）10:00〜16:00…15 名参加

3 月 19 日（金）19:00〜21:00…不明

【開催場所】H 市役所等

【テーマ】「2030 年の H 市を考えよう」

【概要】滋賀県 H 市で，2030 年の H 市の将来像を考える「環境円卓会議」が行われた．この会議は，滋賀県が提唱する 2030 年における滋賀県の温室効果ガス排出量 50%削減の達成にむけて，H 市の将来あるべき社会の姿（スナップショット）および，地域住民が選択すべき生活様式，またその実現のための具体的施策の行程（ロードマップ）を市民・事業者・行政の三者が円卓会議という対等の立場で議論し，策定することを目的として実施されたものである．議論を重ねる中で得られた指針・提言は，平成 24 年度から施行される「H 市総合計画（後期）」に数値目標や指標も含めて反映される．

この全 4 回の環境円卓会議の中で，H 市に住む市民から選ばれた 26 名の委員が「2030 年の H 市を考えよう」というテーマで議論した．一回目の会議では，ポストイットで思いつくままに将来像を出していき，分類を行った．第二回目では前回の会議でまとめられた内容についてグループに分かれて分野ごとに議論を行い，一旦将来像をまとめた．続いて，まとめられた将来像を一度，琵琶湖環境科学研究センターで人口の変動や排出されると予測される二酸化炭素の量を科学的に計算．その結果をふまえて第三回目の会議で再議論した．その修正案を再び琵琶湖環境科学センターに提出．こうして第四回目の会議では，まとめられた将来像を委員，市役所職員，ファシリテーターで共有した．

この会議で話し合われた将来像は文書やグラフ，計算結果のみで表されていた．こうした内容をふまえて，作成したのが，「2030 年の H 市未来予想絵図」である．

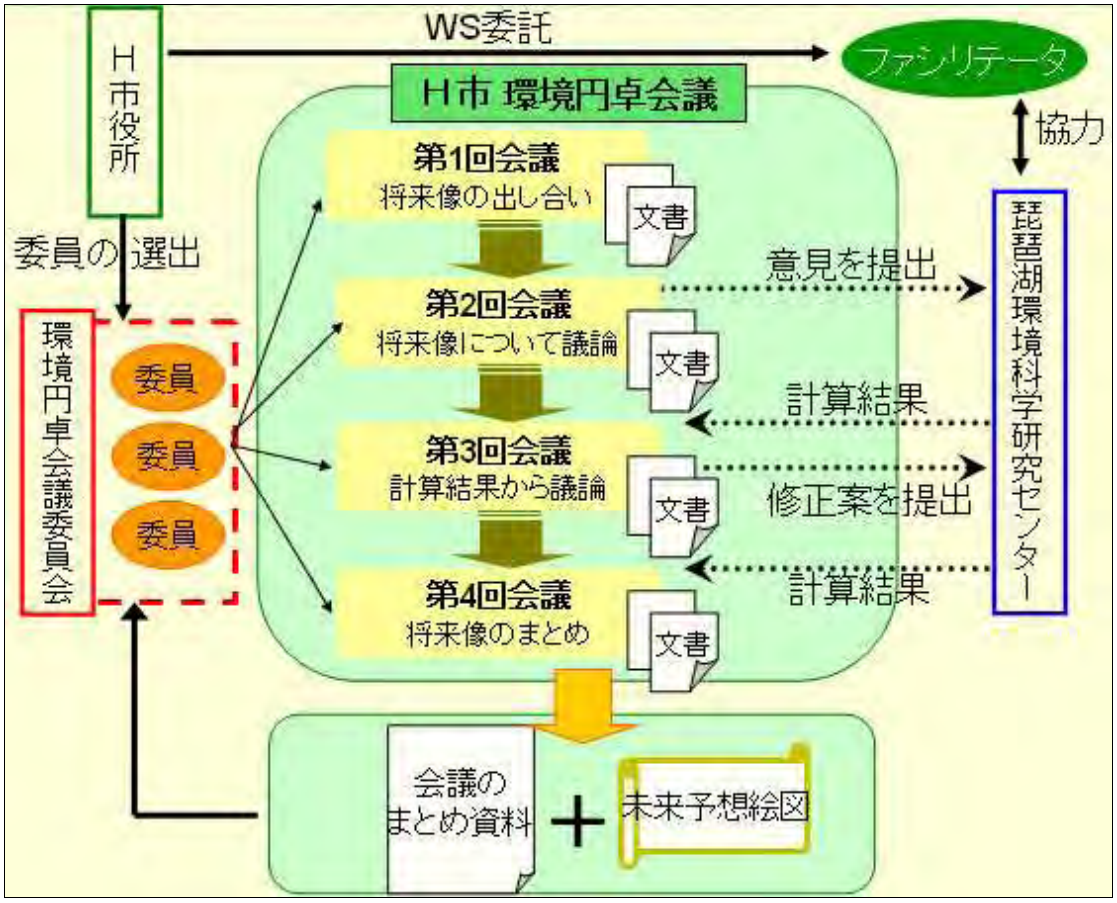



**図 1-20　「H 市環境円卓会議」システム図**

**図 1-21　ワークショップの様子(1)**

**図 1-22　ワークショップの様子(2)**

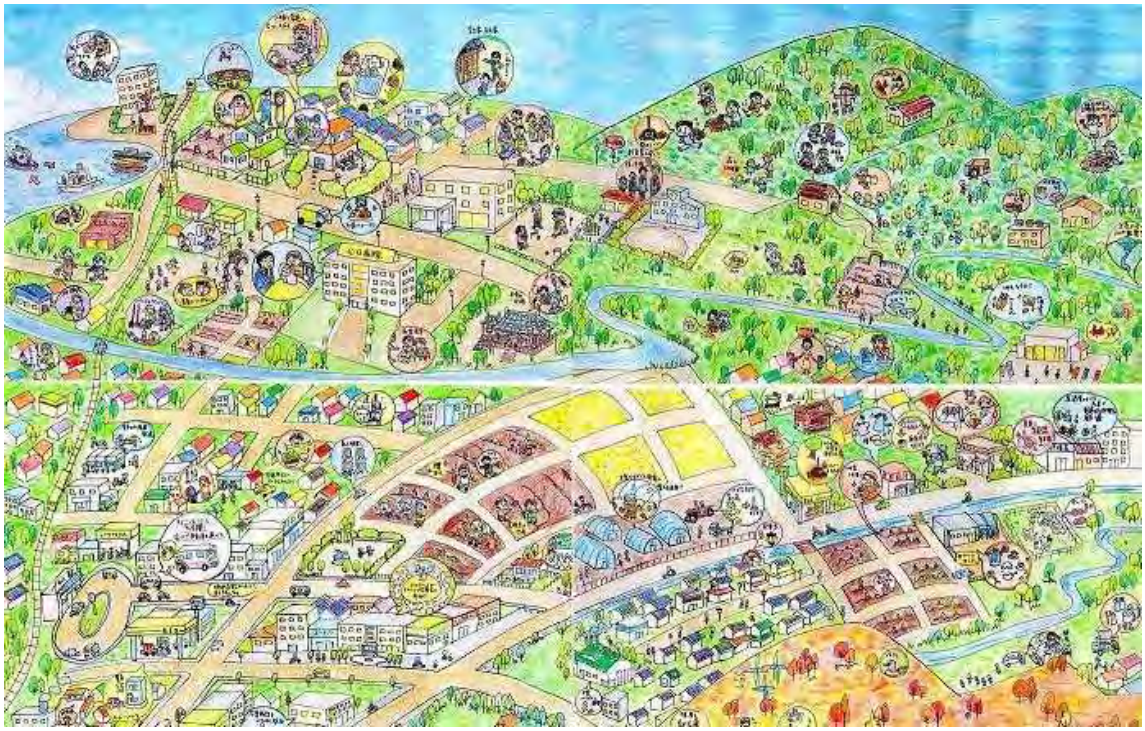


図 1-23　「2030 年の H 市未来予想絵図」

### 1-6-4　「五環生活未来予想絵図」

【開催日時】2010 年 3 月 10 日（水）19:00～21:00

【開催場所】彦根市西地区公民館

【参加人数】NPO 法人五環生活…8 名

【テーマ】「10 年後の五環生活を絵にしていこう」

【概要】NPO 法人「五環生活」を対象に「10 年後の五環生活の活動はどうなっているか」をテーマに議論を行った．下絵には，びわ湖・まるエコ・DAY2009 の絵図を用いた．意見をポストイットに絵，あるいは文字で意見を書き，下絵に貼っていく．ある程度出そろったところで，特に力を入れて取り組みたいことや，本当に自分たちがやるべきことと，そうでないことを，実現の可能性も考慮しながら議論していく．こうして議論を重ねていき，将来像をまとめた．その内容をまとめて描いたものが，「五環生活未来予想絵図」である．

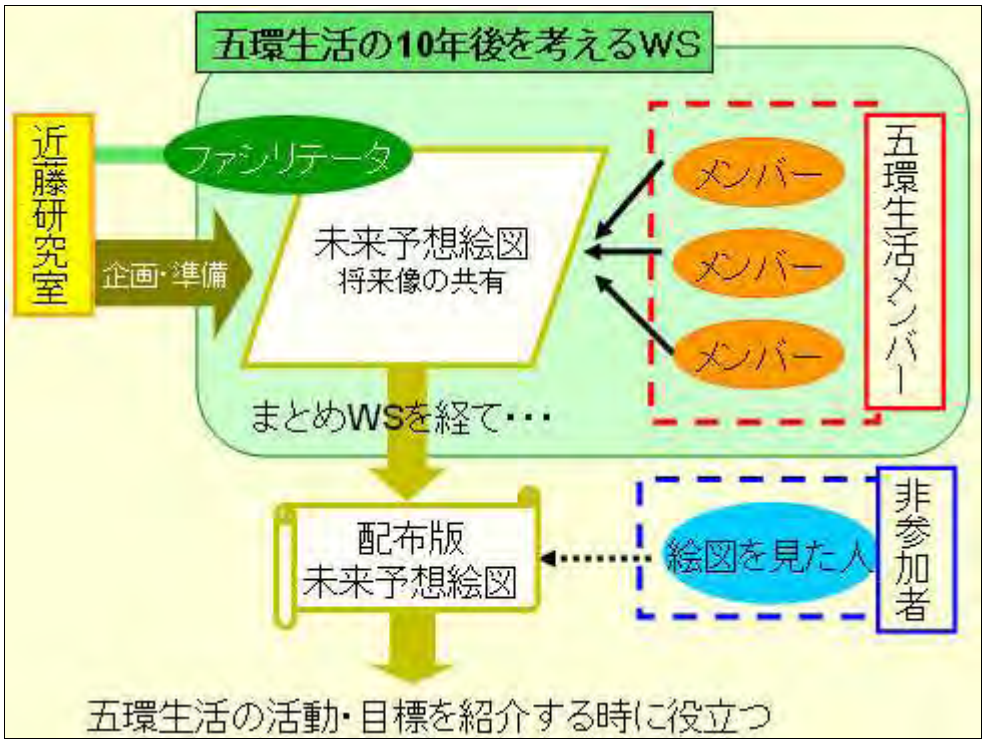



**図 1-24「五環生活の 10 年後を考える WS」システム図**

**図 1-25　ワークショップの様子(1)**

**図 1-26　ワークショップの様子(2)**

図 1-27 「五環生活未来予想絵図」

### 1-7 まちづくりにおける未来予想絵図の意義

2030 年の H 市の将来像を話し合う環境円卓会議において，参加者から「文書だけでは将来像はイメージできない」「将来像を語るのは簡単だが，これを実現するためにはどういう生活スタイルに切り替えればいいのかわからないから，“まちを変えたい”と覚悟を決めることができない」「文章に添えて絵も見せてほしい」といった言葉が聞かれた．こうした現場の声から，将来像をよりわかりやすくするための未来予想絵図が必要とされていることがわかる．

絵図はまちづくりや，地域活性化のため，または将来像のプラン作製等に利用されてきている他，環境学習にも用いられている．

絵図は，物的環境だけでなく人々の生活までもが生き生きと描かれ，空間を明らかにイメージしやすくするという特徴がある[11)]．また，絵図には一つの画面の中に複数の時間が描かれる手法があり，二次元上に描かれた絵画を多元的に表現し，臨場感をもって見るものをひきつける力も持っている．また絵図とイラストとの違いについて述べる．絵図は同一画面上に描かれた他の絵との間に関係性や物語をつくることができるが，イラストは，あるワンシーンを切り取って描かれたものであるので，他の絵との関係性や，物語の広がりを絵図以上に表現することができない．絵同士の関係性や，描かれる物語などを，様々な要素とからめてイメージするには絵図が向いているのである．

環境の実態を知ること，つまり学習することから環境改善は始まるので，都市空間や

生活環境をわかりやすくする絵図は，学習の道具として重要な役割をもっているといえる．また，人々が自由に価値表現を行える道具としても役立っている．絵図は，住民の表現を多様化・開放化させる力を持っている[20]．

このことから，将来像を絵にして表現する未来予想絵図は，人々の思い描く将来像を多様に表現し，将来像のイメージを開放させる可能性をもっており，未来の生活を，生き生きと描き出すと考えられる．また，絵図を用いて住民の生活を生き生きと描いていくということは，参加者自らの生活を明らかにしていき，生活に隠された要望や不満を明確化していくのに役立つと言える．

そのこと以外にも，未来予想絵図は，文書だけではわかりにくい将来像のイメージを視覚的にしやすくする他，まちづくりに興味のない人，専門的な知識がない人，子どもや言葉の通じない海外の人にも将来像のイメージをわかりやすく伝えることができるのではないかと考えている．

## 参考文献及び補注


[1] 竹内理三：絵図—概説，文化財講座日本の美術 16 古文書，第一法規出版（1979）

[2] 吉田敏弘：荘園絵図の分類をめぐって，企画展示　荘園絵図とその世界，国立歴史民族博物館（1993）

[3] 金田章裕：古代荘園図と景観，pp.314-328 東京大学出版会（1998）

[4] 中西僚太郎，関戸明子：近代日本の視覚的経験－絵地図と古写真の世界－，pp.48-51，ナカニシヤ出版（2008）

[5] 葛川絵図研究会：絵図のコスモロジー，pp.11-20，地人出版（1988）

[6] 饗庭伸：参加型まちづくりの技術の蓄積と今後の展望，『PI-Forum』Vol.1(1)，特定非営利活動法人 PI- Forum，pp.3-10（2005）

[7] まちづくりワークショップとは？
＜http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/modules/kikaku120/index.php?id=20＞，2010-01-25

[8] 地域安全マップを全国に普及しよう
＜http://www.nikkeibp.co.jp/sj/2/column/k/05/＞，2010-01-19

[9] 地域安全マップづくり」学生レポート
＜http://www.pref.hiroshima.lg.jp/cspt/topics/anmap/anmap09-repo02.htm＞，2010-02-16

[10] 信夫の犯罪社会学の部屋（地域安全マップ）
＜http://www.ris.ac.jp/komiya/map.html＞，2010-01-19

[11] 八尾哲史：地図遊びとまち歩きを通したまち環境学習に関する研究，環境システム研究論文集 Vol.19，土木学会（1991）

[12] 中村昌広：まちづくりへの参加の新しい局面とその道具としての「ガリバー地図」，都市市計画論文集，pp.511-516（1989）

[13] 東近江地元学ネット
＜http://www.library.higashiomi.shiga.jp/jimoto/kouza/kouza1_10.html＞，2010-01-19

[14] 風景の記憶絵
＜http://blog.goo.ne.jp/machikata/e/9b531215433375df344d89e409054d33＞，2010-01-25

[15] 「心象絵図」を活用した回想法 デイサービスでの試み
＜http://www.city.takashima.shiga.jp/www/contents/1165319011896/files/kaisou.pdf＞，2010-01-25

[16] 久隆浩：地区における住民主体のまちづくりプロセスのあり方に関する研究，土木計画学研究・論文集，pp.189-194（2005）

[17] 松山市まちづくり作画コンクール
＜http://www.city.matsuyama.ehime.jp/tosikaihatu/1201656_938.html＞，2010-01-19

[18] 持続可能な滋賀社会づくり
＜http://www.pref.shiga.jp/d/kankyo/sd_shiga.html＞，2010-01-19

[19] 22 年度版 環境・循環型社会・生物多様性白書
＜http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h22/html/hj10010204.html＞，2010-01-19

[20] 倉原宗孝，延藤安弘：計画行為における価値づくりに向けてのまちづくりコンクールの有効性に関する考察，日本建築学会計画系論文報告集，pp.97-104（1992）

## 第二章　研究の目的意義

### 2-1　絵図研究の方法と未来予想絵図研究の位置づけ

絵図の研究の方法は，大きく三つに分けられる．第一は，最初は「荒唐無稽」であった絵図が精度を高めていき，現場や生活世界をいかに「正確に」表現するようになっていったかという観点から絵図をあつかう方法である．現代の正確な絵図（地図）の代表例としては，世界地図や日本地図が挙げられる．第二に，失われた過去の景観を復元するための重要資料として絵図を利用する方法．そして第三に，絵図が，本のようにたくさんの意味が詰まったテクストであると見て，たとえ絵地図の表現は不正確でも，その背後には意味に満ちた描き手のメッセージが隠れていると考える方法である[1)]．

本研究では，特に第三の視点から，未来予想絵図の分析を行うこととする．未来予想絵図に描かれる絵には，たくさんの意味や人々の思いが詰まっている．その一つ一つを丁寧に見て，絵図に込められた願いや，その絵が描かれた意図を明らかにしていく．また対象とする未来予想絵図に描かれた絵を比較していくことで，それぞれの未来予想絵図に描かれた絵の特徴を考察していく．

絵画的表現に注目した絵図研究の方法には，「芸術性」「象徴性」「科学性」という三つの視点がある．「芸術」的な絵図の具体例としては，中世に描かれた荘園の絵地図などが挙げられる．「象徴」的な絵図としては曼荼羅図が挙げられる．「科学」的な地図としては，現代の正確無比な日本地図等が挙げられる．すべての絵図はこの「芸術性」「象徴性」「科学性」の三点を持つ三角形の中に位置する[1)]．未来予想絵図は，象徴的な絵が多く，地図のような正確さ（＝科学性）は欠落しているため，その点では参詣曼荼羅図に共通点を持っているということになる．また曼荼羅図は，描かれた絵同士の関係性を重視している．絵画的表現において曼荼羅図と近い位置に位置づけられる未来予想絵図に関しても描かれた絵同士に関係性があるかを探る．

図 2-1　絵図の絵画的表現における未来予想絵図の位置づけ

### 2-2　既存研究から見る本研究の位置づけ

「未来予想絵図」を扱った既存研究はないが，類似研究としては，まず八尾[2)]，中村[3)]のガリバーマップをあつかった参加型まちづくりの研究がある．この文献では，対象地域を拡大した大きなガリバーマップに参加者が，自分の気づいたことや，思ったことを書き込んでいくというものである．自宅の位置を示す書き込みや，かつて自分が通った学校の位置を示すもの，自分のオススメの場所を示す書き込みがなされ，さらにその書き込みに対して後からきた参加者が，その情報に対してコメントを書き加えていくという，絵図上でのコミュニケーションが行われている事例となった．

他には，倉原・延藤の「まちづくり絵画コンクール」研究がある[4)]．自分たちの住んでいるまちをテーマに絵を描いてもらうことによって，自分たちの居住環境を改めて見直し，自分たちの生活を生き生きと描いていく．これは，身近な環境を相手に，住民が自らつくることに身を乗り出す最初の場である．このコンクールを通して，参加者は自分たちの住んでいるまちをもう一度見つめなおし，具体的にどういうまちにしていきたいのか，どうしたら実現できるのかを考える機会を与えられることとなる．

いずれもガリバーマップやまちづくり絵画というツールから，参加住民の意識の変化に注目している．しかし，未来予想絵図そのものを「絵図」として分析し，その特徴を明らかにしようとする研究，文書によるまちづくり計画書と，将来像を絵で表現する未来予想絵図を比較調査した研究は未だなされていない．

### 2-3　本研究の目的

本研究では，未だ一般にあまり知られていない未来予想絵図が持つ特徴を明らかにするため，未来予想絵図に使われている絵画的表現や，未来予想絵図ワークショップで対象とする参加者，未来予想絵図が作成される目的といった項目について「わたしたちの未来予想絵図 2008」「びわ湖・まるエコ・DAY2009」「H 市未来予想絵図」「五環生活未来予想絵図」という 4 枚の未来予想絵図,「南比良心象絵図」「那智参詣曼荼羅図」「洛中洛外図」という 3 枚の絵図と比較していく．

また，未来予想絵図と文書で描かれるまちづくり計画書を比較するためのアンケート調査を行う．これによって未来予想絵図が，将来像のイメージをわかりやすくする読み手に伝えることができるかを調べる．

①様々な絵図との比較, 未来予想絵図に描かれた絵同士の関係性, 構図の特徴を分析し，絵図としての未来予想絵図の特徴を見つける．

②参加型まちづくりにおいて，文書と絵図の比較アンケート調査を行い，未来予想絵図を利用した場合の効果と限界について追求する．

## 2-4　本研究の意義

第一章でも示したが，本研究であつかう未来予想絵図の定義として，行政や研究機関だけでなく，大勢の人の意見を集約した絵図であること．ある対象地域に対して未来のワンシーン（イラスト）でなく，まち全体の未来の姿を描く「領域性」「全体性」がある絵図であることとする．また，本研究であつかう 4 枚の未来予想絵図のうち 3 枚が，著者自身が作成したもので，絵画的表現の偏りや，個性がでていることを考慮しなくてはならない．

未来予想絵図の定義を確認したところで，本研究の意義について以下に示す．未来予想絵図は，絵で将来像を表現するので，視覚的に将来ビジョンをわかりやすくすることができると考えられている．また，絵という形にすることによって，住民同士の課題の共有や情報交換にも役立つと考えられている．しかし，未来予想絵図が,「絵図」という分類の中のどこに位置するのか，未来予想絵図がどのような絵画的表現を用いて描かれているのか等，明らかにされていないことが多い．

よって本研究では，未来予想絵図の絵画的表現をまとめ,「絵図」という分類の中で未来予想絵図がどこに位置しているかを明らかにする．これによって，今後未来予想絵図ワークショップを行う際や，未来予想絵図を知らない人に説明する際に役立つ．

今後，未来予想絵図がまちづくりの場において利用される場合に，課題の共有や情報交換に役立つということ，未来予想絵図は将来像をイメージしやすくするということを明らかにする．また未来予想絵図にも，表現できるもの，できないものがあり，未来予想絵図にも限界があるということを明らかにする．

## 2-5　本研究の構成

本論文は結論をふくめて 7 章から構成されている．各章の内容を以下に記載する．

<u>第一章　序論</u>

絵図についての定義を広く説明した後，まちづくりで絵図が必要とされている背景に言及．本研究で取り上げる「未来予想絵図」の定義と未来予想絵図のねらいについて説明し，未来予想絵図の事例を紹介する．

<u>第二章　研究の目的意義</u>

本研究の位置づけ，目的，意義について述べる．

<u>第三章　研究の手法</u>

本研究の手法について述べる．未来予想絵図と他絵図との比較表のほか，未来予想絵図と他絵図の絵図分析（相互ウィンドウ分析・構図分析），H 市での「未来予想絵図」と「未来予想ものがたり」についての比較アンケート調査の説明をする．

第四章　未来予想絵図と南比良心象絵図・那智参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風の比較調査

未来予想絵図と，他の様々な絵図を比較する．絵図に描かれた内容や，対象，目的，絵の表現方法などさまざまな面から絵図を比較するほか，ポジショニングマップを用いて「絵図」というカテゴリーにおける未来予想絵図の位置づけをする．

第五章　未来予想絵図と南比良心象絵図・那智参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風の絵図分析結果

ウィンドウの相互分析・構図分析などの分析でも比較を行う．その中でも特に「南比良心象絵図」「那智参詣曼荼羅図」「洛中洛外図屏風」については詳しく比較する．

第六章　H 市における「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査

H 市で行った「未来予想ものがたり」と「未来予想絵図」の比較アンケート調査について説明．アンケートの概要と目的，アンケートの実施方法について説明後，アンケートの集計結果，その結果から得られた結論をまとめる．

第七章　考察と結論

本研究の総括であり，結論と今後の課題を述べる．

## 参考文献と補注


[1] 応地利明：絵地図の世界像，pp.3-9，岩波書店（1996）

[2] 八尾哲史：地図遊びとまち歩きを通したまち環境学習に関する研究，環境システム研究論文集 Vol.19，土木学会（1991）

[3] 中村昌広：まちづくりへの参加の新しい局面とその道具としての「ガリバー地図」，都市計画論文集，pp.511-516（1989）

[4] 倉原宗孝，延藤安弘：計画行為における価値づくりに向けてのまちづくりコンクールの有効性に関する考察，日本建築学会計画系論文報告集，pp.97-104（1992）

## 第三章　本研究の方法

### 3-1　本研究の方法概要

本研究の方法は，大きく二つに分かれる．

一つは未来予想絵図に用いられる絵画的表現や，描かれている絵同士の関係性や絵図全体の構図の特徴を明らかにすることである．比較対象とする絵図として「南比良心象絵図」「那智参詣曼荼羅図」「洛中洛外図屏風」を選定し，未来予想絵図との共通点を調べる．そのために，4 枚の未来予想絵図と，心象絵図，参詣曼荼羅図，洛中洛外図屏風など様々な絵図とを比較する比較表をつくる．

また, 絵図の縮尺の正確さ・デフォルメの有無・絵同士の関係性を重視しているかを, 比較の軸に設定し対象とする絵図を位置づけたポジショニングマップを作成する．

二つ目は，未来予想絵図と文章で書かれたまちづくり計画書の比較アンケート調査を行い，まちづくりにおける未来予想絵図の効果と限界について明らかにする．文書でのまちづくり計画書を読んで，文書版のアンケートに回答してもらい，未来予想絵図を見て絵図版のアンケートにも回答してもらう．この文書版アンケートと絵図版アンケートの回答結果を比較する．「どんなまちにしたいのか」,「文書 or 絵図をよんで将来像がイメージできたか」という質問項目では，文書と絵図でどちらが将来像を具体的にイメージできるかを比較する他,「自分がどこで何をしているのか具体的にイメージすることができるか」「絵とキーワードを組み合わせて物語をつくることができるか」という質問項目では，文書と未来予想絵図をよんで，自分とのつながりや，物語を考えられることができるかを文書版アンケートと絵図版アンケートの結果で比較する．また「アンケートの回答に要した時間」の回答からは，文書と絵図，どちらを読んだほうがより早く内容を理解することができるか比較する．

この二つの目的を達成することによって，今後まちづくりの現場や環境教育の現場などの，将来像を参加者で描き，課題や情報を共有する場で，未来予想絵図を利用する際の指針にする．

### 3-2　未来予想絵図と比較する絵図の説明・対象選定理由

未来予想絵図が作成された目的や，未来予想絵図の絵画的表現，描かれている絵同士の関係性などを他の絵図と比較し，未来予想絵図の特徴を明らかにする．対象とする絵図は「南比良心象絵図」と「那智参詣曼荼羅図」と「洛中洛外図屏風」である．

この対象を選定する前に，曼荼羅図，国絵図，荘園図，鳥瞰図といった絵図も対象にしようと考え，岡山市街鳥瞰図[1)]，胎蔵界曼荼羅(伝真言院曼荼羅)[2)]，元和年間石見国絵図[3)]，袴田荘絵図[4)] においても絵図の比較を行ったが，未来予想絵図との共通点があまりにも少なかったため，比較する必要がないと考え，対象からは除外している．曼荼羅図は，複数の時間軸が描かれている点は未来予想絵図と共通するものの，描かれている

絵が象徴的すぎて,「ある地域のまちの生活を，複数の時間軸で描き出す」という未来予想絵図の特徴とかけはなれているため除外した.

国絵図，荘園図，鳥瞰図は，絵図に人が描かれておらず，また絵同士の関係性を重視した絵図ではなく，どちらかと言えば地図に近い性質を持っている．また，絵図の中に時間軸が存在しない点も，比較対象からはずした理由である.

図 3-1　岡山市街鳥瞰図 [1)]

図 3-2　胎蔵界曼荼羅(伝真言院曼荼羅) [2)]

図 3-3　元和年間石見国絵図 [3)]

図 3-4　袴田荘絵図 [4)]

### 3-2-1　「南比良心象絵図」の説明・対象選定理由

図 3-5　南比良心象絵図

心象絵図とは，上田[5] が考案した絵図で，地域の人々の体験や思い出，生活風俗，四季の自然などが，一つの画面の中に描き込んであり，一目でその地域の暮らしや文化がわかる絵図である．対象地域に長く住んでいる高齢者に，昔の話をきき，五感アンケートというアンケートをすることによって，昔の風景や，暮らしぶりだけではなく，肌に感じたものや，懐かしいにおいや音などを思い起こさせる．そして，それをもとにして地域曼荼羅を作成し，それを絵図にする．絵図の作成も，できるだけ地域の人に描いてもらう．

絵図を皆で作り上げる喜びを感じることができるだけでなく，高齢者に対しての心象絵図を用いた回想法も注目されており，作成した心象絵図は，後世に昔の暮らしぶりを伝えていく歴史的資料としても価値があると評価されている．この「南比良心象絵図」は，2008 年に滋賀県大津市南比良で，南比良ふるさと絵屏風づくりの会が事業主体となって作成された心象絵図である．

心象絵図を対象にした理由について述べる．まず未来という時間軸を考えるためには，一度過去に立ち返って振り返ることが必要不可欠であると考えたからである．また，時間軸は違えども過去の人々の生活を，生老病死を交えて生き生きと描き出しているという点で，未来予想絵図と共通点があるのではないかと考えた．心象絵図の中でも「南比良心象絵図」は，2008 年に作成された心象絵図の中では比較的新しい絵図であるということ，琵琶湖が絵図の下部に描かれている点がまるエコ未来予想絵図の構図と共通していたこと，雪の積もった山と緑の山で四季の移り変わり，つまり複数の時間軸があることを一目でわかりやすく表現した絵図であったことが「南比良心象絵図」を比較対象に選定した理由である．

### 3-2-2　「那智参詣曼荼羅図」の説明・対象選定理由

図 3-6　那智参詣曼荼羅図（大円寺本）

「那智参詣曼荼羅図」には，日本各地の霊場を舞台に，神社社殿や墓，関所といった建造物と，訪れる参拝客が参詣する様子，そして様々な伝説や聖地が描かれている．「那智参詣曼荼羅図」は，主に江戸時代に比丘尼らによって作成され，民衆への仏教・神道の信仰の奨励を目的にして描かれた．熊野比丘尼らは，この「那智参詣曼荼羅図」を持ち歩き，那智山への参詣を促し，お布施を呼びかけるため，さまざまな縁起を絵解き，この地が霊験あらたかであることをアピールするのに利用した[6)]．

「那智参詣曼荼羅図」を対象にした理由について述べる．参詣曼荼羅は，絵図に描かれた絵の一つ一つに物語や意味がある．その点が未来予想絵図と共通している．また歴史上の人物が登場したり，現実には起こりえないような不思議な出来事が絵図の中で起こったりしているという点で，複数の時間軸，つまり複数の異世界が絵図に描かれている点も，複数の時間軸を持つ未来予想絵図と共通していると考えたためである．現存す

る参詣曼荼羅図は，100 あまり確認されており，「紀三井寺参詣曼荼羅」「高野山参詣曼荼羅」「富士参詣曼荼羅」「伊勢参詣曼荼羅」などが挙げられる．その中でも熊野の霊場である那智の社殿や滝や海を描いた「那智参詣曼荼羅図」が最も多く，現存画の約 4 割を占めている[7]．そこで本研究では，34 本ある「那智参詣曼荼羅図」の諸本のうち，「那智参詣曼荼羅図（三重大円寺版）」を未来予想絵図との比較対象として選んだ[8]．

### 3-2-3　「洛中洛外図屏風」の説明・対象選定理由

図 3-7　洛中洛外図屏風（上杉本）の右隻

「洛中洛外図屏風」は，国宝に指定されている六曲一双からなる屏風絵である．金雲を用いて地理的・空間的矛盾を補完し，一点を中心とする俯瞰図法で京都を広く描いている．「洛中洛外図屏風」は右隻と左隻に分かれており，室町時代の京都の風俗が描かれている．19 世紀まで数多くの洛中洛外図屏風が描かれており，その数は 100 にものぼる[9]．本研究では，国宝に指定された「上杉本：洛中洛外図屏風」の右隻を対象とする．

屏風に描かれた人物は，2485 人にもおよび，当時の人々の様々な表情，武士や公家，庶民の生活ぶりが細やかに描かれている．「洛中洛外図屏風」は，特に洛中を中心に描く傾向がある．武家屋敷・公家屋敷が多く描かれ，その中でも右隻には一条付近の景観が詳しく描かれているのが特徴的である[10]．また画面の構成にも定型化が見られる．春・夏・秋・冬の風物や行事を描き，祇園会の山鉾を書き込むものが多い．

「洛中洛外図屏風」を対象にした理由は，過去という時間軸で，人々の生活や風俗を事細かに描き出している点が，未来の暮らしぶりを描く未来予想絵図と共通すると考えたからである．また，ある地域の将来像を描く未来予想絵図と，京都を対象地域とした洛中洛外図屏風，どちらとも「対象地域がある」という点が共通していたというのも理由である．本研究では，洛中洛外図屏風の中でも，洛中の様子が詳細に描かれている右隻を対象とした．

### 3-3　未来予想絵図と南比良心象絵図・那智参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風との比較調査

未来予想絵図と南比良心象絵図・那智参詣曼荼羅図・洛中洛外図を項目ごとで比較し，共通点や相違点を明らかにする．これによって，未来予想絵図に用いられている絵画的表現の特徴を明らかにする．以下の表 3-1 が比較項目である．

表 3-1　絵図の比較項目

| 番号 | 比較項目 | 比較項目についての説明 |
|---|---|---|
| 1 | 絵図名 | 絵図の名称 |
| 2 | 絵図作成時期 | 絵図の作成時期 |
| 3 | 対象地域 | 絵図に描かれた対象地域 |
| 4 | WSで対象とする人 | 今後まちづくりワークショップ等での参考とするため，ワークショップがある場合の参加者の属性 |
| 5 | 絵図製作者 | 絵図の作者･絵図の作成を依頼した人 |
| 6 | 概要 | 絵図が描かれた経緯･絵図が描かれた目的 |
| 7 | 絵図の中の時間軸 | 絵図に描かれた時間軸（四季･季節の行事･月と太陽など一日の流れを表現する要素） |
| 8 | 絵図の中の利用目的 | 絵図が利用された目的 |
| 9 | 絵図に用いられた表現 | 絵図の絵画的表現について（デフォルメの有無など） |
| 10 | 絵図の視点 | 鳥瞰図との共通点を見るため，どこから見た絵なのか（山からの視点･海や湖からの視点･空からの視点） |
| 11 | クローズアップがあるか？ | 絵図の細部の拡大（建物の内部など）があるか |
| 12 | 文字の説明があるか | 絵図の中に文章（絵の説明や，台詞，看板，地名の表記など）による内容の補足を用いているか |
| 13 | 絵図の中に自分を描いているか？ | 絵図を描いた人自身が，"自分"を登場人物として描いているかで，絵図の中に自分がいるというイメージが具体的にできているかを比較するため |
| 14 | 描かれている人物の多様性 | 具体的に職業名がわかる人･その絵図特有の人を調べ，登場人物の多様性によって，自分以外の人のことを考えているかを比較するため |
| 15 | 生老病死の描写はあるか？ | 命の誕生に関するえ，病気や怪我に関係する絵，老いに関する絵，死に関する絵．生まれてから死ぬまでを絵図に描かれた町の中でおくれるかどうか，つまり絵図が様々な社会分野を網羅できているかを比較するため |
| 16 | 天候の変化は？ | 絵図の中に天候（晴れ･雨･雪など）の表現はあるか |
| 17 | 絵図の中心となるものがあるか？ | 絵図の中心付近に，絵図のテーマや主役となるものはあるか（作成主体の団体の事務所･寺社といった建造物など） |
| 18 | 考察 | 上記の項目で絵図を比較してみた結果，わかったことやそれぞれの特徴 |

### 3-4　ウィンドウ相互のリンク分析と構図分析

#### (1)ウィンドウ相互のリンク分析について

未来予想絵図に描かれた絵同士の関係性を明らかにするため，江戸名所図会を対象とした「ウィンドウのリンクによる空間認識の深まり」という手法[7)]を利用する．

この手法では，江戸名所図会という絵図を，たくさんの意味がつまったコンテクストとして見ている．桜の花が咲いていれば，そのシーンが「春」のワンシーンであると理解できる．そこに「宴会」の様子が描かれていれば，「花見」であると解釈するというように，「桜の花」と「宴会」という二つの絵が関係することによってそこに「花見をして

いる光景」というシーンが生まれる．このように絵と絵の間にある関係性に注目し，そこに隠された思いや意味を解釈するためにこの手法を用いることとした．

この手法では，絵図を見る際の意識の集中により空間の一部分と切り取ることを「ウィンドウ」と呼び，ウィンドウ同士のつながりを「リンク」と呼んでいる[11)]．

江戸名所図会の読者は，空間に対する意識の集中，すなわち多様な意味をもった「ウィンドウ」を，ある規則性・関係性に即して，移動させ，結びつけること，すなわち「リンク」させることによって空間を解読・解釈していると考えられている．

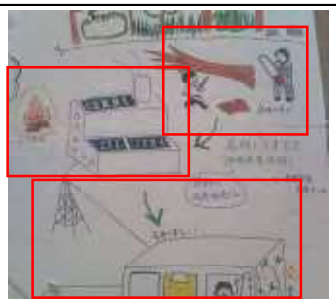
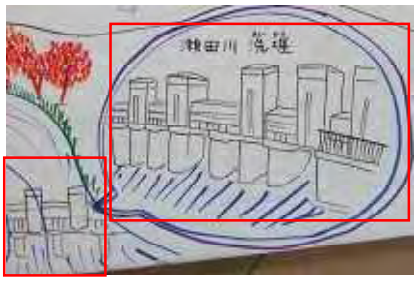
江戸名所図会の読者は，絵図の「空間構造」を表現したリンク，絵図の細部を拡大し「ディティール」を表したリンク，「過去」「未来」といった様々な時間軸に飛んだりするリンクを見て，空間に関する解釈を深めていると考えられている．こうしたリンクの種類を，具体例を交えて説明しているのが表 3-2 である．本研究では，「意味内容補完型」，「時間構造型」，「平行移動型」，「拡大・縮小型」の 4 つを対象にしている．

表 3-2　ウィンドウ相互のリンクの種類

| |
|---|
| ・意味内容補完型…言語と絵，絵と絵同士などで，お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている |
| ・時間構造型…ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ，空間に意味を持たすようにリンクしている |
| ・平行移動型…ウィンドウが特定の方向に流れ，連続的にリンクしている<br>平行移動する性質を持つ |
| ・拡大・縮小型…特定の方向に広がったり，狭まったり連続的にリンクしている<br>拡大・縮小する性質がある |

意味内容補完型と時間構造型は，絵図にこめられた多様な意味や物語，複数の時間軸があるリンクのことなので，二つあわせて「論理構造的リンク」とし，平行移動型と拡大・縮小型は，絵図を見る人の視野に関係するリンクなので二つあわせて「視野調整的リンク」とする．

表 3-3　ウィンドウ相互のリンクの種類とその具体例

| リンクの種類 | | | 特徴 | 情報形式の関係 | 具体例 | 絵の説明 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 論理構造的リンク | b | 意味内容補完型 | 言語と絵、絵同士などで、お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている | 「言語」と「絵」<br>「絵」と「絵」<br>「言語」と「言語」 | | 野菜だけ見ても、家庭菜園で育てたものとはわからない<br>しかし「家で育てた野菜～」といった言語を入れることによって、不十分な情報を補完している |
| | c | 時間構造型 | ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ、空間に意味を持たすようにリンクしている | 「言語」と「絵」<br>「絵」と「絵」<br>「言語」と「言語」 | | 「春」「夏」「秋」と、3つのウィンドウにそれぞれ四季の綿畑が表現されており、時間的な関係で結ばれた絵となっている |
| 視野調節的リンク | d | 平行移動型 | ウィンドウが特定の方向に流れ、連続的にリンクしている<br>（平行移動する性質を持つ） | 「絵」と「絵」 |  | 「木」を切る→「木質バイオマス発電」→「家庭へ供給」と、ウィンドウが→に沿って連続的にリンクしている |
| | e | 拡大･縮小型 | 特定の方向に広がったり、狭まったり連続的にリンクしている（拡大･縮小する性質がある） | 「絵」と「絵」 |  | 細かくて詳細に描けない瀬田川の洗堰を、吹き出しを用いてクローズアップし、ディティールを描いている |

上記の表のように，「わたしたちの未来予想絵図 2008」「びわ湖・まるエコ・DAY2009」「2030 年の H 市未来予想絵図」「五環生活未来予想絵図」の 4 枚について，ウィンドウを切り出し，切り出したウィンドウ間のリンクの種類とその数をまとめる．これによって，未来予想絵図に描かれた絵同士の関係性と特徴を明らかにしていく．これによって，未来予想絵図は，描かれている絵の関係性を重視している絵図であるということをいい，未来予想絵図に描かれている絵同士がどのような関係性で結ばれているのかを明らかにする．

(2)絵図の構図分析

3-4 で抽出したリンクを，元の絵図に戻し，それぞれのリンクの分布を分析し，絵図の構図の特徴をまとめる．これによって，絵図のどの部分に，どのリンクが集中しているか，あるいは分散しているかを明らかにする．構図の特徴を明らかにすることによって，絵図によって，絵図の画面の使い方に特徴があるか明らかにする．

### 3-5　H 市「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査

文書によるまちづくり計画書と未来予想絵図の比較をするために，H 市の住民と滋賀県立大学環境科学部環境政策学科の一回生を対象に，文章でのまちづくり計画書を基にした「未来予想ものがたり」と「2030 年の H 市未来予想絵図」の比較アンケート調査を行う．この比較アンケート調査で用いる「未来予想ものがたり」と「2030 年の H 市未来予想絵図」について説明する．

#### 3-5-1　アンケート調査の目的

①未来予想絵図と未来予想ものがたりを用いて，わかりやすさ，伝わりやすさを比較する（絵と文章の比較）

②文章にも未来予想絵図にも，表現できるもの，できないものがあるということを示す（文章と絵図の表現の限界について）

③文章によるまちづくりの足りない部分を，未来予想絵図が補完できるかを調査する

このアンケートで，文章と絵図の比較を行い，それぞれのまちづくりにおける未来予想絵図の効果と限界について明確にする．

効果とは，未来予想絵図によって将来ビジョンがわかりやすくなるということ．文章のまちづくり計画書の内容から，未来予想絵図を作成し，未来予想絵図を住民に公開することは，住民が将来像のイメージをより明確にできるようになるという“効果”があると明言する．また，未来予想絵図を見れば短い時間で将来像のイメージをつかむことができるということを明らかにする．

“限界”とは，未来にいたるまでのプロセスや，実施される政策の目的・意図を詳細に書ける文書とは違い，将来像のワンシーンしか描けない未来予想絵図は，そこにいたるまでのプロセスや，どうしてそうなったのかという根拠を，読み手に伝えることができないのではないかということである．

■「未来予想ものがたり」について

H 市で行われた 4 回の環境円卓会議で「2030 年の H 市」が話し合われた（会議の詳細は第一章を参照のこと）．この会議の内容から，ファシリテーターと琵琶湖環境科学研究センターが将来的な人口の増減予想や，二酸化炭素の予測排出量などをもとに作成したのが「中間とりまとめ文書」である．そして，この「中間とりまとめ文書」をアンケート調査用に編集したのが「未来予想ものがたり」である．アンケートの回答時間が 30 分以内程度になるように考慮して文章量を減らしてあるほか，H 市の未来予想絵図に関係のない文章は削除してある．

「未来予想ものがたり」は，絵図と文章の比較アンケートにおいてのみ使用する文書なので，アンケートの回答時間を考慮して文章量を減らしてある他，H 市の未来予想絵図に関係のない文章は削除してある．なお，「未来予想ものがたり」「未来予想絵図」の両者とも，H 市とわかる固有名詞も削除してあり，『滋賀県のあるまち』という設定でアンケートを実施する．

図 3-8　「未来予想ものがたり」

■「2030 年の H 市未来予想絵図」について

「中間とりまとめ」の内容と環境円卓会議での議論を受けて，著者が独自に将来像をイメージし，絵図にしたのが「2030 年の H 市未来予想絵図」である．「未来予想ものがたり」と「未来予想絵図」は両方とも以下の 8 つの社会分野から成り立っている．

①教育・子ども…安心できる子育て制度の保障や，教育機関の制度について
②産業…H 市の第一次産業，第二次産業，第三次産業，それ以外の産業について

図 3-9　「教育・子ども」&「産業」

③エネルギー…生活に欠かせないエネルギーの供給や，エコな代替エネルギーについて
④食・消費・廃棄物…食事に関係すること（地産地消など）や，廃棄物の処理サイクル，
それに関するリユース・リデュース・リサイクルについて

図 3-10　「エネルギー」&「食・消費・廃棄物」

⑤生き方・コミュニティ…人と人とのふれあいや，豊かな人生の送り方について
⑥医療・福祉…病気や怪我をしたとき，介護が必要になった時の社会保障等について

図 3-11　「生き方・コミュニティ」&「医療・福祉」

⑦移動・物流…市内での交通手段や，公共交通，輸送や配達について
⑧雇用・就業…豊かな雇用，安心して働ける環境づくり，若者・高齢者・障がいを持った人の雇用等について

図 3-12　「移動・物流」&「雇用・就業」

### 3-5-2　アンケート調査対象者の選定

アンケート調査の対象を選定するにあたって，H 市での環境円卓会議に委員あるいは市役所職員，ファシリテーターとして出席し，「中間とりまとめ文書」の策定段階で，発言，議論するなどして関わった人を「参加者」とした．

それ以外の，環境円卓会議に出席していない H 市の市役所職員，まちづくり協議，滋賀県立大学環境科学部環境政策学科の学生は，「非参加者」とした．滋賀県立大学の学生と，ファシリテーターの一部以外は，H 市に在住している．

滋賀県立大学の環境科学部の環境政策計画学科の一回生を対象としたのは，20 代～70 代ほどの幅広い年代の意見を集め，世代間での回答の差を比較するためである．文書・絵図に対する理解度やイメージのしやすさなどに，世代間による違いが見られるかを調べる．

表 3-4　アンケート対象者

| | 絵図製作にかかわった人 | 絵図製作にかかわってない人 |
|---|---|---|
| 対象 | 環境円卓委員…26 人<br>市役所職員の方…5 人<br>ファシリテーター…5 人 | 市役所職員…20 人<br>まちづくり協議会…10 人<br>滋賀県立大学環境政策計画学科一回生…40 人 |
| 合計 | 36 人 | 70 人 |

### 3-5-3　アンケート調査の流れ

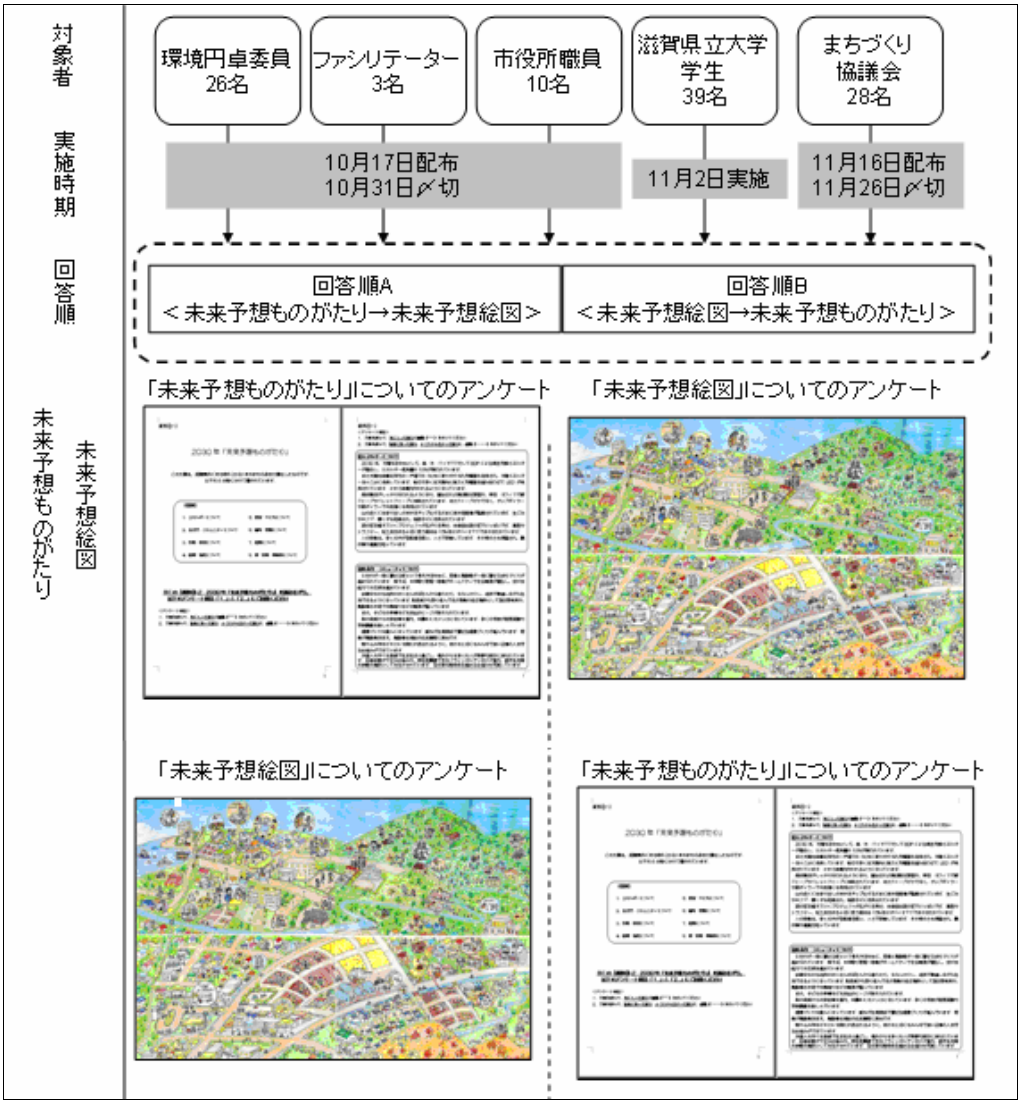



図 3-13　H 市での比較アンケート調査の流れ

＜アンケート回答の手順＞

①アンケートの対象者として，H 市環境円卓委員会，会議のファシリテーター，H 市の市役所職員，滋賀県立大学の学生，まちづくり協議会を選定した

②回答者の属性として，性別，世代，職業をきく

③アンケートに回答する際,「未来予想ものがたり」か「未来予想絵図」のどちらを先に見たかでバイアスがかかるので, アンケート回答者を回答順で A･B の二つに分けた.

【回答順 A：未来予想ものがたり→未来予想絵図】

【回答順 B：未来予想絵図→未来予想ものがたり】

④-A【回答順 A】の回答者は，先に「未来予想ものがたり」のアンケートについて回答

1.文章を読んで，気に入った部分に黒線（ ー ）を引いてください

2.文章を読んで，疑問に思った部分，よくわからなかった部分に，点線（- - - -）を引いてください

3.「未来予想ものがたり」を読んで，どんなまちにしたいのか，ねらいを理解できましたか？
①できた　　②できなかった
＜どのようなまちですか？簡単にお答えください＞

4.「未来予想ものがたり」に書かれた「未来のまち」にあなたが実際に住んでいるとします．あなたはどこで，何をしていますか？

5.「未来予想ものがたり」を読んで，次にあげるキーワードをどれでも使ってストーリーを考えてください．
キーワード：森，畑，市街地，道路，川，湖

6.「未来予想ものがたり」の「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか？
（10点満点でお答えください）

7.このアンケートを回答し終わるまでに，どれくらいの時間を要しましたか？
①10分以内　　②15分以内　　③それ以上

④-B【回答順 B】の回答者は，先に「未来予想絵図」のアンケートについて回答

１．絵図中の気に入った絵を，何個でもいいので，○で囲ってください

２．よくわからなかった絵を，何個でもいいので，□で囲ってください

３．この絵図を見て，どんなまちにしたいのかイメージできましたか？
①できた　　②できなかった
＜どのようなまちですか？簡単にお答えください＞

４．あなたはこの絵図に描かれた「2030年の未来のまち」に住んでいるとします．
あなたはどこで，何をしていますか？

５．絵図を見ながら，次にあげるキーワードをどれでも使ってストーリーを考えてみてください．
キーワード：森，畑，市街地，道路，川，湖

６．この絵図の「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか？
（10点満点でお答えください）

７．このアンケートを回答し終わるまでに，どれくらいの時間を要しましたか？
①10分以内　　②15分以内　　③それ以上

⑤-A【回答順 A】の回答者は，次に「未来予想絵図」のアンケートについて回答

⑤-B【回答順 B】の回答者は，次に「未来予想ものがたり」のアンケートについて回答

⑥アンケート終了

⑦アンケート回収

・環境円卓委員，市役所職員（参加・非参加両方），ファシリテーター，まちづくり協議会に対しては，アンケートに同封した返信用封筒にて返送方式で回収

・滋賀県立大学の学生に関しては，授業内でアンケートを配布し，授業終了時に回収

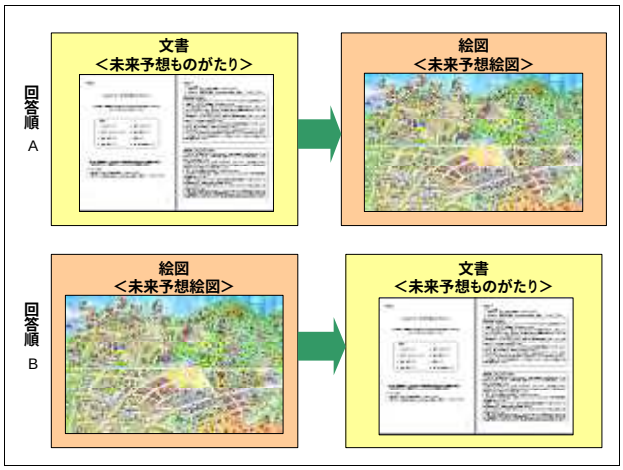
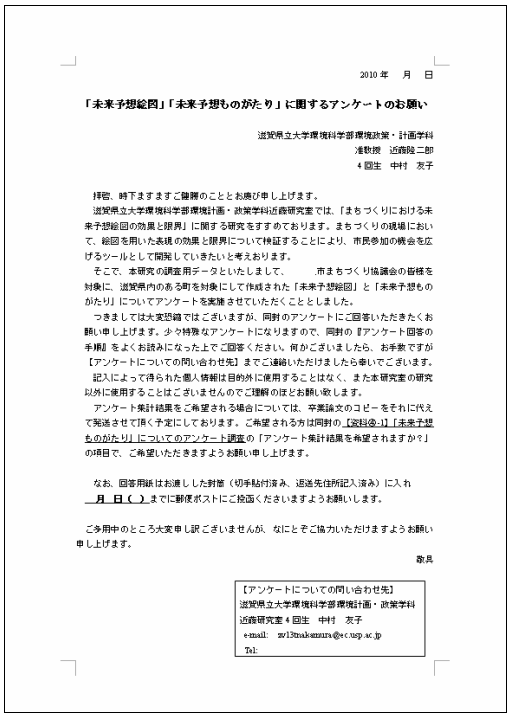



図 3-14　アンケートの回答順

### 3-5-4　アンケート調査に用いた配布物

アンケート時に配布した資料は，以下の 6 つである．原本は付録を参照のこと．



2010 年　月　日

「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」に関するアンケートのお願い

滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科
准教授　近森隆二郎
4 回生　中村　友子

拝啓、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

滋賀県立大学環境科学部環境計画・政策学科近森研究室では、「まちづくりにおける未来予想絵図の効果と限界」に関する研究をすすめております。まちづくりの現場において、絵図を用いた表現の効果と限界について検証することにより、市民参加の機会を広げるツールとして開発していきたいと考えおります。

そこで、本研究の調査用データといたしまして、　　市まちづくり協議会の皆様を対象に、滋賀県内のある町を対象にして作成された「未来予想絵図」と「未来予想ものがたり」についてアンケートを実施させていただくこととしました。

つきましては大変恐縮ではございますが、同封のアンケートにご回答いただきたくお願い申し上げます。少々特殊なアンケートになりますので、同封の『アンケート回答の手順』をよくお読みになった上でご回答ください。何かございましたら、お手数ですが【アンケートについての問い合わせ先】までご連絡いただけましたら幸いでございます。

記入によって得られた個人情報は目的外に使用することはなく、また本研究室の研究以外に使用することはございませんのでご理解のほどお願い致します。

アンケート集計結果をご希望される場合については、卒業論文のコピーをそれに代えて発送させて頂く予定にしております。ご希望される方は同封の【資料⑤-1】「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査の「アンケート集計結果を希望されますか？」の項目で、ご希望いただきますようお願い申し上げます。

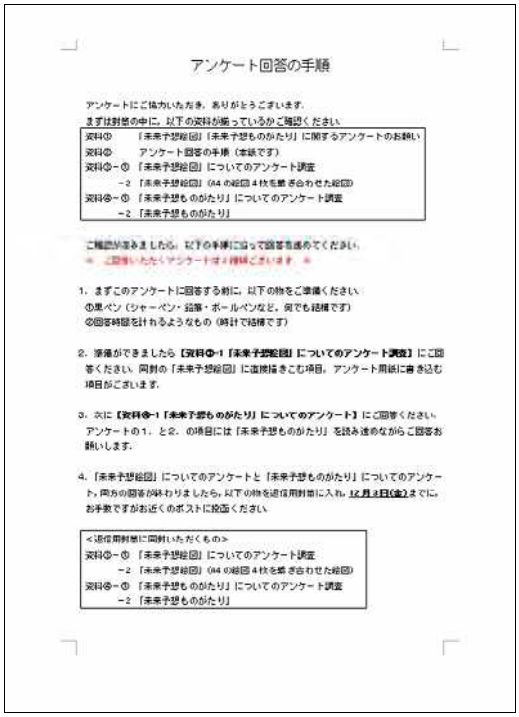
なお、回答用紙はお渡しした封筒（切手貼付済み、返送先住所記入済み）に入れ　月　日（　）までに郵便ポストにご投函くださいますようお願いします。

ご多用中のところ大変申し訳ございませんが、なにとぞご協力いただけますようお願い申し上げます。

敬具

【アンケートについての問い合わせ先】
滋賀県立大学環境科学部環境計画・政策学科
近森研究室 4 回生　中村　友子
e-mail:　nv13mak-nmura@e.usp.ac.jp
Tel:

図 3-15「未来予想ものがたり」「未来予想絵図」に関するアンケート調査のお願い



アンケート回答の手順

アンケートにご協力いただき，ありがとうございます．
まずは封筒の中に，以下の資料が揃っているかご確認ください．

資料①　「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」に関するアンケートのお願い
資料②　アンケート回答の手順（本紙です）
資料③－①「未来予想絵図」についてのアンケート調査
　－2「未来予想絵図」（A4 の絵図 4 枚を繋ぎ合わせた絵図）
資料④－①「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査
　－2「未来予想ものがたり」

ご確認が済みましたら，以下の手順に沿って回答を進めてください．
＊　ご協力いただくアンケートは 2 種類ございます　＊

1．まずこのアンケートに回答する前に，以下の物をご準備ください．
①黒ペン（シャーペン・鉛筆・ボールペンなど，何でも結構です）
②回答時間を計れるようなもの（時計で結構です）

2．準備ができましたら【資料③-1「未来予想絵図」についてのアンケート調査】にご回答ください．同封の「未来予想絵図」に直接書きこむ項目，アンケート用紙に書き込む項目がございます．

3．次に【資料④-1「未来予想ものがたり」についてのアンケート】にご回答ください．
アンケートの 1．と 2．の項目には「未来予想ものがたり」を読み進めながらご回答お願いします．

4．「未来予想絵図」についてのアンケートと「未来予想ものがたり」についてのアンケート，両方の回答が終わりましたら，以下の物を返信用封筒に入れ，12 月 3 日(金)までに，お手数ですがお近くのポストに投函ください．

＜返信用封筒に同封いただくもの＞
資料③－①「未来予想絵図」についてのアンケート調査
　－2「未来予想絵図」（A4 の絵図 4 枚を繋ぎ合わせた絵図）
資料④－①「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査
　－2「未来予想ものがたり」

図 3-16　アンケート回答の手順

「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査

「未来予想ものがたり」は、滋賀県内のある町の「2000年の明治橋」について、8つの分野に分けて書いたものです。以下のアンケートに「未来予想ものがたり」を読んでお答えください。

1. 「未来予想ものがたり」の中で気に入った部分に何ヶ所でもいいので、波線（～～）をひいてください（文章を読みながら線をひいてください）

2. 「未来予想ものがたり」を読んで疑問に思った部分、よくわからなかった部分に、何ヶ所でもいいので、点線（・・・）をひいてください（文章を読みながら線をひいてください）

3. 「未来予想ものがたり」を読んで、どんなまちにしたいのか、ねらいを理解できましたか？

①できた　　②できなかった
<どのようなまちですか？簡単にお答えください>

4. 「未来予想ものがたり」に書かれた「未来のまち」にあなたが実際に住んでいるとします。あなたはどこで、何をしていますか？
<どこで>

<何を>

5. 「未来予想ものがたり」を読んで、次にあげるキーワードをどれでも使ってストーリーを考えてみてください。

キーワード：森、橋、市役所、農家、川、海　（例：森では、子どもが虫取りをしています。）

※裏へ続きます

資料A

6. 「未来予想ものがたり」の「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか？
（10点満点でお答えください）

＿＿＿点

7. このアンケート回答し終わるまでに、どれくらいの時間を要しましたか？

①10分以内　　②15分以内　　③それ以上

8. 最後に二点について答えください。

【性別】：男　女

【職業】：会社員（技術職・事務）　自営業　公務員　主婦　学生　その他（　　）

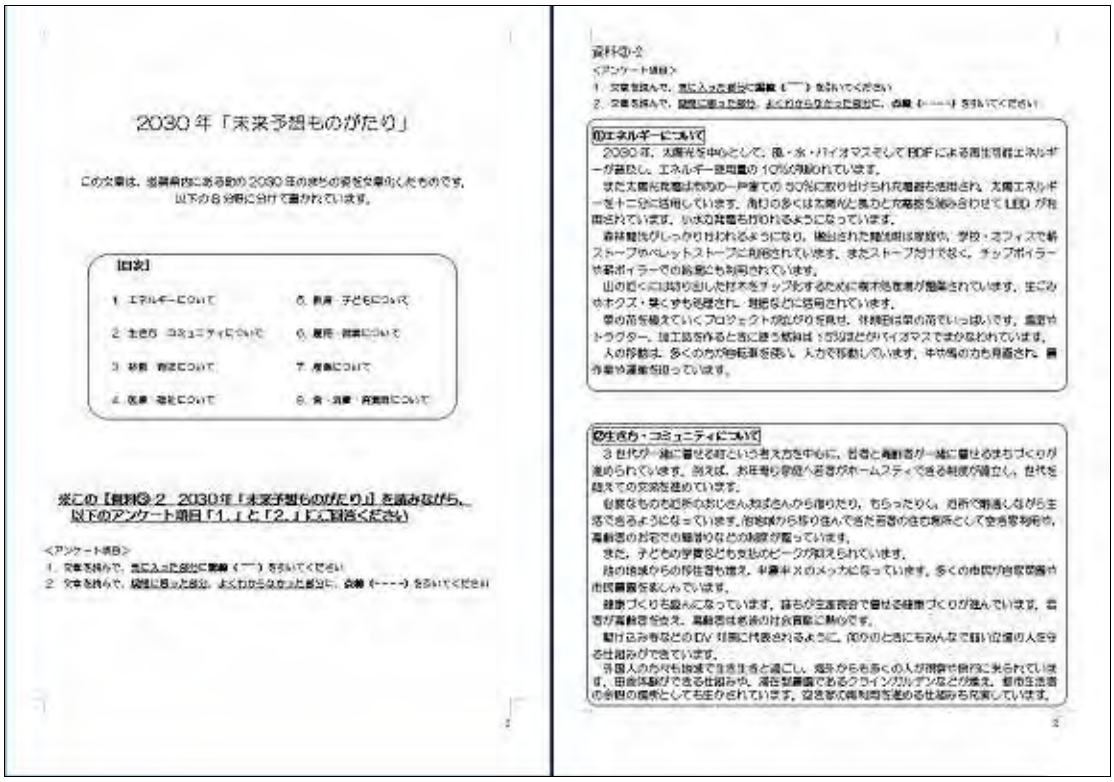
【年代】：20才未満　20代　30代　40代　50代　60代　70才以上

【アンケート実施結果を報告されますか？】　報告する　　報告しない

【報告されるのは、郵便番号と住所を記入ください】
郵便番号
住所

【お名前】

図 3-17　「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査票



2030年「未来予想ものがたり」

この文章は、滋賀県内にある町の2030年のまちの姿を文章化したものです。
以下の8分野に分けて書かれています。

【目次】

1. エネルギーについて　　5. 教育・子どもについて
2. 生きる・コミュニティについて　　6. 農林・産業について
3. 移動・交通について　　7. 産業について
4. 医療・福祉について　　8. 食・消費・資源について

※この【資料③-2　2030年「未来予想ものがたり」】を読みながら、以下のアンケート項目「1.」と「2.」にご回答ください

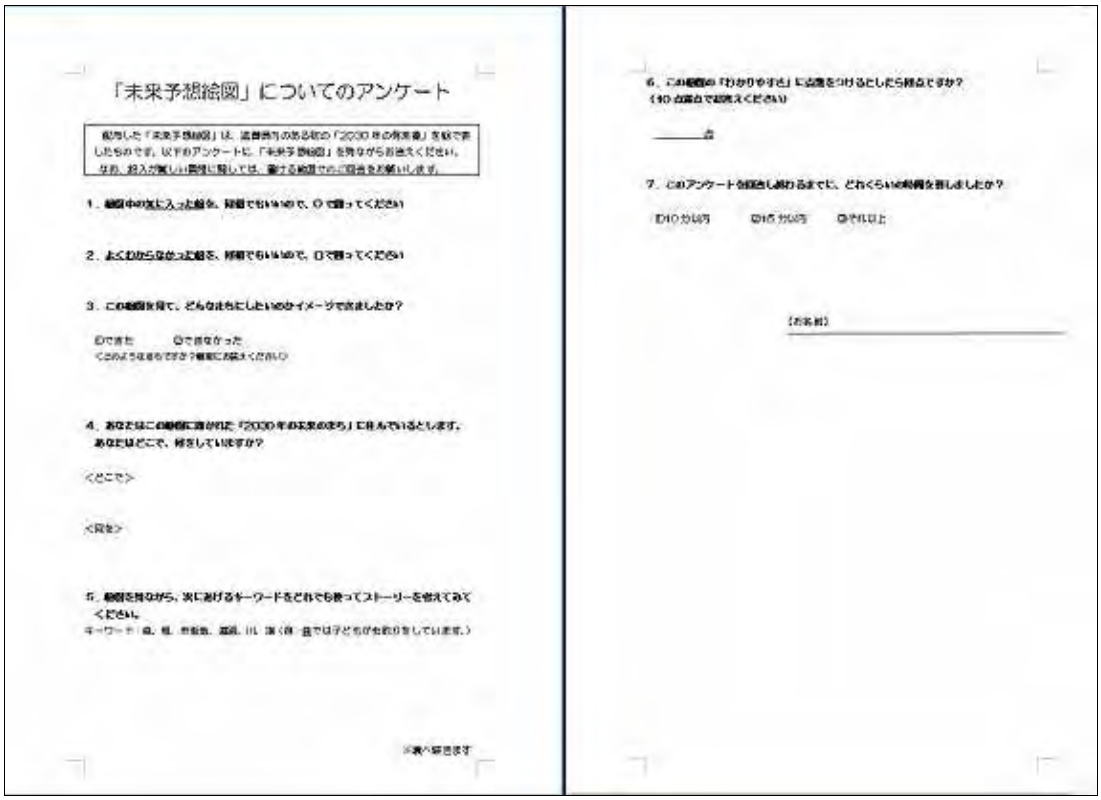
<アンケート項目>
1. 文章を読んで、気に入った部分に波線（～～）をひいてください
2. 文章を読んで、疑問に思った部分、よくわからなかった部分に、点線（・・・・）をひいてください

資料③-2
<アンケート項目>
1. 文章を読んで、気に入った部分に波線（～～）をひいてください
2. 文章を読んで、疑問に思った部分、よくわからなかった部分に、点線（・・・・）をひいてください

①エネルギーについて
2030年、太陽光を中心として、風・水・バイオマスそしてBDFによる再生可能エネルギーが導入し、エネルギー使用量の10%が賄われています。
また太陽光発電はかやの一戸建ての50%に取り付けられ売電者も活用され、太陽エネルギーを十二分に活用しています。海辺の多くは太陽光と風力と充電池を組み合わせてLEDが使用されています。小水力発電も行われるようになっています。
森林整備がしっかり行われるようになり、搬出された間伐材は家庭や、学校・オフィスで薪ストーブやペレットストーブに利用されています。またストーブだけでなく、チップボイラーや薪ボイラーでの給湯にも利用されています。
山の奥くには切り出した材木をチップ化するために専用機械が整備されています。生ごみやホタス・葉くずも処理され、堆肥などに活用されています。
畑の苗を植えていくプロジェクトが広がり始め、休耕田は畑の苗でいっぱいです。農耕やトラクター、加工品を作ると言に使う燃料は15%はたがいバイオマスでまかなわれています。
人の移動は、多くの方が自転車を使い、人力で移動しています。中や場の力も見直され、農作業や運動会は行っています。

②生きる・コミュニティについて
3世代が一緒に暮せる町という考え方を中心に、若者と高齢者が一緒に暮せるまちづくりが進められています。例えば、お年寄り家庭へ若者がホームステイできる制度が確立し、世代を超えての交流を進めています。
自営なものも近所のおじさん、おばさんから借りたり、もらったりく。近所で助け合いながら生活できるようになっています。他地域から移り住んで来た若者の住む場所として空き家利用や、高齢者のお宅での間借りなどの制度が整っています。
また、子どもの学費なども支払のピークが考えられています。
外の地域からの移住者も増え、半農半Xのメッカになっています。多くの市民が自家菜園や市民農園を楽しんでいます。
健康づくりも進んになっています。若もが生涯現役で暮せる健康づくりが進んでいます。若者が高齢者を支え、高齢者は老後の社会貢献に勤めです。
駆けつけ寺などのDV相談に代表されるように、困ったときにもみんなで助け合う仕組みができています。
外国人のかたも地域で生活生活と過ごし、海外からも多くの人が観光や留学に来られています。田舎体験ができる仕組みや、滞在型農園であるクラインガルテンなどが増え、都市生活者の余暇の場所としても生かされています。空き家の有効利用を進める仕組みも充実しています。

図 3-18　「未来予想ものがたり」



「未来予想絵図」についてのアンケート

1．絵図中の気に入った絵を、何個でもいいので、○で囲ってください

2．よくわからなかった絵を、何個でもいいので、□で囲ってください

3．この絵図を見て、どんなまちにしたいのかイメージできましたか？

○できた　　○できなかった

4．あなたはこの絵図に書かれた「2030年の未来のまち」に住んでいるとします。あなたはどこで、何をしていますか？

<どこで>

<何を>

5．絵図を見ながら、次に挙げるキーワードをどれでも使ってストーリーを考えてみてください。

6．この絵図の「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか？（10点満点で答えてください）

　　点

7．このアンケートを回答し終わるまでに、どれくらいの時間を要しましたか？

○10分以内　　○15分以内　　○それ以上

（お名前）

図 3-19　「未来予想絵図」についてのアンケート調査票

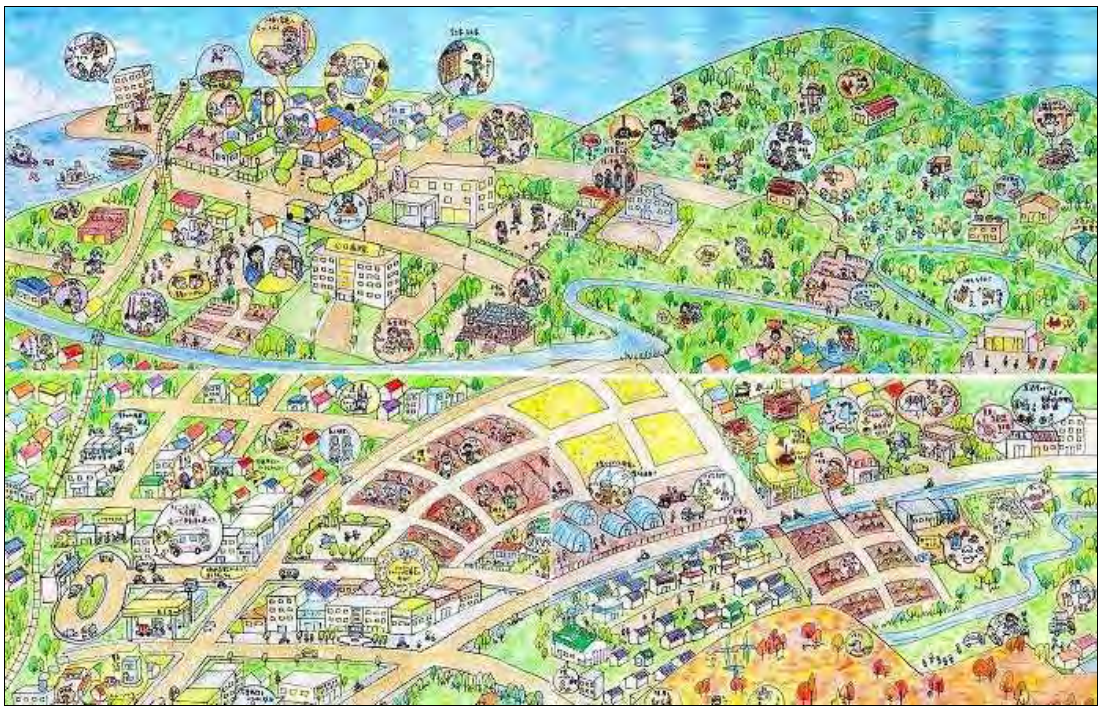


図 3-20　「H 市未来予想絵図」

### 3-5-5　アンケートの分析方法

アンケートの回答から，得られると考えられる情報をまとめた．それぞれの質問項目について文書と絵図の回答を比較する．

「1.気に入った部分に直線 or○をつけてください」では文書や絵図に対する「愛着・親しみ」を，「2.よくわからなかった部分に点線 or□をつけてください」では文書や絵図に対する「疑問・不明な点」をそれぞれ比較し，違いを明らかにしていく．

「3.文書 or 絵図をよんで, どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？また，それはどんなまちですか？」では，文書と絵図と見ることによって，将来像がイメージしやすくなった，将来像の実現可能性，現実性について回答を比較する．

「4.あなたはどこで，なにをしていますか？では，文書や絵図にかかれている内容，関係性や，回答者自身がまちづくりに参加している姿を回答するかどうかを比較する．

「5.キーワードをつかってストーリーをつくってください」では，文章間・絵の間にあるつながりや，文章と自分・絵図と自分とをつなげて将来像をイメージできるかを明らかにする．

「6.未来予想ものがたりと未来予想絵図の”わかりやすさ”に点数をつけるとしたら何点ですか？」では,「未来予想ものがたり」の内容と「未来予想絵図」に描かれた内容を理解しやすかったかを 10 点満点の点数方式で比較する．

「7.アンケートの回答にどれくらいの時間を要しましたか？」では，アンケートに回答し終わる時間から，文書と絵図の見やすさや，内容の理解の早さを比較する．

表 3-5　アンケートの質問項目と質問項目のねらい

| 質問番号 | 質問内容 | | 質問項目のねらい（比較から明らかにしたいこと） |
|---|---|---|---|
| | 文書 | 絵図 | |
| 1 | 「未来予想ものがたり」の中で気に入った部分に何ヶ所でもいいので，黒線を引いてください | 絵図中の気に入った絵を，何個でもいいので，○で囲ってください | 愛着・親しみ |
| 2 | 「未来予想ものがたり」を読んで疑問に思った部分，よくわからなかった部分に，何ヶ所でもいいので，点線を引いてください | よくわからなかった絵を，何個でもいいので，□で囲ってください | 疑問・不明な点 |
| 3 | 「未来予想ものがたり」を読んで，どんなまちにしたいのか，ねらいを理解できましたか？ | この絵図を見て，どんなまちにしたいのかイメージできましたか？ | イメージのしやすさ・現実性 |
| | ＜どのようなまちですか？簡単にお答えください＞ | ＜どのようなまちですか？簡単にお答えください＞ | |
| 4 | 「未来予想ものがたり」に書かれた「未来のまち」にあなたが実際に住んでいるとします．あなたはどこで，何をしていますか？ | あなたはこの絵図に描かれた「2030 年の未来のまち」に住んでいるとします．あなたはどこで，何をしていますか？ | 関係性・参加性 |
| 5 | 「未来予想ものがたり」を読んで，次にあげるキーワードをどれでも使ってストーリーを考えてみてください．<br>キーワード：森，畑，市街地，道路，川，湖 | 絵図を見ながら，次にあげるキーワードをどれでも使ってストーリーを考えてみてください．<br>キーワード：森，畑，市街地，道路，川，湖 | つながりを発想できるか？ |
| 6 | 「未来予想ものがたり」の「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか？（10点満点でお答えください） | この絵図の「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか？（10点満点でお答えください） | わかりやすさ・伝わりやすさ |
| 7 | このアンケートを回答し終わるまでに，どれくらいの時間を要しましたか？ | このアンケートを回答し終わるまでに，どれくらいの時間を要しましたか？ | 見やすさ<br>内容理解の早さ |

これらの項目を回答者の属性（世代間・性別）や，計画策定段階である H 市の環境円卓会議へ出席したかしていないか（参加 or 非参加），文書版アンケート・絵図版アンケートのどちらを先に回答したか（アンケート回答順）で比較する．

①回答者の世代で比較する…「世代間」

回答者の世代で回答に差異があるか調べる．

②回答者の性別で比較する…「男性」と「女性」

男性と女性で，文章と絵図への理解度や感じ方が異なるかを調べる．

③H 市の環境円卓会議に出席したか，していないかで比較する…「参加」と「非参加」

これによって，まちづくりの策定段階に出席した人と，参加していない人のまちづくり計画書と未来予想絵図に対する愛着や思いを比較する．

④アンケートの回答順で調べる…【回答順 A：文章→絵図】と【B：絵図→文章】

文章か絵図，どちらを先に見るかによって理解度や文章・絵図を見る時間に差ができるかを比較する．

## 参考文献・補注


1) 吉田初三郎　岡山市街鳥瞰図＜http://www.city.okayama.jp/museum/birds-eye/intro.html＞，2010-02-17

2) 胎蔵界曼荼羅＜http://www10.ocn.ne.jp/~mk123456/＞，2010-02-17

3) 国絵図研究会＜http://2nd.geocities.jp/kuniezu_net2/kuniezu.html＞，2010-02-17

4) 荘園絵図＜http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp/permanent/chusei1/11.htm＞，2010-02-17

5) 東近江地元学ネット
＜http://www.library.higashiomi.shiga.jp/jimoto/kouza/kouza1_10.html＞，2010-01-21

6) 上野達哉：社寺を扱った社寺参詣曼荼羅における自然要素の描画に関する研究，日本建築学会大会学術講演梗概集．計画系 2002(E-1)，社団法人日本建築学会，pp.789-790（2002）

7) 世界遺産熊野絵解き図制作委員会 HP
＜http://kumano-etoki.jp/other_mandara.html＞，2010-01-21

8) 那智参詣曼荼羅の諸本
＜http://www.city.shingu.lg.jp/div/bunka-1/htm/kumanogaku/kumanogaku/faith/data/data/3_NatiMandaraSyohon.htm＞，2010-01-21

9) 米沢市上杉博物館：上杉本洛中洛外図屏風
＜http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/rakuchyu_rakugai.htm＞，2010-01-21

10) 大澤泉：洛中洛外図屏風における景観構成の比較，比較都市史研究 26(2), pp.2-3（2007）

11) 柳川正宏，仲間浩一：複合表象としての都市景観に関する研究－江戸名所図会を対象として－，日本都市計画学会学術研究論文集，日本都市計画学会，pp.181-186（1996）

# 第四章　未来予想絵図と「南比良心象絵図」「那智参詣曼荼羅図」「洛中洛外図屏風」との比較調査

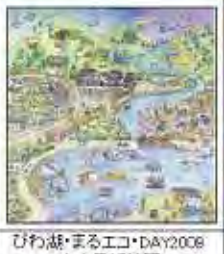
## 4-1　絵図の比較表

未来予想絵図と比較するために，絵と絵同士の関係性を重視している点、対象地域のまち全体を複数の時間軸を用いて多元的に描き出している点、人が生きていくのに必要不可欠な要素（生老病死）がある点、人々の生活を生き生きと描いているという点で、共通点が見られる「南比良心象絵図」「那智参詣曼荼羅図」「洛中洛外図屏風」を対象に選定した.

これらの対象を,「表 4-1 絵図比較表（未来予想絵図）」と「表 4-2　絵図比較表（心象絵図・参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風）」で比較し，考察した結果をまとめた.

これらの表の原本は，巻末付録を参照のこと.

## 表 4-1　絵図比較表（未来予想絵図）

| | 未来予想絵図 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 絵図の具体例 | |  | | |
| 絵図名 | 私たちの未来予想絵図2008 | びわ湖・まるエコ・DAY2009<br>未来予想絵図 | H市未来予想絵図 | 五環生活未来予想絵図 |
| 絵図作成時期 | 2008年2月 | 2010年2月頃 | 2010年3月頃 | 2010年3月頃 |
| 対象地域 | 滋賀県彦根市 | 滋賀県全域（地域の指定はない） | 滋賀県H市 | 滋賀県彦根市（五環生活の活動地域） |
| WSで対象とする人 | 彦根市民<br>環境関連会社に勤務している人 | 滋賀県内で環境保全をしている団体<br>（26団体） | H市環境円卓会議委員（26名）<br>H市役所職員（10名）<br>琵琶湖環境科学研究センター（3名） | NPO法人五環環境生活のメンバー（8名） |
| 絵図製作者 | 安達かなこ（近藤研究室） | 【原版】<br>滋賀県内で環境保全をしている団体<br>未来予想絵図作成スタッフ<br>【配布版】<br>中村友子（近藤研究室） | 中村友子（近藤研究室） | 中村友子（近藤研究室） |
| 概要 | 彦根市の未来の姿を、彦根市民・環境関連会社に勤務している参加者に描いてもらった絵図<br>まちの様子を描いた下絵に、ポストイットで各個人の目指す将来像を貼っていってもらって、それを絵図としてまとめた絵図 | まるエコに出展した環境保全活動を行っている団体が、自分たちの活動が30年後にどうなっているのかを描いていく<br>まとめWSで絵図に足りない要素を皆で話しあって付け加えたものをまとめたものが配布版の未来予想絵図である | 滋賀県H市の環境円卓委員会が、2030年のH市の姿を、二酸化炭素排出量や人口の増減といった計算結果をふまえて話し合った結果を一度「中間とりまとめ」として文字にまとめた。その「中間とりまとめ」を絵図にしたもの<br>「エネルギー」「食・消費・廃棄物」「教育・子ども」「産業」「生き方・コミュニケーション」「医療・福祉」「移動・物流」「雇用・就業」という8つのカテゴリーに分かれている | 「10年後の五環生活の活動がどうなっているか？」「様々な活動に取り組んでいるが、今後自分は特にどの目標に力を入れて活動していきたいか？」をテーマに、五環生活のメンバーで絵を用いて話し合った結果をまとめて絵図にしたもの |
| 絵図の中の時間軸 | 「未来の彦根市」をテーマにした時間軸 | 「あなたが今している活動が2030年にはどうなっていますか？」がテーマにした時間軸 | 「2030年のH市がテーマ」にした時間軸<br>（CO2削減50%を実現した未来） | 「10年後の五環生活の活動」がテーマにした時間軸 |
| 絵図の利用目的 | ・絵を用いて将来像を話し合い、参加者皆で共有するため<br>・自分の意見を発信するため<br>・他の人の意見にも耳を傾けるため | ・参加者が自分の抱く将来像や、現在の活動内容を形にし、発信するため<br>・「私たちのまちはこういう姿を目指しています」という宣言を作るため | ・計算結果と文章で作られた計画書だけでは、イメージしきれない将来像を、絵で表すことによって視覚的にわかりやすくするため | ・今後の活動の指針となる<br>・他のメンバーがどういう思いを持っているのかお互いに確認しあうことができる<br>・活動を紹介するときに絵図を用いれば説明しやすくなる |
| 絵図に用いられた表現 | ・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・曖昧なものが多い<br>・吹き出しよる補足を用いた絵が多い<br>・文字も少しはあるが、他の未来予想絵図に比べると少ない | ・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・曖昧なものが多い<br>・吹き出しや文字による補足を用いた絵が多い | ・H市の地図を参考にして、琵琶湖や山や河川、線路の配置を決めたため地域性のある配置となっている<br>・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・吹き出しや文字による補足を用いた絵が多い | ・一つの箱庭のようなイメージで描かれている<br>・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・吹き出しや文字による補足を用いた絵が多い |
| 絵図の視点 | 自分の描いた絵をまず探し、その後自分の絵を中心に周りの絵にも目をとおしていく<br>同心円状に広がる視線 | 自分の描いた絵をまず探し、その後自分の絵を中心に周りの絵にも目をとおしていく<br>同心円状に広がる視線 | まずは全体の雰囲気を理解する<br>次に目に止まった絵図を順に見ていき、その中で自分の意見を描いた絵を見つけていく<br>全体→部分と視点が狭くなっていく | 自分の描いた絵をまず探し、その後自分の絵を中心に周りの絵にも目をとおしていく<br>同心円状に広がる視線 |
| クローズアップがあるか？ | 有り | 有り | 有り | 有り |
| 文字の説明があるか | 有り<br>（絵の補足説明、会話等） | 有り<br>（絵の補足説明、会話等） | 有り<br>（絵の補足説明、会話等） | 有り<br>（絵の補足説明、会話等） |
| 絵図の中に自分を描いているか？ | WSはポストイットに意見を文字で描いて貼っていく形式だったので、絵図の中に自分を思い描いているかはこのケースでは不明 | 子どもは自分を描く<br>大人はあまり描かない<br>（※動物保全団体の人は自分達が保全している動物のみを絵図に描く等…） | 絵図に直接絵を書き込む作業を行っていないので、この事例では、絵図の中に自分を描いているかどうかはわからない<br>しかし、意見を出す時は、ちゃんと実現できるか、自分の意見に責任を持てるかどうかを気にしている人が多かった。 | 「自分たちの活動の将来」なので、自分を描いている人はいた |
| 描かれている人物の多様性 | 漁師 | 電動車いすに乗った人<br>車椅子に乗ったおばあちゃん<br>水質調査をしている研究員<br>綿で作った肌着を着た赤ちゃん<br>昔ながらの方法で家を造る大工さん（職人）<br>着物を着た人 | ゲートボールを楽しむお年寄り<br>オシャレをしてコンサートに行くお年寄り<br>医者<br>病気の子ども<br>赤ちゃん<br>外国人<br>コックさん<br>酪農家<br>まちづくり協議会の参加者<br>DV相談所の相談員さん | 保育園の先生と子供たち<br>猟友会の人たち<br>弥生時代体験をしている人たち<br>おじいちゃんのベロタクシードライバー |
| 生老病死の描写はあるか？ | 無し | 有り<br>（お墓） | 有り<br>（病院での誕生、自宅での死、動物の墓を作る子ども） | 無し |
| 天候の変化は？ | 晴れの表現として太陽がある | 無し | 無し | 無し |
| 絵図の中心となるものがあるか？ | 無し | 無し | 無し | 五環生活事務所 |

## 表 4-2　絵図比較表（心象絵図・参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風）

| | 心象絵図 | 参詣曼荼羅図 | 洛中洛外図 |
|---|---|---|---|
| 絵図の具体例 | | | |
| 絵図名 | 南比良心象絵図 | 那智参詣曼荼羅図 | 洛中洛外図屏風 |
| 絵図作成時期 | 2008年 | 1596年以前 | 室町時代～江戸時代(16世紀) |
| 対象地域 | 滋賀県大津市南北良 | 和歌山県　熊野 | 京都の市街と郊外 |
| WSで対象とする人 | 対象地域に住む高齢者 | | |
| 絵図製作者 | 上田洋平氏(心象絵図の考案者)<br>絵描き(美大の学生)<br>地域に住む絵の得意な人<br>地域に住む方々の中から希望者全員 | 本願所(中央に描かれている寺院) | 狩野派の画家 |
| 概要 | 対象地域に住む人々から昔の暮らしぶりを聞き、人々の体験や思い出、生活風俗、四季の自然などを、一つの画面の中に描き込んだ絵図である<br>一目でその地域の暮らしや文化がわかる内容となっている | 絵図の描かれた時代の社寺の景観の中に民衆の参拝の様子やその地で行われる行事の様子、社寺の創建にまつわる演技などを書き込んだ当時の信仰世界観のカタログ的な絵図 | 国宝に指定されている六曲一双からなる屏風絵<br>絵図は右隻と左隻に分かれており、室町時代の京都の風俗が描かれている<br>京都ならではの建造物や名所、春夏秋冬を感じる行事や、祭りの山鉾、そして京都に住む人々の暮らしぶりなどが雅やかに描かれている |
| 絵図の中の時間軸 | 過去のいろいろな時間軸が混在している<br>(戦時中の出征の様子・うみのこ・車・電車等) | ・民衆の参拝といった日常的な時間軸<br>・行事といった非日常の時間軸<br>・社寺の創建といった過去の時間軸<br>・伝説や死後の世界といった現実世界では　ありえないことを描く時間軸 | ・人々の日常・暮らしぶりを描く時間軸<br>・季節の行事などの非日常を描く時間軸<br>・社寺の創建といった過去の時間軸 |
| 絵図の利用目的 | ・歴史的史料として役立つ<br>・昔の生活を後世に伝えることができる<br>・子どもと高齢者と交流に役立てることができる<br>・高齢者の回想法に利用することができる<br>・エコツーリズムの入り口としての利用 | ・民衆への仏教・神道の信仰の奨励のため<br>・那智山への参詣を促し、お布施を呼びかけるため<br>・さまざまな縁起を絵解き、この地が霊験あらたかであることをアピールするため | ・洛中洛外図は多分に政治的な意図のもとに制作されたもの<br>・当時の暮らしぶりを知るのに役立つ |
| 絵図に用いられた表現 | ・高齢者の意見を元にできるだけ事実に沿った写実的な絵で表現されている<br>・大きさや建物の描き方などにはデフォルメが見られる<br>・文字による補足はない | ・雲と霞によって空間が仕切られている(「逃げ」の表現)<br>・社寺の信仰的世界を一図に収めるために距離、方向をデフォルメしている<br>・画面上部に山、下部に海を描き、画面中央に描かれた参詣空間を横切って川が山と海とをつなぐという構図の特徴を持つ | ・雲と霞によって空間が仕切られている(「逃げ」の表現)<br>・御所、武家屋敷などが目立つように描かれている<br>・建物や距離はデフォルメされているが、人間のスケールは総じて同じである<br>・画面の構成にも定型化が見られる<br>・春・夏・秋・冬の風物や行事を描き、祇園会の山鉾を書き込むものが多い |
| 絵図の視点 | まずは全体像を見渡し、後はかつての生活を思い出しながら一つ一つの絵を丁寧に見ていく<br><br>全体→部分と視点が狭くなっていく | まずは、全体像を見る<br>続いて、絵図の下部から参詣の様子をルートをたどっていくように追いかけていく<br>全体→部分と視点が狭くなっていく | まずは全体の雰囲気を見る<br>次に目にとまった絵から細かく順番に見ていく<br><br>全体→部分と視点が狭くなっていく |
| クローズアップがあるか？ | 無し | 有り | 無し |
| 文字の説明があるか | 無し | 無し | 有り<br>(寺社仏閣の名称の説明) |
| 絵図の中に自分を描いているか？ | 昔の自分達の生活を描いているので、絵の中に出てくる人物を具体的に自分だとは思わないかもしれないが、懐かしさの記憶から、自分と関連づけて絵を見る | 本願所(絵図製作側)が中央に描かれている | |
| 描かれている人物の多様性 | 結婚式の行列<br>葬式の列<br>猟師<br>戦争に向かう若者と、それを見送る人々 | 僧侶<br>参拝客<br>龍<br>童子<br>歴史上の人物(和泉式部など) | 僧侶<br>公家<br>武士<br>農民<br>商人(皿屋、紙漉き屋、染物屋、米屋、髪結い処など)<br>医者 |
| 生老病死の描写はあるか？ | 有り<br>(出産の様子、葬式などの冠婚葬祭) | 有り<br>(補陀落渡海、死後の世界) | 有り<br>(医者) |
| 天候の変化は？ | 雪山が描かれているので、雪が降ったという表現がされている | 無し | 無し |
| 絵図の中心となるものがあるか？ | 無し | 本願所(絵図製作側)が中央に描かれている | 洛中の様子(人々の生活風景) |

### 4-2　絵図の比較表からの考察

未来予想絵図の対象地域のスケールは，県単位から市町村・集落単位など大小さまざまであった．これ以上大きいスケール（地方単位・国単位など）でも可能ではあると考えられるが，その際は広い対象地域から参加者をどのように募るか，スケールが大きくなれば必然的に絵の量も増えると予想されるので，充分に描きこみのできる大きさの絵図を準備することができるかどうかが問題である．

また，対象となる未来予想絵図の 4 枚中 3 枚が，著者自身が描いた絵図であるため，絵画的表現に偏りがでるということをふまえなくてはならない．しかし，それをふまえても，未来予想絵図には吹き出しによる細部の拡大や補足，文字や台詞による絵の説明が必要不可欠である．文字や台詞によって絵が説明されないと，絵に隠された本当の意味（テクスト）や物語を理解することができない．未来予想絵図以外の絵図に注目してみると，心象絵図のように絵解きを文章化して残している例がある[1), 2)]．また，那智参詣曼荼羅図は，絵解きを行った際の記録が文章で残されており[3)]，洛中洛外図屏風[4), 5)]は洛中洛外図屏風を陶板で再現して，その陶板で洛中洛外図屏風の絵解きを文章で残している例がある．未来予想絵図の場合は，絵解きの役割を果たすのが文書で書かれたまちづくり計画書だといえるだろう．今回の事例では，会議の内容をまとめた「中間とりまとめ」文書のある「H 市の未来予想絵図」にしか当てはまらないが，未来予想絵図が将来的にまちづくりに利用されることになった場合，まちづくり計画書が未来予想絵図の絵解きの役割を果たすことになるだろうと考えられる．未来予想絵図に描かれた内容を補足，説明する文書がないと，未来予想絵図に描かれた意味や思いを読み手に理解してもらうことができないからだ．

次に，未来予想絵図に必要不可欠な特徴として，距離感やサイズのデフォルメがある．これは対象としたすべての未来予想絵図に共通している表現である．また，未来予想絵図は，対象となる地域全体を一面に収めるために鳥瞰図の視点を用いることが多い．

そして，絵図の比較表からわかってきた未来予想絵図の限界について述べる．未来予想絵図は「○○制度が充実した生活」といった意見や「人口は今から○人増えた」といった意見や「石油で走る自動車がなくなり」といった意見など，制度や，人口といった数値の増減，今まであったものが未来には”なくなっている”というシーンを描くことができない．よって制度，数値の増減，“○○がなくなった”という内容は，未来予想絵図ではなく，文書のまちづくり計画書の中で説明するか口頭で説明しなければならない．

また，未来という不確定なものに対しては負の面が描かれにくいといった点もある．例えば，死や葬式，貧富の差，差別といった絵である．過去や現在をありのままに描く絵図ならば，こうした負の面も描かれることもあるだろうが，未来予想絵図ではあまり見られない．不確定な「未来」をテーマとした時点で負の面に目を向けるのは難しい．結果，未来予想絵図は「理想的だが，現実性に欠ける」や「夢物語にすぎない」といった意見が寄せられることになる．

### 4-3　ポジショニングマップ

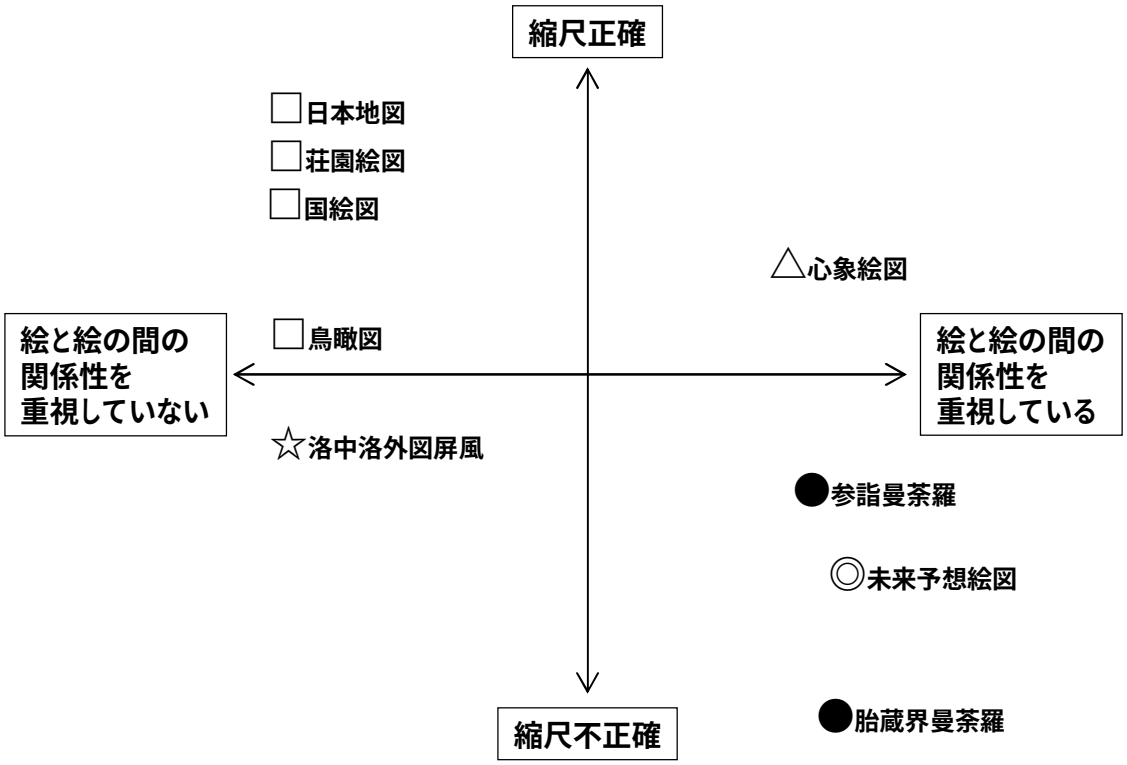



図 4-1　絵図のポジショニングマップ

未来予想絵図と南比良心象絵図，那智参詣曼荼羅図，洛中洛外図屏風の比較から，これらの絵図の縮図の不正確なこと（多分にデフォルメされている）と，絵と絵の間の関係性を重視しているということが明らかになった．この絵図に，縮尺が正確で科学性のある「日本地図」と，荘園絵図，国絵図，鳥瞰図を加えて，「縮尺が正確 or 不正確」「絵と絵どうしの関係性を重視しているか or していないか」を二軸に設定し，ポジショニングマップを作った．

その結果，未来予想絵図は，縮尺が不正確で科学性には欠ける．つまり，日本地図，国絵図や荘園絵図，鳥瞰図といった「地図」に近いものとは正反対の性質をもっているということがわかった．

その一方で，絵図に描かれた絵どうしの関係性を重視している点や，絵に意味のあるテクストがいくつもちりばめられている点で一種の象徴性をもっているとも言える．こうした点は曼荼羅と共通していると言える．未来予想絵図と曼荼羅図の異なる点としては，曼荼羅図は文字による補足や説明が絵図の中にないが，未来予想絵図は言葉による説明や補足を絵図の中に多く入れているということである．

**参考文献・補注**

[1] 滋賀県立大学耳の会：聞き書き－心象の八坂－，滋賀県立大学耳の会（2001）
[2] 環琵琶湖生活圏「人と地域」研究所：メモリアリウムへようこそ,「思い出バンク整備と郷の語り部養成事業」事例報告（2007）
[3] 那智参詣曼荼羅図の物語世界
＜http://www.gakugei-pub.jp/judi/forum/forum13/f13004.htm＞，2010-1-21
[4] 京焼きでつくる洛中洛外図の世界
＜http://www.rakuchu-rakugai.jp/world/#＞，2010-1-21
[5] 高橋康夫：洛中洛外，平凡社（1988）

## 第五章　未来予想絵図・心象絵図・参詣曼荼羅図・洛中洛外図屏風の絵図分析結果

### 5-1　ウィンドウ相互リンク分析結果と構図分析結果

対象とする未来予想絵図は,「わたしたちの未来予想絵図 2008」「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」「H 市未来予想絵図」「五環生活未来予想絵図」の 4 枚である.

未来予想絵図との比較対象として「南比良心象絵図」「那智参詣曼荼羅図」「洛中洛外図屏風」の右隻を選んだ．この 7 枚の絵図について，(1)ウィンドウ相互リンク分析,(2)構図分析を行った．その結果を以下に示す.

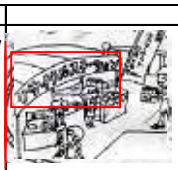
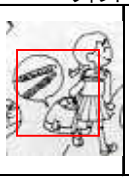
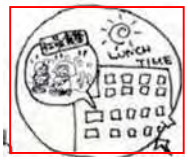
### 5-2　「わたしたちの未来予想絵図 2008」分析

(1)ウィンドウ相互リンク分析結果

「わたしたちの未来予想絵図 2008」には,「平行移動型」のリンクがなかった．この「わたしたちの未来予想絵図 2008」は, 本研究で対象とする 4 枚の未来予想絵図の中で, 唯一著者が描いていないものである．よって,「平行移動型」のリンクが存在しなかったのは，描き手による表現の差異という理由も考えられる.

一方でこの未来予想絵図には,「意味内容補完型リンク」と「拡大・縮小型リンク」が多くある．後述するが，この点は他 3 枚の未来予想絵図とも共通することで，描き手が異なっても，未来予想絵図は言葉による補足や，吹き出しを用いて絵を補完しなくては伝えきれない絵図であるということがわかる.

表 5-1　「わたしたちの未来予想絵図 2008」ウィンドウの相互リンク例

| リンクの種類 | | | 特徴 | ウィンドウの一例 | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 論理構造的リンク | A | 意味内容補完型 | 言語とグラフィック、グラフィック同士などで、お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている<br>吹き出しで内容を補完している（バッグの中身・看板の文字・台詞で意味を補完する）ものもこれに属する |  |  | | 10 |
| | B | 時間構造型 | ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ、空間に意味を持たすようにリンクしている | | | | 1 |
| | C | 平行移動型 | ウィンドウが特定の方向に流れ、連続的にリンクしている（平行移動する性質を持つ） | | | | 0 |
| 視野調節的リンク | D | 拡大・縮小型 | 特定の方向に広がったり、狭まったり連続的にリンクしている（拡大・縮小する性質がある）<br>吹き出しで絵を描いているタイプもこれに属する |  | | | 6 |

(2)「わたしたちの未来予想絵図 2008」の構図分析結果

ウィンドウの相互リンク分析後, 抽出されたウィンドウを絵図に戻し, 分布を調べた. その結果を以下に示す.

A.意味内容補完型リンク

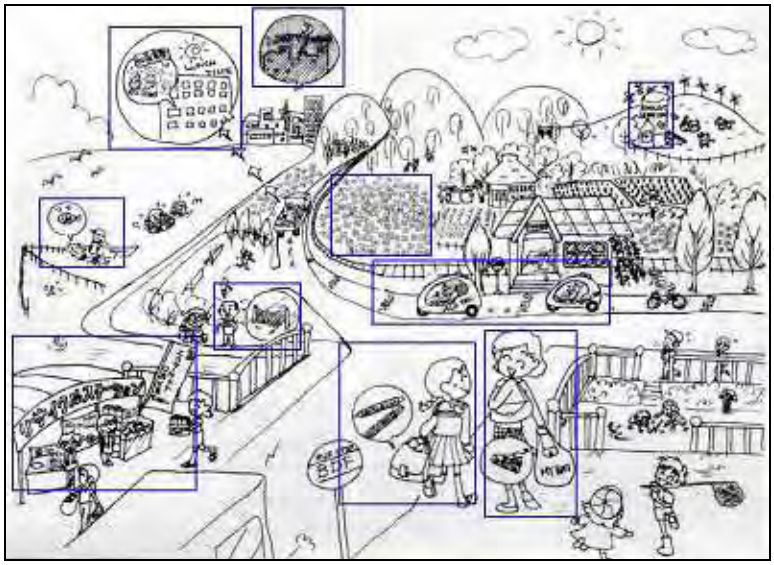


図 5-1　「わたしたちの未来予想絵図 2008」意味内容補完型

「意味内容補完型」リンクは，画面全体に分布している．左下の店舗の看板やのぼりには「リサイクルステーション」や「エコマーケット」と大きな文字で書かれており，この店がただの店ではなく，環境に配慮した商品を扱っている店であるということがわかる．他にも下段中央の母娘の持っている通学鞄やマイバッグの中身にもアイディアがつまっているという内容を表すために吹き出しを用いてバッグの中身を説明している．

B.時間構造型リンク

図 5-2　「わたしたちの未来予想絵図 2008」時間構造型

「時間構造型」のリンクは，絵図上部に 1 つだけ見られた．絵図上段に描かれた吹き出しに注目すると，夜空に浮かぶ月と，夜のまちの様子が描かれている．しかしその右には太陽があり，絵図全体も昼のまちを描いている．このことから，絵図上に昼→夜という複数の時間軸が描かれていると考えることができる．

C.平行移動型リンク…なし

D.拡大・縮小型リンク

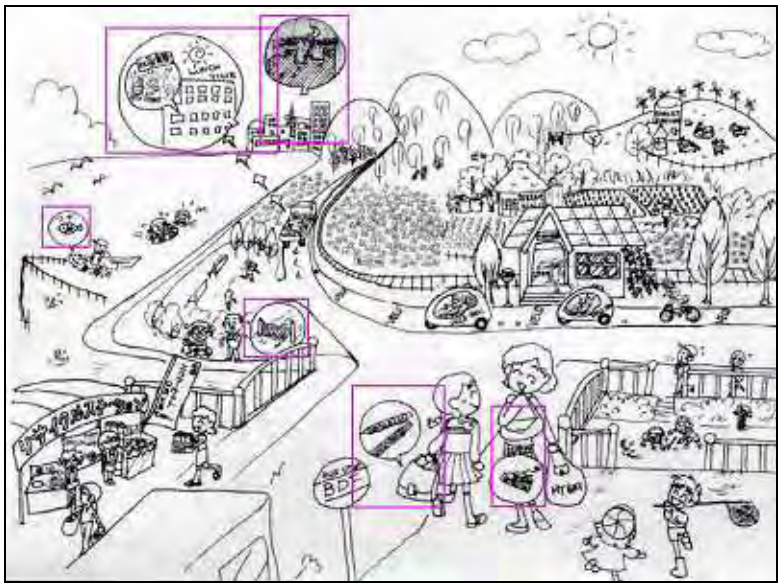


図 5-3　「わたしたちの未来予想絵図 2008」拡大・縮小型

「拡大・縮小型」リンクは,「意味内容補完型」リンクに次いで多く分布している．カバンの中身をクローズアップしている絵や，建物の中をクローズアップしている絵を対象にした.「意味内容補完型」との重複が多いが，細部のクローズアップや，説明不足な絵を補うために吹き出しを用いているのが，重複の多い理由である.

A.B.D.構図分析まとめ

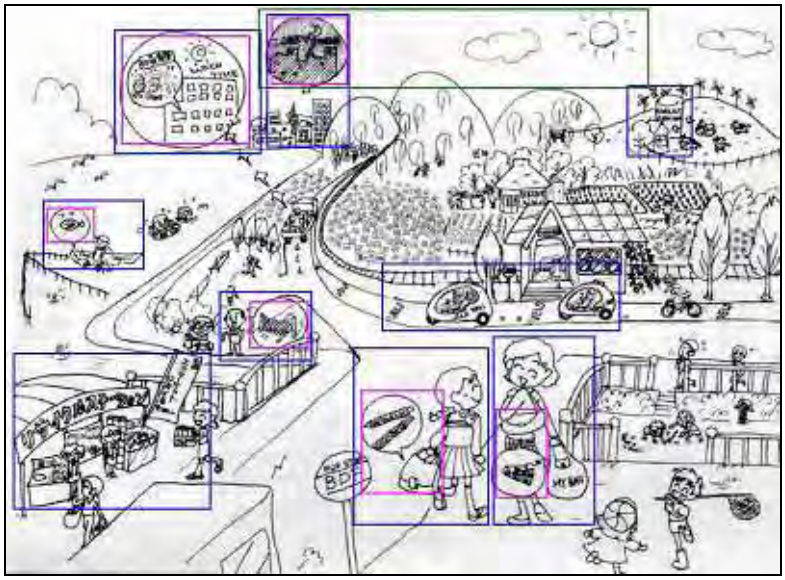


図 5-4　「わたしたちの未来予想絵図 2008」構図分析まとめ

吹き出しによる内容の補完も「意味内容補完型リンク」に入れたので,「意味内容補完型リンク」と「拡大・縮小型リンク」の重複が多い．構図の分布を見てみると，ウィンドウは絵図の上部と下部に多く分布していることがわかる．リンク分類の対象にならなかった絵もあるが，そうした絵にも意味のあるテクストがこめられている．しかし，絵同士のつながり，つまりリンクはあまり重要視されておらず，一つの絵として独立して絵図の中に存在していると言えるだろう.

## 5-3　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」分析

### (1)ウィンドウ相互リンク分析結果

「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」は，意味内容補完型が最も多く，続いて拡大・縮小型が多くあった．意味内容補完型には，吹き出しを用いて絵の説明をしているものや，言葉が描いてあるものを対象に入れた．時間構造型は，夜→昼といった一日の時間軸を感じるものや，春→夏→秋の畑の様子を描いた綿畑の絵や，田植え→収穫といった絵を分類した．平行移動型には，矢印を用いて一連の動作の流れを補足している絵や，矢印を用いてなくても，作業の一連の流れを描いているものを分類した．視野調節型リンクには，建物の内部を吹き出しで拡大して補足するものや，細部に描きこめないものを対象にした．結果，意味内容補完型と拡大・縮小型の重複が多くなった．

表 5-2　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」ウィンドウの相互リンク例

| リンクの種類 | | | 特徴 | ウィンドウの一例 | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 論理構造的リンク | A | 意味内容補完型 | 言語とグラフィック、グラフィック同士などで、お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている<br>吹き出しで内容を補完している（バッグの中身・看板の文字・台詞で意味を補完する）ものもこれに属する | | | | 24 |
| | B | 時間構造型 | ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ、空間に意味を持たすようにリンクしている | | | | 4 |
| | C | 平行移動型 | ウィンドウが特定の方向に流れ、連続的にリンクしている<br>（平行移動する性質を持つ） | | | | 6 |
| 視野調節的リンク | D | 拡大・縮小型 | 特定の方向に広がったり、狭まったり連続的にリンクしている（拡大・縮小する性質がある）<br>吹き出しで絵を描いているタイプもこれに属する | | | | 18 |

### (2)　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」の構図分析結果

ウィンドウの相互リンク分析後, 抽出されたウィンドウを絵図に戻し, 分布を調べた．その結果を以下に示す．

A.意味内容補完型リンク

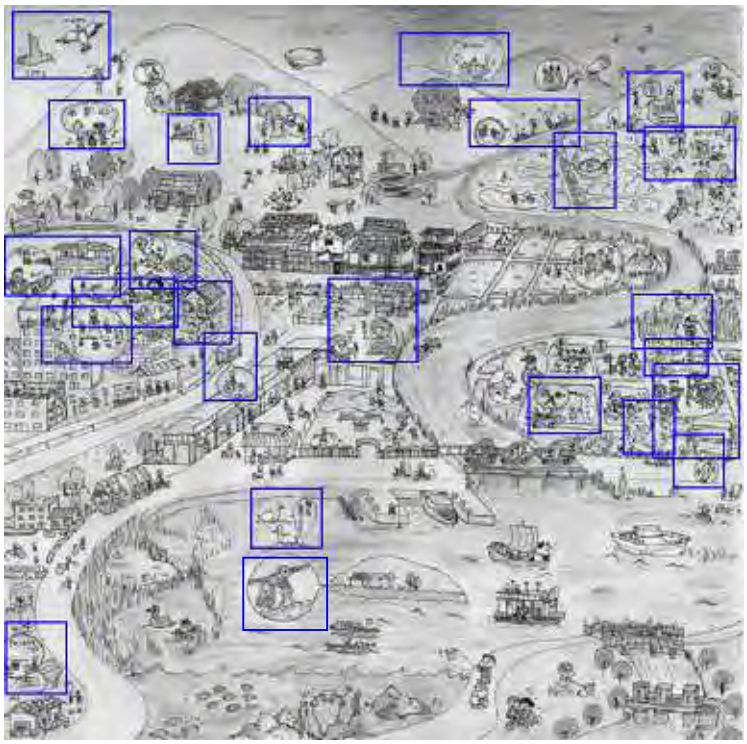


図 5-5　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」意味内容補完型

絵図の真ん中から上部にかけて「意味内容補完型」リンクが多く分布している．下部の琵琶湖にはあまりリンクが見られない．逆に山や農地，市街地にはリンクが集中している．これは，この絵図に参加した出展団体の活動拠点が ，山や農地，市街地に多く存在しているということがわかる．

この未来予想絵図に描かれている「意味内容補完型リンク」の多くが，吹き出しによって建物内部の様子を描いている絵である．特に市街地にこのタイプが多く分布している．また，琵琶湖にいる白鳥が吹き出しで「毎年きています」と言っている絵は，この白鳥が毎年琵琶湖に飛来しているという意味で，2030 年の未来でも白鳥が毎年やってくるような美しいな琵琶湖であってほしいという白鳥の保護団体の思いがこめられている絵である．

B.時間構造型リンク

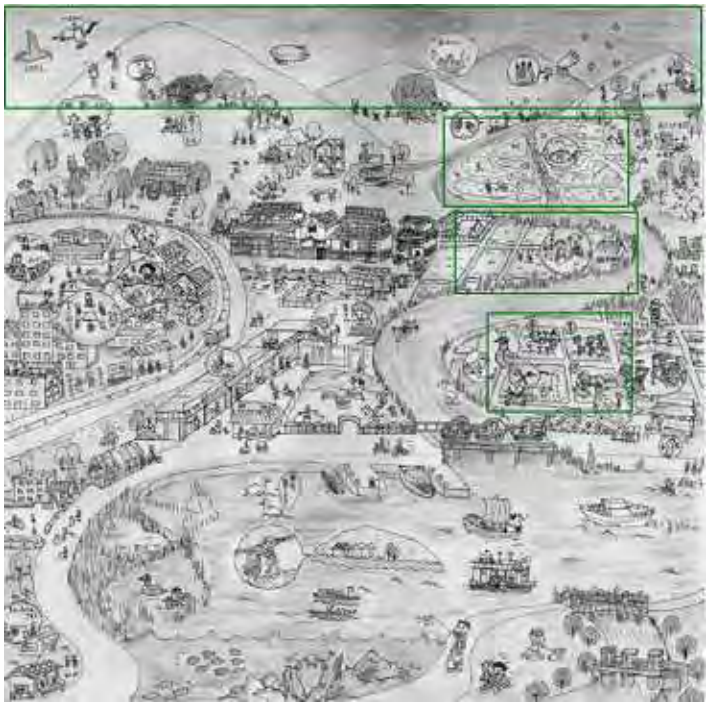


図 5-6　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」時間構造型

「時間構造型」リンクは，絵図の上部と農作地にかたまって分布している．昼から夜にかけての空の様子や，田植えをしている横では，もう実った稲を収穫している様子，そして綿畑では春から秋にかけての畑の様子が描かれている．この未来予想絵図には，四季と一日の流れという二つが存在している．

C.平行移動型リンク

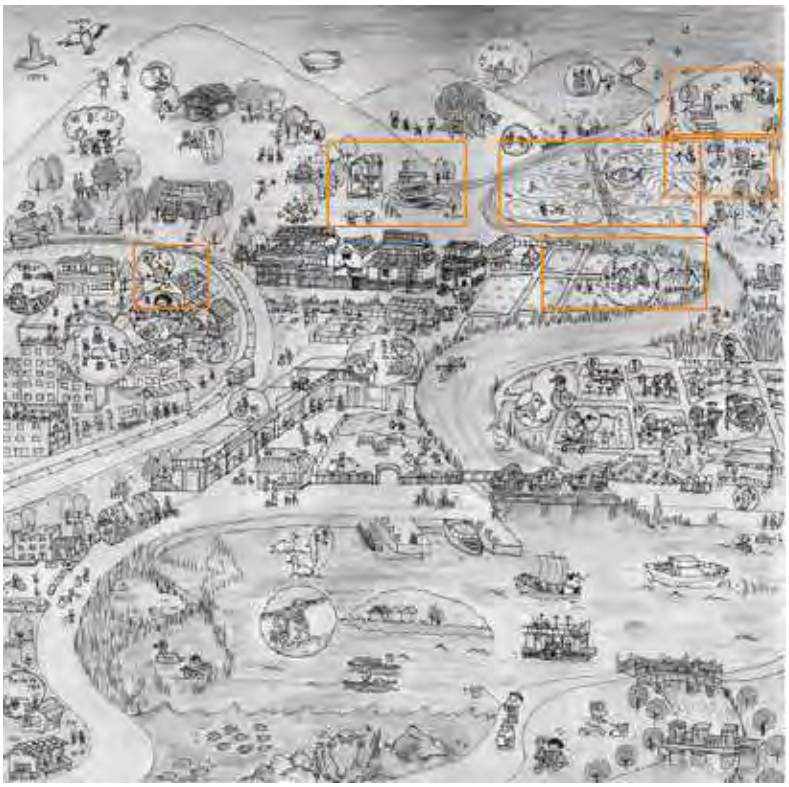


図 5-7　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」平行移動型

「平行移動型」リンクは，絵図上部に多く見られている．着なくなった服をリメイクしてクッションに作り直していく過程や，山間部では間伐材を利用した木質バイオマス発電の過程，昔ながらの方法で木造の家を作るための水中乾燥の過程など，一連の流れが描かれている絵，矢印を用いて説明されている絵を対象にした．また，「時間構造型」リンクにもあった田植えから収穫の様子も，稲作の過程を示しているものなので「平行移動型」リンクに分類した．よって，「平行移動型」と「時間構造型」にも重複が見られるということになる．

D.拡大・縮小型リンク

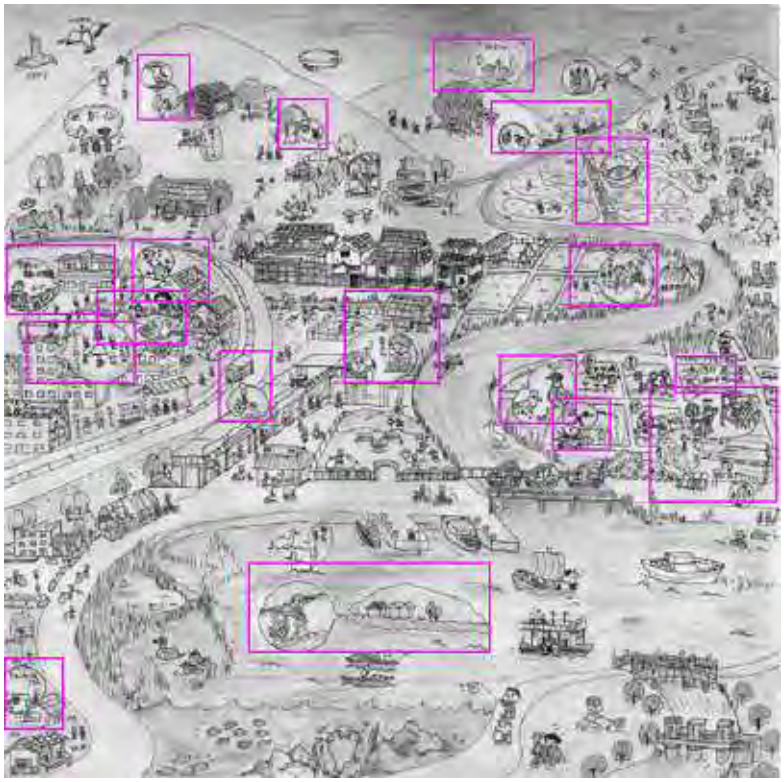


図 5-8　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」拡大・縮小型

「拡大・縮小型」リンクは，絵図の全体に分布している．吹き出しを用いて細部を拡大している図の他，吹き出しを用いて建物の中をクローズアップしている絵も対象にしたため，「意味内容補完型」との重複も多くなっている．

A.B.C.D.構図分析まとめ

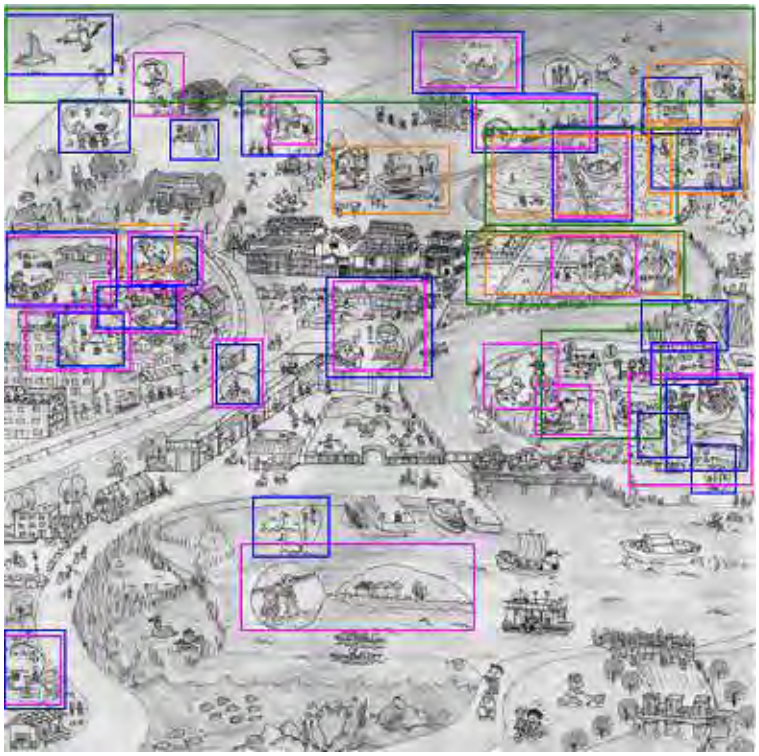


図 5-9　「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」構図分析まとめ

ウィンドウは絵図の真ん中から上部にかけて集中している．下部には琵琶湖が広がっているがそこにはウィンドウは少ない．絵図の上部，つまり山間部と，農作地にリンクが集中しているのは，このイベントに参加した出展団体が環境保全活動をしている団体が多かったため，自然が増えてほしいという願いを込めて，多くの絵を山間部に描いたためと考えられる．

そして，先ほども述べたが，意味内容補完型（青色）と拡大・縮小型（ピンク色）のウィンドウの重なりが目立っている．

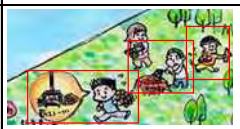
時間構造型リンク（緑色）は，農作地に集中している．これは，畑の様子で四季を表現するケースが多かったためと考えられる．

## 5-4　「2030 年のH市未来予想絵図」分析

### (1)ウィンドウ相互リンク分析結果

「2030 年の H 市未来予想絵図」も，他の未来予想絵図と同様,「意味内容補完型」リンクが最も多く，続いて「拡大・縮小型」リンクが多くなった．この絵図は，絵で説明するのが困難な内容が多くあり，吹き出しと文章による内容の補足なしには，絵図に描かれた詳細な内容を理解できない絵図となっている.「時間構造型」リンクの一例として，緑豊かな山と，紅葉で赤く染まった山を書いて，季節の移り変わりが表現されている以外は四季の移り変わり（時間の移り変わり）が感じられるような絵はない.

表 5-3　「2030 年の H 市未来予想絵図」ウィンドウの相互リンク例

| リンクの種類 | | | 特徴 | ウィンドウの一例 | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 論理構造的リンク | A | 意味内容補完型 | 言語とグラフィック、グラフィック同士などで、お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている<br>吹き出しで内容を補完している（バッグの中身･看板の文字･台詞で意味を補完する）ものもこれに属する | | | | 69 |
| | B | 時間構造型 | ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ、空間に意味を持たすようにリンクしている | | | | 1 |
| | C | 平行移動型 | ウィンドウが特定の方向に流れ、連続的にリンクしている<br>（平行移動する性質を持つ） |  | | | 3 |
| 視野調節的リンク | D | 拡大･縮小型 | 特定の方向に広がったり、狭まったり連続的にリンクしている（拡大･縮小する性質がある）<br>吹き出しで絵を描いているタイプもこれに属する | | | | 38 |

### (2)　「2030 年の H 市未来予想絵図」の構図分析結果

ウィンドウの相互リンク分析後, 抽出されたウィンドウを絵図に戻し, 分布を調べた. その結果を以下に示す.

A.意味内容補完型リンク

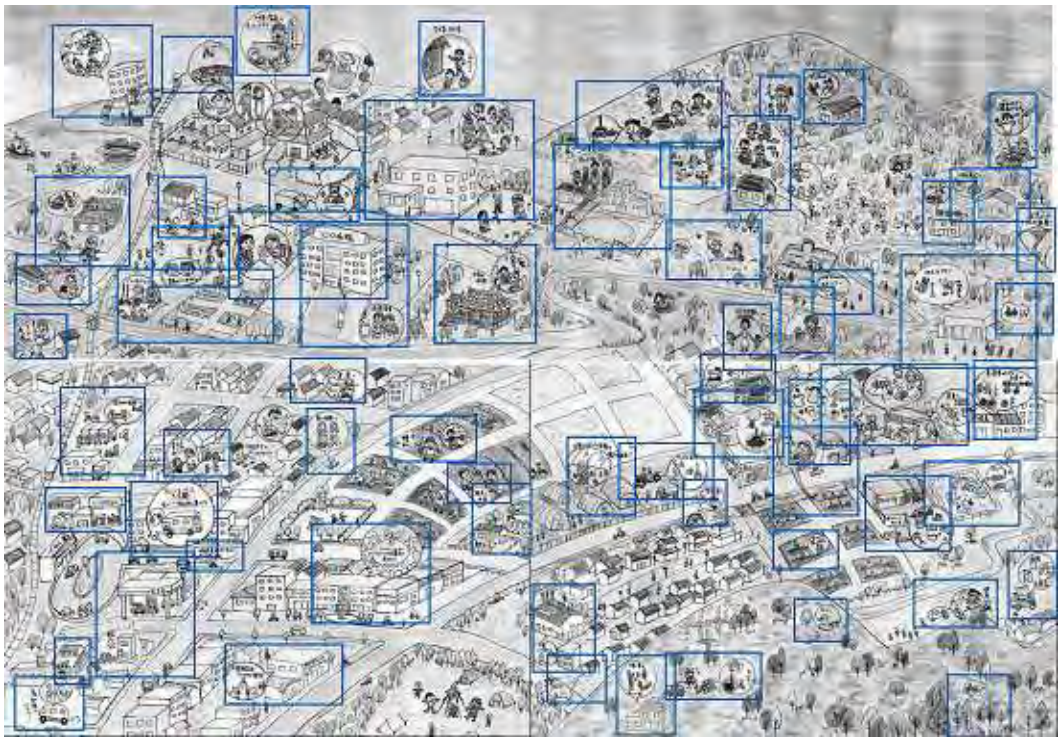


図 5-10　「2030 年の H 市未来予想絵図」意味内容補完型

画面全体に,「意味内容補完型リンク」が分布する形となった．これは，環境円卓会議で話し合われた内容をもとにして描かれた未来予想絵図だが，その内容の中には，言葉や吹き出しを用いても表せないものもあった．例えば「市内で使われているエネルギーの 10%が太陽光発電でまかなわれている未来」や「合計特殊出生率が 2.0 になって，子どもを育てやすい制度が整っている未来」や「事故や犯罪の数が激減している未来」などである．よって，この絵図には，制度の詳細や，割合，数量の増減,「○○がない様子」などは描かれていないのである．

B.時間構造型リンク

図 5-11　「2030 年の H 市未来予想絵図」時間構造型

「時間構造型リンク」は，絵図の右に一つある．右上の山は緑が多いのに対して，右下の山は木々は紅葉している．これは，四季の移り変わりという時間軸を表している．

C.平行移動型リンク

図 5-12　「2030 年の H 市未来予想絵図」平行移動型

「平行移動型」リンクは，山と学校，畑に見られた．木材集め→薪割り→運搬→薪ストーブへの利用という一連の流れが描かれている．学校から出ている吹き出しには，子どもが小学生→高校生まで成長する様子が描かれている．下の畑では，菜の花を栽培→菜種油を抽出→その BDF でトラクターを運転している様子が描かれている．このように動作の一連の流れや，対象の一連の成長を描いたもの，原料から製品をつくる過程を「平行移動型」に分類した．

D.拡大・縮小型リンク

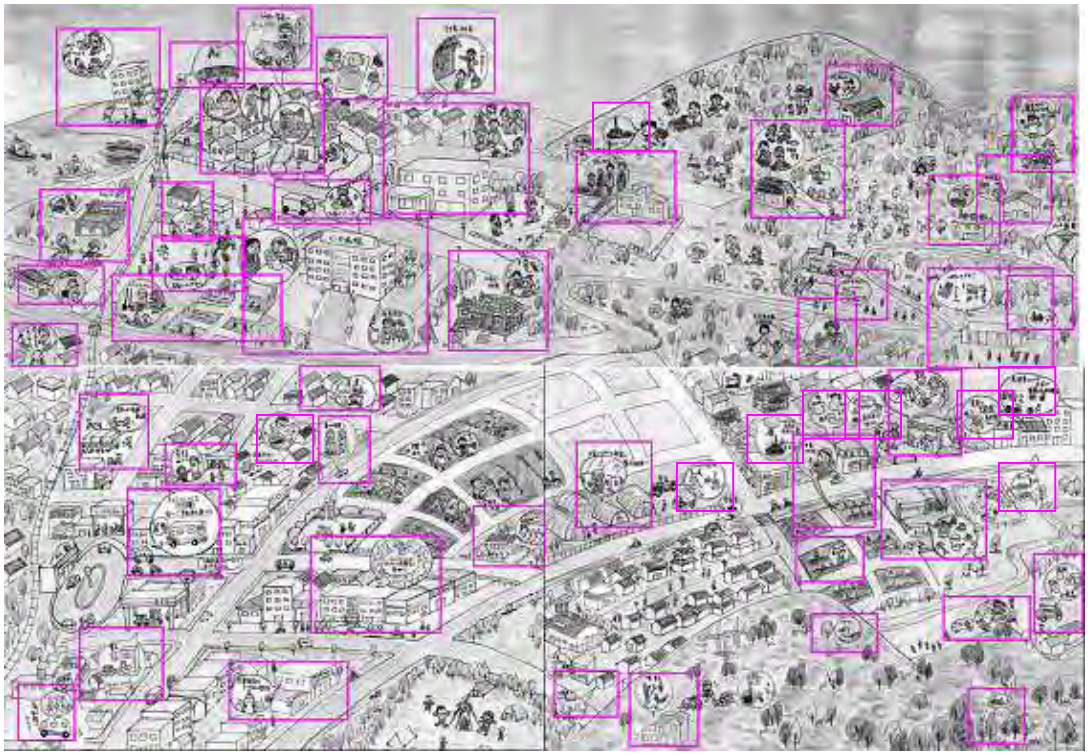


図 5-13　「2030 年の H 市未来予想絵図」拡大・縮小型

「拡大・縮小型」リンクは，対象とする全ての未来予想絵図の中で最も多くなっている．建物に関する説明をする絵は，ほとんどが吹き出しを用いて描かれている．これは，絵図を描く際に元にした「中間とりまとめ」の文書が具体的かつ複雑な内容で書かれているためである．それを再現するためには吹き出しを用いないと表現しきれないという点があった．例えば，絵図の左上に描かれた病院では，「安心して子どもを産める環境が整っている様子」と「入院している子ども達が勉強できる病児保育の様子」などが描かれている．

A.B.C.D.構図分析まとめ

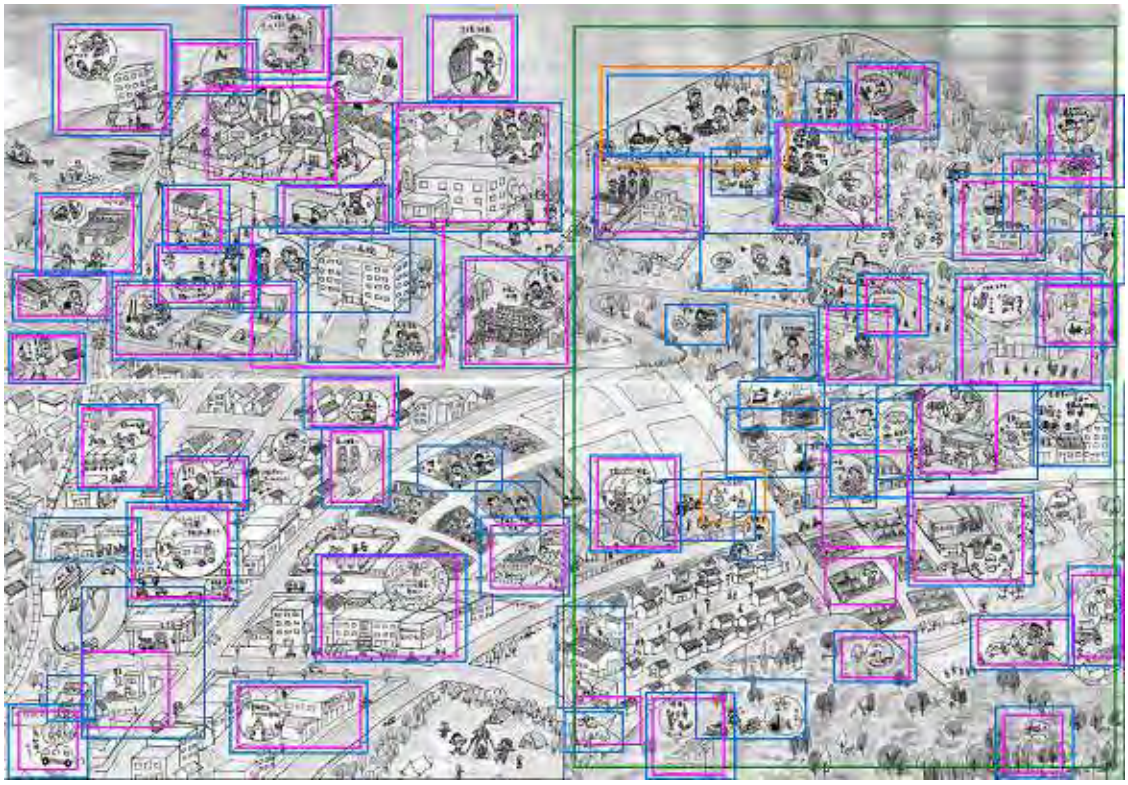


図 5-14　「2030 年の H 市未来予想絵図」構図まとめ

この絵図は8つの分野について4枚の絵図に分けて描き，一枚につなげたものである．そのため，画面全体にウィンドウがまんべんなく分布している絵図となった．この絵図も，平行移動型（オレンジ色）のウィンドウが 2 つ，時間構造型（緑色）が 1 つある以外は，ほとんど意味内容補完型（青色）と拡大・縮小型（ピンク色）のウィンドウが構成している絵図となった．これだけのウィンドウが，絵図全体にまんべんなく広がっていることは，この絵図が，4 回にも及ぶ会議で十分に話し合われた内容と，予想される二酸化炭素排出量の計算結果や，将来的な人口の増加など，科学的な裏づけによって作成された絵図であるからだと考える．

他の未来予想絵図は，生まれてから死ぬまでの人生に必要な要素が揃っておらず，書き込まれた内容に偏りのある内容となっていた．その点では，この H 市の未来予想絵図は，生活に必要な要素を網羅した内容の絵図であるといえるだろう．

## 5-4　「五環生活未来予想絵図」分析

(1)ウィンドウ相互リンク分析結果

「五環生活未来予想絵図」は「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」と同様，意味内容補完型リンクが最も多く，続いて拡大・縮小型リンクが多くなった．

意味内容補完型では，文字を用いて「お年寄りのベロタクシードライバー」であるということを補足説明した例や，古民家風の建物から出ている吹き出しに「No 携帯！」と書いてあるように，携帯に縛られずゆったりとした生活を送りたいという願いが込められているということが補足されている．

平行移動型には，蚕から糸をつむぎ，そこからさらに衣料品を生産するという一連の流れが描かれている一例と，大豆の栽培から，収穫した大豆で豆腐を作って皆で食べるという様子が描かれている一例がある．

拡大・縮小型リンクの一例では，バスの車内の様子を描き，自転車持込が可能な車両であるということが補足されている．

表 5-4　「五環生活未来予想絵図」ウィンドウの相互リンク例

| リンクの種類 | | | 特徴 | ウィンドウの一例 | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 論理構造的リンク | A | 意味内容補完型 | 言語とグラフィック、グラフィック同士などで、お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている<br>吹き出しで内容を補完している（バッグの中身・看板の文字・台詞で意味を補完する）ものもこれに属する | | | | 24 |
| | B | 時間構造型 | ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ、空間に意味を持たすようにリンクしている | | | | 0 |
| | C | 平行移動型 | ウィンドウが特定の方向に流れ、連続的にリンクしている<br>（平行移動する性質を持つ） | | | | 2 |
| 視野調節的リンク | D | 拡大・縮小型 | 特定の方向に広がったり、狭まったり連続的にリンクしている（拡大・縮小する性質がある）<br>吹き出しで絵を描いているタイプもこれに属する | | | | 15 |

(2) 「五環生活未来予想絵図」の構図分析結果

ウィンドウの相互リンク分析後, 抽出されたウィンドウを絵図に戻し, 分布を調べた. その結果を以下に示す.

A.意味内容補完型リンク

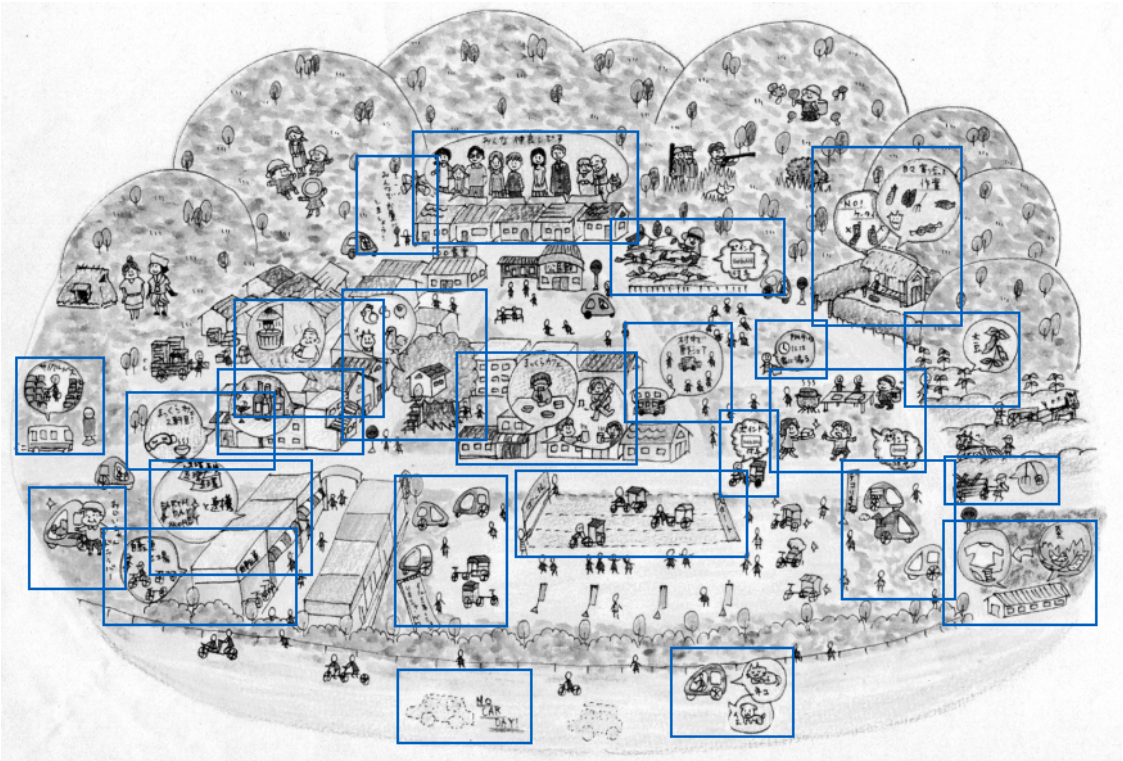


図 5-15 「五環生活未来予想絵図」意味内容補完型

絵図の中央，つまり市街地にリンクが多く分布している．五環生活が手がけているプロジェクトの舞台が，市街地に多くあるためである．

五環生活のプロジェクトに参加すると五環ポイントが貯まっていくという制度や，携帯電話を使う必要のない暮らし，「NO CAR DAY」など，未来予想絵図ではなかなか表現するのが難しかったアイディアが，多く描かれているのがこの未来予想絵図の特徴である．未来予想絵図は「今まであったものが未来にはなくなっているといい」という“なくなる”という表現や，制度のような抽象的なものを描くのには，あまり向いていないということがわかった．

B.時間構造型リンク…なし

C.平行移動型リンク

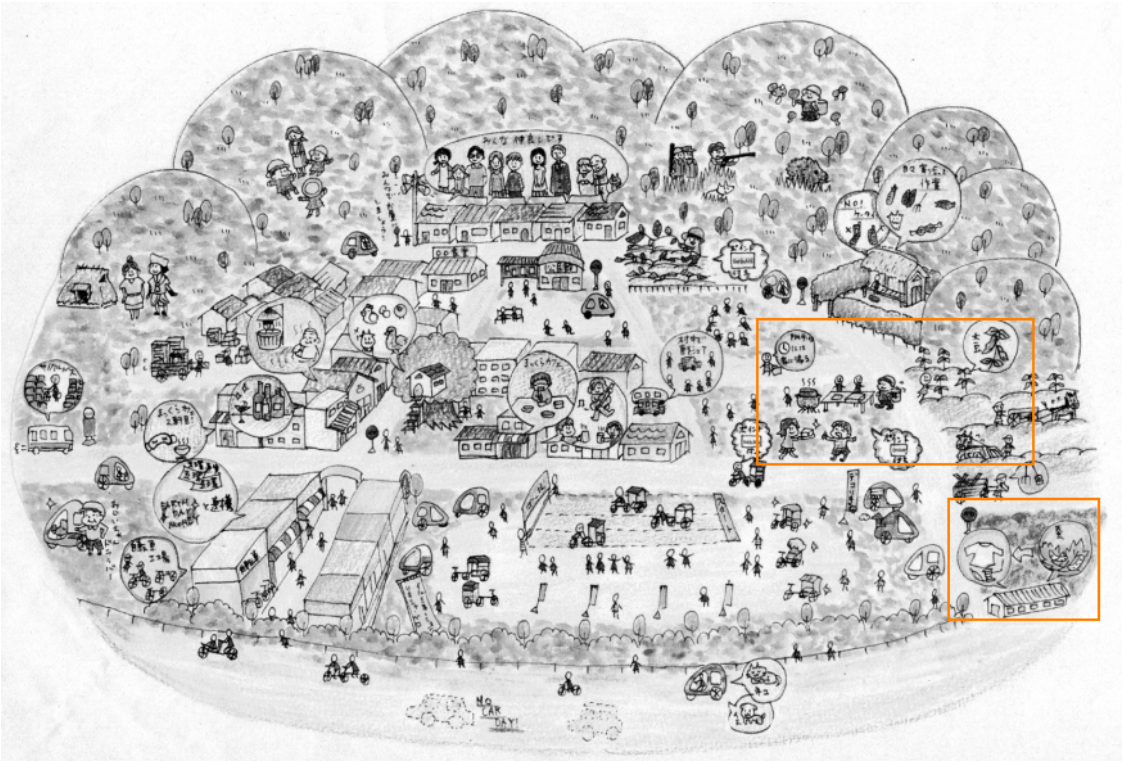


図 5-16　「五環生活未来予想絵図」平行移動型

「平行移動型」リンクは 2 つと少なかった．一つは，畑で育てた大豆を収穫して，自家製の豆腐を作って皆で食べようというプロジェクトの一連の流れを描いた絵，もう一つは，小屋で飼っている蚕から糸を紡いで衣料品に利用するという過程を描いた絵である．

D.拡大・縮小型リンク

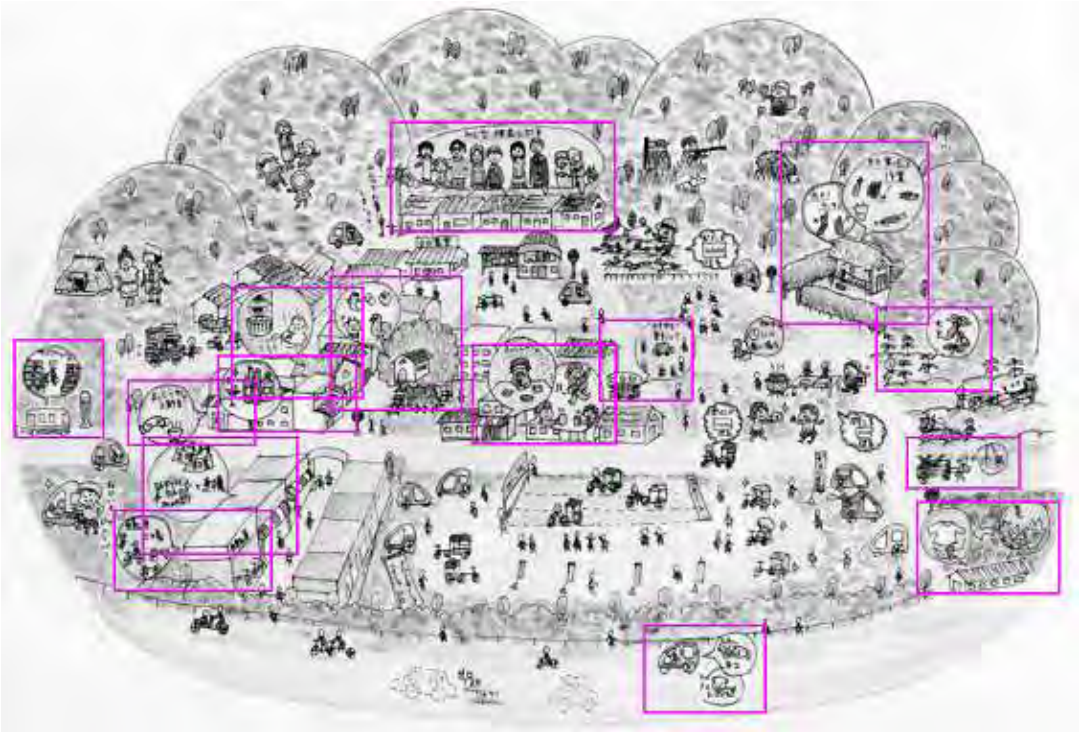


図 5-17　「五環生活未来予想絵図」拡大縮小型

この未来予想絵図も，他の絵図と同様に吹き出しを用いて細部を描いている「拡大・縮小型」リンクが多く，絵図全体に分布している．絵図の上部には，家が建ち並んでおり，そこから出ている吹き出しには，この家に住んでいる複数の家族同士が「仲が良い」という内容が補足されている．他にも銭湯の内部を描いたウィンドウや，まっくらカフェの様子を描いたウィンドウ，車内に自転車を持ち込めるバスなど，建物，乗り物の内部を描いたものも多い．

A.C.D.構図分析まとめ

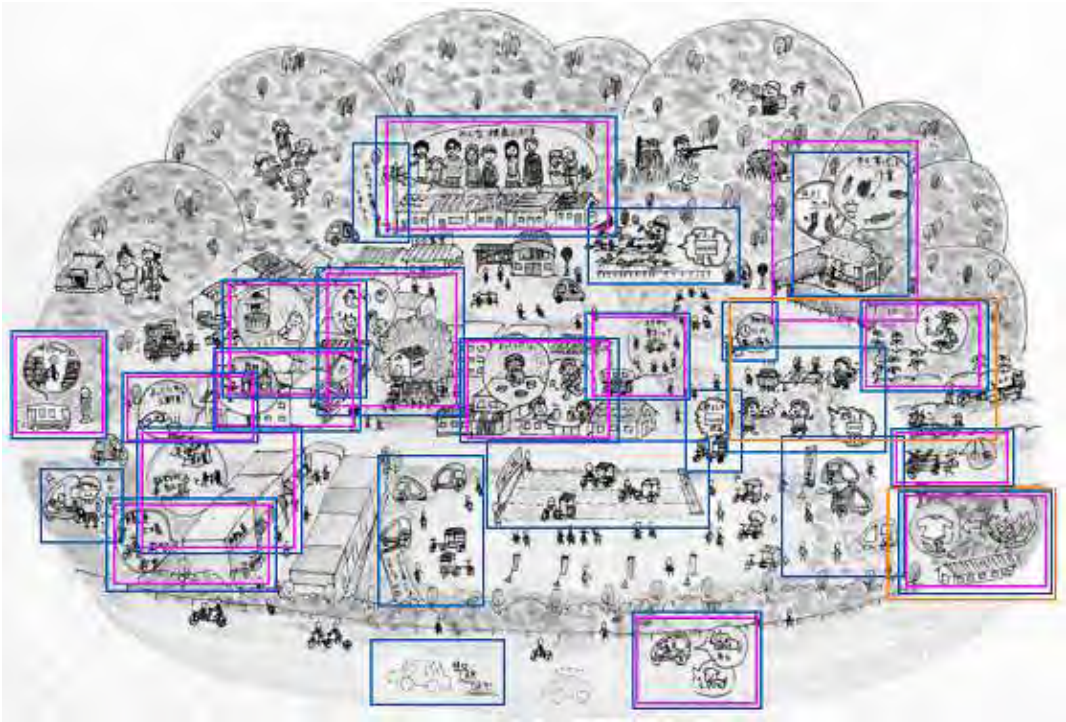


図 5-18　「五環生活未来予想絵図」構図まとめ

絵図の中間部，つまり市街地を中心に絵が集中している．これも「びわ湖・まるエコ・DAY2009 未来予想絵図」と同様，「意味内容補完型（青色）」と「拡大・縮小型（ピンク色）」の重なりが目立っている．

「平行移動型（オレンジ色）」が，右に二つある他は，絵図のほとんどが「意味内容補完型（青色）」と「拡大・縮小型（ピンク色）」のリンクで構成されている絵図であるということがわかる．

## 5-6　「南比良心象絵図」分析

### (1)ウィンドウ相互リンク分析結果

心象絵図は，未来予想絵図と大きく異なり，文字や吹き出しによる補足や，矢印を用いて一連の作業の流れを説明するようなウィンドウはない．よって，拡大縮小型リンクと平行移動型リンクは，南比良心象絵図には存在しないという結果になった．

絵図だけで理解しかねる絵には，絵解きで足りない情報を補うという方法をとっているため，意味内容補完型には「絵解き」を聞かないと内容を理解しきれないウィンドウを分類した．

また，過去といってもひとつの時代を描いているわけではないので，戦時中の出征の

様子が描かれたウィンドウもあれば，フローティングスクール「うみのこ」が琵琶湖を航行している様子も描かれている. 他の時間軸としては, 雪の降り積もった南比良の山々と収穫の時期の田の様子や，田植えの様子など，四季の移り変わりを描いた表現もあった．これらの条件に該当するウィンドウを時間構造型リンクに分類した.

その結果, 最も多いのは, 意味内容補完型リンク, 続いて時間構造型リンクになった. この絵図には 150 もの物語が眠っているので，ひとつのウィンドウの中に複数の物語, つまり「絵解き」があると考えられる.

表 5-5　「南比良心象絵図」ウィンドウの相互リンク例

| リンクの種類 | | | 特徴 | 追加条件 | ウィンドウの一例 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 論理構造的リンク | A | 意味内容補完型 | 言語とグラフィック、グラフィック同士などで、お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている | 「Ｔｏｐｉｃ」と絵解きがひとつとなって初めて全体像を理解できる絵図である。絵解きを聞いて初めて、その絵がどういうシーンなのか理解できるものをこのタイプに分類した | | 29 |
| | B | 時間構造型 | ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ、空間に意味を持たすようにリンクしている | 過去といっても、様々な時間軸が存在している。（※戦時中の出征のワンシーンがある一方で、下部の水辺近代的な舟が航行しているシーンがある）様々な時間軸が感じられるワンシーンをこのタイプに分類した。 | | 5 |
| | C | 平行移動型 | ウィンドウが特定の方向に流れ、連続的にリンクしている（平行移動する性質を持つ） | | | 0 |
| 視野調節的リンク | D | 拡大･縮小型 | 特定の方向に広がったり、狭まったり連続的にリンクしている（拡大･縮小する性質がある） | | | 0 |

(2)　「南比良心象絵図」の構図分析結果

ウィンドウの相互リンク分析後, 抽出されたウィンドウを絵図に戻し, 分布を調べた. その結果を以下に示す.

A.意味内容補完型リンク

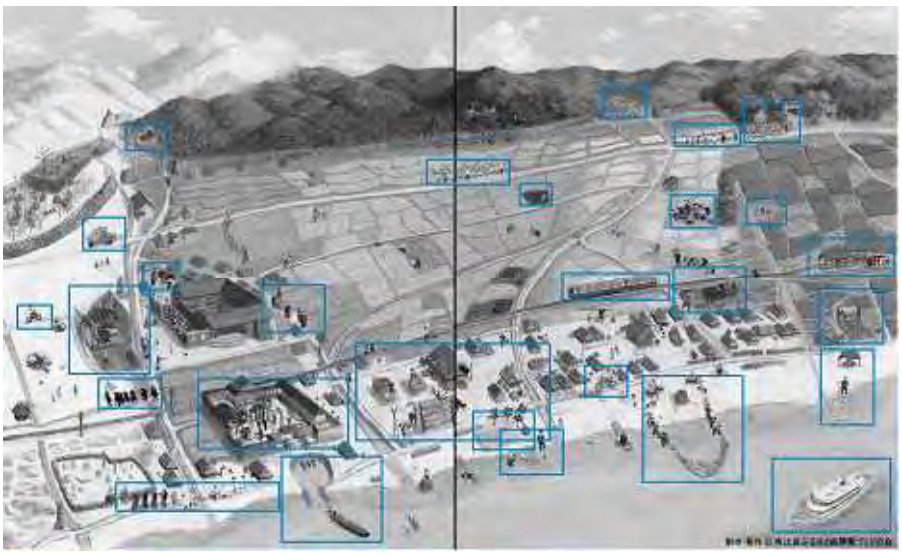


図 5-19　「南比良心象絵図」意味内容補完型

南比良心象絵図には，吹き出しや文字による内容の補完が見られない．その代わりに絵解きをおこない，絵図に描かれた昔の人々の暮らしぶりを紹介していく．その絵解きを聞かないと何をしている様子かわからない絵を「意味内容補完型」として分類した結果，画面下部を中心にリンクが分布するという結果になった．山や田んぼにはリンクが少ないことから，人々の記憶の中心が，自分たちの住まいの近くにあったことをあらわしている．この絵図には 150 もの物語が隠されており，一つ一つの絵に，複数の物語があるということがわかる．

B.時間構造型リンク

図 5-20　「南比良心象絵図」時間構造型

雪が降り積もった山や，田植えや稲刈りの様子から四季が描かれているということがわかった．絵図の一部分で四季の移り変わりや，月と太陽で一日の流れを表現していた未来予想絵図とは少し異なり，心象絵図では絵図一面を使って四季を表現している．

他の時間軸としては，戦争に行く人を村人たちが日章旗をあげて見送っている出征の様子や，電車，三輪の自動車，フローティングスクールとして今でも利用されている「うみのこ」が絵図のあちこちに描かれており，過去の複数の時間軸を表現している．

C.平行移動型リンク…なし

D.拡大・縮小型リンク…なし

A.B.構図分析まとめ

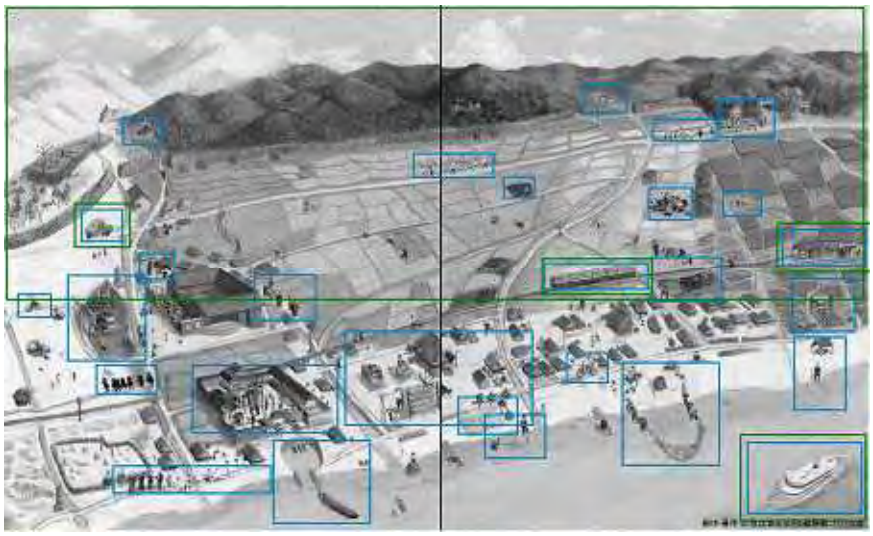


図 5-21　「南比良心象絵図」構図まとめ

意味内容補完型（青色）と時間構造型（緑色）で構成されているということがわかる．絵は下部の集落に集中しており，南比良の人々の記憶の多くは，居住区に残っていたということがわかる．琵琶湖に関する絵も多くあり，人々が昔から琵琶湖と密接にかかわりあいながら生活を送ってきたことがうかがえる．

また，この絵図には未来予想絵図にはない生老病死，冠婚葬祭の要素を持つ絵が描かれている．いずれも，人間の人生を表現する上で欠かせないものである．加えて，この絵図には，戦争や死といった人生における“負の面”も描かれている．こうした“戦争”や“死”“老い”や“貧困”といったマイナス面は，未来のまちの姿を描く未来予想絵図にはなかなか現れない表現である．こうした表現が見られる理由として，過去に実際に起こったリアルな出来事であるからこそ，過去を描く心象絵図のワンシーンとして描かれたのではないかと考えられる．

## 5-7　那智参詣曼荼羅図」分析

### (1)ウィンドウ相互リンク分析結果

「那智参詣曼荼羅図」のウィンドウ相互分析をする際に，分類の条件を増やして分類を行った．この絵図には，言葉や吹き出しによる補足がないので，心象絵図と同様に絵解きがないと意味を理解できないような絵を意味内容補完型に分類した．

時間構造型には，本来ならその場にいるはずのない歴史上の人物や，龍や鬼，死後の世界など，現実世界には存在しない異世界の生物を別次元の時間軸としてとらえて分類した．他にも，寺社の建立当初の様子が描かれているシーンを分類した．

その結果，意味内容補完型が多くあり，続いて時間構造型が多かった．未来予想絵図では多かった拡大・縮小型リンクは 1 つにとどまった．また，平行移動型への該当はひとつもなしという結果になった．

これらのことから，那智参詣曼荼羅図のひとつひとつの絵には，意味を含んだテクストがつまっており，現実世界にはありえない事象が多々起こっていることから，ひとつの絵図の中に複数の時間軸，複数の世界がある絵図であるということがわかった．

表 5-6　「那智参詣曼荼羅図」ウィンドウの相互リンク例

| リンクの種類 | | | 特徴 | 追加条件 | ウィンドウの一例 | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 論理構造的リンク | A | 意味内容補完型 | 言語とグラフィック、グラフィック同士などで、お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている | 参詣曼荼羅図に描かれる絵にはそれぞれ説話がある<br>それを聞いて初めてどういうシーンなのか理解できるものをこのタイプに分類した | | | | 30 |
| | B | 時間構造型 | ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ、空間に意味を持たすようにリンクしている | 歴史上の人物を描いたシーンや、現実には存在しえないものや異界を描いたシーンも対象にいれた | | | | 7 |
| | C | 平行移動型 | ウィンドウが特定の方向に流れ、連続的にリンクしている<br>（平行移動する性質を持つ） | | | | | 0 |
| 視野調節的リンク | D | 拡大・縮小型 | 特定の方向に広がったり、狭まったり連続的にリンクしている<br>（拡大・縮小する性質がある） | | | | | 1 |

### (2)　「那智参詣曼荼羅図」の構図分析結果

ウィンドウの相互リンク分析後, 抽出されたウィンドウを絵図に戻し, 分布を調べた．その結果を以下に示す．

A.意味内容補完型リンク

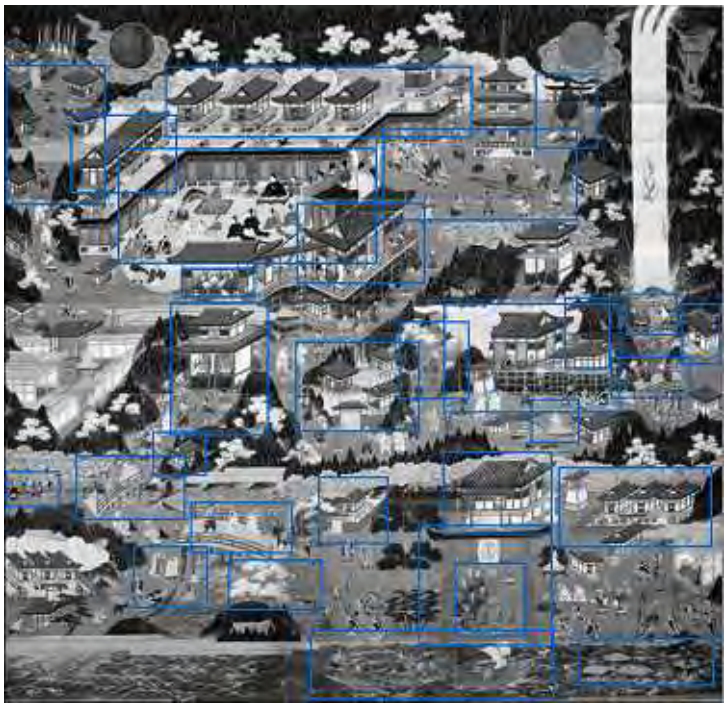


図 5-22　「那智参詣曼荼羅図」意味内容補完型

「意味内容補完型」のリンクを分類する際に，絵解きがないと内容を理解できない絵も対象にすると新しく条件を付け加えた.「那智参詣曼荼羅図」は，参詣の様子を道なりに辿って見ていく絵図である. よって, ウィンドウは絵図全体に満遍なく分布している. 参詣する前に，川に入って体を清めている人や，絵図の下部には，鳥居のついた補陀洛渡海の船が見られる．補陀洛渡海とは，出口のない船に僧侶が乗り込み補陀洛浄土へ行く儀式のことである．このように絵解きを読まないと，絵の本当の物語を理解できない絵がたくさんある．那智参詣曼荼羅図は，この地が霊験あらたかなことを示すために比丘尼たちが各地域で曼荼羅を見せながら絵解きをしていたということなので，この参詣曼荼羅図は，絵解きあってこその絵図なのだろうと考えられる.

B.時間構造型リンク

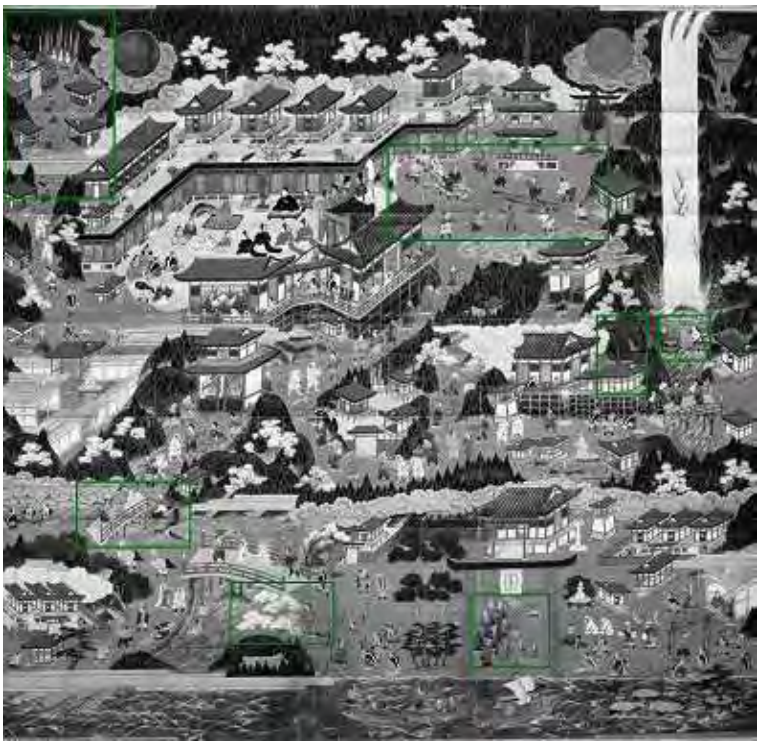


図 5-23　「那智参詣曼荼羅図」時間構造型

四季や一日の流れといった時間軸ではなく，同時に存在するはずのない歴史上の人物や．現実世界にはありえないこと，異世界を描いたものを「時間構造型」リンクに分類した．例えば，絵図下部の鳥居には補陀洛渡海に向かう平維盛が，桜の木の下には和泉式部がいるなど，歴史上の人物が見られる．他は，川から龍が顔をだしている場面や，滝でおぼれかけた人を助ける二人の童子など，現実世界には存在しえないものが描かれている．また，絵図の左上には，死後の世界が描かれるなど，異世界の様子も描かれている．こうした点で，未来予想絵図とはまた違うが，複数の時間軸と，複数の世界が見られている．

C.平行移動型リンク…なし

D.拡大・縮小型リンク

図 5-24　「那智参詣曼荼羅図」拡大・縮小型

「拡大・縮小型」リンクは，絵図右下に一つだけ見られた．この四つの島のうち一番右の木の生えている島は山成島といい，かつて平維盛が入水した島である．平維盛は，すぐ上にある大きな鳥居の一行の中にいる．

山成島の左隣が綱切島である．ここで補陀洛渡海に向かう僧侶の乗った船の綱を切った．そしてさらにその隣が金光坊島である．昔，金光坊という僧侶が補陀洛渡海を嫌がったため，この島で殺されてしまったという逸話が残っている． 一番手前が補陀洛渡海の帆を上げた帆立島である．このように，描かれているのは島といっても，小さな岩場にすぎない．このように明らかに島のスケールを縮小して描いているため，「拡大・縮小型」リンクに分類した．

A.B.C.D.構図分析まとめ

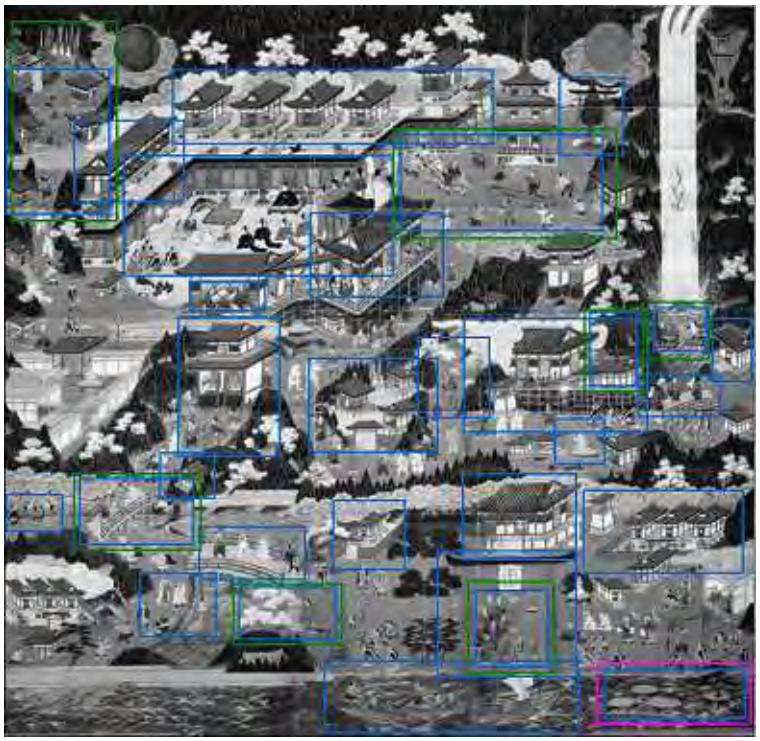


図 5-25　「那智参詣曼荼羅図」構図まとめ

参拝客が，参詣のために通る道に沿って，ウィンドウが分布していることがわかる．右下に拡大・縮小型のリンクがある以外は，意味内容補完型（青色）と時間構造型（緑色）で構成されている．参詣曼荼羅図は，いかにこの地が霊験豊かな場所であるかを知らせるために描かれた絵図でもあるので，時間構造型に分類されるような現実世界にはありえないような内容が多く描かれているのは不思議ではない．

## 5-8　「洛中洛外図屏風」分析

(1)ウィンドウ相互リンク分析結果

ウィンドウのリンク相互分析をするにあたって，洛中洛外図屏風は未来予想絵図と異なりすぎていて，新しい分類を二つ設けなくては分類しきれなかった．そこで，新たに分類を二つもうけて特徴を見ることとした．洛中洛外図屏風には，現在でも残っている京都の名所である建造物が多く描かれている．これらを京都独自の建造物ということで「地域特性型」と名づけた．またもうひとつ大きな要素として，人々の暮らしぶりを描いたウィンドウが多く見られた．これを「日常風景型」とした．

その結果，この絵図には意味内容補完型と拡大・縮小型はなかった．視野の調節には雲を用いた「逃げ」の表現が使われている．

時間構造型には，季節の行事を分類した．洛中洛外図屏風では，描かれた行事によっ

て様々な季節が存在することがうかがえた．また，平行移動型は 2 つと決して多くはないが，紙漉きの様子と稲の収穫と脱穀の一連の流れを描いた絵を分類した．

洛中洛外図屏風でもっとも多いのは，地域特性型の絵である．洛中洛外図屏風は，政治的な要素を強くもっているという面があり，有力者たちが自分の力を示すために，自身の屋敷を大きく描いたり，寺社仏閣を多く描いたりしたと考えられている．これが，建造物が多く描かれている一つの理由であると考えられる．

地域特性型に続いて，多いのは日常風景型である．洛中洛外図屏風には，農民から商人，武士，公家，僧侶にいたるまで様々な人が描かれている．そうした人々の日常風景を描いた絵は，当時の暮らしぶりを知るためにも重要な意味を持った絵である．

表 5-7　「洛中洛外図屏風」ウィンドウの相互リンク例

| リンクの種類 | | | 特徴 | 追加条件 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 論理構造的リンク | A | 意味内容補完型 | 言語とグラフィック、グラフィック同士などで、お互いに不十分な情報を補完しあうためリンクしている | | | | | 0 |
| | B | 時間構造型 | ウィンドウ同士が時間的な関係で結ばれ、空間に意味を持たすようにリンクしている | 端午の節句の様子や、盆の行事の様子、祇園祭りの様子など、様々な季節が描かれているので、そうした日日常的なワンシーンを対象にいれた | | | | 11 |
| | C | 平行移動型 | ウィンドウが特定の方向に流れ、連続的にリンクしている（平行移動する性質を持つ） | 一連の作業の流れを描いている絵も対象にいれた | | | | 2 |
| 視野調節的リンク | D | 拡大･縮小型 | 特定の方向に広がったり、狭まったり連続的にリンクしている（拡大･縮小する性質がある） | | | | | 0 |
| | E | 地域特性型 | 洛中洛外図は、京都の名所や建造物を多く描いている。この分類では、名前がわかる建造物を対象に入れた。 | | | | | 26 |
| | F | 日常風景型 | 絵図に描かれた人々の生活が伺えるような絵を対象にいれた行事のワンシーンと思われる絵は対象にしていない。 | | | | | 14 |

(2)　「洛中洛外図屏風」の構図分析結果

ウィンドウの相互リンク分析後, 抽出されたウィンドウを絵図に戻し, 分布を調べた．その結果を以下に示す．

A.意味内容補完型リンク

図 5-26　「洛中洛外図屏風」時間構造型

洛中洛外図屏風には，数々の年中行事が描かれている．元旦に左上にある紫雲殿の庭でおこなわれる宴の様子や，軒先に邪気払いのための菖蒲が吊るされている端午の節句の様子，祇園祭の山鉾，お盆の様子，蒸し暑い夏に川のほとりで涼んでいる人，川にはいって鮎をとっている人など，四季折々の行事や暮らしが描かれている．このように季節の行事で季節を表している「時間構造型」リンクは，この洛中洛外図屏風だけである．

行事や祭りといった非日常的なイベント事は，未来の日常生活を描いている未来予想絵図にはあまり描かれていない．一方，心象絵図には冠婚葬祭といった行事が描かれている．このように，心象絵図や洛中洛外図屏風など，過去に実際にあった出来事は絵図に多く描かれている．祭りや冠婚葬祭は，非日常的なものゆえに，人々の記憶に印象深く刻まれているのではないだろうか．一方で，未来予想絵図のような不確定な未来を描く絵図には，非日常的はあまり描かれない傾向があるのではないかと考えられる．

B.時間構造型リンク

図 5-27　「洛中洛外図屏風」平行移動型

「平行移動型」は絵図の中に二つだけ見られた．左上では，稲刈りと脱穀の作業風景が，右下では紙屋で紙漉きをしており，漉きあがった紙を運んだり，乾燥させたりしている様子が描かれている．

C.平行移動型リンク…なし

D.拡大・縮小型リンク…なし

E.地域特性型

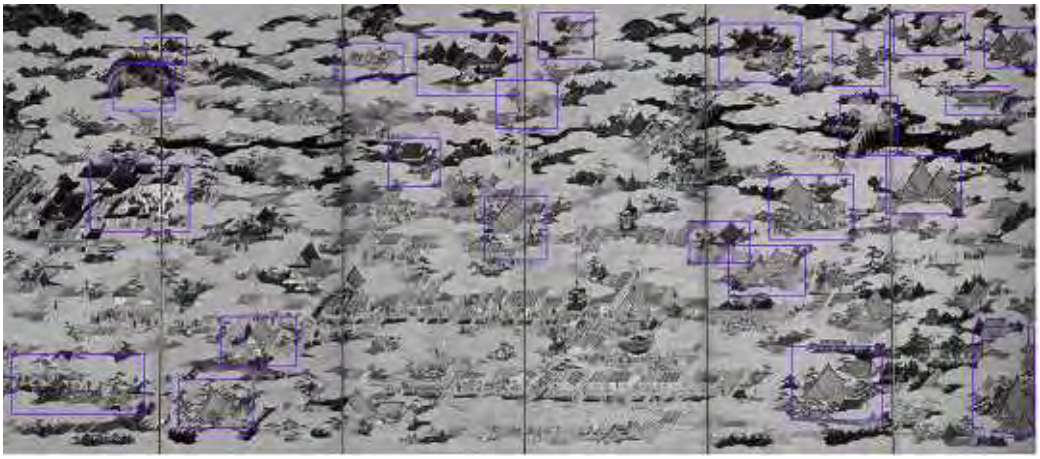


図 5-28　「洛中洛外図屏風」地域特性型

「地域特性型」リンクは非常に多く存在した．洛中洛外図屏風は，京都の名所や寺社仏閣を多く描いているためである．リンクの分布にも特徴があり，絵図の下部にある市街地を囲むように配置されていることがわかる．特に右には寺社仏閣が多くある．ほかにも，天皇や貴族の屋敷などが描かれており，この屏風絵には政治的な背景があったことも伺える．

F.日常風景型

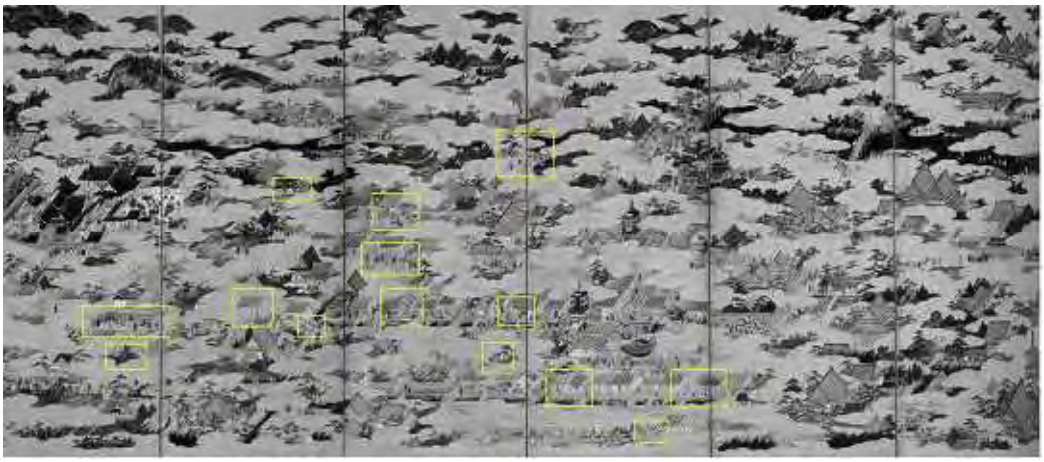


図 5-29　「洛中洛外図屏風」日常風景型

京都の人々の生活の様子を描いた「日常風景型」は，絵図の中心付近の市街地にかたまって存在していた．市中には，振り売りと呼ばれる商人や髪結い処，有名な医師の診療所に並ぶ多くの人々など，当時京都に住んでいた人々の生活をうかがうことができる．このように医療に関する絵や商業や農業，手工業に関する絵が描かれているのは，未来予想絵図にも必要な視点である．洛中洛外図屏風には，人々がどのように生き，何をして働いて家族を養っていたか，そして病気の際には診察を受け，死んだ人を弔う行事をお盆に行うという，人間の一生に必要不可欠な要素が漏れ落ちなく描きこまれている．

A.B.E.F 構図分析まとめ

図 5-30　「洛中洛外図屏風」構図まとめ

「地域特性型」（紫色）が上部と下部の左右に分布しており，それを囲むように下部の中心付近に「日常風景型」（黄色）が分布している．そのほか時間構造型（緑色）は，絵図の祇園祭の様子を描いた部分に大きく分布している．

洛中洛外図屏風は，寺社仏閣と，人々の日常風景の二つで構成されている絵図といっていいだろう．

### 5-9　未来予想絵図と他絵図の絵図分析の比較・考察

・吹き出しによる細部の拡大は未来予想絵図以外の絵図にはほとんど見られない
・文章による内容の補足も未来予想絵図以外の絵図にはほとんど見られない
・未来予想絵図は，南比良心象絵図や洛中洛外図屏風ほど対象地域の地域性が出ない
・未来予想絵図には，宗教的な絵はほとんど描かれない
・未来予想絵図に存在する時間軸は，昼→夜といった一日の流れや四季といった時間軸がほとんど
・H 市の未来予想絵図は，4 枚の絵図に 8 分野の内容を書き込んだので，絵図全面にリンクが分布している
・時間構造型，平行移動型，拡大縮小型は絵図によっては存在しなかった

全ての未来予想絵図に共通して「意味内容補完型リンク」と「拡大・縮小型リンク」は数多く見られる．また，吹き出しを用いて内容を補完しているものは，この両方に属するタイプとして分類しているので，必然的に「意味内容補完型リンク」と「拡大・縮小型リンク」の重なりが多くなっているのも未来予想絵図の特徴である．

未来予想絵図との比較をした「南比良心象絵図」と「那智参詣曼荼羅図」と「洛中洛外図屏風」には，いずれも文章による内容の補足や吹き出しを用いた拡大や，縮小はほとんど見られなかった. 例外としては洛中洛外図屏風に描かれた寺社仏閣の名称の記述，本来は人が住んでいるサイズの大きな島が，絵のスペースの都合上小さく書かれていた例が見られた二例だけであった．

また，洛中洛外図屏風では，京都の名所や有名な寺社仏閣が絵図の一面に描かれていたが，未来予想絵図は，対象地域があったとしても，その地域の地域特性は，洛中洛外図屏風ほど色濃くはでていない．地域性が出ている要素として最も代表的なものは琵琶湖くらいである．また寺社仏閣に関係する話だが，未来予想絵図には，宗教的な絵はほとんど描かれていない．こうしたローカル性の少なさや，宗教関連の絵の少なさも現代人の日常生活を反映しており，こうした点も未来予想絵図の特徴である．

これらの結果をまとめると，未来予想絵図は，文章による補足，細部の拡大が必要不可欠な絵図であり，それなしには，絵図に描かれた全ての内容を伝えきることができない．また，未来予想絵図には複数の時間軸が同一画面上に描かれており，様々な時間軸の”未来”を多元的に描き出すことができる絵図である．

## 第六章　H市における「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査結果

### 6-1　アンケート集計結果

アンケートの対象人数，アンケートの有効回答数，アンケートの回収率は以下のような結果になった．

表 6-1　アンケート集計結果

| 会議への参加･非参加 | アンケート対象者 | アンケート対象人数 | アンケート有効回答数 | アンケート回収率 |
|---|---|---|---|---|
| 参加者 | H市環境円卓委員 | 26 | 9 | 35% |
| | ファシリテーター | 10 | 3 | 30% |
| | 小計 | 36 | 12 | 33% |
| 非参加者 | H市役所職員 | 20 | 10 | 50% |
| | 滋賀県立大学環境科学部環境政策学科一 | 40 | 39 | 98% |
| | まちづくり協議会 | 22 | 18 | 82% |
| | 小計 | 82 | 67 | 82% |
| 全体集計 | 合計 | 118 | 79 | 67% |

#### 6-1-1　回答者の属性について

アンケート回答から回答者の年齢の分布を集計した．図 6-1 はアンケート回答者の世代分布である．

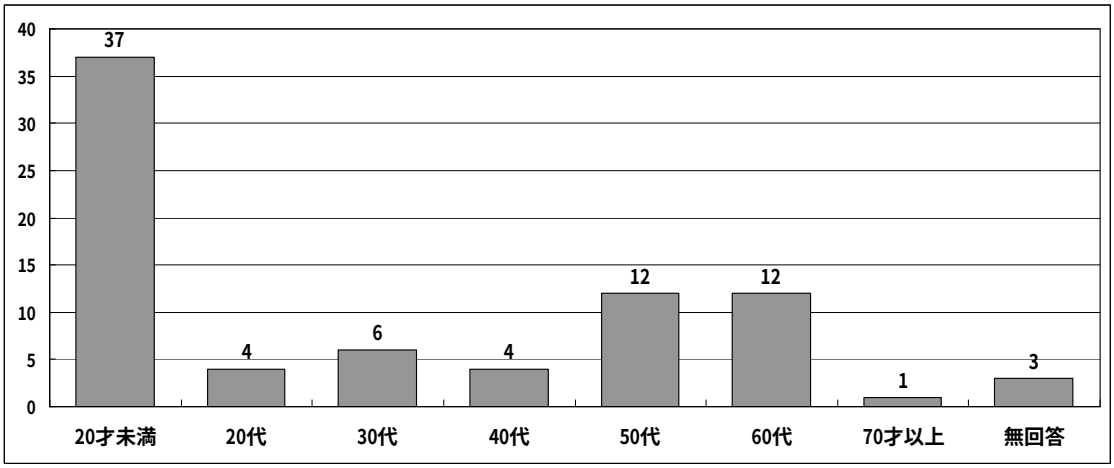



図 6-1　アンケート回答者の世代分布（n=79）

20 才未満が多いのは，滋賀県立大学の環境科学部の一回生 39 名（うち 2 名の学生は 20 代）を対象にしたからである．続いて 50 代～60 代の回答者が多い結果になった．20

才未満から 70 才以上までそれぞれ回答者が一人はいるので, 幅広い年代に意見を聞くことができた．年代によって，文書・絵図に対する理解度に差異が生じるか比較する．

アンケート回答者の世代と性別についてクロス集計を行い, 平均年齢を出した. 次に, アンケート回答者の男女の割合と男女の平均年齢と，アンケート回答者の計画書策定段階への参加・非参加の割合，アンケート回答者の回答順序の割合について以下にまとめた．なお，アンケート回答者の計画策定段階とは，H 市でおこなわれた，2030 年の H 市の未来を考える環境円卓会議に委員やファシリテーター，市役所職員として参加した人は「参加」とする．まちづくり協議会や，会議に参加しなかった市役所職員，滋賀県立大学の学生は「非参加」とする．

表 6-2　アンケート回答者の男女割合と平均年齢

| | 人数 | 割合 | 平均 |
|---|---|---|---|
| 男 | 54人 | 71% | 35.9歳 |
| 女 | 22人 | 29% | 25.27歳 |
| 合計 | 76人 | 100% | 30.6歳 |

表 6-3　アンケート回答者の計画の策定段階への参加・非参加の割合

| | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| 参加 | 12人 | 15% |
| 非参加 | 67人 | 85% |
| 合計 | 79人 | 100% |

表 6-4　アンケート回答者の回答順序の割合

| | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| 回答順A＜文書→絵図＞ | 42 | 53% |
| 回答順B＜絵図→文書＞ | 37 | 47% |
| 合計 | 79 | 100% |

表 6-2 を見ると，アンケートの回答者は，女性の方が，男性よりも平均年齢がかなり若いということがわかった．これは円卓委員・ファシリテーター・市役所職員・まちづくり協議会の回答者に女性が少なく，また女性の回答者の半数以上が学生だからである．「アンケート回答者の男女比率」は，男性が全体の 7 割を占めていることがわかる．H 市環境円卓委員や，H 市役所職員，まちづくり協議会など，男性の多い場でアンケートを行ったためである．

表 6-3 の「アンケート回答者の計画書策定段階への参加・非参加の割合」では，非参加者が全体の 85%を占めている．参加者（H 市環境円卓委員とファシリテーター）の回答が想定していたより集まらなかったためである．

表 6-4 の「アンケート回答者の回答順序の割合」では，回答順 A・回答順 B の割合は 53%と 47%とほぼ半々になった．

## 6-2　アンケート調査結果の分析＜全体集計＞

全体集計結果

■「1.気に入った点に直線 or○を書いてください」

■「2.よくわからなかった点，疑問に思った点に点線 or□を書いてください」

表 6-5　【全体集計】質問項目 1.と質問項目 2.の回答結果

| 質問番号 | 1 | 2 |
|---|---|---|
| 質問項目 | 気に入った点に直線or○を書いてください | よくわからなかった点、疑問に思った点に点線or□を書いてください |
| 文書版アンケート回答 | 平均…19.1ヶ所 | 平均…9.1ヶ所 |
| 絵図版アンケート回答 | 平均…8ヶ所 | 平均…2.9ヶ所 |

質問項目「1.気に入った点に直線 or○を書いてください」と「2.よくわからなかった点，疑問に思った点に点線 or□を書いてください」の結果を比較すると，文書版の方が絵図版よりも，「気に入った点」「よくわからなかった点」ともに多いということがわかる．これは，文書版は全 5 ページと情報量が多かったことが理由に考えられる．また，「よくわからなかった点」が多かった理由の一つとして，「中間とりまとめ文書」を編集した際，絵図に関係する記述以外を消去した結果，文章に矛盾が生じたり，説明不足になったりしたのではないかと考えられる．また，これは計画書の策定段階に参加した人でないと，誤解を生むような表現（例：ピンピンコロリで死にたい＝生涯元気でありたいという願い）が使われていたり，専門的な用語（SOHO，クライネガルデン，BDF など）が多用されていたりしたのも理由の一つであると考えられる．

■　「3.どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」

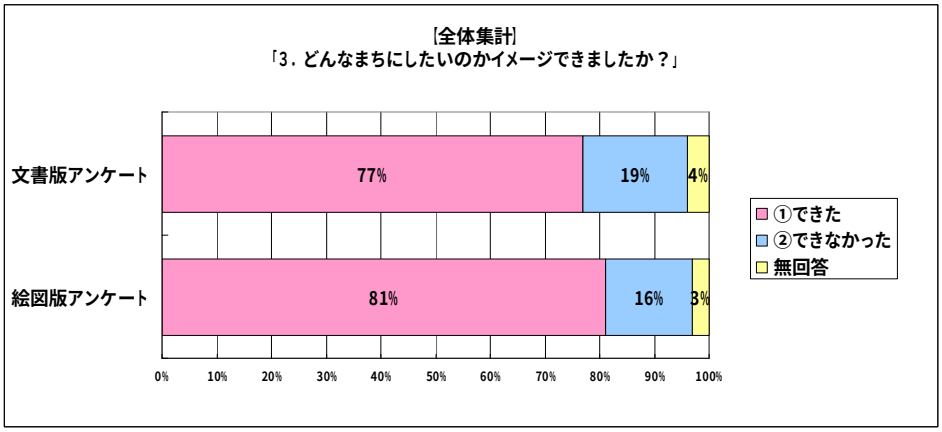



図 6-2　【全体集計】質問項目 3.の回答結果

文書版と絵図版の「3.どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」という項目の結果は，文書・絵図ともほぼ同じになった．よって，文書版でも絵図版でもどういうまちにしたいのかという意図は読み取れるものであると考えられる．
また「3.どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」に加えて「3-1.それはどんなまちですか？」という質問項目を設けた．その結果を表 6-6 に示す．
■「3-1.それはどんなまちですか？」

表 6-6　【全体集計】「3-1.それはどんなまちですか？」記述回答結果

| 番号 | 文書版アンケート<br>3<br>どんなまちですか? | 絵図版アンケート<br>3<br>どんなまちですか? |
|---|---|---|
| 1 | 地域内で自給自足できるまちをねらいとしているのかも | 楽しいまちの生活 |
| 2 | 石油文化が低下し、エネルギーの置き換えで社会コストは大幅に上昇。子育て費用や高齢化対策・費用を地域が負担 | 暮らしぶりは理解できるが都市規模がイメージできない<br>例えば、人口や商工業の規模 |
| 3 | 化石燃料が新たなエネルギーを使用しながら環境を大切にしつつ、相互扶助を適して豊かな地域をつくる | 活気のある楽しいまち |
| 4 | 少ない資源を大切に扱うまち | 人々の生き生きとした生活 |
| 5 | 地域循環型の社会として成熟しており、人・モノ・金が地域で還流するまち | 地域のつながりが強い |
| 6 | 高齢化社会で、新しい産業が発展しているまち | 環境にやさしい、住民どうしの絆が強いまち |
| 7 | 地域のネットワークが充実しており、かつ市民と市も協力しあっている | 環境を重点においた、住民同士がコミュニケーションをとって暮らすまち |
| 8 | 技術の発展だけでなく、地域のつながりを重視した今とは全く違った新しいまち | 活気のある人々が支えあうまち |
| 9 | 自給自足型コンパクトシティ | 環境学習がおこなわれ環境問題にとりくんでいて、また地域の人と人との関わりが深い町 |
| 10 | コミュニティ、医療福祉、教育、雇用どれにおいてもしっかりしているまち | 地元の人々がみんな仲良く暮らせるまち<br>エコに関しても真剣に取り組んでいるまち |
| 11 | 休耕田の活用が進むことは、町の活性化となる | 環境が優しい町、人と人が支えあっている町 |
| 12 | 物が地域内で循環し、クリーンエネルギーが増えるなど、CO2排出が低い（低炭素社会） | 人と人のつながりが濃いまち |
| 13 | 第一次産業を中心に地域で助け合うまちづくり | 人とのつながりを大切にしたまち<br>自然と共存をするまち |
| 14 | エネルギーについては資源がないのでもっと有効活用（自然）のが進んでいると思われる<br>子どもの勝しかがやはり心配され、外国からの労働力に頼るのではないか<br>高齢化は現在より緩和されているのでは<br>日本の人口減→生産人口の減少 | 各世代の人々が自分らしく生き生きと暮らしている自然豊かなエコなまち |
| 15 | 子どもから高齢者までが一緒に安心して暮らせる医療・福祉の整ったまち<br>環境に配慮し、自然エネルギーも生かしたエコのまち<br>自然豊かな地産地消の安心したまち<br>生き生きと暮らせる雇用創出のまち | 自然との共生のまち<br>人と人が支えあうまち<br>コミュニケーションがあるまち |

文書版アンケートの回答は，自給自足の生活や，産業，雇用，費用，技術の発展，といったキーワードが多く見られた．絵図版アンケートの回答には，つながり，絆，コミュニケーション，支えあい，楽しい，生き生きとした，自分らしく，というキーワードが多く見られた．

このことから，「未来予想ものがたり」（＝文書）を読んでイメージする未来の姿は「制度がしっかりしており，生きていくのに必要な社会分野が充実しているまち」あるいは「技術の進歩により生活が豊かになっているまち」であると考えられる．文書は，システム面やハード・ソフト面の将来像をイメージしやすくする．

逆に「未来予想絵図」を見てイメージする未来の姿は，つながりや絆，生き生きとした生き方など，あいまいで抽象的な表現が多く使われている．目には見えないもの，人の心に関係するもの，つまりハート面の内容は未来予想絵図の方がイメージしやすくすると考えられる．

■ 「4.あなたは，どこで，なにをしていますか？」

「4.あなたは，どこで，なにをしていますか？」に対する記述回答の結果を表 6-7 にまとめ,「未来予想ものがたり」「未来予想絵図」にかかれているキーワードを赤字にした.

その結果，絵図版アンケートの方が，絵図中に描かれているキーワードを利用して，「どこで，なにをしているか」を述べていた回答が多くあった．未来予想絵図は，空間をわかりやすく描き出すことができるので，具体的に場所をイメージし，そこで何をしているのか考えやすかったと考えられる.

また，文書版アンケートの回答にも，文書の中に使われているキーワードを使っている回答が多くあったが，中には文章の意味や用語の意味をわからずに使っているのではないかと思われる記述（SOHO で働いている，海で釣りをしている等）や「家にいる」「畑で農業している」「森で遊んでいる」といった，絵図にも文書にもあまり関連づけて回答したのではないと思われるものも多くあり，文書のキーワードをつなげて考えることのできていた回答は全体の半分程度であった.

つまり，文書よりも，絵図の方が，キーワードをからめて具体的にストーリーをイメージしやすいと言える.

## 表 6-7　「4.あなたは，どこで，なにをしていますか？」記述回答結果

| 番号 | 文書版アンケート 4.あなたは，未来のまちのどこで何をしていますか? どこで | 何を？ |
|---|---|---|
| 1 | 小規模な介護施設で | 高齢者のみにこだわらず、色々な人たちと一緒に相互に助け合う活動に取り組んでいる |
| 2 | 休耕田で | 菜の花栽培をしている |
| 3 | 市民農園で | 孫に食育している |
| 4 | 畑で | 野菜を作り、育て地産地消をしている |
| 5 | 山で | 体験学習をしている |
| 6 | 山で | 里山整備とバイオマス利用 |
| 7 | 産業分野のどこかで | 第6次産業の起業をしていたい |
| 8 | 近所 | 子ども達の遊び相手（本の読み聞かせなど） |
| 9 | 仕事場で | 職住隣接の生活スタイルで働いている |
| 10 | 山 | 間伐 |
| 11 | 保育所・学童保育 | 体験学習で森の幼稚園を開き、教育をしている |
| 12 | 地元で | 子どもたちに体験学習で環境教育や文化を教えている |
| 13 | 高齢者などのお宅の間借り | 農作業を手伝いながら大学通い |
| 14 | 市内 | 自給自食 |
| 15 | 市街地 | 仕事のかたわら休みの日は市民農園 |
| 16 | 森の幼稚園 | 先生をしている |
| 17 | 太陽光エネルギーの開発会社で | 仕事をしている |
| 18 | 飲み屋 | 地産の野菜料理を食べに通っている |
| 19 | 土づくりセンター | 生ゴミなどの処理 |
| 20 | SOHO | 仕事 |
| 21 | 地元の木材で建てた家で | 両親と子供と暮らしている |
| 22 | 福祉施設 | 介護 |
| 23 | 修理屋 | リフォームやリユースの請け負い |
| 24 | | 子供をつれて体験学習を一緒にしている |
| 25 | お年寄りのお宅 | ホームステイ |
| 26 | 介護施設で | 生活介助 |
| 27 | 自宅で | 自家菜園・市民農園を楽しむ |
| 28 | 森の中で自然に囲まれた一軒家で生活している | 森の木を間伐し間伐材を利用しログハウスの建築等をしている その後植樹をする |
| 29 | 生涯現役として町外れの住宅で孫と遊んでいる | 自家菜園で自給自食に近づきながら、街のためにボランティア活動で汗を流す |
| 30 | ①農園 ②ボランティア団体 | ①自家用の野菜づくり ②ボランティア作農 |
| 31 | 現住所で | 三世代での生活 |
| 32 | 年齢的に30年後はわかりません。たぶん、医療・福祉分野の充実をしているところ | 高齢者向け生活用品や食事の配達サービスの充実と介護サービスと回診サービスが地域にあること |
| 33 | 山間部や市街地から離れた自然豊かな農村地帯 | 生ゴミの堆肥化をし、その堆肥を使って無農薬の安心安全な野菜づくりをし、子どもや家族に食べさせている。子どもたちの世話をしながら地域活動（まち協）などにか関わり、生き生きと過ごしている |
| 34 | 土づくりセンター | 働いている |

| 番号 | 絵図版アンケート 4.あなたは，未来のまちのどこで何をしていますか? どこで | 何を？ |
|---|---|---|
| 1 | 家の周辺で | まきあつめや森林整備 |
| 2 | ○○ホールで | 音楽を楽しんでいる |
| 3 | 森の幼稚園のそばで | 子どもたちが遊ぶのを見ている |
| 4 | 畑で | BDFを使ったトラクターで耕運している |
| 5 | 地域で | 循環型生活を行っている 生ゴミから堆肥をつくり、野菜づくりと食べるものは自ら作っている |
| 6 | 山で | 薪割り |
| 7 | まちづくり協議会で | 一言 |
| 8 | 山で | 体験学習 |
| 9 | 物産館で | 地元ブランド農産物を売っている（笑） |
| 10 | 家 | 三世代で暮らす |
| 11 | 居酒屋のような店 | 季節の料理を楽しんでいる |
| 12 | 病院 | 病児保育で手伝い |
| 13 | 公園 | ゲートボールをしています |
| 14 | 山 | 虫取り |
| 15 | 土づくりセンター | 生ゴミを再び土に作り変える作業をしている |
| 16 | お寺 | 子どもの世話の手伝い |
| 17 | 町 | レンタサイクルに乗っている |
| 18 | ゲートボール場で | お年寄りと一緒にゲートボールをしている |
| 19 | 会議所で | まちづくり協議会に参加している |
| 20 | 図書館 | 本を読んでいる |
| 21 | グラウンド | ゲートボール |
| 22 | レストラン | 地元野菜を使用した食事を作っている |
| 23 | 右下の赤い山で | 遊んでいる |
| 24 | 木質バイオマス発電所で | 働いている |
| 25 | 公園 | 子供とキャンプ |
| 26 | キャンプ場 | 自然を楽しみながらキャンプ |
| 27 | 土づくりセンター | ゴミなどから土をつくる |
| 28 | ホール | 音楽鑑賞をしながら寝る |
| 29 | 二世帯住宅で | 自分の両親と子どもと過ごしている |
| 30 | まちづくり協議会 | 参加している |
| 31 | 森の幼稚園 | 子ども達に森で遊ぶ楽しさを知ってもらい、命についても伝え、森が大切な存在であることを知ってもらう |
| 32 | ①居酒屋で ②特養で（老人ホーム）で ③まち協に参加して | ①薪ストーブで暖まりながら、地元でとれた野菜と地元で加工されたつまみで地酒を飲んでいる ②高齢者の介護の仕事をしている ③公園のゴミ拾いをしている |
| 33 | 山で | プレカット工場で仕事をする！ |
| 34 | 山里で（図中右上） | 体験学習（里山保全とか）子ども達に森の幼稚園で指導ボランティア |
| 35 | 家庭菜園 | 自家用野菜づくり |
| 36 | 里山・農地 | ストーブの燃料として薪割りをしている 家庭菜園で野菜等を作っている |
| 37 | 保幼園、学校や老人ホームを緑のある所へ集約 | 環境のよいところで、子ども達・高齢者の中心施設として子ども達との世代間交流と高齢者交流の場と健康推進の場に！ゲートボール場、グランドゴルフ等の常設グランドを整備していく |
| 38 | 土づくりセンターで | 働いている（週に2～3日） |
| 39 | 自然豊かな集落ゾーンで | 畑で野菜や花を育てる傍ら、孫の世話をしながら、地域活動（まち協等）に関わって過ごしている |
| 40 | 現在の居住区（山間部）で | 田・畑を作り自給自足で楽しんでいる |

■「6.わかりやすさに点数をつけるとしたら何点ですか？」

表 6-8　【全体集計】質問項目 6.の回答結果

| 質問番号 | 6 |
|---|---|
| 質問項目 | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） |
| 文書版アンケート回答 | 平均点…6.9点 |
| 絵図版アンケート回答 | 平均点…7.4点 |

一方，全体集計における質問項目「6.わかりやすさに点数をつけるとしたら何点ですか？」の平均点は，絵図版アンケートの方が高くなっている．つまり，未来予想絵図版の方が，文書版の絵図よりも内容をわかりやすく説明しているということである．

■「7.アンケートに答えるまでにどれくらいの時間を要しましたか？」

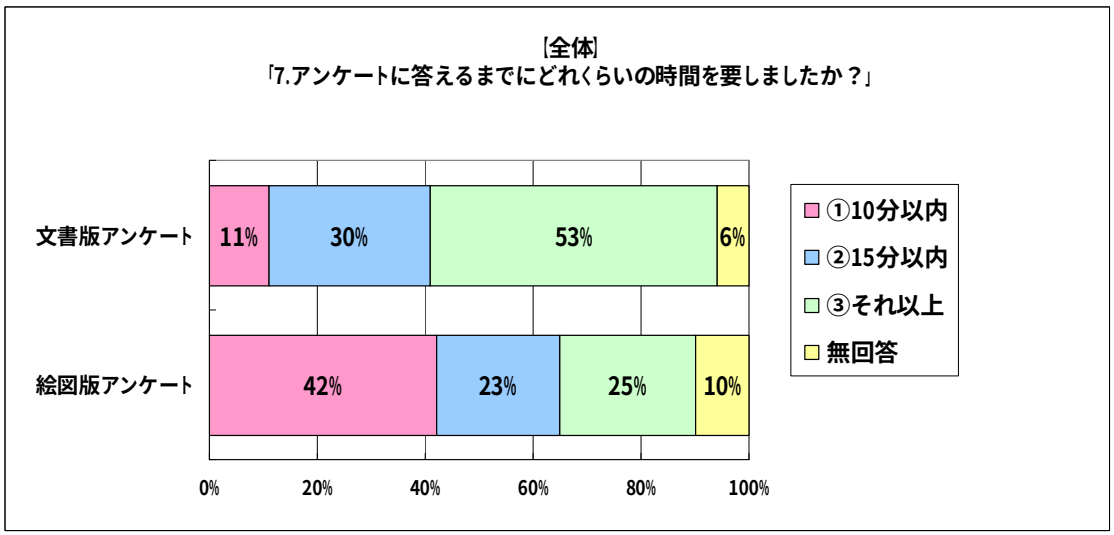



図 6-3　【全体集計】質問項目 7.の回答結果

「7.アンケートに回答し終わるまでにどれくらいの時間を要しましたか？」の結果は，文書版と絵図版のアンケートを回答する時間，つまり，「未来予想ものがたり」を読む時間と，「未来予想絵図」を隅々まで見る時間の比較を行ったところ，やはり絵図の方が見る時間は圧倒的に早く済むということがわかった．

「わかりやすさ」の点数のこともふまえると，未来予想絵図は短い時間でわかりやすく将来像を理解できるといえる．

### 6-2-1　アンケート調査結果の分析＜世代間＞

世代間

■「3.どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」

世代間で，文書と絵図に対する理解度・イメージのしやすさに差異があるかを明らかにするために「3.どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」という項目で，世代間の比較をした．

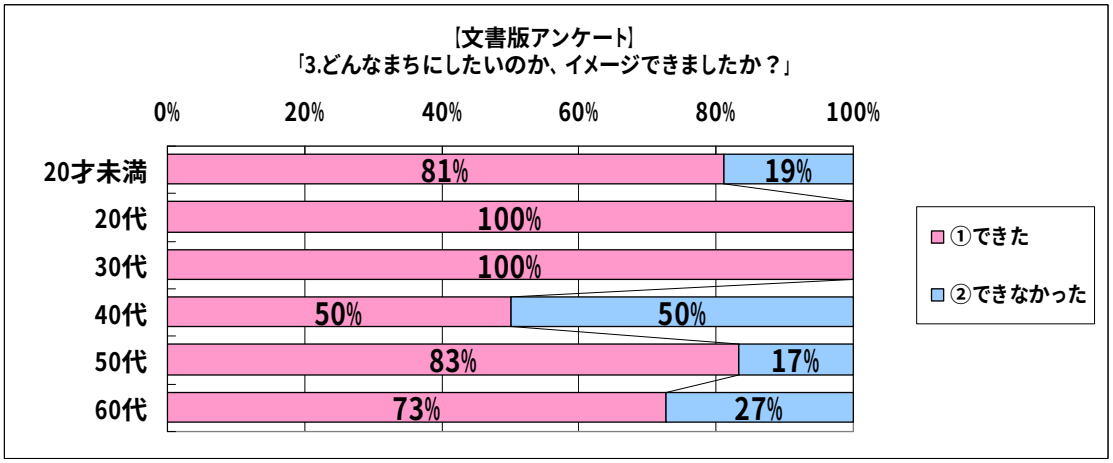



図 6-4　【世代間】質問項目 3.の回答結果【文書版】

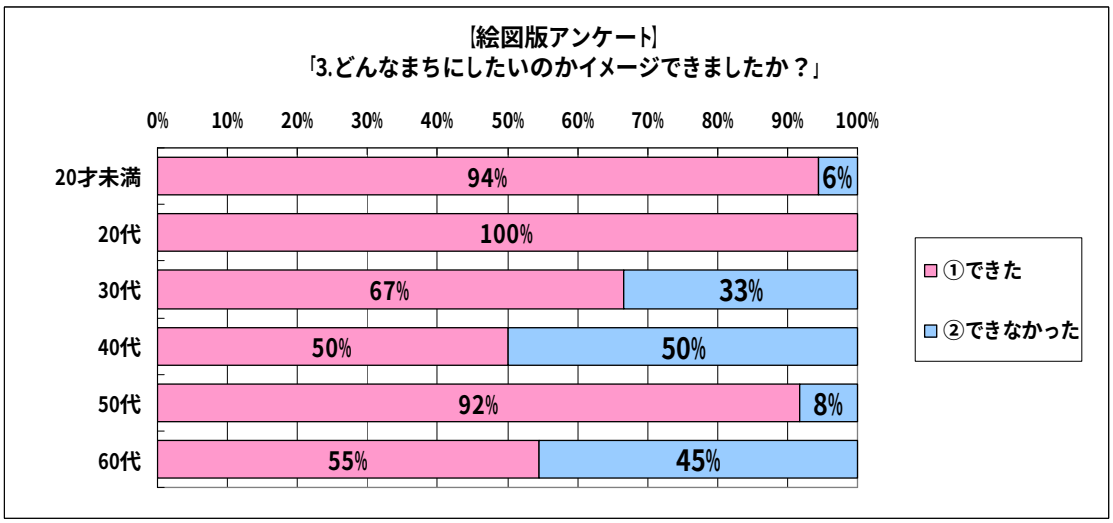



図 6-5　【世代間】質問項目 3.の回答結果【絵図版】

「3.どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」という質問項目について，「①できた or②できなかった」の回答割合を比較した．その結果，20 才未満～30 代の回答者，50 代の回答者は「未来予想ものがたり」で，どんなまちにしたいのか「①イメージができた」と回答した人が多かった．また，「未来予想絵図」についても，20 才未満～

20 代，50 代の回答者が，イメージできたと答えていた．

一方，60 代の回答者の半分以上(55%)が，未来予想絵図では「②イメージできなかった」と回答していた．これは 60 代の回答者に環境円卓委員や，まちづくり協議会に所属している人が多くおり，普段から文書でのまちづくり計画書を読んでいる回答者にとっては，情報量の少ない未来予想絵図では，どうしたらこの将来像を実現できるのかといった具体的な方策も提示されていないので，イメージがしにくかったのだと予想される．

■「6.この文書 or 絵図のわかりやすさに点数をつけるとしたら何点ですか？」

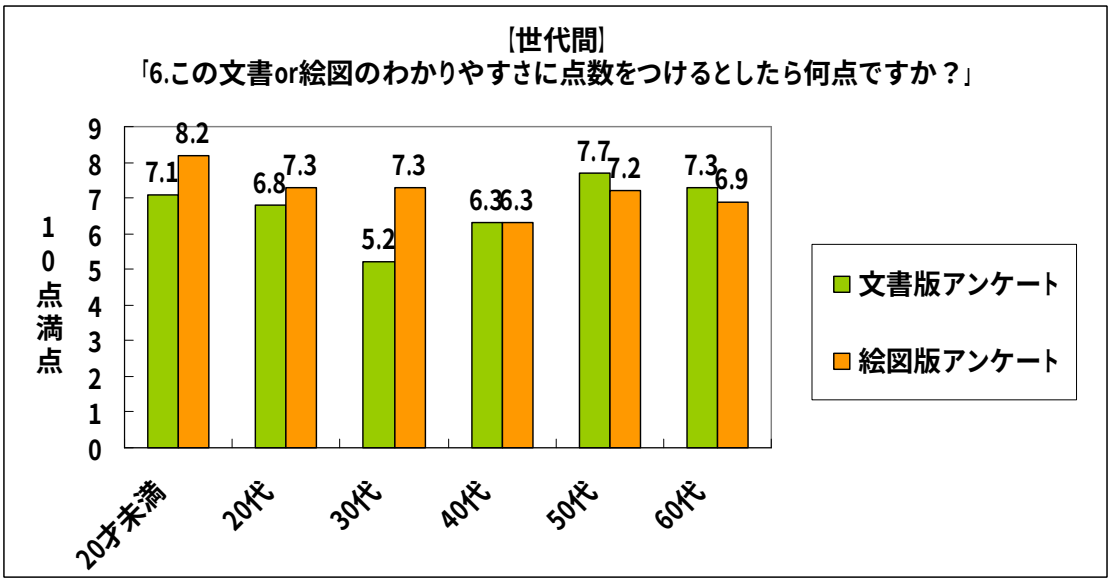



図 6-6　【世代間】「質問項目 6.の回答結果」

文書版アンケート・絵図版アンケートともに，「わかりやすさ」つまり内容が理解しやすかったどうかに 10 点満点で点数をつけてもらった．その結果，20 才未満～30 代までは，絵図版アンケート（＝未来予想絵図）のわかりやすさの方が，点数が高かった．40 代で点数が同じになり，50 代以降は，文書版アンケートの「わかりやすさ」の点数の方が高くなっている．年代が低いほど，絵図に感じる「わかりやすさ」の点数が高くなり，年代が高くなるほどこれは，文書に感じる「わかりやすさ」の点数が高くなる．つまり，未来予想絵図は，年代の低い人に，まちづくり計画書の内容をわかりやすく伝えることができるということである．

年代の低い人にとってわかりやすい未来予想絵図をまちづくりに用いれば，若い人たちがまちづくりに興味を持つきっかけにもなるのではないかと考えられる．

### 6-2-2　アンケート調査結果の分析＜男性と女性の回答比較＞

男性と女性の回答比較

アンケート回答者を性別で比較した．男性と女性で直感的に物事を考えるか，論理的に物事を考えるか，差異が出るのではと考えたからである．アンケート結果（記述回答以外）を表 6-10 にまとめた．

■「1.気に入った点に直線 or○を書いてください」

■「2.よくわからなかった点，疑問に思った点に点線 or□を書いてください」

表 6-9　男性と女性のアンケート結果（記述回答以外）

**男性**

| アンケート種 | 文書版アンケート | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | 6 | 7 |
| 質問項目 | 気に入った点に直線を引いてください | よくわからなかった点、疑問に思った点に点線を引いてください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 |
| 回答 | 平均…18.9ヶ所 | 平均…10.1ヶ所 | ①できた 43<br>②できなかった 9<br>無回答 3 | 平均点…6.9点 | ①10分以内 6<br>②15分以内 16<br>③それ以上 30<br>無回答 3 |

| アンケート種 | 絵図版アンケート | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | 6 | 7 |
| 質問項目 | 気に入った点を○で囲ってください | よくわからなかった絵、疑問に思った絵を□で囲ってください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 |
| 回答 | 平均…8.4ヶ所 | 平均…3.2ヶ所 | ①できた 42<br>②できなかった 11<br>無回答 2 | 平均点…7.2点 | ①できた 20<br>②できなかった 14<br>③それ以上 15<br>無回答 6 |

**女性**

| アンケート種 | 文書版アンケート | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | 6 | 7 |
| 質問項目 | 気に入った点に直線を引いてください | よくわからなかった点、疑問に思った点に点線を引いてください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 |
| 回答 | 平均…19.7ヶ所 | 平均…6.7ヶ所 | ①できた 17<br>②できなかった 5<br>無回答 0 | 平均点…7.1点 | ①できた 3<br>②できなかった 8<br>③それ以上 11<br>無回答 0 |

| アンケート種 | 絵図版アンケート | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | 6 | 7 |
| 質問項目 | 気に入った点を○で囲ってください | よくわからなかった絵、疑問に思った絵を□で囲ってください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 |
| 回答 | 平均…7.0ヶ所 | 平均…2.1ヶ所 | ①できた 21<br>②できなかった 1<br>無回答 0 | 平均点…8.4点 | ①できた 13<br>②できなかった 4<br>③それ以上 5<br>無回答 0 |

「気に入った点」「気になった点」へのチェックは，男性の方が女性よりいずれも上回っている．この結果で注目すべき点は「わかりやすさ」の点への女性の「8.4 点」という点数の高さである．女性は，絵図だと，まちづくりのイメージをしやすくなる傾向にあるといえる．

■「3.どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」

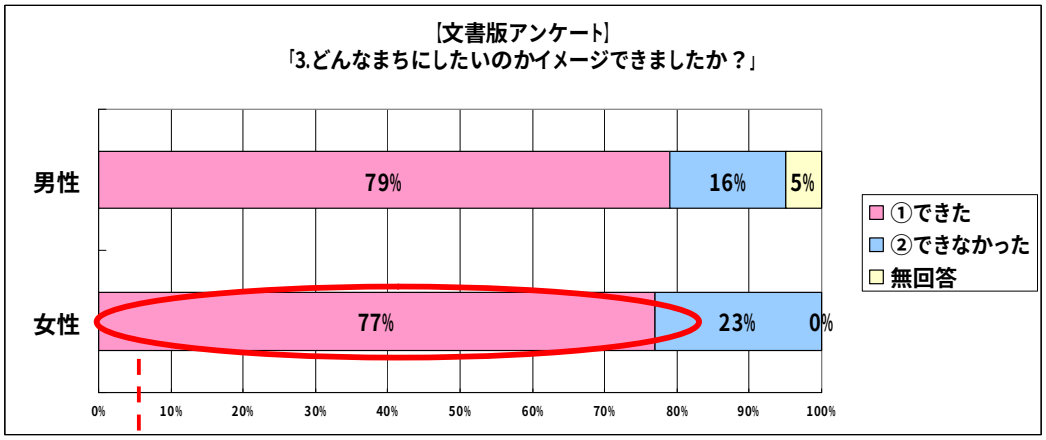



図 6-7　【性別】質問項目 3.の回答結果【文書版】

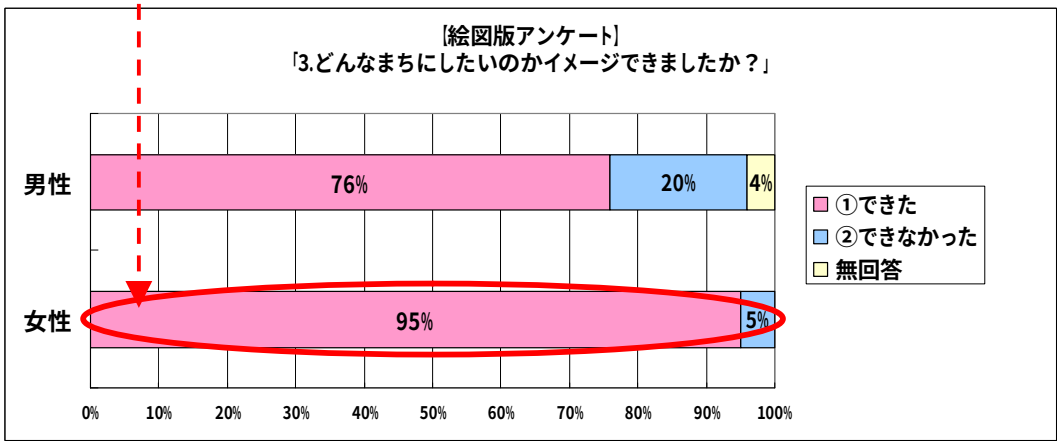



図 6-8　【性別】質問項目 3.の回答結果【絵図版】

文書版・絵図版で「どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」に対して，男性は両者ともほとんど結果が変わらなかった．しかし，女性は明らかに絵図版の方が「イメージがしやすい」という結果がでている．

■「3-1.それはどんなまちですか？」

表 6-10　質問項目 3-1.のアンケート記述回答の例

| 回答者番号 | 回答 |
|---|---|
| 5 | 暮らしぶりは理解できるが都市規模がイメージできない。例えば、人口や商工業の規模 |
| 9 | 個々の要素としては分かるが、町全体としての大きな方向がわからない |
| 52 | 良いようで、実際は住みよいかわかりません<br>現在考えられている環境･福祉･教育･高齢化に対して、断片的に取り上げているが、現実には社会情勢･国家財政･発展の中でシステムとして考えていかなければならない。<br>2030年までの国際状勢により、現在の延長で予測するのは難しい |
| 55 | それぞれの絵に対してなぜか結びつかなかった　何でもかんでもありでイメージできない |

記述回答の欄で，男性回答者の中に絵図をみて「イメージできない」「理想的すぎて実現不可能」と答えた人がいた．その回答を表 6-10 にまとめた．男性は，将来像にいたるまでのプロセスや，政策の根拠などが明らかにされていない未来予想絵図では，将来像を具体的にイメージすることが難しいと感じているということがわかる．

■「7.アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？」

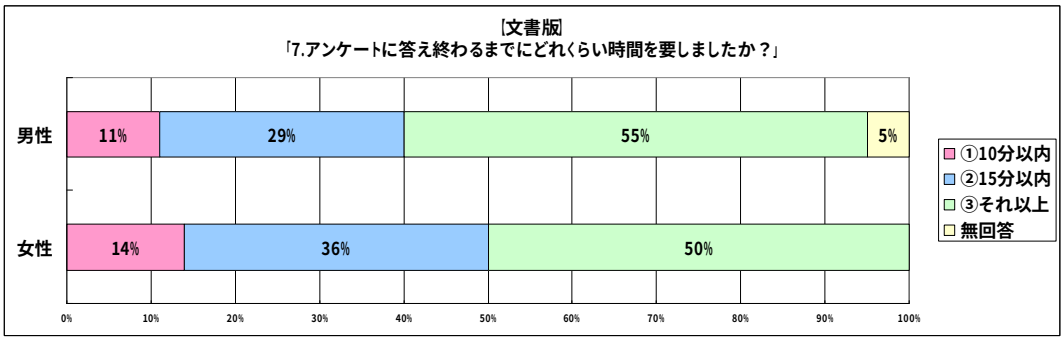



図 6-9　【性別】質問項目 7.の回答結果【文書版】

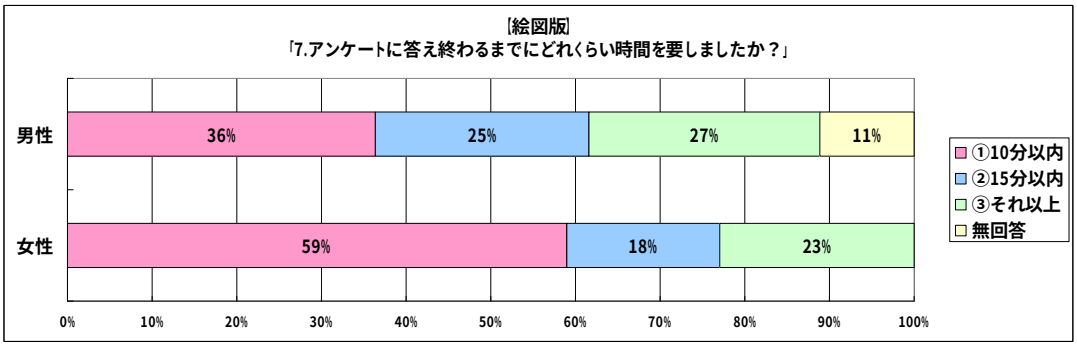



図 6-10　【性別】質問項目 7.の回答結果【絵図版】

**アンケートを回答し終わる時間でも，文書版への回答時間は，大きな差がないのに対して，絵図版への回答時間は女性の方が圧倒的に短い．しかも女性は絵図版アンケートへの「わかりやすさ」の点数も 8.4 点と高い．直感的な感覚が優れている女性は，未来予想絵図を一目見て，未来予想絵図は将来像をわかりやすく，かつすばやく理解できるのではないかと考えた．**

### 6-2-3　アンケート調査結果の分析＜回答者の計画策定段階への参加・非参加＞

**回答者が計画策定段階への参加・非参加**

計画の策定段階である H 市の環境円卓会議に参加したか，参加していないかで，計画の策定段階に関わっている回答者と，関わっていない回答者の比較を行った．計画の策定段階に参加した回答者は，参加していない回答者よりも，自分たちが手がけた計画書という意識が強く，愛着を強くもっているのではないかと予想した．

■「1.気に入った点に直線 or○を書いてください」

■「2.よくわからなかった点，疑問に思った点に点線 or□を書いてください」

表 6-11　参加 or 非参加でのアンケート結果

**参加者**

| アンケート種 | 文書版アンケート | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | | 6 | 7 | |
| 質問項目 | 気に入った点に直線を引いてください | よくわからなかった点、疑問に思った点に点線を引いてください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 | |
| 回答 | 平均…24.8ヶ所 | 平均…14.7ヶ所 | ①できた | 8 | 平均点…6.1点 | ①10分以内 | 1 |
| | | | ②できなかった | 3 | | ②15分以内 | 2 |
| | | | 無回答 | 1 | | ③それ以上 | 7 |
| | | | | | | 無回答 | 2 |

| アンケート種 | 絵図版アンケート | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | | 6 | 7 | |
| 質問項目 | 気に入った点を○で囲ってください | よくわからなかった絵、疑問に思った絵を□で囲ってください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 | |
| 回答 | 平均…9.8ヶ所 | 平均…2.7ヶ所 | ①できた | 9 | 平均点…7.8点 | ①できた | 3 |
| | | | ②できなかった | 3 | | ②できなかった | 2 |
| | | | 無回答 | 0 | | ③それ以上 | 5 |
| | | | | | | 無回答 | 2 |

**非参加者**

| アンケート種 | 文書版アンケート | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | | 6 | 7 | |
| 質問項目 | 気に入った点に直線を引いてください | よくわからなかった点、疑問に思った点に点線を引いてください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 | |
| 回答 | 平均…18.2ヶ所 | 平均…8.1ヶ所 | ①できた | 53 | 平均点…7.1点 | ①10分以内 | 8 |
| | | | ②できなかった | 12 | | ②15分以内 | 22 |
| | | | 無回答 | 2 | | ③それ以上 | 34 |
| | | | | | | 無回答 | 3 |

| アンケート種 | 絵図版アンケート | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | | 6 | 7 | |
| 質問項目 | 気に入った点を○で囲ってください | よくわからなかった絵、疑問に思った絵を□で囲ってください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 | |
| 回答 | 平均…7.7ヶ所 | 平均…2.9ヶ所 | ①できた | 55 | 平均点…7.5点 | ①できた | 30 |
| | | | ②できなかった | 10 | | ②できなかった | 16 |
| | | | 無回答 | 2 | | ③それ以上 | 15 |
| | | | | | | 無回答 | 6 |

気に入った点，よくわからなかった点の両方とも，文書版へのチェックが多い．しかし，参加者よりも非参加者の方が文書版・絵図版とも「わかりやすさ」の点数が高くなっている．これは，参加者は一度「未来予想ものがたり」の原版である「中間とりまとめ」を熟読した経験があり，「中間とりまとめ」を編集し内容を減らした「未来予想ものがたり」に対して説明不足だと感じる点が多かったため，わかりやすさの点数が低くなったと考えられる．

■「3.どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」

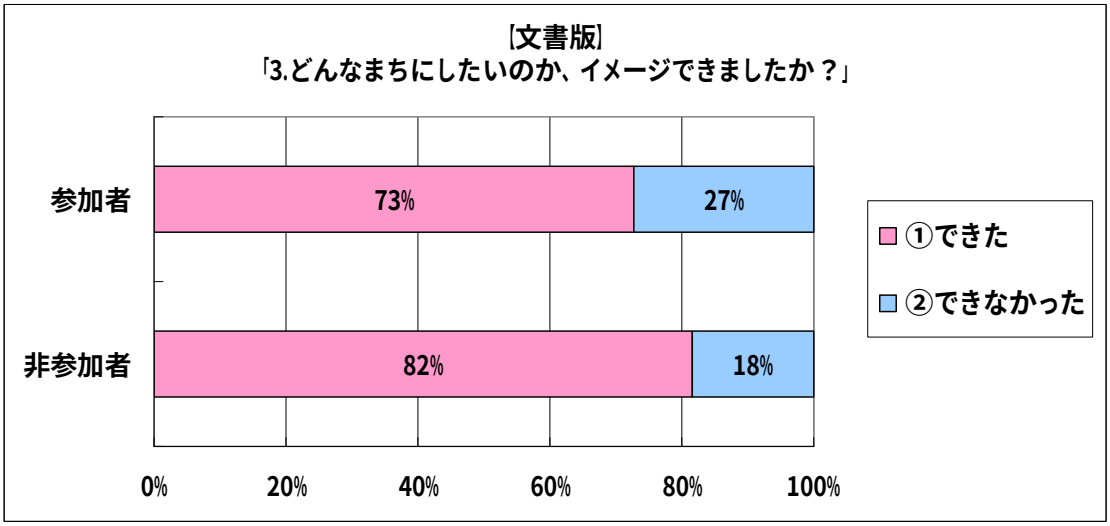



図 6-11　【参加 or 非参加】質問項目 3.の回答結果【文書版】

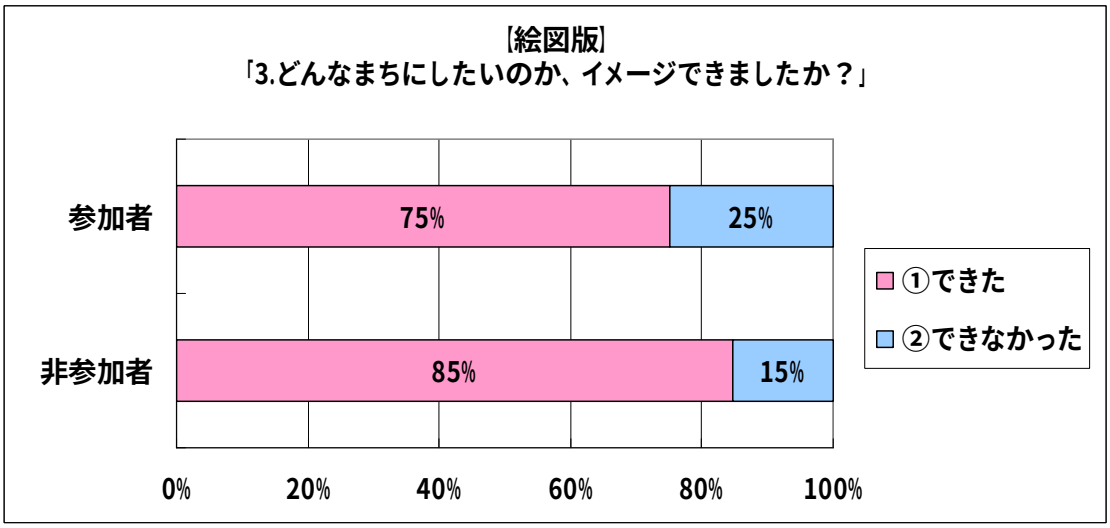



図 6-12　【参加 or 非参加】質問項目 3.の回答結果【絵図版】

参加者の方が，文書版も絵図版も「②できなかった」と回答した回答者が多いという結果になった．参加 or 非参加で，文書版，絵図版のアンケートに回答する時間の比較を行った結果，参加者は一度「未来予想ものがたり」の原版である「中間とりまとめ」を熟読したことがあるにも関わらず，非参加者よりも文書版アンケートへの回答時間が長くなっている．同様に絵図版アンケートへの回答時間も，参加者の方が長く時間がかかるという結果になった．自分たちの手がけたまちづくり計画書だからこそ，内容に相違点がないか，熟読したと予想される．こうしたアンケートの回答時間の長さも，参加者が計画書に愛着を持っている根拠でもあると考えられる．

### 6-2-4　アンケート調査結果の分析＜回答順 A と回答順 B＞

回答順 A と回答順 B の比較

アンケートの回答順で，回答に差異がでるかを比較してみた．「回答順 A：文書→絵図」「回答順 B：絵図→文書」となっている．以下にその結果を示す．

■「1.気に入った点に直線 or○を書いてください」

■「2.よくわからなかった点，疑問に思った点に点線 or□を書いてください」

表 6-12 から「気に入った点」「気になった点」は回答順 A・B とも大きな差はなかった．しかし「わかりやすさ」の点数で「回答順 A：文書→絵図」における文書版アンケートへの点数が低かった．ここから事前に「未来予想絵図」という情報がある方が，理解度が高くなるということがわかる．

＜回答順 A：文書→絵図＞で先に文書を読んだ時の，文書の「6.わかりやすさの点数」は 6.6 点と非常に低い．しかし＜回答順 B：絵図→文書＞での点数は 7.1 点となっている．文書の内容を理解するためには，一度未来予想絵図を見て，全体像のイメージをもってからの方がわかりやすくなるということが言える．

## 表 6-12　回答順 A と回答順 B の比較結果

**回答順A**

| アンケート種 | 文書版アンケート | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | | 6 | 7 | |
| 質問項目 | 気に入った点に直線を引いてください | よくわからなかった点、疑問に思った点に点線を引いてください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 | |
| 回答 | 平均…18.4ヶ所 | 平均…10.5ヶ所 | ①できた | 30 | 平均点…6.6点 | ①10分以内 | 2 |
| | | | ②できなかった | 10 | | ②15分以内 | 10 |
| | | | 無回答 | 2 | | ③それ以上 | 27 |
| | | | | | | 無回答 | 3 |

| アンケート種 | 絵図版アンケート | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | | 6 | 7 | |
| 質問項目 | 気に入った点を○で囲ってください | よくわからなかった絵、疑問に思った絵を□で囲ってください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 | |
| 回答 | 平均…7.7ヶ所 | 平均…3.0ヶ所 | ①できた | 31 | 平均点…7.3点 | ①できた | 18 |
| | | | ②できなかった | 9 | | ②できなかった | 8 |
| | | | 無回答 | 2 | | ③それ以上 | 9 |
| | | | | | | 無回答 | 7 |

**回答順B**

| アンケート種 | 文書版アンケート | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | | 6 | 7 | |
| 質問項目 | 気に入った点に直線を引いてください | よくわからなかった点、疑問に思った点に点線を引いてください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 | |
| 回答 | 平均…20.0ヶ所 | 平均…6.9ヶ所 | ①できた | 31 | 平均点…7.1点 | ①10分以内 | 14 |
| | | | ②できなかった | 5 | | ②15分以内 | 7 |
| | | | 無回答 | 2 | | ③それ以上 | 14 |
| | | | | | | 無回答 | 2 |

| アンケート種 | 絵図版アンケート | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 質問番号 | 1 | 2 | 3 | | 6 | 7 | |
| 質問項目 | 気に入った点を○で囲ってください | よくわからなかった絵、疑問に思った絵を□で囲ってください | 3.どんなまちにしたいのかイメージすることができましたか？<br>①できた<br>②できなかった | | 「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか（10点満点） | アンケートに答え終わるまでにどれくらい時間を要しましたか？<br>①10分以内<br>②15分以内<br>③それ以上 | |
| 回答 | 平均…8.1ヶ所 | 平均…2.5ヶ所 | ①できた | 33 | 平均点…7.6点 | ①できた | 15 |
| | | | ②できなかった | 4 | | ②できなかった | 10 |
| | | | 無回答 | 0 | | ③それ以上 | 10 |
| | | | | | | 無回答 | 2 |

■「7.アンケートに回答し終わるまでにどれくらいの時間を要しましたか？」

質問項目「7.アンケートに回答し終わるまでにどれくらいの時間を要しましたか？」の回答結果は以下のようになった.

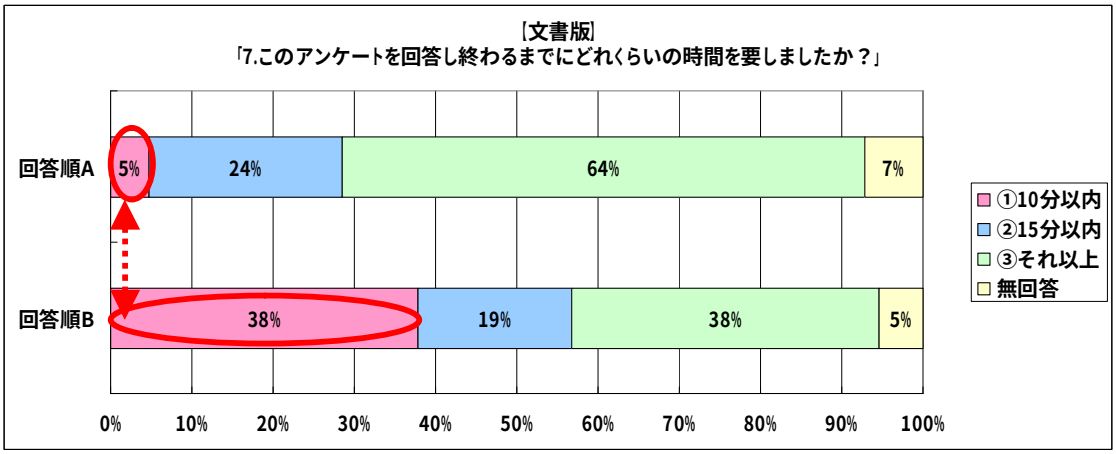



図 6-13　【回答順】質問項目 7.回答結果【文書版】

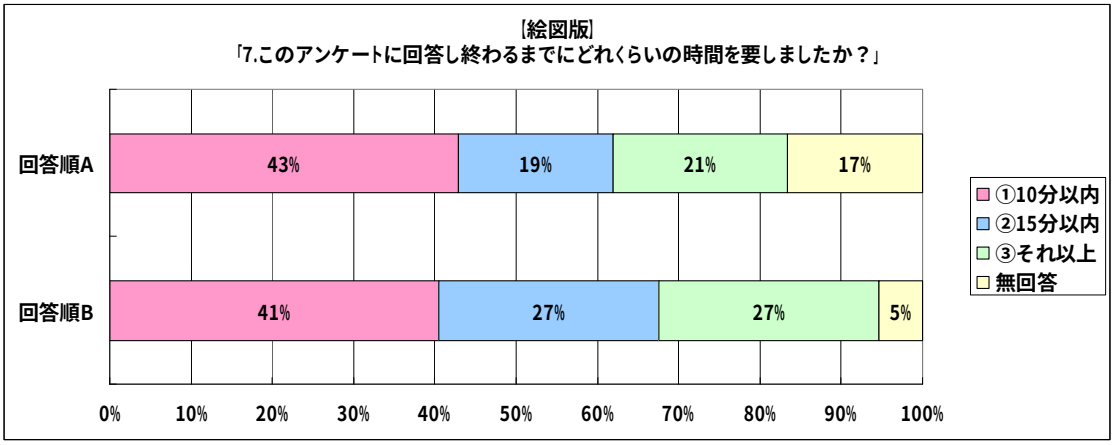



図 6-14　【回答順】質問項目 7.回答結果【絵図版】

図 6-13 より，文書版アンケートに対する回答時間が，「回答順 B：絵図→文書」の方が「回答順 A：文書→絵図」に比べて圧倒的に短くなっている．図 6-14 を見ると，絵図版アンケートの違いは回答順 A・B ともほとんど変わりない.

このことから，絵図を先に見てから，文書を読んだ方が，時間も短くなり，内容の理解度も上昇するということがわかった．つまりこの結果から，未来予想絵図は，文書版でのまちづくり計画書を読む前に読めば，全体像をすばやく理解することができるようになるのである.

### 6-3　アンケート結果考察

これらのアンケート結果の考察から分かったことを以下に示す．

①絵図は文書よりも読む時間，理解する時間とも早く済む

②文書は，システム面での将来像をイメージするのに適しているが，未来予想絵図では人との絆や支え合い，生き生きとした生き方など，人の心に関わるハート面での未来をイメージしやすくなる

③未来予想絵図は，自分が未来のまちのどこで，なにをしているのかということをイメージする際に，空間をわかりやすく描いているので，具体的なイメージがわきやすい

④未来予想絵図は，若い世代に対して将来像をわかりやすくイメージさせることができる．反対に，年代が高いと文書版のまちづくり計画書の方が将来像をイメージしやすくなる

⑤「未来予想絵図」は女性が将来像をわかりやすくイメージするのに役立つということである．女性は，絵図で将来像のイメージを的確につかみ，なおかつ見る時間も短くて済む．一般的に直感的に物事を考える傾向にある女性は，未来予想絵図によって，将来像イメージを素早くつかむことができるのである．

⑥環境円卓会議への参加者，つまり中間とりまとめ文書の作成に関わった人たちは，自分たちの意見が反映されている計画書に間違いがないか熟読する．つまり，計画書に「自分たちがつくった」という愛着を持っている

⑦文書と絵図を見る順番によって，内容を理解する時間，内容の理解度に大きな差がでる．アンケートの結果から，未来予想絵図を最初に見てから文書版の「未来予想ものがたり」を読んだ回答者の方が，読む時間，理解度ともに高かった

### 6-4　まちづくり会議における未来予想絵図の効果と限界

文書でのまちづくり計画書を見る前に，大体の将来像のイメージを未来予想絵図でつかんでもらうことが，内容の理解度と計画書を読むのに費やす時間の短縮につながる．

また，未来予想絵図は，若い世代や女性に対して将来像をわかりやすく伝えることができる．文書よりも，絵と絵のつながりから関係やつながりをイメージし，ストーリーをつくることができるので，記述の回答には，絵図からイメージして出てきたキーワードが，文書版アンケートよりも多くある．

文書版では，社会保障制度や行政関連の内容など，システム的な内容を明記することができる．未来予想絵図では，人と人との絆や，生き方，まちの雰囲気など，目にみえないもの，「ハート」面に関連するような内容を見る人に伝えることができる．

しかし，未来予想絵図には「理想的すぎる」という意見からも聞かれるように，実現不可能と感じられる内容もある．それは，将来像にいたるまでの具体的なプロセスや，政策の根拠などが絵図には描かれないからである．また，社会保障制度や人口の増減などといった目には見えにくい変化を表すことには向いていないため，文書版の内容全て

を絵図に反映させることは無理である．他にも「死」や「貧困」などマイナス面はあまり描かれないため，そうした面でも「理想的」「現実的でない」という意見が寄せられている．

## 第七章　考察と結論

### 7-1　各章のまとめ

ここでは，第一章から第六章までの内容と結果をまとめる．

第一章では，絵図の定義に始まり，まちづくりに絵図が利用されている現状と，参加型まちづくりの問題点についてふれた．その後，今まで作成してきた未来予想絵図の事例紹介を行い， 未来予想絵図のねらいや，まちづくりにおける未来予想絵図の意義について述べた．

第二章では，今までの絵図研究の流れの中で，本研究がどのような立場に位置するかを述べたほか，本研究の背景，目的と意義についても述べた．

第三章では，本研究の手法について述べた．本研究の手法は大きく二つの軸にわけられており，一つは絵図分析という立場から未来予想絵図を明らかにしようとする視点，もう一つは，文書と絵図の比較による，まちづくりにおける未来予想絵図の効果と限界に関する研究である．この章では，これら二つの手法について述べた．

第四章では，未来予想絵図と他絵図の比較をおこなった．得られた結果は以下である．

≪絵図の比較表からわかったこと≫

・未来予想絵図は，吹き出しや文字による補足が多い絵である．
・未来予想絵図には，絵だけでは説明しきれない内容のテクストが絵に込められている
・未来予想絵図の視点には，鳥瞰図が多く用いられている
・未来予想絵図は，“ 未来 ”といっても複数の時間軸の“ 未来 ”が多元的に描かれている．
・未来予想絵図には，対象地域があり一画面上に一つのまちの姿をかくという領域性も大きな特徴である．

≪絵図ポジショニングマップからわかったこと≫

・未来予想絵図は縮尺が不正確で科学性に欠ける点から，地図とは逆の性質を持つ
・未来予想絵図は，絵図に描かれた一つ一つの絵に意味があり，絵同士の間の関係性も強く見られる．その点で，描かれる絵に象徴性をもつ曼荼羅図と共通している．

対象とする 4 枚の未来予想絵図と，南比良心象絵図，那智参詣曼荼羅図，洛中洛外図屏風を比較した結果，未来予想絵図は吹き出しや文字による補足が多い絵図であるということがわかった．また，未来予想絵図には絵だけでは説明しきれない内容のテクストが絵に込められており，未来予想絵図の構図には，鳥瞰図が使われている．また，未来予想絵図は，“ 未来 ”といっても，四季や昼→夜といった複数の時間軸が絵図の中に含ま

れており，一画面上に複数の時間軸が多元的に描かれている絵であるといえる．また，未来予想絵図には対象地域があり，画面上に一つのまちを描くという領域性も，未来予想絵図の大きな特徴となっている．

ポジショニングマップからはわかったことは，未来予想絵図は縮尺が不正確で科学性に欠ける点から，地図とは逆の性質を持つということ，未来予想絵図に描かれた一つ一つの絵に意味があり，絵同士の間の関係性も強く見られるということである．こうした点で，描かれる絵に象徴性をもつ曼荼羅図と共通している．

第五章では，未来予想絵図と南比良心象絵図・那智参詣曼荼羅図・洛中洛外図絵屏風を対象に，絵図に描かれた絵同士の関係性を明らかにするために「ウィンドウ相互のリンク分析」を行った．また，ウィンドウ相互のリンク分析によって抽出したリンクを絵図に戻し，構図の特徴も明らかにした．これによって，リンクが集中しているか，あるいは分散しているか，絵図によって構図の使い方に差異があるかなどを明らかにした．

≪ウィンドウ相互のリンク分析からわかったこと≫

・吹き出しによる細部の拡大は未来予想絵図以外の絵図にはほとんど見られない
・文章による内容の補足も未来予想絵図以外の絵図にはほとんど見られない
・未来予想絵図は，南比良心象絵図や洛中洛外図屏風ほど対象地域の地域性が出ない
・未来予想絵図には，宗教的な絵はほとんど描かれない
・未来予想絵図に存在する時間軸は，昼→夜といった一日の流れや四季といった時間軸がほとんど
・未来予想絵図は全てのリンクの数が多く，絵同士の関係性を重視している絵図だとわかった

≪構図分析からわかったこと≫

・未来予想絵図はリンクが散らばっている
・特にＨ市の未来予想絵図は，4 枚の絵図に 8 分野の内容を書き込んだので，絵図全面にリンクが分布していた
・時間構造型，平行移動型，拡大・縮小型は，場合によっては存在しない絵図もあった

ウィンドウ相互のリンク分析から，未来予想絵図は吹き出しによる細部の拡大や内容の補足が必要不可欠な絵図であるということがわかった．また，未来予想絵図には複数のリンクがあり，絵同市の関係性を重視している絵図であるとこいうことがわかった．構図分析からは，時間構造型，平行移動型，拡大・縮小型リンクが，場合によっては存在しない場合もあるということがわかった．

第六章では，H 市での文書と絵図の比較アンケート調査の結果について述べた． 得られた結果は以下の通りである．なお，「文書」はアンケートで使用した「未来予想ものがたり」のこと，「絵図」は H 市の「未来予想絵図」のことである．

全体集計

・文書の方が「気に入った点」も「疑問に思った点・よくわからなかった点」も多い
・文書も絵図も，「気に入った点」の方が「疑問に思った点・よくわからなかった点」よりも多い
・文書と絵図を見て「どんなまちにしたいのかイメージできた or できなかった」割合はほぼ同じ
・「未来予想ものがたり」と「未来予想絵図」のわかりやすさを比較した結果，絵図の方が僅差で上．
・「未来予想絵図」の方が「未来予想ものがたり」よりも，見終わるまでの時間が短くてすむ
・「未来予想ものがたり」のアンケートを回答し終わるまでの時間が 15 分より長くかかっている回答者は全体の半分
・「未来予想絵図」のアンケートを回答し終わるまでの時間が 15 分より長くかかっている回答者は，全体の 4 分の 1
・未来予想絵図の方が，理解する時間が短くてすむ

世代間

・20 才未満～30 代までは，絵図版アンケート（＝未来予想絵図）のわかりやすさの方が，点数が高い
・50 代以降は，絵図版アンケートの「わかりやすさ」の点数の方が低くなっている
・未来予想絵図は，年代の低い人に，まちづくり計画書の内容をわかりやすく伝えることができる．
・年代の低い人にとってわかりやすい未来予想絵図をまちづくりに用いれば，若い人たちがまちづくりに興味を持つきっかけにもなるのではないかと考えられる

男性と女性

・「男性」「女性」の文書版アンケートでの，「どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」の回答結果はほぼ同じ．
・絵図版アンケートでの「どんなまちにしたいのかイメージできましたか？」の結果は「女性」の方がイメージできた人が多い．
・「女性」は「男性」より，絵からイメージをするのが得意なのではないか
・男性回答者の絵図アンケートの記述欄で「イメージできない」といった回答が描かれていた
・文書版のアンケートを回答し終わるまでにかかった時間は，「男性」「女性」とも大きな差は見られず，回答時間に 15 分より長くかかった回答者が多く見られた

・絵図版のアンケートの回答は，「男性」「女性」で回答時間を比較してみると，女性の方が「①10 分以内」で回答を終えた割合が 59%もある一方で，男性は 37%ととどまっている．
・「女性」の絵図版アンケートへのわかりやすさの点数が非常に高い
・「どんなまちにしたいかイメージできますか？」の項目でも，女性の理解度は高かった
・今までの結果をまとめると，女性は，絵図への理解度が高く，絵図はわかりやすいと思っている
・　絵図を見るのに要する時間も，文書を読む時間よりずっと短い
・未来予想絵図は，女性が将来像をわかりやすく，かつ素早く理解してもらうのに有効である

計画の策定段階への参加 or 非参加

・参加者・非参加者で文書版アンケート・絵図版のアンケートにおける「どんなまちにしたいかイメージできましたか？」の回答の結果はほぼ同じ
・非参加者より，参加者の方が，「気に入っている部分に線を引いてください」の項目で線を引いた箇所が多い
・参加者は非参加者よりも，自分たちで作成した計画書に愛着を感じている
・気になる箇所・疑問に思う箇所が多いのも，策定段階に関わっていたためではないか
・参加者の文書への理解度が低くなったのは，原版の「中間とりまとめ」を熟読した経験があり，説明不足と感じる点が多くあったかではないかと考えられる

＜回答順 A：文書版→絵図版＞or＜回答順 B：絵図版→文書版＞

・「わかりやすさに点数をつけるとしたら何点ですか？」の項目に対して，回答順 B の回答の方が，平均点が高いことがわかる．
・絵図→文書という順番で将来像を説明した方が，読み手にはわかりやすく伝わる．
・「回答順 A:文書→絵図」だと，文書を読むのに時間がかかる．
・「回答順 B:絵図→文書」だと，先に絵図を見る時間は「回答順 A：文書→絵図」と大差はないが，文書を読む時間が短縮される
・「回答順 B:絵図→文書」だと，わかりやすくなる上に，読む時間も短くてすむ
・これらの結果から，読み手に効果的にまちづくりの計画の内容を知ってもらうには以下のような順序で文書と絵図に目を通してもらえばいいのではないかと考えた．

・まず未来予想絵図で未来のまち全体のイメージをつかむ
↓
・細かい内容は文章で補足していく（どうやってこの将来像にたどり着くのかという具体的なプロセスや，具体的な政策・制度等，その政策を実施する根拠を文章で補う）
↓
・文章を読んで「あの絵はこういう意味だったのか」と理解できる

これらのアンケート結果の考察から分かった点を 7 つ，以下に示す.

第一に，未来予想絵図は文書よりも読む時間，理解する時間とも早く済む.

第二に，文書は，システム面での将来像をイメージするのに適しているが，未来予想絵図では人との絆や支え合い，生き生きとした生き方など，人の心に関わるハート面での未来をイメージしやすくなるということである.

第三に，未来予想絵図は，自分が未来のまちのどこで，なにをしているのかということをイメージする際に，空間をわかりやすく描いているので，具体的なイメージがわきやすいということである.

第四に，未来予想絵図は，若い世代に対して将来像をわかりやすくイメージさせることができるが，逆に，年代が高いと文書版のまちづくり計画書の方が将来像をイメージしやすくなるということである.

第五に，未来予想絵図は，女性が将来像をわかりやすくイメージするのに役立つということである．女性は，絵図で将来像のイメージを的確につかみ，なおかつ見る時間も短くて済む. 一般的に直感的に物事を考える傾向にある女性は, 未来予想絵図によって, 将来像イメージを素早くつかむことができるのである.

第六に，環境円卓会議への参加者，つまり中間とりまとめ文書の作成に関わった人たちは，自分たちの意見が反映されている計画書に間違いがないか熟読するため，計画書に「自分たちがつくった」という愛着を持っているということがわかった.

第七に，文書と絵図を見る順番によって，内容を理解する時間，内容の理解度に大きな差がでるということである．アンケートの結果から，未来予想絵図を最初に見てから文書版の「未来予想ものがたり」を読んだ回答者の方が，読む時間，理解度ともに高いということがわかった.

### 7-2　未来予想絵図の位置づけ

・未来予想絵図は，縮図が不正確で科学性には欠けるという特徴があった.
・未来予想絵図は，国絵図や荘園絵図，鳥瞰図といった「地図」に近いものとは正反対の性質を持っている
・未来予想絵図は，絵図に描かれた絵同士の関係性を重視している
・未来予想絵図の絵には，意味のあるテクスト（物語や思い）がいくつもちりばめられている
・未来予想絵図に描かれる絵は象徴性を持っている
・象徴性を持っている点は曼荼羅図と共通していると言える
・曼荼羅図と違うところは，言葉による補足を絵図の中に直接いれている点
・未来予想絵図は，言葉による説明や補足を絵図の中に多く入れている

未来予想絵図の作成目的や，用いられている絵画的表現をまとめた結果，未来予想絵図は，縮尺が不正確で科学性には欠けるという特徴があった．他にも，未来予想絵図に描かれている絵は，リンクという関係性でつながっている．絵の内容も，文章での絵解きや口頭での説明がないと描かれている絵にこめられた願いや物語といった意味のあるテクストの全てを伝えることができない．このことから未来予想絵図は描かれている絵同士の関係性を重視しているということがわかる．

このことから，未来予想絵図は，国絵図や荘園絵図，鳥瞰図といった「地図」に近いものとは正反対の性質を持っているということがわかる．

### 7-3　未来予想絵図に描かれる絵の特徴

未来予想絵図と南比良心象絵図，那智参詣曼荼羅図，洛中洛外図屏風に対するウィンドウの相互リンクの分析からわかったことは，「意味内容補完型リンク」「拡大・縮小型リンク」「時間構造型リンク」「平行移動型リンク」というこれら 4 種類全てのリンクの数が，未来予想絵図は圧倒的に多かったということである．これは，未来予想絵図が他の絵図と比べて，絵図に描かれた絵と絵の間のつながり（＝リンク）を重視している絵図であるということである．

またこうした 4 種類のリンクの中でも，特に未来予想絵図には，「意味内容補完型リンク」と「拡大・縮小型リンク」が多い．まず，「意味内容補完型リンク」が多いのは，絵に表現するのが難しい内容があり，どうしても文字による補足を必要とするためである．例えば，将来的な人口の増減であったり，高齢者福祉が充実したまち，子育てをしやすい保障が整ったまち，といったシステム的・ハート的な内容の絵であったりする．

このような結果から，未来予想絵図は雰囲気や“誰かが○○をしている”というワンシーンを表現するのには向いているが，逆にシステムや数値の変化といったものを描けないという限界があるとわかった．

「時間構造型リンク」や「平行移動型リンク」については，絵図によって存在しないことがある．また，存在するとしてもその数は「意味内容補完型リンク」と「拡大・縮小型リンク」の二つほどではない．しかし，「時間構造型リンク」と「平行移動型リンク」の二つが一枚の未来予想絵図上に存在するということは，絵図という二次元の中に複数の時間軸が存在しているということである．例えば，田んぼではお年寄りと子どもが一緒に楽しく田植えをしている様子が描かれているが，その隣の田んぼでは，もう実った稲を収穫し，稲穂がけにかけているシーンが描かれており，複数の季節が絵図の中に存在する例や，空に月と太陽が浮かんで一日の流れを表現している例がある．

こうした点から，未来予想絵図は“未来”と言っても，とある一瞬，あるいはワンシーンを切り取っているだけでなく，様々な時間軸の”未来”を同じ画面上に多元的に描き出しているということになる．

### 7-4　「未来予想ものがたり」と「未来予想絵図」の比較アンケート調査から

・絵図を見て，全体のイメージをつかんでから，文書のまちづくり計画書を読んだ方がより将来像のイメージがしやすくなる
・絵図を先に見ることによって，文書のまちづくり計画書を読む時間が短縮される
・特に女性は，絵図を見ることによって将来像を素早く理解することができる
・計画の策定段階に参加した人は，計画書に対して愛着や思い入れといった感情を持つようになる
・低い世代ほど，「未来予想絵図」に対する「わかりやすさ」の点数が高い
・高い世代は，「未来予想絵図」に対する「わかりやすさ」の点数が低いが，「未来予想物語」（＝文書版まちづくり計画書）に対しての点数は高い
・未来予想絵図は，低い世代の人，つまり若者に将来像をわかりやすく紹介することができる
・未来予想絵図をきっかけにして，若い人たちがまちづくりに参加するきっかけになるのではないか

文書でのまちづくり計画書を読む前に，未来予想絵図で将来のまちのイメージを持っておくことによって，よりわかりやすく目指す将来像の内容やそのためにするべきことを理解することができるようになる．また，絵図を見ておくことによって，文書でのまちづくり計画書を読む時間も短縮される．

また未来予想絵図は，女性に対して大きな効果がある．女性は，未来予想絵図を見ることにより，将来像をわかりやすく，かつ素早く理解することができるようになる．

回答者が環境円卓会議へ参加したかそうでないかについても考察してみると，計画の策定段階である環境円卓会議に参加した回答者は,「気に入った部分に線を引いてください or○をつけてください」という項目で，非参加者よりも多く線 or○を書いていた．これは，計画の策定段階に参加した回答者が，自分たちが手がけたまちづくり計画書に愛着や思い入れがあるからこそ，多くの線 or○をつけたものだと考えられる．つまり，計画の策定段階に住民が参加するほど，まちづくり計画書に対する住民の愛着や思い入れは強くなるということになる．

また，本研究では，世代間で文書と絵図に対する意識が違うかを調べるために，文書と絵図に対する「わかりやすさ」の点数で比較したが，その結果，未来予想絵図は若い世代に将来像をわかりやすく伝えることができるということがわかった. このことから，未来予想絵図は，若い世代がまちづくりに参加するきっかけになる可能性を持っているといえる．逆に，年齢が高い世代は，絵図では将来像がイメージできないとし，文書によるまちづくり計画書の方がわかりやすいという結果が出た.

### 7-4-1　まちづくりにおける未来予想絵図の効果

・未来予想絵図は，文書でのまちづくり計画書とセットで作成されることにより，まちづくり計画書の内容をよりわかりやすくする
・文書でのまちづくり計画書を読む前に，未来予想絵図によって将来のまちのイメージをつかんでもらってから，文書に目を通すようにすれば，未来予想絵図は効果的に利用できる
・未来予想絵図でイメージをつかんでおけば，文書の内容もわかりやすくなる
・絵図で一度将来像の全体のイメージをつかんでいる分，文書を読む時間も短くできるということである．
・未来予想絵図では，文章では表現しにくい人々の絆や，思い，生き方，雰囲気など，目には見えない抽象的なもの（＝ハート面）を描くことができる

未来予想絵図は，文書でのまちづくり計画書とセットで作成されることにより，まちづくり計画書の内容をよりわかりやすくするという効果がある．また，文書でのまちづくり計画書を読む前に，未来予想絵図によって将来のまちのイメージをつかんでもらってから，文書に目を通すようにすれば，未来予想絵図は効果的に利用できる．それは，未来予想絵図でイメージをつかんでおけば，文書の内容もわかりやすくなり，早く内容を読むことができるからである．

また，未来予想絵図では，文章では表現しにくい人々の絆や，思い，生き方，雰囲気など，目には見えない抽象的なもの（＝ハート面）を描くことができる．

本研究では，大きく取り上げなかったが，未来予想絵図を参加者みなで作成することにより，課題の共有や，情報交換の場としても利用できることも，今までの未来予想絵図ワークショップで実践済みである．

### 7-4-2　まちづくりにおける未来予想絵図の限界

・未来予想絵図は，文書による説明や，絵の内容を口頭や文章で説明する絵解きがなければ，絵図に描かれた本当の意味や裏に隠されたストーリーや描き手の思いを把握することができない．
・未来予想絵図には描きこめる情報量に限界があるため，計画書の全ての内容を絵図に描きこむことは難しい
・社会保障制度や，人口の増減など，目には見えないものを表現しにくい
・未来予想絵図に描かれた将来像を「どうしたら」実現できるのか，といった目標達成までのプロセスや具体的な方法を描くことも難しい．
・未来予想絵図は，不確定な未来を描くため，死や貧困，差別といった「負の面」は描かれにくい

未来予想絵図は，文書による絵解きがなければ，そこに描かれた本当の意味や思いを読み手に伝えることができない. 文書とは違い, 描きこめる情報量にも限界があるため, 全ての要素を絵図の中にいれることも不可能である.

また，未来予想絵図では未来の理想的なまちを描くが，そこにいたるまでの具体的なプロセスや，政策の根拠などが描かれないため，理想を述べすぎた非現実的なまちに見えてしまう場合がある．それと似た点で，死や貧困，差別といった「負の面」もなかなか描かれない.

### 7-5　本研究の問題点と課題

本研究であつかった 4 枚の未来予想絵図のうち 3 枚が，著者自身が作成したものであったため，未来予想絵図に絵画的表現の偏りや，描き手の個性への配慮が大きな問題点となっている．未来予想絵図の作者によっては，異なる結果が導かれる可能性もある.

また，アンケートの対象にも偏りが生まれてしまった点，アンケートの質問の仕方がやや主観的であったのも問題点である.

本研究では，完成した未来予想絵図にスポットをあて，その絵図を使って文書との比較アンケート調査をおこなった．そのため，未来予想絵図ワークショップの準備段階から，ワークショップの実施，ワークショップの反省，参加者へのアンケート調査といったプロセスを詳細に追っていくことはしなかった．今後は，未来予想絵図の作成プロセスにスポットをあて，未来予想絵図を通して，参加者の意識がどのように変わっていくかについて検証されていくべきである.

未来予想絵図が，将来的にまちづくりに利用されるようになれば，今までまちづくりに興味のなかった人がまちづくりに参加するきっかけになったり，言葉の通じない外国の人にも将来像を伝えることが可能になったりすると考えられる.

# Appendix

**1.未来予想絵図**

・わたしたちの未来予想絵図
・びわ湖・まるエコ・DAY2009
・2030 年の H 市未来予想絵図
・五環生活未来予想絵図

**2.絵図比較表**

・未来予想絵図と南比良心象絵図・那智参詣曼荼羅図・洛中洛外図の比較表
・岡山市街鳥瞰図・胎蔵界曼荼羅・元和年間石見国絵図・袴田荘絵図の比較表

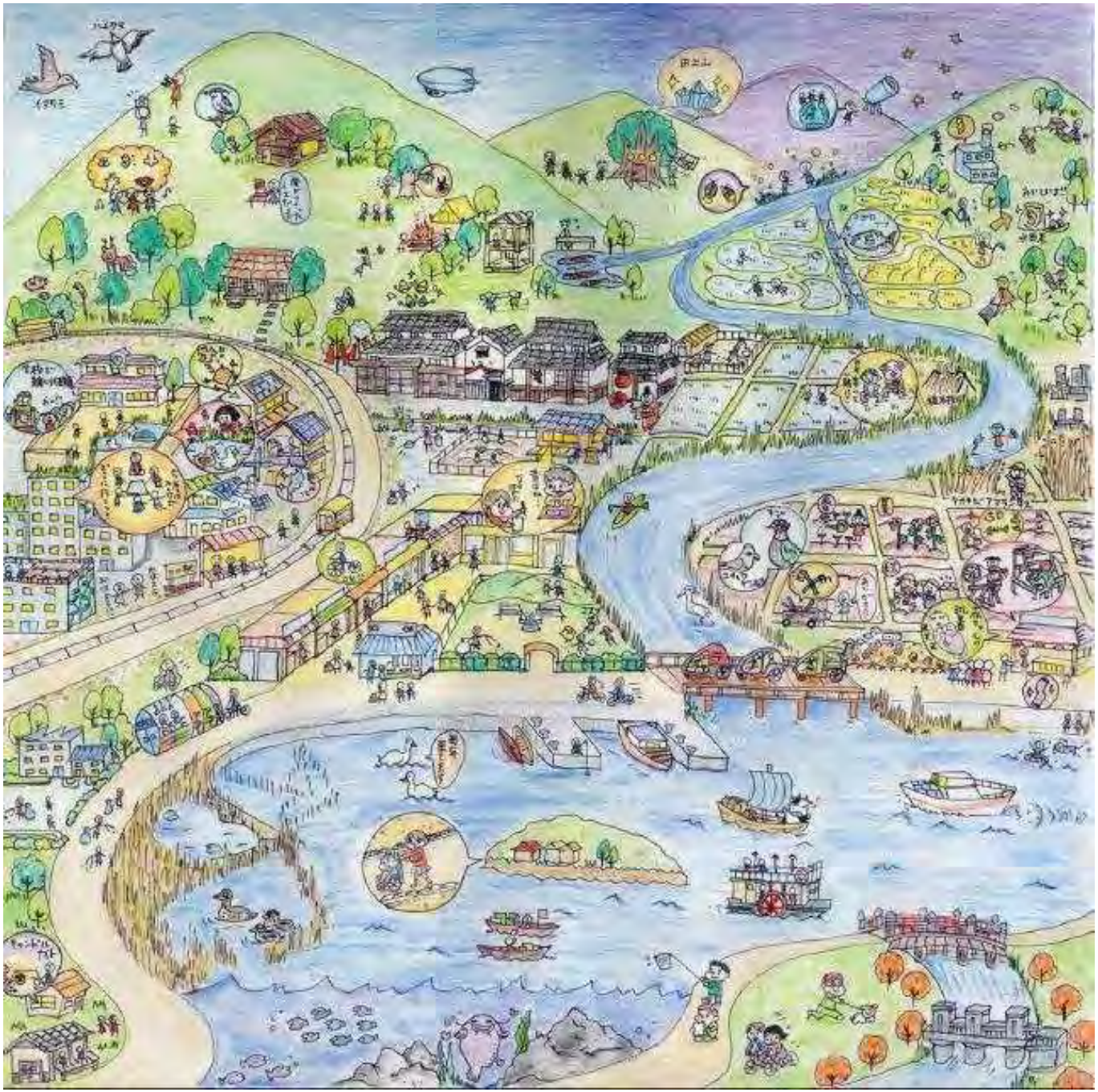
**3「未来予想ものがたり」と「未来予想絵図」の比較アンケート調査配布資料**

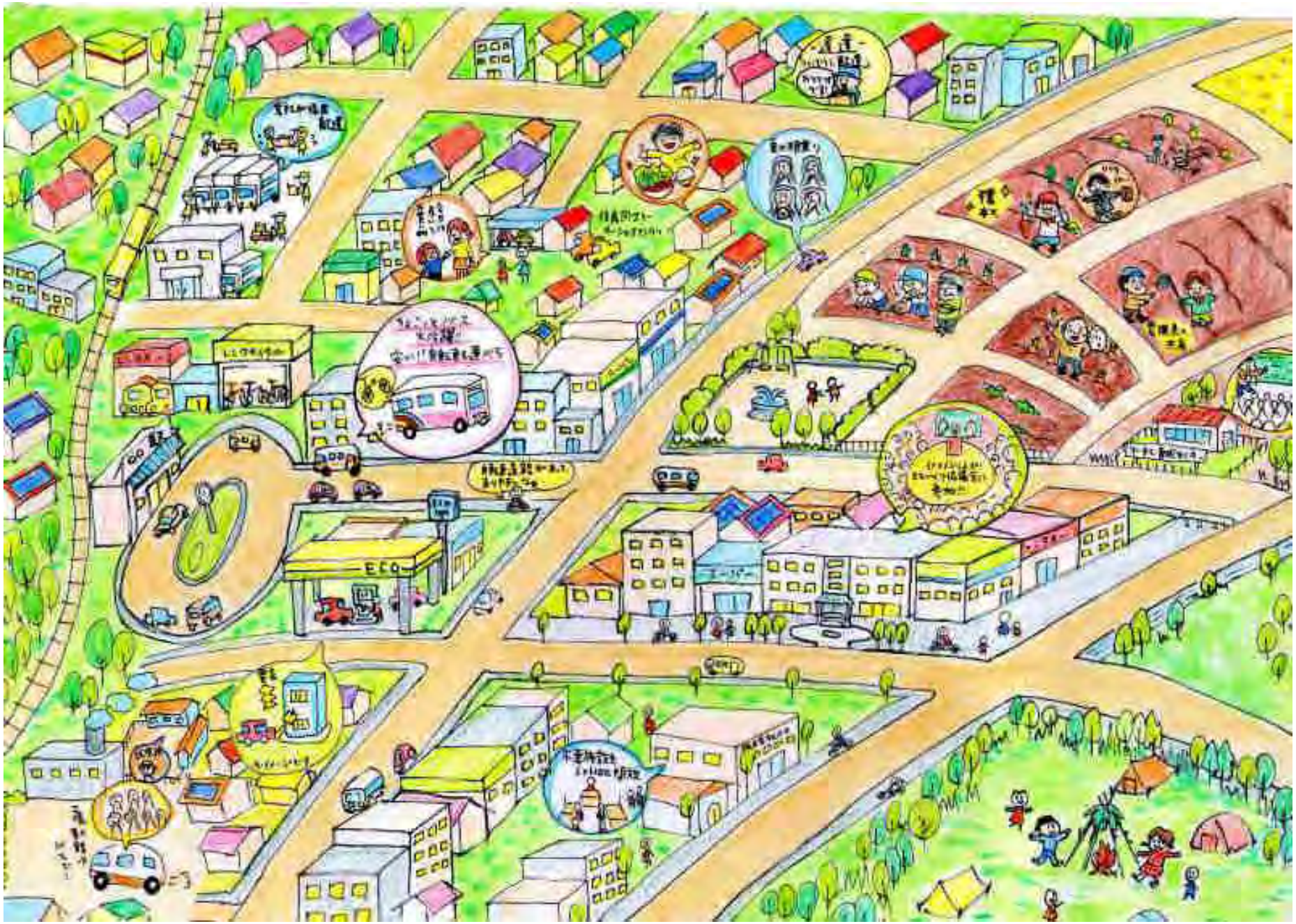
・「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」に関するアンケートのお願い
・アンケート回答の手順
・「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査
・「2030 年の未来予想ものがたり」
・「未来予想絵図」についてのアンケート調査

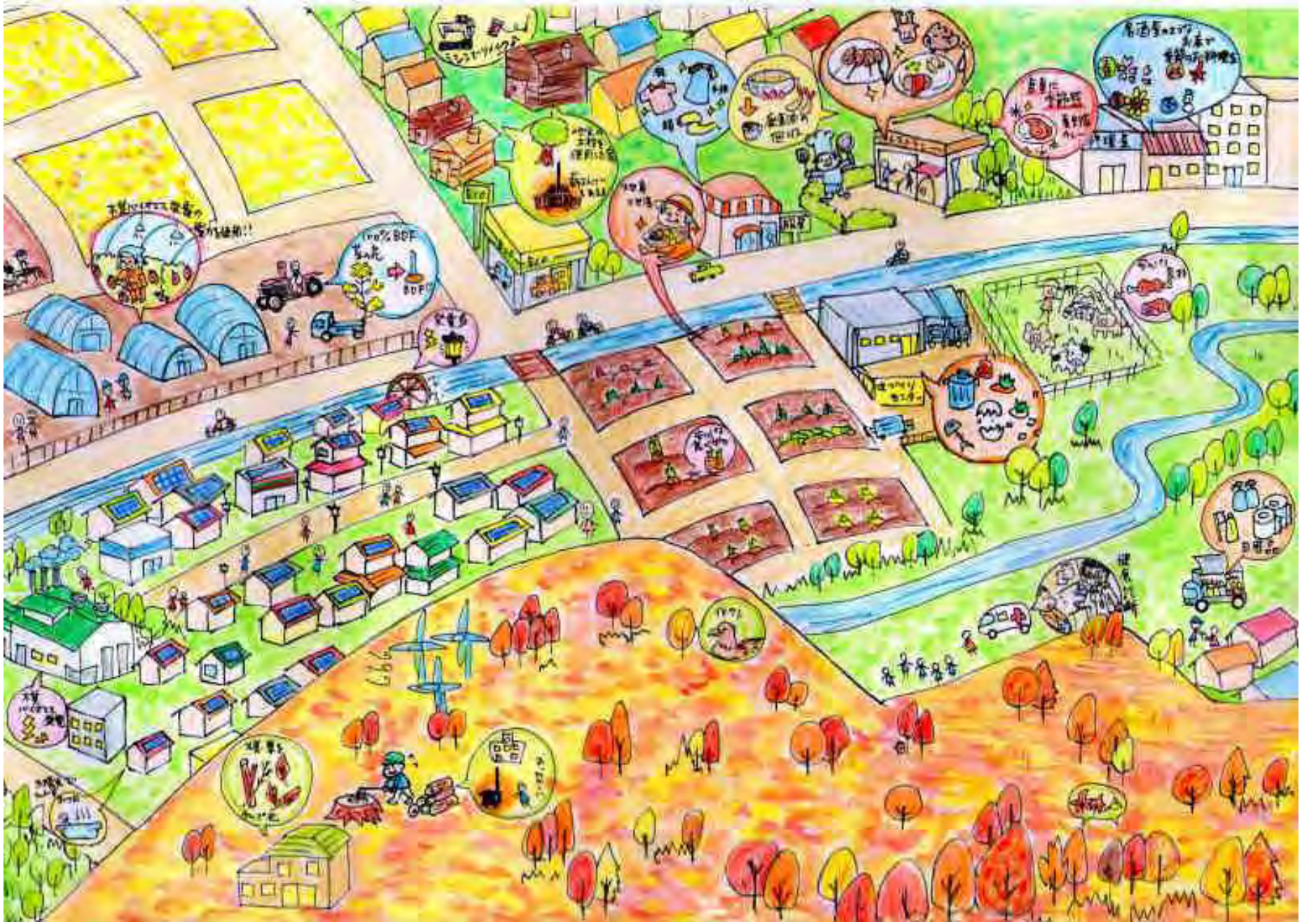
**4.「未来予想ものがたり」と「未来予想絵図」の比較アンケート調査集計データ**

・アンケート回答者の属性・アンケート提出状況
・アンケート単純集計
・アンケート記述回答

LUNCH TIME
VELO
VELO
VELO
BUS STOP
BDF
MY BAG







○○病院

| | 未来予想絵図 | | | | 心象絵図 | 参詣曼荼羅図 | 洛中洛外図 | 鳥瞰図 | マンダラ図 | プラン図<br>(測量図、村・町・国絵図、<br>寺社堂内絵図、川絵図) | スケッチ図<br>(荘園絵図) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 絵図の具体例 | | | | | | | | | | | |
| 絵図名 | 私たちの未来予想絵図2008 | びわ湖・まるエコ・DAY2009<br>未来予想絵図 | H市未来予想絵図 | 五環生活未来予想絵図 | 南比良心象絵図 | 那智参詣曼荼羅図 | 洛中洛外図屏風 | 岡山市街鳥瞰図 | 胎蔵界曼荼羅　伝真言院曼荼羅 | 元和年間石見国絵図 | 祢田荘絵図 |
| 絵図作成時期 | 2008年2月 | 2010年2月頃 | 2010年3月頃 | 2010年3月頃 | 2008年 | 1596年以前 | 室町時代～江戸時代（16世紀） | 1937年 | 起源は7世紀頃 | 1617年 | 1184年 |
| 対象地域 | 滋賀県彦根市 | 滋賀県全域（地域の指定はない） | 滋賀県H市 | 滋賀県彦根市（五環生活の活動地域） | 滋賀県大津市南比良 | 和歌山県　熊野 | 京都の市街と郊外 | 有り | 無し | 有り | 有り |
| WSで対象とする人 | 彦根市民<br>環境関連会社に勤務している人 | 滋賀県内で環境保全をしている団体<br>（29団体） | H市環境円卓会議委員（26名）<br>H市役所職員（10名）<br>琵琶湖環境科学研究センター（3名） | NPO法人五環環境生活のメンバー（8名） | 対象地域に住む高齢者 | | | | | | |
| 絵図製作者 | 安達かなこ（近藤研究室） | ［原版］<br>滋賀県内で環境保全をしている団体<br>未来予想絵図作成スタッフ<br>［配布版］<br>中村友子（近藤研究室） | 中村友子（近藤研究室） | 中村友子（近藤研究室） | 上田洋平氏（心象絵図の考案者）<br>絵描き（美大の学生）<br>地域に住む絵の得意な人<br>地域に住む方々の中から希望者全員 | 本願所（中央に描かれている寺院） | 狩野派の画家 | 鳥瞰図絵師<br>岡山市街鳥瞰図：吉田初三郎 | 僧侶 | 国絵図：藩 | 荘園絵図：荘園領主 |
| 概要 | 彦根市の未来の姿を、彦根市民・環境関連会社に勤務している参加者に描いてもらった絵図<br>まちの様子を描いた下絵に、ポストイットで各個人の目指す将来像を貼っていってもらって、それを絵図としてまとめた絵図 | まるエコに出展した環境保全活動を行っている団体が、自分たちの活動が30年後にどうなっているのかを描いていく<br>まとめWSで絵図に足りない要素を皆で話しあって付け加えたものをまとめたものが配布版の未来予想絵図である | 滋賀県H市の環境円卓委員会が、2030年のH市の姿を、二酸化炭素排出量や人口の増減といった計算結果をふまえて話し合った結果を一度「中間とりまとめ」として文字にまとめた。その「中間とりまとめ」を絵図にしたもの<br>「エネルギー」「食・消費・廃棄物」「教育・子ども」「産業」「生き方・コミュニケーション」「医療・福祉」「移動・物流」「雇用・就業」という8つのカテゴリーに分かれている | 「10年後の五環生活の活動がどうなっているか？」「様々な活動に取り組んでいるが、今後自分は特にどの目標に力を入れて活動していきたいか？」をテーマに、五環生活のメンバーで絵を用いて話し合った結果をまとめて絵図にしたもの | 対象地域に住む人々から昔の暮らしぶりを聞き、人々の体験や思い出、生活風俗、四季の自然などを、一つの画面の中に描き込んだ絵図である<br>一目でその地域の暮らしや文化がわかる内容となっている | 絵図の描かれた時代の社寺の景観の中に民衆の参拝の様子やその地で行われる行事の様子、社寺の創建にまつわる演技などを書き込んだ当時の信仰世界観のカタログ的な絵図 | 国宝に指定されている六曲一双からなる屏風絵<br>絵図は右隻と左隻に分かれており、室町時代の京都の風俗が描かれている<br>京都ならではの建造物や名所、春夏秋冬を感じる行事や、祭りの山鉾、そして京都に住む人々の暮らしぶりなどが細やかに描かれている | 地図の技法および図法の一種で、上空から斜めに見下ろしたような形式のもの。飛ぶ鳥の目からみたように見える。 | 空間・地域・景観というシステム化された一元的な場だけでなく、多元的な場の原理を持った絵図<br>曼荼羅：経典の内容を観想（イメージ）して仏画に 置き換えた書　　瞑想を行うための装置 | 場所や地域についての情報を登録するための図。どこに何があるという情報が絵図面上に記載されている。<br>国絵図：江戸幕府が国ごとに作成させた地図。幕府はそれを提 出させて幕府文庫（官庫）に保管していた。この絵図は幕府が銀山の様子を把握するために描かせたもの | 空間的配置とか計測性、あるいは主体的な概念装置による情報の図像転換プログラムが明確でない絵図<br>荘園絵図：荘園空間を絵画的に写し取った絵地図 |
| 絵図の中の時間軸 | 「未来の彦根市」をテーマにした時間軸<br>昼→夜の表現がある | 「あなたが今している活動が2030年にはどうなっていますか？」がテーマにした時間軸<br>季節の畑の様子<br>昼→夜の表現がある | 「2030年のH市がテーマ」にした時間軸<br>（CO2削減50%を実現した未来）<br>季節の畑の様子や、昼→夜の表現がある | 「10年後の五環生活の活動」がテーマにした時間軸 | 過去のいろいろな時間軸が混在している<br>（戦時中の出征の様子・うみのこ・車・電車等） | ・民衆の参拝といった日常的な時間軸<br>・行事といった非日常の時間軸<br>・社寺の創建といった過去の時間軸<br>・伝説や死後の世界といった現実世界ではありえないことを描く時間軸 | ・人々の日常・暮らしぶりを描く時間軸<br>・季節の行事などの非日常を描く時間軸<br>・社寺の創建といった過去の時間軸 | あるワンシーンを切り抜いたような絵<br>時間軸なし | 多様な時間軸が描かれている | あるワンシーンを切り抜いたような絵<br>時間軸なし | あるワンシーンを切り抜いたような絵<br>時間軸なし |
| 絵図の利用目的 | ・絵を用いて将来像を話し合い、参加者皆で共有するため<br>・自分の意見を発信するため<br>・他の人の意見にも耳を傾けるため | ・参加者が自分の抱く将来像や、現在の活動内容を形にし、発信するため<br>・「私たちのまちはこういう姿を目指しています」という宣言を作るため | ・計算結果と文章で作られた計画書だけでは、イメージしきれない将来像を、絵で表すことによって視覚的にわかりやすくするため<br>・活動を紹介するときに絵図を用いれば説明しやすくなる | ・今後の活動の指針となる<br>・他のメンバーがどういう思いを持っているのかお互いに確認しあうことができる | ・歴史的史料として役立つ<br>・昔の生活を後世に伝えることができる<br>・子どもと高齢者と交流に役立てることができる<br>・高齢者の回想法に利用することができる<br>・エコツーリズムの入り口としての利用 | ・民衆への仏教・神道の信仰の奨励のため<br>・那智山への参詣を促し、お布施を呼びかけるため<br>・さまざまな縁起を絵解き、この地が霊験あらたかであることをアピールするため | ・洛中洛外図は多分に政治的な意図のもとに制作されたもの<br>・当時の暮らしぶりを知るのに役立つ | 鳥瞰図：描きたい対象を強調してわかりやすく表現 することを目的としている | 曼荼羅：瞑想を行う際に用いる | 国絵図：江戸時代には、諸藩を地理的に把握するため<br>明治時代には、租税の調査資料として利用するため<br>日本地図を作成するためにも利用された | 荘園絵図：土地の領主が自分の土地を把握し、主張するために用いた。土地の境界争いの時にも用いた |
| 絵図に用いられた表現 | ・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・曖昧なものが多い<br>・吹き出しよる補足を用いた絵が多い<br>・文字も少しはあるが、他の未来予想絵図に比べると少ない | ・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・曖昧なものが多い<br>・吹き出しや文字による補足を用いた絵が多い | ・H市の地図を参考にして、琵琶湖や山や河川、線路の配置を決めたため地域性のある配置となっている<br>・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・吹き出しや文字による補足を用いた絵が多い | ・一つの箱庭のようなイメージで描かれている<br>・絵の大きさや形、色などデフォルメされたものが多い<br>・吹き出しや文字による補足を用いた絵が多い | ・高齢者の意見を元にできるだけ事実に沿った写実的な絵で表現されている<br>・大きさや建物の描き方などにはデフォルメが見られる<br>・文字による補足はない | ・雲と霞によって空間が仕切られている（「逃げ」の表現）<br>・社寺の信仰的世界を一図に収めるために距離、方向をデフォルメしている<br>・画面上部に山、下部に海を描き、画面中央に描かれた参詣空間を横切って川が山と海とをつなぐという構図の特徴を持つ | ・雲と霞によって空間が仕切られている（「逃げ」の表現）<br>・御所、武家屋敷などが目立つように描かれている<br>・建物や距離はデフォルメされているが、人間のスケールは総じて同じである<br>・画面の構成にも定型化が見られる<br>・春・夏・秋・冬の風物や行事を描き、祇園会の山鉾を書き込むものが多い | 建物や山などが立体的に描かれる<br>位置関係や遠近の関係をデフォルメして描いている<br>メインで描く町以外は、遠くになるにつれてぼやけている | 曼荼羅のパターンに沿って平面的に描かれている | 山や家屋など、記号的な表現 | 絵画的な図像表現<br>知覚的図像となる |
| 絵図の視点 | 自分の描いた絵をまず探し、その後自分の絵を中心に周りの絵にも目をとおしていく<br>同心円状に広がる視線 | 自分の描いた絵をまず探し、その後自分の絵を中心に周りの絵にも目をとおしていく<br>同心円状に広がる視線 | まずは全体の雰囲気を理解する<br>次に目に止まった絵図を順に見ていき、その中で自分の意見を描いた絵を見つけていく<br>全体→部分と視点が狭くなっていく | 自分の描いた絵をまず探し、その後自分の絵を中心に周りの絵にも目をとおしていく<br>同心円状に広がる視線 | まずは全体像を見渡し、後はかつての生活を思い出しながら一つ一つの絵を丁寧に見ていく<br>全体→部分と視点が狭くなっていく | まずは、全体像を見る<br>続いて、絵図の下部から参詣の様子をルートをたどっていくように追いかけていく<br>全体→部分と視点が狭くなっていく | まずは全体の雰囲気を見る<br>次に目にとまった絵から細かく順番に見ていく<br>全体→部分と視点が狭くなっていく | まずは全体像を見渡し、後は一つ一つの絵を丁寧に見ていく | 具体的な設定なし（？） | 目的に応じて見る場所を決めて、最初はそこを中心に見る | 自分の所有する荘園の範囲を把握するために、境界線を重視して見る |
| クローズアップがあるか？ | 有り | 有り | 有り | 有り | 無し | 有り | 無し | 無し | 無し | 無し | 無し |
| 文字の説明があるか | 有り<br>（絵の補足説明、会話等） | 有り<br>（絵の補足説明、会話等） | 有り<br>（絵の補足説明、会話等） | 有り<br>（絵の補足説明、会話等） | 無し | 無し | 有り<br>（寺社仏閣の名称の説明） | 無し | 無し | 無し | 無し |
| 絵図の中に自分を描いているか？ | WSはポストイットに意見を文字で描いて貼っていく形式だったので、絵図の中に自分を思い描いているかはこのケースでは不明 | 子どもは自分を描く<br>大人はあまり描かない<br>（※動物保全団体の人は自分達が保全している動物のみを絵図に描く等…） | 絵図に直接絵を書き込む作業を行っていないので、この事例では、絵図の中に自分を描いているかどうかはわからない<br>しかし、意見を出す時は、ちゃんと実現できるか、自分の意見に責任を持てるかどうかを気にしている人が多かった。 | 「自分たちの活動の将来」なので、自分を描いている人はいた | 昔の自分達の生活を描いているので、絵の中に出てくる人物を具体的に自分だとは思わないかもしれないが、懐かしさの記憶から、自分と関連づけて絵を見る | 本願所（絵図製作側）が中央に描かれている | | | | | |
| 描かれている人物の多様性 | 漁師 | 電動車いすに乗った人<br>車椅子に乗ったおばあちゃん<br>水質調査をしている研究員<br>綿で作った肌着を着た赤ちゃん<br>昔ながらの方法で家を造る大工さん(職人)<br>着物を着た人 | ゲートボールを楽しむお年寄り<br>オシャレをしてコンサートに行くお年寄り<br>医者<br>病気の子ども<br>赤ちゃん<br>外国人<br>コックさん<br>酪農家<br>まちづくり協議会の参加者<br>DV相談所の相談員さん | 保育園の先生と子供たち<br>猟友会の人たち<br>弥生時代体験をしている人たち<br>おじいちゃんのベロタクシードライバー | 結婚式の行列<br>葬式の列<br>猟師<br>戦争に向かう若者と、それを見送る人々 | 僧侶<br>参拝客<br>龍<br>童子<br>歴史上の人物（和泉式部など） | 僧侶<br>公家<br>武士<br>農民<br>商人（皿屋、紙漉き屋、染物屋、米屋、髪結い処など）<br>医者 | | | | |
| 生老病死の描写はあるか？ | 無し | 有り<br>（お墓） | 有り<br>（病院での誕生、自宅での死、動物の墓を作る子ども） | 無し | 有り<br>（出産の様子、葬式などの冠婚葬祭） | 有り<br>（補陀落渡海、死後の世界） | 有り<br>（医者） | 無し | 直接的には描かれていない | | |
| 天候の変化は？ | 晴れの表現として太陽がある | 無し | 無し | 無し | 雪山が描かれているので、雪が降ったという表現がされている | 無し | 無し | 無し | 無し | 無し | 無し |
| 絵図の中心となるものがある | 無し | 無し | 無し | 五環生活事務所 | 無し | 本願所（絵図製作側）が中央に描かれている | 洛中の様子（人々の生活風景） | 無し | 有り | 無し | 荘園領主の土地 |
| 考察 | 鳥瞰図ではなく、遠近法を用いた奥行きのある絵となっている<br>これも他の未来予想絵図と同様、絵だけで補えない内容は文字の表記で補っている他、細かくてかけないところには吹き出しを使用している | 他の絵図と比べて、絵図の中に「自分」を描いている絵が多かった。<br>一方で一つ一つの絵が、独立して存在しているような印象を受ける。<br>皆それぞれ自分の活動を紹介するために絵図を描いたため、この絵図には生老病死といったキーワードが抜けている。 | 話し合いを重ねてきた結果できた絵図だったので、生老病死といったキーワード、生活していく上で必要となってくる項目に関する絵がちゃんと漏れなくあった。<br>また、「豊かな生き方」「福祉制度」といった絵で表現しにくいものも多くあったのがこの絵図よって文字による注釈や、吹き出しによるクローズアップが多い絵図となった | 事前準備が必要だと痛感したWSだったWSの段階で出された絵には、「自分」を描いた絵がなかったが、皆自分のやりたいことを見つけ出して、それを皆に伝えることによる今後の指針を定める手助けとすることができた。<br>五環生活の活動を中心に考えてもらったので、自然と「医療」や「生老病死」といった絵図に描かれなかった項目も多い絵図となった。 | 文字での注釈や、吹き出しによるクローズアップがない点は未来予想絵図との大きな違い<br>位置関係や遠近の関係はデフォルメされて描かれているので鳥瞰図と共通している<br>生老病死、冠婚葬祭、四季といった要素が描かれている<br>社会的組織を表す絵はあるのだろうか？ | 中央に作成主体である本願所が描かれている。<br>作成主体自身が絵図の中に描かれているのはこれだけ。 | | 鳥瞰図という技法、絵図の中に文字を入れる点は未来予想絵図と共通している | 絵の中につながりがある<br>パターンがある | 絵図に描かれている建物や山は記号化され簡略化されたもの<br>地名や村の名前、山の名前等の説明が目立つことから、「どこに何があるのか示す」という色が濃い絵図 | プラン図と比べて文字による注釈は少なめ<br>土地の境界線を明確にするための絵図なので絵画的に写し取った絵 |

2010年　月　日

# 「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」に関するアンケートのお願い

滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科
准教授　近藤隆二郎
4回生　中村　友子

拝啓、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

滋賀県立大学環境科学部環境計画・政策学科近藤研究室では、「まちづくりにおける未来予想絵図の効果と限界」に関する研究をすすめております。まちづくりの現場において、絵図を用いた表現の効果と限界について検証することにより、市民参加の機会を広げるツールとして開発していきたいと考えおります。

そこで、本研究の調査用データといたしまして、東近江市まちづくり協議会の皆様を対象に、滋賀県内のある町を対象にして作成された「未来予想絵図」と「未来予想ものがたり」についてアンケートを実施させていただくこととしました。

つきましては大変恐縮ではございますが、同封のアンケートにご回答いただきたくお願い申し上げます。少々特殊なアンケートになりますので、同封の『アンケート回答の手順』をよくお読みになった上でご回答ください。何かございましたら、お手数ですが【アンケートについての問い合わせ先】までご連絡いただけましたら幸いでございます。

記入によって得られた個人情報は目的外に使用することはなく、また本研究室の研究以外に使用することはございませんのでご理解のほどお願い致します。

アンケート集計結果をご希望される場合については、卒業論文のコピーをそれに代えて発送させて頂く予定にしております。ご希望される方は同封の【資料③-1】「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査の「アンケート集計結果を希望されますか？」の項目で、ご希望いただきますようお願い申し上げます。

なお、回答用紙はお渡しした封筒（切手貼付済み、返送先住所記入済み）に入れ
月 日（ ）までに郵便ポストにご投函くださいますようお願いします。

ご多用中のところ大変申し訳ございませんが、なにとぞご協力いただけますようお願い申し上げます。

敬具

【アンケートについての問い合わせ先】
滋賀県立大学環境科学部環境計画・政策学科
近藤研究室4回生　中村　友子
e-mail:　zv13tnakamura@ec.usp.ac.jp
Tel:　00-0000-0000（携帯）

資料②

# アンケート回答の手順

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
まずは封筒の中に、以下の資料が揃っているかご確認ください。

| | |
|---|---|
| 資料① | 「未来予想絵図」「未来予想ものがたり」に関するアンケートのお願い |
| 資料② | アンケート回答の手順（本紙です） |
| 資料③-1 | 「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査 |
| -2 | 「未来予想ものがたり」 |
| 資料④-1 | 「未来予想絵図」についてのアンケート調査 |
| -2 | 「未来予想絵図」（A4 の絵図 4 枚を繋ぎ合わせた絵図） |

ご確認が済みましたら、以下の手順に沿って回答を進めてください。
※　ご回答いただくアンケートは 2 種類ございます　※

１．まずこのアンケートに回答する前に、以下の物をご準備ください。
①黒ペン（シャーペン・鉛筆・ボールペンなど、何でも結構です）
②回答時間を計れるようなもの（時計で結構です）

２．準備ができましたら、まず【資料③-1「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査】にご回答ください。アンケートの１．と２．の項目には「未来予想ものがたり」を読み進めながらご回答お願いします。

３．次は【資料④-1「未来予想絵図」についてのアンケート調査】にご回答ください。同封の「未来予想絵図」に直接描きこむ項目、アンケート用紙に書き込む項目がございます。

４．「未来予想ものがたり」についてのアンケートと「未来予想絵図」についてのアンケート、両方の回答が終わりましたら、以下の物を返信用封筒に入れ、＿月　日(　)までに、お手数ですがお近くのポストに投函ください。

＜返信用封筒に同封いただくもの＞

| | |
|---|---|
| 資料③-1 | 「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査 |
| -2 | 「未来予想ものがたり」 |
| 資料④-1 | 「未来予想絵図」についてのアンケート調査 |
| -2 | 「未来予想絵図」（A4 の絵図 4 枚を繋ぎ合わせた絵図） |

資料③-1

# 「未来予想ものがたり」についてのアンケート調査

「未来予想ものがたり」は，滋賀県内のある町の「2030 年の将来像」について，8 つの分野にわけて書いたものです．以下のアンケートに，「未来予想ものがたり」を読んでお答えください．
なお，記入が難しい質問に関しては，書ける範囲でのご回答をお願いします．

## ※　まずは【資料③-2「未来予想ものがたり」】をお読みください

１．「未来予想ものがたり」を読んで，どんなまちにしたいのか，ねらいを理解できましたか？

①できた　　②できなかった

＜どのようなまちですか？簡単にお答えください＞

２．「未来予想ものがたり」に書かれた「未来のまち」にあなたが実際に住んでいるとします．
あなたはどこで，何をしていますか？

＜どこで＞

＜何を＞

３．「未来予想ものがたり」を読んで，次にあげるキーワードをどれでも使ってストーリーを
考えてみてください．

キーワード：森，畑，市街地，道路，川，湖　（例：森では，子どもが虫取りをしています.）

４．「未来予想ものがたり」の「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか？
（10 点満点でお答えください）

＿＿＿＿点

※裏へ続きます

資料③-1

５．このアンケートを回答し終わるまでに，どれくらいの時間を要しましたか？

①15 分以内　　②30 分以内　　③それ以上

６．最後にご自身についてお答えください．

【性別】：男　・　女

【職業】：会社員（団体職員含む）・自営業・公務員・主婦・学生・その他（　　）

【年代】：20 才未満・20 代・30 代・40 代・50 代・60 代・70 才以上

【アンケート集計結果を希望されますか？】　希望する　・　希望しない

【希望される方は，郵便番号と住所をご記入ください】

郵便番号・・・

住所・・・

【お名前】

# 2030 年「未来予想ものがたり」

**この文章は，滋賀県内にある町の 2030 年のまちの姿を文章化したものです．**
**以下の 8 分野に分けて書かれています．**

**【目次】**


1．エネルギーについて
2．生き方・コミュニティについて
3．移動・物流について
4．医療・福祉について
5．教育・子どもについて
6．雇用・就業について
7．産業について
8．食・消費・廃棄物について


**※この【資料③-2　2030 年「未来予想ものがたり」】を読みながら，**
**以下のアンケート項目「１.」と「２.」にご回答ください**

＜アンケート項目＞
１．文章を読んで，気に入った部分に黒線（ ── ）を引いてください
２．文章を読んで，疑問に思った部分，よくわからなかった部分に，点線（- - - -）を引いてください


＜アンケート項目＞
１．文章を読んで，気に入った部分に黒線（ ── ）を引いてください

資料③-2

２．文章を読んで，疑問に思った部分，よくわからなかった部分に，点線（- - - -）を引いてください

**①エネルギーについて**

2030 年，太陽光を中心として，風・水・バイオマスそして BDF による再生可能エネルギーが普及し，エネルギー使用量の 10%が賄われています．

また太陽光発電は市内の一戸建ての 50%に取り付けられ充電器も活用され，太陽エネルギーを十二分に活用しています．街灯の多くは太陽光と風力と充電器を組み合わせて LED が利用されています．小水力発電も行われるようになっています．

森林間伐がしっかり行われるようになり，搬出された間伐財は家庭や，学校・オフィスで薪ストーブやペレットストーブに利用されています．またストーブだけでなく，チップボイラーや薪ボイラーでの給湯にも利用されています．

山の近くには切り出した材木をチップ化するために樹木処理場が整備されています．生ごみや木クズ・葉くずも処理され，堆肥などに活用されています．

菜の花を植えていくプロジェクトが広がりを見せ，休耕田は菜の花でいっぱいです．温室やトラクター，加工品を作るときに使う燃料は 15%ほどがバイオマスでまかなわれています．

人の移動は，多くの方が自転車を使い，人力で移動しています．牛や馬の力も見直され，農作業や運搬を担っています．

**②生き方・コミュニティについて**

3 世代が一緒に暮せる町という考え方を中心に，若者と高齢者が一緒に暮せるまちづくりが進められています．例えば，お年寄り家庭へ若者がホームスティできる制度が確立し，世代を超えての交流を進めています．

必要なものも近所のおじさんおばさんから借りたり，もらったりし，近所で融通しながら生活できるようになっています.他地域から移り住んできた若者の住む場所として空き家利用や，高齢者のお宅での間借りなどの制度が整っています．

また，子どもの学費なども支払のピークが抑えられています．

他の地域からの移住者も増え，半農半 X のメッカになっています．多くの市民が自家菜園や市民農園を楽しんでいます．

健康づくりも盛んになっています．誰もが生涯現役で暮せる健康づくりが進んでいます．若者が高齢者を支え，高齢者は老後の社会貢献に熱心です．

駆け込み寺などの DV 対策に代表されるように，何かのときにもみんなで弱い立場の人を守る仕組みができています．

外国人の方々も地域で生き生きと過ごし，海外からも多くの人が視察や旅行に来られています．田舎体験ができる仕組みや，滞在型農園であるクラインガルデンなどが増え，都市生活者の余暇の場所としても生かされています．空き家の再利用を進める仕組みも充実しています．

＜アンケート項目＞

１．文章を読んで，気に入った部分に黒線（ ── ）を引いてください

資料③-2

２．文章を読んで，疑問に思った部分，よくわからなかった部分に，点線（- - - -）を引いてください

**③移動・物流について**

山間部や市街地から離れた地域では，普段の生活に必要な日用品を売りに来てくれるサービスが充実しています．また小さな商店も増え，ちょっとした買い物は近場で済ませることができます．

宅配の統一化により他業者が連携した共同配送が一般化し，また速達の逆である「遅達－ついで宅配」サービスが登場．それほど急がない荷物が効率的に配送される仕組みが整えられています．貨物での輸送は 4 分の 1 が鉄道を使うようになりました．

またバスや鉄道にも自転車が乗せられるようになり，市街地についたら自転車で自由に移動ができるようになっています．市内全域に自転車道が整備され，快適に自転車での移動ができるようになります．ベロタクシーなども普及しています．

工場などたくさんの人が勤める場所では，バスや自転車，電動アシスト自転車による勤務が一般的になり，自家用車での通勤は少なくなっています．

電動アシスト自転車が社用車や公用車にかわって普及し，銀行の営業などにも利用されています．

自動車を使う場合は，電気自動車をつかうほか，カーシェアリングやレンタカー会社の普及により，必要なときだけ自動車をつかう仕組みが増えています．

高齢者が移動しやすいよう，地域循環バスや目的別のシャトルバスが低料金で運行され，ちょっとしたお出かけがしやすい公共交通が整備されています．

湖上では，舟をつかって，対岸やそのほかの地域に移動できるようになっています．

**④医療・福祉について**

自分の健康は自分で守ることから．自分のからだに自分自身が関心を持つような社会になっています．

リスクを伴う出産を支える周産期病院や中核病院の整備，保健師の地域回診により，子育て環境がよくなり合計特殊出生率が 2．0 になりました．また，働く子育て家庭のために，病児保育所も設けられています．この保育所は雇用にもつながっています．

誰もができるかぎり健康に過ごせる仕組みが成り立っているのです．ピンピンコロリで，死にがいのあるまちになっています．

また，高齢者向けには生活用品や食事の配達サービスなど，住民で支え合い行う仕組みができあがり，地域で一緒に暮らす<縁者>考えが広まっています．

お寺コミュニティの利用による場所づくりも広まっています．

必要な介護施設が充実しており，訪問看護ステーションや小規模な介護施設，予防診療・回診サービスなどが，地域に点在しています．

＜アンケート項目＞

１．文章を読んで，気に入った部分に黒線（ ── ）を引いてください

資料③-2

２．文章を読んで，疑問に思った部分，よくわからなかった部分に，点線（- - - -）を引いてください

**⑤教育・子どもについて**

2030 年には，安心して子どもを近くで産むことができます．それは，切れ目のない子育て支援が充実していて，時間的にも金銭的にも年齢的にも不安が少ないからです．

車の規制が整っていて，世話好きなおじいちゃんおばあちゃんの目配り気配りがあるので，事故や犯罪などの心配が激減しています．おかげでまちでは子どもたちが走り回っています．

3 世代一緒に暮らせる町なので，お互いに健康な間は，互いに助け合うことができますが，その時期を越えたときには，確かな介護や子育ての支援が得られます．

住まいの近くにも職場にも自治会にも駅にも保育所や学童保育が充実しているので，子育てをしている方も安心して自分のことができます．

あちらでもこちらでも絵本の読み聞かせがあり，子どもたちは，物語の世界と自然の世界の双方が豊かに育っています．

体験学習は，薪割りのようなものから，文化や生活の知恵（省エネなど）の伝承，地域の祭り etc．の継承，またそれに付随する衣食についてなど，多種多様です．市民が作る学校や生涯スポーツも盛んです．

また，森の中での遊びから生きる力を獲得する「森の幼稚園」があったり，薪を取りに森に行くことが学校教育の中で行われていたりします．

こどもたちは，森の中や多自然の川の中や原っぱで遊んでいます．ヒミツの遊び場も作っています．

**⑥雇用・就業について**

仕事への自発性が高まり，市内で起業する人が増え，共働きやワークシェアリングなどの働き方も増えてきました．

職住近接の生活スタイルが一般的になり，家庭での時間や地域社会のための活動を大切にする人が増えてきたため，男性の一日の就業時間は今と比べて 2 時間ほど少なくなっています．

市民の働き方に対する価値観の転換と共に,市の姿勢も変わりました.市民と市が協力して，不要施設や空き家を有効利用するため，ＳＯＨＯ（パソコンなどの情報通信機器を利用して，小さなオフィスや自宅などでビジネスを行っている事業者）に開放しています．

まちづくり会議やＮＰＯで多くの人が働けるようになるなど魅力ある雇用が創出され，地元で働く人の割合が 2 割近く増えました．

就職についても，第１次産業に従事する人が増えています．農業体験や農業ボランティアの経験者が,「農業に従事」を希望する人や「半農半Ｘの暮らし」に関心を持つ人が増え，新規就農者の市内への移住につながっています

市立や私塾の農林漁業専門学校が設立され，実践重視の教育が行われています．その結果，農地がフル活用されるようになりました．

＜アンケート項目＞

１．文章を読んで，気に入った部分に黒線（ ── ）を引いてください

## 資料③-2

２．文章を読んで，疑問に思った部分，よくわからなかった部分に，点線（- - - -）を引いてください

**⑦産業について**

一方林業では，地元の木材を利用することが主流になっています．林業技術者が増加し，木材を利用し，それを加工する職業を支えるという考えが浸透しています．

条例で地域材を使うように定められているので，地元木材で建てた家が増加しました．地元の大工さんや工務店がはやっているだけでなく，木工業も盛んです．

実のなる木を植栽したり，間伐作業が進んだりして，昔のように山が人の手によって守られています．現在は伐採した木材（雑木，間伐材）をエネルギーとして利用できるように，樹木処理場（ペレット工場）やプレカット工場（間伐材の販売先）があり，工業に通じています．

2010 年に獣害対策として行った猪狩りや鹿狩りを通じて（ハンターの数が減少している問題があるため，ハント以外の獣害対策を考える.），猪肉料理や鹿肉料理が注目を浴び，ほかの地元産品も加工する会社が増えました．

こうした取り組みが新 6 次産業として浮かび上がり,エコツアーなどでも注目されています．

**⑧食・消費・廃棄物について**

農地の保全・有効利用を目的に，市民農園が盛んです．これを通じて，田んぼ仲間や畑仲間がいて，ネットワークが充実しています．

自給自足，あるいは自給自食と言いましょうか，自分のうちでつくることができないものは必然的に少なく，野菜食中心の食卓で，お肉やお魚はたまにとる程度の健康にもよい食生活です．

地元食材は，調理されて，お総菜としても販売もされています．飲み屋さんでは，地元のお酒，食材，旬のものをつかっています．

食べ方（食べものの選択）も，旬のものを選んだり，無農薬省農薬のものを選んだりするだけでなく，昔ながらの保存食や冷凍などの方法で工夫が凝らされ，市外で注目され（ブランド化），よく売れています．

生ごみは家庭で一次堆肥化し，土作りセンターに持っていくか自宅で堆肥化するかのいずれかで，ごみになることはありません．

衣も住も 2010 年とは違い，着るものは，麻，木綿，絹などが生産時製品時の環境負荷が少ないことから選ばれています．また，長く使うためにミシンもよく使われます．リフォームやリユースも盛んで，修理屋などが復活しています．

資料Ｂ

# 「未来予想絵図」についてのアンケート

配布した「未来予想絵図」は、滋賀県内のある町の「2030 年の将来像」を絵で表したものです。以下のアンケートに、「未来予想絵図」を見ながらお答えください。
なお、記入が難しい質問に関しては、書ける範囲でのご回答をお願いします。

１．絵図中の気に入った絵を、何個でもいいので、○で囲ってください

２．よくわからなかった絵を、何個でもいいので、□で囲ってください

３．この絵図を見て、どんなまちにしたいのかイメージできましたか？

①できた　　②できなかった

＜どのようなまちですか？簡単にお答えください＞

４．あなたはこの絵図に描かれた「2030 年の未来のまち」に住んでいるとします。
あなたはどこで、何をしていますか？

＜どこで＞

＜何を＞

５．絵図を見ながら、次にあげるキーワードをどれでも使ってストーリーを考えてみてください。

キーワード：森，畑，市街地，道路，川，湖（例：森では子どもが虫取りをしています。）

※裏へ続きます

資料Ｂ

６．この絵図の「わかりやすさ」に点数をつけるとしたら何点ですか？
（10 点満点でお答えください）

＿＿＿＿＿＿点

７．このアンケートを回答し終わるまでに、どれくらいの時間を要しましたか？

①10 分以内　　②15 分以内　　③それ以上

【お名前】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

## アンケート回答者の属性・アンケート提出状況

### 参加者

**円卓委員**

| 番号 | 通し番号 | 属性 性別 | 属性 職業 | 属性 年代 | 回答順 | 文書アンケート | 未来予想ものがたり | 絵図アンケート | 未来予想絵図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 男 | 公務員 | 50 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 2 | 男 | その他（無職） | 60 | A | ○ | ○ | △ | ○ |
| 3 | 3 | 男 | 会社員 | 40 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 4 | 男 | 会社員 | 50 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 | 5 | 男 | その他（無職） | 60 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 6 | | | | A | △ | ○ | △ | ○ |
| 7 | 7 | 男 | 会社員 | 30 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 8 | 8 | 男 | その他（農業） | 50 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 | 9 | 女 | 会社員 | 50 | B | ○ | × | ○ | ○ |

**ファシリテーター**

| 番号 | 通し番号 | 属性 性別 | 属性 職業 | 属性 年代 | 回答順 | 文書アンケート | 未来予想ものがたり | 絵図アンケート | 未来予想絵図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10 | 男 | その他（NPO） | | A | × | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 11 | 男 | その他（NPO） | 30 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 12 | 男 | 公務員 | 40 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |

### 非参加者

**市役所職員**

| 番号 | 通し番号 | 属性 性別 | 属性 職業 | 属性 年代 | 回答順 | 文書アンケート | 未来予想ものがたり | 絵図アンケート | 未来予想絵図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 13 | 男 | 公務員 | 30 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 14 | 男 | 公務員 | 50 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 15 | 男 | 公務員 | 50 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 16 | | | | A | × | × | × | ○ |
| 5 | 17 | 男 | 公務員 | 30 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 18 | 男 | 公務員 | 20 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 7 | 19 | 男 | 公務員 | 50 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 8 | 20 | 女 | 公務員 | 30 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 | 21 | 男 | 公務員 | 20 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 | 22 | 男 | 公務員 | 50 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |

**学生**

| 番号 | 通し番号 | 属性 性別 | 属性 職業 | 属性 年代 | 回答順 | 文書アンケート | 未来予想ものがたり | 絵図アンケート | 未来予想絵図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 23 | 女 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 24 | 女 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 25 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 26 | 女 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 | 27 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 28 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | △ | ○ | × | × |
| 7 | 29 | 男 | 学生 | 20 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 8 | 30 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 | 31 | 女 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 | 32 | 女 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 11 | 33 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | 34 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | △ | ○ |
| 13 | 35 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14 | 36 | 男 | 学生 | 20 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15 | 37 | 女 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | △ | ○ |
| 16 | 38 | 女 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 17 | 39 | 女 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 18 | 40 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 19 | 41 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 20 | 42 | 男 | 学生 | 20才未満 | A | ○ | ○ | △ | ○ |
| 21 | 43 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 22 | 44 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 23 | 45 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 24 | 46 | 女 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 25 | 47 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 26 | 48 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 27 | 49 | 女 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 28 | 50 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 29 | 51 | 女 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 30 | 52 | 女 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 31 | 53 | 女 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 32 | 54 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 33 | 55 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 34 | 56 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 35 | 57 | 女 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 36 | 58 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 37 | 59 | 男 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 38 | 60 | 女 | 学生 | 20才未満 | B | △ | ○ | ○ | ○ |
| 39 | 61 | 女 | 学生 | 20才未満 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |

**まちづくり協議会**

| 番号 | 通し番号 | 性別 | 属性 職業 | 属性 年代 | 回答純 | 文書アンケート | 未来予想ものがたり | 絵図アンケート | 未来予想絵図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 62 | 男 | | 50 | A | ○ | ○ | ○ | ○（※△有り） |
| 2 | 63 | 男 | その他 | 60 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 64 | 女 | 主婦 | 50 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 65 | 男 | 自営業 | 60 | A | ○ | ○ | × | ○ |
| 5 | 66 | 男 | 会社員 | 60 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 67 | 男 | | 60 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 7 | 68 | 男 | 公務員 | 60 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 8 | 69 | 男 | 会社員 | 40 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 | 70 | 男 | 公務員 | 60 | A | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 | 71 | 男 | その他 | 70 | B | △ | ○ | ○ | ○ |
| 11 | 72 | 男 | その他(無職) | 60 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | 73 | 男 | 会社員 | 60 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13 | 74 | 男 | 公務員 | 50 | B | ○ | × | △ | ○ |
| 14 | 75 | 女 | その他（無職） | 60 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15 | 76 | 女 | その他（パート） | 30 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 16 | 77 | 女 | 主婦 | 40 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 17 | 78 | 男 | 自営業 | 60 | B | ○ | ○ | × | ○ |
| 18 | 79 | 男 | 会社員 | 50 | B | ○ | ○ | ○ | ○ |

## アンケート単純集計（記述以外）

| | | 番号 | 性別 | 年代 | 回答順 | 文書版アンケート 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | 絵図版アンケート 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 参加者 | 円卓委員 | 1 | 男 | 50 | A | 28 | 19 | | 2 | | 7 | | 3 | 6 | 3 | | 1 | | 7 | | 3 |
| | | 2 | 男 | 60 | A | 13 | 30 | | 2 | | 7 | | 3 | 20 | 10 | | 2 | | | | |
| | | 3 | 男 | 40 | A | 39 | 10 | | 2 | | 6 | | 2 | 9 | 0 | | 1 | | 9 | | 1 |
| | | 4 | 男 | 50 | A | 18 | 7 | | 1 | | 8 | | 3 | 5 | 4 | | 1 | | 8 | | 2 |
| | | 5 | 男 | 60 | A | 14 | 13 | | 1 | | 6 | | 3 | 3 | 1 | | 2 | | 8 | | 3 |
| | | 6 | | | A | 19 | 4 | | 1 | | | | | 10 | 1 | | 1 | | | | |
| | | 7 | 男 | 30 | B | 22 | 4 | | 1 | | 4 | | 1 | 8 | 3 | | 1 | | 8 | | 2 |
| | | 8 | 男 | 50 | B | 17 | 5 | | 1 | | 7 | | 3 | 14 | 0 | | 1 | | 9 | | 3 |
| | | 9 | 女 | 50 | B | | | | 1 | | 7 | | 3 | 5 | 0 | | 1 | | 7 | | 3 |
| | ファシリ | 10 | 男 | | A | 9 | 56 | | | | | | | 4 | 5 | | 1 | | 6 | | 1 |
| | | 11 | 男 | 30 | A | 71 | 2 | | 1 | | 2 | | 3 | 29 | 3 | | 2 | | 7 | | 3 |
| | | 12 | 男 | 40 | B | 23 | 12 | | 1 | | 7 | | 2 | 4 | 2 | | 1 | | 9 | | 1 |
| 非参加者 | 市役所職員 | 13 | 男 | 30 | A | 18 | 11 | | 1 | | 6 | | 2 | 13 | 4 | | 1 | | 6 | | 2 |
| | | 14 | 男 | 50 | A | 9 | 8 | | 1 | | 8 | | 3 | 22 | 3 | | 1 | | 8 | | 3 |
| | | 15 | 男 | 50 | A | 40 | 53 | | 1 | | 9 | | 3 | 16 | 8 | | 1 | | 6 | | 2 |
| | | 16 | | | A | | | | 2 | | | | | | | | 2 | | | | |
| | | 17 | 男 | 30 | A | 9 | 2 | | 1 | | 6 | | 3 | 3 | 0 | | 2 | | 7 | | 2 |
| | | 18 | 男 | 20 | B | 6 | 8 | | 1 | | 6 | | 2 | 3 | 4 | | 1 | | 6 | | 1 |
| | | 19 | 男 | 50 | B | 15 | 0 | | 1 | | 8 | | 1 | 3 | 1 | | 1 | | 7 | | 1 |
| | | 20 | 女 | 30 | B | 32 | 19 | | 1 | | 6 | | 1 | 17 | 1 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 21 | 男 | 20 | B | 34 | 10 | | 1 | | 6 | | 2 | 13 | 4 | | 1 | | 8 | | 2 |
| | | 22 | 男 | 50 | B | 41 | 20 | | 1 | | 7 | | 3 | 8 | 0 | | 1 | | 6 | | 2 |
| | 学生 | 23 | 女 | 20才未満 | A | 8 | 4 | | 2 | | 7 | | 2 | 6 | 4 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 24 | 女 | 20才未満 | A | 1 | 6 | | 2 | | 7 | | 1 | 6 | 0 | | 1 | | 10 | | 1 |
| | | 25 | 男 | 20才未満 | A | 8 | 0 | | 1 | | 8 | | 2 | 5 | 1 | | 1 | | 9 | | 2 |
| | | 26 | 女 | 20才未満 | A | 14 | 19 | | 1 | | 6 | | 2 | 3 | 3 | | 1 | | 9 | | 1 |
| | | 27 | 男 | 20才未満 | A | 26 | 9 | | 1 | | 7 | | 2 | 13 | 4 | | 1 | | 7 | | 1 |
| | | 28 | 男 | 20才未満 | A | 7 | 2 | | 1 | | 7 | | 2 | | | | | | | | |
| | | 29 | 男 | 20 | A | 1 | 0 | | 1 | | 8 | | 2 | 1 | 0 | | 1 | | 9 | | 2 |
| | | 30 | 男 | 20才未満 | A | 9 | 9 | | 2 | | 3 | | 3 | 3 | 2 | | 1 | | 7 | | 1 |
| | | 31 | 女 | 20才未満 | A | 32 | 8 | | 1 | | 8 | | 3 | 11 | 4 | | 1 | | 9 | | 1 |
| | | 32 | 女 | 20才未満 | A | 15 | 1 | | 1 | | 7 | | 3 | 6 | 1 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 33 | 男 | 20才未満 | A | 36 | 11 | | 1 | | 8 | | 3 | 12 | 2 | | 1 | | 7 | | 1 |
| | | 34 | 男 | 20才未満 | A | 20 | 9 | | 1 | | 6 | | 1 | 7 | 2 | | 1 | | | | |
| | | 35 | 男 | 20才未満 | A | 13 | 15 | | 1 | | 10 | | 2 | 5 | 3 | | 1 | | 10 | | 1 |
| | | 36 | 男 | 20 | A | 5 | 10 | | 1 | | 7 | | 3 | 4 | 5 | | 1 | | 6 | | 1 |
| | | 37 | 女 | 20才未満 | A | 9 | 9 | | 1 | | 7 | | 3 | 4 | 3 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 38 | 女 | 20才未満 | A | 11 | 14 | | 1 | | 3 | | 3 | 5 | 4 | | 1 | | 7 | | 1 |
| | | 39 | 女 | 20才未満 | A | 10 | 9 | | 2 | | 8 | | 2 | 3 | 1 | | 1 | | 7 | | 1 |
| | | 40 | 男 | 20才未満 | A | 30 | 10 | | 1 | | 7 | | 3 | 9 | 1 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 41 | 男 | 20才未満 | A | 13 | 5 | | 1 | | 7 | | 3 | 4 | 1 | | 1 | | 9 | | 1 |
| | | 42 | 男 | 20才未満 | A | 23 | 12 | | 1 | | 7 | | 3 | 8 | 4 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 43 | 男 | 20才未満 | B | 13 | 4 | | 1 | | 6 | | 2 | 5 | 4 | | 1 | | 7 | | 2 |
| | | 44 | 男 | 20才未満 | B | 11 | 1 | | 1 | | 8 | | 2 | 4 | 1 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 45 | 男 | 20才未満 | B | 5 | 6 | | 1 | | 2 | | 2 | 4 | 1 | | 1 | | 7 | | 1 |
| | | 46 | 女 | 20才未満 | B | 6 | 3 | | 2 | | 5 | | 1 | 4 | 1 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 47 | 男 | 20才未満 | B | 9 | 6 | | 2 | | 6 | | 3 | 3 | 0 | | 2 | | 7 | | 1 |
| | | 48 | 男 | 20才未満 | B | 6 | 6 | | 1 | | 7 | | 1 | 4 | 2 | | 2 | | 6 | | 1 |
| | | 49 | 女 | 20才未満 | B | 15 | 0 | | 1 | | 10 | | 2 | 3 | 1 | | 1 | | 10 | | 1 |
| | | 50 | 男 | 20才未満 | B | 23 | 7 | | 1 | | 10 | | 1 | 3 | 2 | | 1 | | 9 | | 1 |
| | | 51 | 女 | 20才未満 | B | 15 | 4 | | 1 | | 7 | | 2 | 4 | 3 | | 1 | | 8 | | 2 |
| | | 52 | 女 | 20才未満 | B | 44 | 18 | | 1 | | 8 | | 2 | 13 | 7 | | 1 | | 9 | | 1 |
| | | 53 | 女 | 20才未満 | B | 37 | 0 | | 1 | | 8 | | 2 | 8 | 4 | | 1 | | 9.7 | | 2 |
| | | 54 | 男 | 20才未満 | B | 2 | 5 | | 1 | | 8 | | 1 | 2 | 2 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 55 | 男 | 20才未満 | B | 9 | 6 | | 1 | | 9 | | 2 | 5 | 1 | | 1 | | 8 | | 1 |
| | | 56 | 男 | 20才未満 | B | 28 | 1 | | 1 | | 9 | | 2 | 7 | 1 | | 1 | | 8 | | 2 |
| | | 57 | 女 | 20才未満 | B | 32 | 1 | | 1 | | 9 | | 2 | 5 | 0 | | 1 | | 10 | | 2 |
| | | 58 | 男 | 20才未満 | B | 24 | 4 | | 2 | | 6 | | 3 | 10 | 3 | | 1 | | 8 | | 3 |
| | | 59 | 男 | 20才未満 | B | 15 | 15 | | 1 | | 7 | | 2 | 7 | 5 | | 1 | | 8 | | 2 |
| | | 60 | 女 | 20才未満 | B | 36 | 3 | | 1 | | 8 | | 3 | 11 | 3 | | 1 | | 10 | | 1 |
| | | 61 | 女 | 20才未満 | B | 19 | 14 | | 1 | | 7 | | 3 | 6 | 3 | | 1 | | 8 | | 2 |
| | まちづくり協議会 | 62 | 男 | 50 | A | 8 | 8 | | 1 | | 8 | | 3 | 6 | 13 | | 1 | | 9 | | 3 |
| | | 63 | 男 | 60 | A | 11 | 11 | | 1 | | 8 | | 3 | 4 | 2 | | 1 | | 8 | | 3 |
| | | 64 | 女 | 50 | A | 32 | 4 | | 1 | | 8 | | 3 | 10 | 1 | | 1 | | 9 | | 3 |
| | | 65 | 男 | 60 | A | 26 | 0 | | | | 8 | | 3 | 15 | 4 | | | | | | |
| | | 66 | 男 | 60 | A | 20 | 13 | | 2 | | 6 | | 3 | 7 | 6 | | 2 | | 6 | | 3 |
| | | 67 | 男 | 60 | A | 49 | 6 | | 1 | | 9 | | 3 | 3 | 0 | | 1 | | 8 | | 2 |
| | | 68 | 男 | 60 | A | 3 | 11 | | 1 | | 8 | | 3 | 6 | 7 | | 2 | | 5 | | 3 |
| | | 69 | 男 | 40 | A | 17 | 8 | | 1 | | 7 | | 3 | 6 | 7 | | 2 | | 2 | | 2 |
| | | 70 | 男 | 60 | A | 11 | 10 | | 2 | | 5 | | 3 | 6 | 2 | | 2 | | 5 | | 3 |
| | | 71 | 男 | 70 | B | 36 | 11 | | | | 6 | | | 26 | 10 | | 1 | | 5 | | 3 |
| | | 72 | 男 | 60 | B | 13 | 4 | | 1 | | 8 | | 3 | 12 | 0 | | 1 | | 7 | | 3 |
| | | 73 | 男 | 60 | B | 35 | 32 | | 1 | | 6 | | 3 | 26 | 10 | | 1 | | 7 | | 3 |
| | | 74 | 男 | 50 | B | | | | 1 | | 10 | | 3 | 11 | 2 | | 1 | | | | |
| | | 75 | 女 | 60 | B | 14 | 0 | | 1 | | 8 | | 3 | 3 | 0 | | 1 | | 8 | | 3 |
| | | 76 | 女 | 30 | B | 29 | 2 | | 1 | | 7 | | 3 | 19 | 2 | | 1 | | 8 | | 3 |
| | | 77 | 女 | 40 | B | 3 | 3 | | 2 | | 5 | | 3 | 2 | 1 | | 2 | | 5 | | 3 |
| | | 78 | 男 | 60 | B | 8 | 0 | | 1 | | 8 | | | 8 | 0 | | 1 | | | | |
| | | 79 | 男 | 50 | B | 24 | 9 | | 2 | | 5 | | 3 | 8 | 7 | | 2 | | 3 | | 3 |
| | | | | | | 19.2 | 9.1 | ①できた | 61 | | 7.0 | ①10分以内 | 9 | 8.0 | 2.9 | ①できた | 64 | | 7.4 | ①できた | 33 |
| | | | | | | | | ②できなかった | 15 | | | ②15分以内 | 24 | | | ②できなかった | 13 | | | ②できなかった | 18 |
| | | | | | | | | 無回答 | 3 | | | ③それ以上 | 41 | | | 無回答 | 2 | | | ③それ以上 | 20 |
| | | | | | | | | | | | | 無回答 | 5 | | | | | | | 無回答 | 8 |

| | | 番号 | 回答順 | 文書版アンケート | | | | 絵図版アンケート | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | アンケート質問項目 | どんなまちですか？ | どこで | 何を？ | ストーリーを作ってください | どんなまちですか？ | どこで | 何を？ | ストーリーをつくってください |
| | | | | | 4 | | 5 | | 4 | | 5 |
| 参加者 | 円卓委員 | 1 | A | 全体的にまとまらない、地域内で自給自足できるまちをねらいとしているのかも | 家やその周辺地域で | 環境保全活動（里山・里湖を育てる活動）などをしたいと思っています。まちづくり協議会に関わっているかな | 川や湖を船で行き来できるようになりました | 農林業中心のまち | 家の周辺で | まきあつめや森林整備 | 畑で作業する人が増え、珍しい野菜を育てることがブームとなっています |
| | | 2 | A | 石油文化が低下し、エネルギーの置き換えて社会コストは大幅に上昇。子育て費用や高齢化対策・費用を地域が負担？（できますか？） | 自宅と病院を往来している | 年金生活で肩身の狭い思いをしながら、地域の方々の御世話を受けて暮らしている | 森には年に数回多数の高齢ボランティア（森林管理作業訓練済み）が入り、美し（整備され、川・湖には放流・養殖で増えた本ものこぢピクマスが豊富に獲れるようになっている。この釣果を狙って市街地から来る釣り人が道路を占有し、近所からクレームが絶えない | 個の時代が小衆の時代に移行し、石油文化からの脱却を試みるも、代替エネルギーはいま一つ不足（不十分）少し不便？を我慢しながらユカクリズムを受け入れている | ○○ホールで？ | 音楽を楽しんでいる | 森がよ（整備され、各所に間伐材を使った様式やベンチが置かれ、あたたかみを感じさせています。手作りのベンチやログハウスも多く見受けられます。 |
| | | 3 | A | 化石燃料が新たなエネルギーを使用しながら環境を大切にしつつ、相互扶助を通して豊かな地域をつくる | 小規模な介護施設で | 高齢者のみにこだわらず、色々な人たちと一緒に相互に助け合う活動に取り組んでいる | 畑では、地域の方と一緒に介護が必要な方も畑仕事をしている | みんなで地域をつくっている。家から出たゴミも資源、山も手入れをしつつ、資源を排出している。豊かな地域を作ろうとしている。 | 仕事場以外にも | 自分のできる分野で仕事時間以外でも地域活動している | 私は、自分の家で使う薪なども地域活動をしながら森の活性化に取り組んでいます。 |
| | | 4 | A | 安心して住めるまちづくり | 田舎で | 農業とその体験活動とまちづくり活動 | 森が整備され、畑につながり、ミネラルをたくさん含んだ川の流れが農業につながる | 楽しいまちの生活 | 田舎 | 農業と森林の仕事 | 森から畑から、市街地につながる一体感のあるまちの風景 |
| | | 5 | A | 現在の利便性や快適性を一部肯定しつつ、昔ながらの快適性を復権させた | 住んでいる集落内で | ボランティア活動 | 道路では、自転車で安全に走ることができる | 暮らしぶりは理解できるが都市規模がイメージできない。例えば、人口や商工業の規模 | 畑で | 農作業 | 道路から不要の自動車は消えた |
| | | 6 | A | ゆるやかで人と人との信頼関係が深いまち | 八日市の街中で | 路地をうろうろして世間話 | 市街地では昔ながらのお店がつぶれないで組々と営業を続けています | 自然が多く感じられるまち | 森の幼稚園のそばで | 子どもたちが遊ぶのを見ている | 市街地では半農半Xの人たちが持ち寄った野菜や果物、花、工芸品などでファーマーズマーケットが開かれます |
| | | 7 | B | できたようで文章家が難しい | 山で | 何かをしている | イメージがわかない | 資源循環がうまくいっている | 山で | 伐採をしている | 道路にはガリリン車はほとんど走っていませ |
| | | 8 | B | 昔のように環境に優しいエコなまち | 休耕田で | 菜の花栽培をしている | 畑では、菜の花がいっぱい咲いている中で子どもたちが遊んでいます | 安心して暮らせるまち | 畑で | BDFを使ったトラクターで耕運している | 畑で半農半Xをしています |
| | | 9 | B | 少ない資源を大切に扱うまち | 今住んでいる所で | 自転車で友人宅を訪ね、手作りパーティーをしている | 川・湖で魚釣りをして畑の野菜を持ち寄りバーベキューをしています キャンプして素敵な星空を眺めています | 無理なく過ごせるエコのまち | 地域で | 循環型生活を行っている<br>生ゴミから堆肥をつくり、野菜づくりと食べるものは自ら作っている | 畑で半農半Xをしています作った野菜で、お弁当をつくり森へ川へ湖に遠足に行く<br>道路は自転車専用でさわやかな風の中を気持ちよく走っています |
| | ファシリ | 10 | A | 自分の生活は自分たちで支えるまち | まちづくり会議 | 事務局のメンバーとして働いている | 市街地の道端では露店や屋台が並んでいる | 活気のある楽しいまち | 市街地で | 歩いて買い物に出かけている | 山の中の森が子どもたちで にぎわっています |
| | | 11 | A | | | | | 個々の要素としては分かるが、町全体としての大きな方向がわからない | 山で | 薪割り | リタイア組みとして耕地・畑に関わっている |
| | | 12 | B | 人々がお互いに助け合うまち | 市民農園で | 孫に食育している | 道路には自転車がいっぱい走っている | 自然の中でいろんな世代の人と仲良く暮らすまち | まちづくり協議会で | 一言 | 畑で家族みんなが目ずか食べる野菜を作っています |
| 非参加者 | 市役所職員 | 13 | A | 地域循環型の社会として成熟しており、人・モノ・金が地 | 市役所で | 行政業務 | 畑では、高齢者が元気に農作業に勤しんでい | 道路・鉄橋ともに福祉の充実したまち | 市役所で | 行政業務 | 市街地の整序が進み、住みやすいまちが完 |
| | | 14 | A | 「便利」でないまち | 自宅で | 老後の生活を楽しんでいる | 近くの林が里山として整備され、散歩や子どもの遊び場となっている | | 自宅で | 老後の生活を楽しんでいる | 道路では、自動車が少なくなり、自転車や歩行者が中心に行きかっています |
| | | 15 | A | 昭和30年代の日本の生活 | 市街地で | 商売している | 川や湖で釣りをする | 現代の生活＋昭和30年代の生活 両方の良いところをあわせたまち | 市街地で | 商売している | 川で子どもが魚つかみをしています |
| | | 16 | A | | | | | | | | |
| | | 17 | A | | 畑で | 野菜を作り、育て地産地消をしている | 川では大人たちが魚釣りをしている | | 川で | 魚釣りをしている | 就職手助けして、魚を多く活用している |
| | | 18 | B | 安心して住めるまち | 山で | 体験学習をしている | 畑が有効に使われている | 環境に付加の少ないまち 安全な町 | 山で | 体験学習 | 川にはたくさんの魚がいます 森には人の手が入り、利用できている |
| | | 19 | B | 環境に配慮したまちづくりがよくわかる | 山で | 里山整備とバイオマス利用 | 森林を整備し、美し（キレイな水で暮らせる | 環境共用（協働）のまちづくり | 山で | 里山整備 | 森で暮らせる環境整備 |
| | | 20 | B | みんなが明るく楽しく暮らせるまち | 産業分野のどこかで | 第6次産業の起業をしていたい | 森は、しっかり手入れされ昔の姿を取り戻して | 皆が生き生きと楽しく暮らせるまち | 物産館で | 地元ブランド農産物を売っている（楽） | 森では間伐がすすみ、里山保全がすすんでい |
| | | 21 | B | 市民共同・地産地消・地域循環など・・・地域のことは地 | 自宅で | 家族団らん | 森の中からきれいな川が流れています | 市民共同・地産地消・地域福祉など・・・地域のことは地 | 自宅で | 家族団らん | 森の中からきれいな川が流れています |
| | | 22 | B | 環境に負荷を与えない生活 地域コミュニティが充実したまち | 田舎で | 畑仕事をしている | 道路では多くの人が自転車で移動している | 人々の生き生きとした生活 | 田んぼに囲まれた田舎で | 畑仕事をしている | 湖のほとりで多くの人たちが散歩（散策）をしている |
| | 学生 | 23 | A | | 地元で | 仕事 | 道路がすべて整備されました | 地域のつながりが強い | 家 | 三世代で暮らす | 畑で農業がされています |
| | | 24 | A | | 一般家庭 | 学生 | 川では子ども達が遊んでいます | 子供が住みやすく、色んな体験ができる町 | 居酒屋のような店 | 地元の料理を楽しんでいる | 市街地では、新者とお茶菓子はふれあってい |
| | | 25 | A | 高齢化社会で、新しい産業が発展しているまち | 自宅で | 什事ノ子守り | 川には子どもがあまりいない | 緑があふれ、子ども達が遊び回れ、商業が活性化し、た | 近くの店で | 家族で買い物 | 森では子ども達が走り回って遊んでいる |
| | | 26 | A | 高度経済成長以前、あるいは戦前の前の日本のような人と人のつながりが強いまち | 近所 | 子ども達の遊び相手（本の読み聞かせなど） | 畑で子どもや若者が家庭菜園の手伝いをしている | 環境にやさしいまち | 病院 | 砂時保育で手伝い | 川で子供が魚を捕まえている |
| | | 27 | A | 地域で一体感のあるまち | 什事場で | 廃棄物等の生活スタイルで働いている | 道路は花壇や植木で整備されている | 環境にやさしい、住民どうしの絆が強いまち | 畑 | 農業 | 畑では地元の特産物が生産されている |
| | | 28 | A | 環境にやさしい | | | 森では、高齢者の森林浴がブームになっている | | | | |
| | | 29 | A | 自然に寄を与えないように、より安定でやさしいまち | 森 | 狩り | 湖岸では、人々が楽しく釣りや水泳をしている | のんびりの生活スタイルを大事に持っている | 公園 | ゲートボールをしています | 市街地では、放学後の子どもが遊んでる |
| | | 30 | A | | 山 | 間伐 | 畑では、地元特産の作物が栽培されています | 三世代が安心安全暮らすことができて、地元を大切にし | 山 | 虫取り | 川や湖で子どもたちが遊んでいる |
| | | 31 | A | 地域住民がお互いに支えあう、人にも環境にも優しいまち | 保育所・学童保育 | 体験学習で森の幼稚園を開き、教育をしている | 親子が川で魚釣りをしています | ある一定の地域で生活のすべてを行うことができ、かつ環境に配慮したまち | 土づくりセンター | 生ゴミを再び土に作り変える作業をしている | 畑で老夫婦が仲良く農作業をしています |
| | | 32 | A | 人と自然が近いまち<br>人と自然が関わりあっているまち | 地元で | 子どもたちに体験学習で環境教育や文化を教えている | 有機栽培がされている畑では、様々な動植物が見られます | 獣もが笑顔でいられるまち | 自然が多いところ | 農作業の お手伝い（自分の家や近所の） | 川で子供が魚を捕まえている |
| | | 33 | A | 地域のネットワークが充実しており、かつ市民と市も協力 | 地元の会社 | 働いている | 道路は、地域の人が協力し野菜を作っています | 地元の中で協力しあう | 地元の会社 | 働いている | 道路では畳氏自動車が多く走っています |
| | | 34 | A | 全体的に、現在問題となっているものが緩和解決されて | まちの小学校で | 子どもと遊んでいる | 道路では、広い自動車道で子どもらが走って | 地産地消＆福祉、特に介護＆教育系を重視したまち | 企業で | 環境面のマネジメントを行う什事をして | 畑では、子ども と老人が共に作業しています |
| | | 35 | A | あまりにも理想を述べすぎた、ゲームの中のようなまち | 都市部 | 普通に什事をして生きている | 市街地にある川や湖水地は人々の憩いの場 | 教科書にのっていそうなまち | 都市部 | 普通に生きています | 道路に車が走っていない |
| | | 36 | A | 環境面にかなり力を入れていながら、最終的に人々の心身ともの健康につながるまち | 高齢者などのお宅の間借り | 農作業を手伝いながら大学通い | 道路は自動車が少なく、子供達れの人などの歩行者や自転車が行きかっている | 自然やと人間う合わせて力を借りながら暮らすまち | お寺 | 子どもの世話の手伝い | 森では、間伐した木材を多方面において使用します |
| | | 37 | A | 理想的なまち | 市内 | 自給自食 | 畑で、子どもがトンボを追いかけています | 助けあうまち | | 農業 | 道路には車があまりありません |
| | | 38 | A | 誰もが暮らし、やすく、昔の生活様式のような未来あるべき | 家 | 子どもを育てながら、パートに出かけす | 畑でよれた野菜でバーベキューをしています | 「誰もが暮らし、やすく、昔の生活様式のような未来あるべ | 町 | レンタサイクルに乗っている | 道路には電気自動車があふれています |
| | | 39 | A | | 某建市（地元） | 農業 | 川で家族連れがバーベキューをしています | 獣もが住みやすいまち | 農地 | 農業をしている | 森には たくさんの生物がいる |
| | | 40 | A | 昔の日本のようなまち（一部違う） | 畑 | 野菜を作っている | 子どもたちは森で虫取りをしています | 昔の心を取り戻した日本人の住むまち | 居酒屋 | 働いている | 森では薬草を使って、焼き芋を作っている |
| | | 41 | A | 国の発展だけでなく、地域のつながりを重視した今と | 街中で | 自転車をこいでいる | 市街地では、サラリーマンが自転車をこいでい | 三世代それぞれの特徴を生かしたまち | ゲートボール場で | お茶菓子と一緒にゲートボールをしている | 森では木を使った工作の体験学習が行われ |
| | | 42 | A | コンパクトなまち | 市街地 | 什事のかたわら住みの日は市民農園 | 市街地では、子どもが走り回っている | お年寄り、子供が特に住みやすいまち | | 畑作業ノ普通の什事 | 自分が畑で農作業 |
| | | 43 | B | 健康のなまち | 森 | 木を切っている | 森で間伐材を切っている | 環境を重点においた、住民同士がコミュニケーションを | 会議所で | まちづくり協議会に参加している | 市街地では自家用車は少なく、相乗りやバス |
| | | 44 | B | 環境にやさしいまち | 会社 | 什事 | 川で子供たちが遊んでいる | 環境に負荷をかけない町づくり | 図書館 | 本を読んでる | 市街地から出ると思りには森・川・湖と冬くの |
| | | 45 | B | 理想的なまち | 会社 | 什事 | 川で水泳 | 今の社会問題の改善策の実行がうまくいったまち | グラウンド | ゲートボール | 道路に信号がない |
| | | 46 | B | | 森の幼稚園 | 牛を飼っている | 畑では、冬くの種類の農作物が生産されている | 人々が協力し、子生活し、地域内で生活に必要なアを補 | レストラン | 地元野菜を使用した食事を作っている | 道路には住民用十ビシェア」た車が走っている |
| | | 47 | B | | 会社 | 什事 | 道路では車より自転車の方が多く走っている | | 海 | 釣り | 川では人々が釣りをしています |
| | | 48 | B | 自給自足型コンパクトシティ | 太陽光エネルギーの開発会社で | 什事をしている | 工場より下流の川でも、子どもが遊べるほどきれいな水質になっている | | 右下の赤い山で | 遊んでいる | 畑では次世代農業が進み、市街地ではクリーンなまちが形成されている |
| | | 49 | B | 環境にやさしい明るいまちづくり<br>地域の人々と交流・コミュニケーション | 農園 | 農業している | 畑では若い人たちも農業をしています | 環境に配慮された建物が多い<br>地域の人々とのコミュニケーションとりやすいまち | 木質バイオマス発電所で | 働いている | 市街地では、地域の人々がコミュニケーションをとりやすいように様々なイベントが活動さ |
| | | 50 | B | 自然と の共存だけでなく、人々にとって生活しやすいECO | 家 | 家庭菜園 | 市街地では、自転車が行きかっている | 環境に優しいECOなまち | 公園 | 子供とキャンプ | 畑にニンジンがあります |
| | | 51 | B | 環境負荷の少ないまち | 街中 | 買い物 | 森では子供たちが体験学習をしています | 人間の生活も環境の こども老者ノたまち | キャンプ場 | 自然を楽しみながらキャンプ | 川ではメダカ観察ツアーが行われています |
| | | 52 | B | 環境にやさしい地域一体となったまち | 飲み屋 | 地産の野菜料理を食べに通っている | 市街地では公共機関のバスや自転車の利用が活発です | 活気のある人々が支えあうまち | 自然の中 | 環境イベントの開催 | 川では子供たちがメダカ観察ができるエコツアーが開催されています |
| | | 53 | B | あらゆる世代の人が一生を過ごすのに充分いろいろそろっているまち<br>地域の団結がより求められるまち | 土づくりセンター | 生ゴミなどの処理 | 森で道ノたりする子ども が増えることで自然とより密接にかかわり、環境意識の高い人材が育つことにつながる | 子どもから お年寄りまでみんなが安心して暮らせるまち<br>地産地消推進で活性化をはかるまち<br>環境にやさしいエネルギーを使うまち | 土づくりセンター | ゴミなどから土をつくる | 畑で作られた野菜は、地元の人たちに愛される体に優しいものだと評判です |
| | | 54 | B | コミュニティ、医療福祉、教育、雇用どれにおいてもしっかりしている | 農地 | 農業している | 市街地では人と人との関わりがたくさん | 環境学習がおこなわれ環境問題にとりくんでいて、また地域の人と人との関わりが深い町 | バス | 乗っている | 川にはたくさんの魚たちがいます |
| | | 55 | B | エコでみんなが仲良く暮らせるまち | 川 | 魚釣り | 人々が道路を自転車で走っています<br>森では、セミが鳴いています | 地元の人々がみんな仲良く暮らせるまち<br>エコに関しても真剣に取り組んでいるまち | 森 | 木の間伐 | 川で子供が泳いでいます。別の子供たちは畑で野菜をとっています。お腹になったのでみんなでご飯を食べました。 |
| | | 56 | B | エコロジー | SOHO | 什事 | 道路でサラリーマンがさわやかに自転車をこいでいる | 地元を豊かにしたい感があった | ホール | 音楽鑑賞をしながら寝る | 畑では、いつもはサラリーマンとして働いている初老がニンジンをとっている |
| | | 57 | B | 環境と人間と双方に配慮したまち | 地元の木材で建てた家で | 両親と子供と暮らしている | 道路では、歩行者と自転車と車が互いを邪魔だと感じずに目的地に向かっている | 獣もが笑顔で暮らしていて、子供たちに環境教育や食育が行き届いているようなまち | 二世帯住宅で | 自分の両親と子どもと過ごしている | 川では、大人から子供まで釣りやメダカの観察を楽しんでいます |
| | | 58 | B | | 福祉施設 | 介護 | 道路でベロタクシーが動いています | 地域で協力し、環境に配慮した町 | 山 | 自然の中で暮らす | 道路では、車両はあいさつをしています |
| | | 59 | B | 人と自然が共存する町 | 修理屋 | リフォームやリユースの請け負い | 森で子供たちが遊んでいます | 環境が優しい町、人と人が支えあっている町 | 工場 | 什事 | たくさんの人が畑で農作業をしています |
| | | 60 | B | 一部でなくすべての人が幸せになるまち | | 子供をつれて体験学習を一緒にしている | 森に客くの人が入り、間伐したり遊んだりして | 人と人のつながりが強いまち | まちづくり協議会 | 巻加している | 川はメダカが住めるくらいキレイです |
| | | 61 | B | 昔ながらの里山のような色んな世代で協力しあい、自然とも共存していこうというまち | お年寄りのお宅 | ホームステイ | 川では、子供たちが魚をとって遊んでいます | 人とのつながりを大切にしたまち<br>自然と共存をするまち | 森の幼稚園 | 子ども達に森で遊ぶ楽しさを知ってもらい、命について伝え、森が大切な存在であることを知ってもらう | 畑では子供からお年寄りまで、様々な世代の人が農作業しています |
| | まちづくり協議会 | 62 | A | 共同・福祉・農林業社会・自然重視 | 介護施設で | 生活解除 | 夏は川で水遊び、川辺でバーベキュー | ①太陽・水・土・木等の自然重視な生活環境づくり<br>②車社会からバス・貨物車・自転車等、エコ・共同生活重視の政策<br>③福祉重視の社会 | ①居酒屋で<br>②特賞で（老人ホーム）で<br>③まち協に参加して | ①薪ストーブで暖まりながら、地元でとれた野菜と地元で加工されたつまみで地酒を飲んでいる<br>②高齢者の介護の仕事をしている<br>③公園のゴミ拾いをしている | 本日は、道路を規制して市民マラソン大会で一す。 |
| | | 63 | A | 未来は明るいと思います。住環境の活用が進むことは | 自宅で | 自宅菜園・市民農園を楽しむ | 森で水の変を観察で取りに行く | 里山を検討して住民（子ども～大人）が取り組める変を提 | 山で | プレカットで場で什事をする！ | 畑：市民・町民農園で野菜づくり！ |
| | | 64 | A | 三世代が一緒に暮らせる、エコでスローな人情あふれる温かいまち | 市街地から自転車で約10分の農村 | 自宅で友人と共に保育ママをしている | 両親が市街地で勤務している間、子ども達は農村にある保育所で絵本を読んでもらったり、園内の小川や畑でのびのびと遊んでいます | 各世代の人々が自分らし（生き生きと暮らしている自然豊かなエコなまち | 文化施設に近い静かな住宅地の二世代住宅で | 子育て支援をしながら夫婦で暮らしている | 平日は市街地に動務しているお父さんですが、休日は畑で安心安全な野菜を作っています |
| | | 65 | A | 自然を利用し環境を考えた未来型のまちである | 森の中で自然に囲まれた一軒家で生活している | 森の木を間伐し間伐材を利用しログハウスの建築等をしている<br>その後樹園を する | 道路は道幅が広く、公園では子どもは焚き火をし高齢者はゲートボールなどを楽しみ、畑は天然のものが栽培されており、電力はバイオマスで共有された電力で、牧場では放し飼いの牛、豚が飼育されている | | | | |
| | | 66 | A | 街に夢があり、住みやすい場所に"したい"姿<br>今後20年のリードタイムで、この夢がどれだけ具現化するか、しなければいけないか | 生涯現役として町外れの住宅で孫と遊んでいる | 自家菜園で自給自足に近づきながら、街のためにボランティア活動で汗を流すまち | 市街地のはずれの家の庭では親子と子ども達が家庭菜園でできた野菜を取っています。これから近くの老人たちに声をかけてBBQです<br>一息ついたら子ども達と川の魚釣りにでかけるを定です | 昔の田舎の原風景の街<br>かなり無理した理想郷と感じた | 山里で（図中右上） | 体験学習（里山保全とか）子ども達に森の幼稚園で指導ボランティア | 森の体験学習班の子どもを連れて畑を降りて川を行き、メダカや野原ではバッタを追いかけています |
| | | 67 | A | 住みやすいまち | ①農園<br>②ボランティア団体 | ①自家用の野菜づくり<br>②ボランティア作業 | お年寄りが畑で野菜づくりをしている | 住みよいまち | 家庭菜園 | 自家用野菜づくり | 昔が家庭菜園で野菜を作っている<br>子どもが森や川など自然の中で遊んでいる |
| | | 68 | A | 物が地域内で循環し、クリーンエネルギーが増えるなど、CO2排出が低い（低炭素社会）<br>社会の課題解決は、住民や自治会、まちづくり協議会等の役割が大きくなっている | 地域社会 | まちづくり協議会をNPOとし、住民の一人として、地域の課題解決のため、自ら率先して活動している | 川は、琵琶湖とつながり、魚が自由に往来している<br>森では、里山の役割が高まり、日常的利用がすすんでいる | 温室効果ガス削減を目指している | 里山・農地 | ストーブの燃料として薪割りをしている<br>家庭菜園で野菜等を作っている | 人々は近くの森や畑で、薪や野菜作りをしている |
| | | 69 | A | 第一次産業を中心に地域で助け合うまちづくり | 自治会等で | 地域で発生した問題を、どのように解決するかを考え行動する（ボランティア） | 自家用車のない道路 | | 自治会等で | 地域で発生した問題を、どのように解決するかを考え行動する（ボランティア） | きれいな市街地 |
| | | 70 | A | | 現住所で | 三世代での生活 | 湖にはヨットや漁船がいきかい、湖岸付近は家庭菜園で賑わっています | | | | |
| | | 71 | B | エネルギーについては資源がないのでもっと有効活用（自然）の が進んでいると思われる。<br>子どもの勝しかが中はり心配され、外口からの労働力に頼るのではないか<br>高齢化は現在より緩和されているのでは。<br>日本の人口減→生産人口の減少 | 年齢的に30年後はわかりません。たぶん、医療・福祉分野の充実をしているところ | 高齢者向け生活用品や食事の配達サービスの充実と介護サービス と回診サービスが地域にあること | 環境・福祉・子ども・地産地消中心に生活をしようというまちづくりはいいと思う | 保幼園、学校や老人ホームを線のある所へ集約 | 環境のよいところで、子ども達・高齢者の中心施設として子ども達との世代間交流と高齢者交流の場と健康推進の場に！ゲートボール場、グランドゴルフ等の常設グランドを整備していく | 森ではハイキングコースの整備や、川や湖を活用して農業・漁業・畑での野菜作りの農地化。<br>市街地はサービス業（商店街・スーパー等）の発展、住宅地区域と分けて都市計画を行う |
| | | 72 | B | キラキラした素晴らしいまち、心のやさしくなる町<br>ただし、色々な考え方、資質…の人々が本当に暮らせるのか？<br>（教育）小・中学校への関わりは？ | 家の前に琵琶湖（または川、裏に里山のある小さな町 | 定年後、アルバイトやボランティアをしながら自由に暮らしている | 生ゴミで肥料を作り、無農薬野菜の家庭菜園を仲間と楽しんでいる | 子どもや若者が屋外で生き生きと過ごしている | 土づくりセンターで | 働いている（週に2～3日） | 地域の菜園（幼稚園？）で親子の野菜収穫体験をしている |
| | | 73 | B | 理想的ですが、すべては無理です。大人が手を出さず、子ども達が野山で自由に遊び、自主的に学べる環境は良いと思います | 山に近いところで | 山の散策や、川で魚釣りをしている | おじいさんが裏の畑で野菜の世話をしています<br>川や湖では夏には子ども達が水遊びや水泳を楽しんでいます | 苦しいって、実際は任みよいがわかりません<br>現在考えられている環境・福祉・教育・高齢化に対して、断片的に取り上げているが、現実には社会情勢・国家財政・発展の中でシステムとして考えていかなければならない。<br>2030年までの国際状勢により、現在の延長で予測するのは難しい | 自宅 | 読書をしたり絵を描き、可能な範囲で旅行をしている | 森や川で、子どもたちが自主的に遊んでいます。<br>側道を広くして、自転車や歩行者が注意を払わずに自由に往来しています |
| | | 74 | B | 自然を大切に、生かされているという実感のある暮らしのできるまち 等身大のまち | 田舎 | 農業を楽しんでいる | 森から川を水が流れ、湖へ… どこにも人は暮らしている | 自然との共生のまち<br>人と日とが支えあうまち<br>コミュニケーションがあるまち | 海辺の小さなまち | 暮らしている | |
| | | 75 | B | 子どもから高齢者までが一緒に安心して暮らせる医療・福祉の整ったまち<br>環境に配慮し、自然エネルギーを生かしたエコのまち<br>自然豊かな地産地消の安心したまち<br>生き生きと暮らせる雇用創出のまち | 山間部や市街地から離れた自然豊かな農村地帯 | 生ゴミの堆肥化をし、その堆肥を使って無農薬の安心安全な野菜づくりをし、子どもや家族に食べさせている。子どもたちの世話をしながら地域活動（まち協）などに参加し、生き生きと過ごしている | 畑では、自然処理にに生ゴミ堆肥を使い、安心安全な健康野菜づくりをし、家族に食べさせています | 子どもから高齢者までが安心して暮らせる福祉のまちづくり<br>環境に配慮したエコのまちづくり<br>自然豊かで地産地消の安心したまちづくり<br>生き生きと暮らせる雇用創出のまちづくり | 自然豊かな集落ゾーン | 畑で野菜や花を育てる傍ら、孫の世話をしながら、地域活動（まち協等）に関わって過ごしている | 畑では、生ゴミ堆肥を使った無農薬の安心安全な健康野菜づくりをし、子ども達に食べさせています |
| | | 76 | B | 人と人、人と自然とが協力し無駄をなくした街 | 土作りセンター | 働いている | 森を守るため伐採された木々もうまく利用され | 今現在の社会で問題とされている項目が解決されたまち | 土づくりセンターで | 働いている | 川はキレイな曲線を描き、魚や色々な生物が |
| | | 77 | B | | | | | | | | 川で子どもが魚つかみをしています |
| | | 78 | B | 環境を大切に自然と強調し豊かな町 | 森の中で自然に囲まれた一軒家で生活 | 森の木を間伐し間伐材を利用しログハウスの建築等をしている | 道路は道幅が広く、公園では子どもは焚き火をし高齢者はゲートボールなどを楽しみ、畑は天然のものが栽培されており、電力はバイオマスで共有された電力で、牧場では放し飼いの牛、豚が飼育されている | | | | |
| | | 79 | B | 自分の現在の居住区から2030年を見据えると、かけはなれたものが成り立っていると感じた | 現在の居住区で | 自給自食（田・畑を楽しんで）をしている でしょう | 川では子ども達が水遊びをし、魚とりをして森では虫取り等をして、屋外で遊んでいます | それそれの絵に対してなぜか結びつかなかった 何でもかんでもありでイメージできない | 現在の居住区（山間部）で | 田・畑を作り自給自足で楽しんでいる | 川では子どもたちが泳ぎ（水に入り）、釣りをし、森では虫取りをしています。市街地では大勢で祭りに参加しています |

謝辞

本稿は、滋賀県立大学環境科学部環境計画学科環境社会計画専攻における研究成果を学位論文としてまとめたものです。本論文を作成するにあたって、丁寧なご指導と適切な助言をいただきました先生方、先輩方、支えてくれた学友に厚く御礼申し上げます。

はじめに、一年以上もの長い間、ご指導いただきました近藤隆二郎先生に心より感謝しております。なんとなく学生生活を送っていた私に「未来予想絵図」という素晴らしい出会いを下さったことは感謝してもしきれません。論文に取り組む中で何度も悩み、困った時は、必ず近藤先生が的確な助言、アドバイスをくださり、進むべき方向に導いてくださいました。近藤先生が支えてくださっているという安心感があったおかげで、卒論をやりきることができました。

査読の香川先生には、一回生の頃から親切にしていただき、環境政策計画学科一回生へのアンケートの際には、授業のお時間を削っていただいてまでご協力いただけたことを非常に感謝しています。卒論に必要な資料を貸していただいた時も、査読の際も、ひじょうに丁寧、かつ親切なご指導をしていただきました。

未来予想絵図の関係でお世話になった、びわ湖・まるエコ・DAY2009 実行委員会の皆様、びわこ大縁日実行委員会の皆様、五環生活の皆様、琵琶湖環境科学研究センターの皆様。H 市でのアンケート調査にご協力いただきました市役所の山本様、山田様。そしてアンケートにご協力いただきました回答者の皆様にも大変お世話になりました。

そして、4 年間一緒に過ごした学友はもちろん、同じ研究室の入江紗恵子さん、森愛実さん、倉田佳久さんとは、共に頑張ることができました。私事にはなりますが、特に入江さんは、私がくじけそうになったときもいつも励ましてくれ、そのおかげで何回も助けられました。入江さんのおかげで素晴らしい学生生活を過ごすことができました。本当に感謝しています。

帰りが遅くなっても、いつも待っていてくれた家族にもお礼を言いたく思います。私をここまで育て、時には厳しく、時には優しく私を支えてくれた両親、祖母、二人の妹に心より感謝しています。

最後にもう一度、近藤先生をはじめ、「未来予想絵図」を通して出会えたたくさんの方々、支えてくださった全ての皆様に心より感謝し、本研究を終わります。本当にありがとうございました。

2011 年 2 月 18 日　中村友子